プライド髙田vsアレク決定! え!? 石井館長はプロレス進出?

1999年9月9日発行 毎月第2・第4木曜日発行 第1巻・第5号・通巻5号

SRS DX

スペシャル・リング・サイド

Special Ring Side

No.5
1999
9・9
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

K-1 SPIRITS'99 完全速報!

生まれ変わった「闘志天翔」を見よ!

我が心、カラテ衣にあり!

K-1にプロ魂を見た。佐竹、グッドリッジに快勝

SRS DX 9・9 No.5
8・19 リングス横浜文化体育館大会
(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区…
神田NSビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区…
本体648円

QUEST VIDEO
基本の徹底した反復こそが慧舟會の強さを生む！
和術慧舟會
9月下旬発売予定
カラー50分予定／税抜¥5,600
総合の未来はこの男達が拓く！
「すべては基本に始まり、基本がすべてである。」
実戦でのコンビネーションは、すべて基本の動きが組み合わされたものである。このビデオでは、実際の型練習をまず紹介し、その中に含まれる基本運動をひとつひとつ分解、さらにそれぞれの基本運動のやり方までを丁寧に説明する。すぐ実戦に生かすことが出来、最も効果的な技術、それがここに収録されている数々の基本運動なのだ。
慧舟會の謎を徹底解明！
●その練習体系とは
●補強運動とは一体何か
●何故ウエイトトレを行わないのか？
等、独特の理論を守山代表にインタビュー
[収録内容]
・型練習5種
・型に含まれる基本の動き
・基本運動（エビ、足廻し、寝蜘蛛、絞り等）
・補強運動
[出演]
宇野薫、小路晃、廣野剛康、高瀬大樹
株式会社クエスト
〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-3-1ユニオン駅前ビル5F TEL 03-3360-3810 FAX 03-3366-7766 http//:www.bekkoame.ne.jp/~questnet

提供:ワールドスポーツプラザKINGS

『SRS・DX』読者 出血大サービス

Tシャツクーポン券 Part2

大好評の『道場クーポン券』に続いて、今回はプロレス・格闘技Tシャツのクーポン券が登場! 人気爆発中の修斗モノをはじめ、ファンなら絶対欲しくなるTシャツがズラリ12点。ハサミ持った? クーポン券切った? それじゃあ今すぐワールドスポーツプラザKINGSへGO!

全国のワールドスポーツプラザKINGS にてご使用になれます

店舗	電話
ワールドスポーツプラザKINGS 渋谷WEST本店	☎03-3462-1001
ワールドスポーツプラザKINGS 渋谷EAST店	☎03-5468-3177
ワールドスポーツプラザKINGS 新宿アルタ店	☎03-3350-6199
ワールドスポーツプラザKINGS 池袋店	☎03-5391-8388
ワールドスポーツプラザKINGS 札幌店	☎011-214-2351
ワールドスポーツプラザKINGS 名古屋店	☎052-264-8588
ワールドスポーツプラザKINGS 大阪店	☎06-6281-8166
ワールドスポーツプラザKINGS 福岡店	☎092-715-3399

通信販売のお問い合わせは… ☎03-3462-7775 まで

◎有効期限/99年8月26日(木)~9月8日(水)
◎クーポン券は、一枚につきお一人様一回限り有効です

キリトリ線

●スティーブ・ウィリアムスTシャツ

2,000円→ **200円割引**

◆全日本プロレスマットで大暴れした"殺人医師"ことスティーブ・ウィリアムスのTシャツ。ド迫力のイラストは、はっきり言ってヤバすぎ!

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●NO RULE Tシャツ

3,000円→ **300円割引**

◆技をかけあうミョーな男たちのイラストが並んだTシャツ。実は、この中で一つだけ配色が違うものがあるのだ。

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●オーチャンTシャツ(ラグラン)

3,500円→ **400円割引**

◆小川直也の名セリフ「目を覚まして下さい!」と飛行機ポーズをデザインした、只今人気急上昇中のTシャツ。オーチャン自身もご愛用の一品。

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

キリトリ線

●武藤敬司 I AM BOSS Tシャツ

3,000円→ **300円割引**

◆新日本プロレスで、蝶野正洋にかわり自ら"ボス"を名乗る、現IWGPチャンピオン・武藤敬司が着用するTシャツ

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●奇人コミックTシャツ

4,000円→ **500円割引**

◆猪渡哲也氏のマンガに登場した、"奇人"朝日昇をモデルにしたキャラクターをモチーフにデザイン。

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●大和撫子Tシャツ

3,000円→ **300円割引**

◆エンセン井上の大和魂Tシャツとペアで着るならこれ! 修斗を観戦するカップルの8割が「大和魂&大和撫子」Tシャツを着ているとかいないとか…。

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

キリトリ線

●闘魂猪木塾Tシャツ

4,200円→ **500円割引**

◆あるようでいて意外と少ない、アントニオ猪木のオフィシャルグッズ。猪木自身の筆による"闘魂"の文字が素晴し過ぎる!

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●桜井"マッハ"速人アブダビ・フランスメモリアルTシャツ

4,800円→ **500円割引**

◆アブダビで行われた『アブダビ・コンバット』での準優勝、フランスの「ゴールデン・トロフィー」での優勝を記念して作られたTシャツ。

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●USA修斗Tシャツ

3,500円→ **400円割引**

◆ライトヘビー級王者、エリック・パーソンが所属するUSA修斗のTシャツ。星条旗をあしらったデザインがオシャレ!

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

キリトリ線

●畑山隆則Tシャツ

3,000円→ **300円割引**

◆元WBA世界スーパーフェザー級王者・畑山隆則のTシャツ。ボクシングの日本人選手のグッズが一般で販売されるのは珍しい。

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●タイガーマスクTシャツ

3,000円→ **300円割引**

◆今さら何の説明も必要なし! 永遠のヒーロー、タイガーマスクのTシャツだ。これを着れば、金曜夜8時の興奮が甦る!?

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

●KILL OR BE KILLED Tシャツ

3,000円→ **300円割引**

◆エンセン井上のモットー、"KILL OR BE KILLED"がプリントされたTシャツ。これを着て、"殺るか、殺られるか"の覚悟を身に付けよ!

※全国のワールドスポーツプラザKINGSで99年8月26日(木)~9月8日(水)まで有効

キリトリ線

本番

ほぼ出揃った出場メンバー。大阪ドームはチャレンジマッチ
どうなる今年のK−1GP開幕戦？
東京ドームの組み合わせは「抽選」だ！

8・22「K−1スピリッツ99」有明大会を終えて、10月3日大阪ドームで開催される「K−1グランプリ99開幕戦」に出場する16名枠の代表選手がほぼ出揃った。

年に一度の格闘技界最大のイベント「K−1グランプリ」。今年は特に、福岡、名古屋、有明でそれぞれ予選トーナメントを行ってきただけに、レベルの高さは昨年以上といっても過言ではない。

そして、石井館長は今年のグランプリのコンセプトをまた新たに打ち出した。

それは、10・3大阪ドームで行われる開幕戦を「昨年のベスト8ファイターに、予選トーナメントを勝ち抜いてきた選手を当てる」チャレンジマッチ形式にし、決勝トーナメントの12・5東京ドームの組み合わせは、なんと「公開抽選」で行うという試みだ。

これまでのK−1グランプリは、石井館長自身が開幕戦の前に組み合わせとヤマ型を作り、注目のカードや因縁を作ってきたが、今年はまったく運を天に任せるという。つまり、トーナメント表ができるのは、開幕戦以降ということだ。

「これまではまずK−1という闘い自体を面白くするため、私が組み合わせを決めていたんですが、ファイターの中には抽選で公平にやってほしいという声もあったんです。確かに抽選でやれば、ファイターは誰も文句は言えない。そこで、今年は思い切ってやることにしたんです。抽選でやることで、逆に東京ドームではいきなりアーツVSアンディという昨年の決勝戦になるかもしれない。そうなると、誰が優勝するか、本当に分からなくなりますよ」と石井館長。確かに抽選によっては思わぬ選手が優勝する可能性は十分出てくるだろう。

抽選は、大阪ドームの翌日10月4日、選手立ち会いのもとで行われる予定だ。

そういう意味でも楽しみな今年のK−1だが、10・3大阪ドームでの開幕戦の出場メンバー及び、対戦カードもほぼ固まってきた。

今年のグランプリの一番のテーマは「打倒・アーツ」だが、それ以上に期待したいのが、日本人ファイターがどこまで勝ち上がれるかということだ。そこで予想すると大阪ドームでは、「佐竹VS中迫」「アンディVS武蔵」という注目カードが組まれそうだ。

これは現段階では、正式発表されていないが、「武蔵、中迫はまだまだ。もっと修羅場をくぐってプロ魂を身に付けて来い」という佐竹の発言に対し、中迫が反応。「佐竹先輩、僕と闘って下さい」と発言しており、石井館長は実現に動いている。

8・22「K−1スピリッツ99」のジャパン・グランプリでも見られたように、もはや佐竹にとって日本人相手の試合は卒業。佐竹と闘えるのは、グランプリしかないと見たほうがいい。

もし、この一戦が実現したならば、中迫にとっては千載一遇のチャンス。ここで佐竹に勝てれば、武蔵を抜いて一気に日本人エースとして浮上できる。しかし、このページの締め切り時点では、まだ8・22ジャパンGPは終わっていない。もしかしたら、優勝は未知の新鋭ノブ・ハヤシあたりが奪い取る可能性は十分にある。ノブも「佐竹選手とやりたい」と言っているので、「佐竹VSノブ」の対決になるかもしれない。いずれにせよ、そのジャパンGPの結果については、13ページからの試合リポートを見てもらいたい。

一方、武蔵の相手は、アンディ・フグが有力だ。過去、両者は一度対戦しているが、アンディの判定勝ち。二人は共に正道会館の選手だが、聞くところによると、非常に仲が悪いという。同門対決というより、武蔵が珍しく感情むき出しで向かっていきそうな相手が、アンディだと言われているのだ。

理由は定かではないが、もし武蔵がアンディに敵意をむき出しにしているのなら、これは昨年の佐竹戦のような名勝負になる。ファンが武蔵に期待しているのは、そういう激しいファイトだ。

この「佐竹VS中迫」「アンディVS武蔵」戦が決まれば、大阪ドームのメインイベント、セミファイナルになる可能性は高い。8・22有明から開幕戦に向けて、この2戦の気運がどう盛り上がっていくかにも注目したい。

また、正式に決まっているのが、5試合。

まず、ディフェンディング王者アーツには、チャクリキのロイド・ヴァン・ダムが挑戦。これも因縁の一戦だ。

というのも、アーツはチャクリキ・ジムを2年前に離脱。その後、無敵の強さは甦ったが、逆にチャクリキ・ジムは衰退の一途を辿った。頭

▼大阪ドームと言えば、演出でも毎回ド派手にやって話題を呼んでいる。今年も凄いゾ！

噂のジェロム・レ・バンナが出場する可能性はほぼ99%。対戦相手は、ロシアか、中国か？

に来たトム・ハーリック会長が、アーツを倒すために育て上げたのが、このヴァン・ダムなのである。2年前のアンディ戦、前回の名古屋大会でのグレコ戦でも見られたように、アーツの唯一の弱点はローキックだと言われている。そのため、ハーリック会長は徹底的にローキックをヴァン・ダムに授けた。この闘いは、アーツVSハーリック会長であり、チャクリキのリベンジなのだ。

また波乱を予感させるのが、「グレコVSレコ」「ベルナルドVSルーファス」の試合である。

今年のK—1スイス大会でアンディをあと一歩のところまで追い込んだように、最近一番成長著しいのが、レコ。まだ荒さが残り、打たれ弱さもあるグレコだけに、レコが食ってしまう可能性も十分ある。昨年のベスト8以外で今年ベスト8に残る可能性が一番高いのは、レコと言われるだけに注目も大きい。打倒アーツを目指すグレコにとっては、大きな難関だ。

ベルナルドVSルーファスに関しては、ルーファスのトリッキーなファイトにベルナルドが苦戦するという関係者も多い。特に、最近のベルナルドは、モーリス・スミス戦、佐竹戦、グレコ戦と完全にパターンを読まれてしまい、かつてのような秒殺KOは影を潜めている。ルーファスもパンチがあるだけに要注意だ。

そして、復活ホーストは、アンディの一番弟子バイラミと、南海の黒豹セフォーは、若くしてインサイドワークに長けたベナゾーズと闘う。ホーストも叩くのなら、今がチャンスだと思っているファイターは多いし、ベナゾーズもグレコを苦しめているほどの実力者だから、予断を許さないところだ。

いずれにせよ、大阪ドームは豪華なワンマッチが8試合勢揃いしそうだ。

そして、もう一つカードが決まっていないのが、ドン・キングとダブルブッキングしたバンナだ。現在のところ、「99%出場可能」と言われているバンナ。もし出場したならば、打倒・アーツの最大の注目選手で、グランプリの台風の目になることは間違いない。そのバンナの対戦相手には、ロシアの大型選手や中国武術の選手が候補に上がっている。

現在、120キロ以上あると言われるバンナ。あのアーツより20キロ重い体格で、グランプリの鍵となるだろう。K—1グランプリ本番まで、あと1ヵ月だ！

これがオールスター戦のカードだ！

佐竹雅昭〈日本代表/空手〉

VS

〈日本代表/空手〉**中迫剛**

アンディ・フグ〈スイス代表/空手〉

VS

〈日本代表/空手〉**武蔵**

ピーター・アーツ〈オランダ代表/キック〉

VS

〈オランダ代表/キック〉**ロイド・ヴァン・ダム**

サム・グレコ〈オーストラリア代表/空手〉

VS

〈ドイツ代表/キック〉**ステファン・レコ**

アーネスト・ホースト〈オランダ代表/キック〉

VS

〈スイス代表/空手〉**ジャビット・バイラミ**

レイ・セフォー〈ニュージーランド代表/キック〉

VS

〈モロッコ代表/キック〉**サミール・ベナゾーズ**

マイク・ベルナルド〈南アフリカ代表/ボクシング〉

VS

〈アメリカ代表/キック〉**リック・ルーファス**

キーパーソン

エンセン井上出陣へ、復活アレクはなんと高田戦をゲット！

現在バーリ・トゥード界の動きはすべて高田の動きにかかっている

▼さあ、高田の動きにすべてがかかってきた

ホイス・グレイシーの参戦が来年1月に決まり、高田VSホイス戦、最強トーナメントという大きなテーマができた『プライド』だが、いまだ9・12『プライド7』のカードが見えてこない。この理由は、一体どこにあるのだろうか。『プライド』を主催するDSEによると、出場選手としてマーク・ケアー、ブランコ・シカティック、イゴール・ボブチャンチン、ゲーリー・グッドリッジ、マーク・コールマンらがリストアップ。問題は、それらの選手をどう組み合わせるかだという。

普通、対戦カードは上から順に決めていくもの。その上とは、当然、日本人選手。つまり、高田延彦、桜庭和志、エンセン井上、小川直也といったメインイベンターの動向がハッキリ決まっていないのだ。もし、これらの対戦カードが決まれば、一気にカードが出揃うという。

たとえば、桜庭は有力視されていたフランク・シャムロック戦が、9・24UFCでティト・オーティズと対戦するため延期。そこで、ヘンゾ・グレイシーやガイ・メッツァーあたりが候補に挙がったが、時間がないこともあって難航。またDSEでは、思わぬ強豪も考えている。

エンセン井上も右拳の回復が思わしくなく、ケアー戦は次回の11月興行に持ち越されるのが明らかとなった。しかし、エンセンが試合をする気持ちは十分あるので、ケアーとは違う相手で『プライド7』には出陣する可能性が高い。

問題は高田だ。今号のインタビューにあったように、高田はホイス戦に向けて『プロレスラーの触覚』を取り戻すために、新日本プロレスに参戦が決定。これにより、北朝鮮イベントでこじれたA・猪木との駆け引きで、新日本は小川を完全に使わなくなったと言われている。

つまり、新日本は小川でなく、高田を軸に8・28神宮大会、10月ドームを考え始めたのだ。これで、四面楚歌となった小川が『プライド』に出る可能性も十分出てきた。

そして、気になるのが、リングス前田日明社長とDSE森下直人社長の接近である。もちろん、この話にも高田は大きく関係してくる。両者が交流するとなれば、当然浮上してくるのが、高田VS田村、田村VS桜庭といったカードだからだ。もちろん、前田と高田は今でも兄弟分のような関係にあるが、試合（ビジネス）となると話は違ってくる。そういう意味でも、高田はキーパーソンとなっているのだ。

しかも、この号が発売される頃には結論が出ているだろうが、高田はあくまでもメインイベントで佐々木健介と神宮大会を闘う約束だったが、大仁田の前に試合をやると聞いて憤慨。高田VS健介戦はすでに発表されているが、もしかしたら、思わぬ展開に動いているかもしれない。それほど、高田は大仁田より前で試合をやりたくないと考えているようだ。

本当に毎日動きが変わるので、我々もどう転ぶか読めない状況に陥っている。

しかし、『プライド』のリングを一番大切にしている高田は、締め切り間際になって、『プライド7』の出場も決意。『プロレスラーとしての触覚を取り戻したい』という高田だけに、今さらバーリ・トゥーダーを相手にプロレスとバーリ・トゥードの試合を両立させるのも難しいかと思われていたが、なんとアレクサンダー大塚の名前が浮上して来た。

しかし、アレクと言えば、『プライド4』で路上の王マルコ・ファスという強豪を破り、プロレス界の救世主となった実力者。プロレスのリングでは、高田に分があるが、バーリ・トゥードの試合ではアレクのほうが有利だとも思われている。これは、本当にアレクにとって、大きなチャンスが訪れた。

このように、現在のバーリ・トゥードの鍵を握っているのは、意外にも高田である。今、最も旬な『プロ格』選手が高田だという認識なしに、バーリ・トゥードの流れは見えて来ないのだ。

▲ケアー戦は11月になりそうだが、エンセンが出る可能性も十分ある

▲マルコを破って、プロレス界の救世主となったアレクは、高田戦の幸運を射止めた

信念

リングスは内を守る田村と、外を攻める山本二枚看板！
前田社長「話にならん」と激怒！ 四面楚歌、小川はどこへ？

小川VS山本戦が延期となった8・19リングス横浜大会は、それでも8割近くの観客が集まった。記者は当然、試合前に前田日明社長の元へ。

そこで、前田社長は猪木・小川コンビを痛烈批判。「あいつら全く話にならん。脳ミソが腐っとる」と怒りをぶちまけた。「選手の契約とかまじめにやれ。業界全体が恥をかく」とかつての師匠も名指し批判。小川に対しても「あの程度のケガでだめなら、ウチの選手は誰もできない。小川に恐いのかと言ったら下を向いてたよ」とまくしたてた。どうやら、12月に延期になったと言われる小川戦だが、実現はもはやなさそうだ。

聞くところによると、リングス側はこの日、小川にリング上でファンにスポーツマンらしく挨拶してもらいたいと要請したところ、小川サイドはプロレスラーとして前田・山本を挑発するならOKと返事したそうだ。もし、小川が飛行機ポーズで現れたら、前田がどんなにブチ切れていたか、恐いくらいだ。

そんな小川だけに、現在はマット界でも四面楚歌状態だと言われている。実際、小川の次の戦場はハッキリどこになるのか見えていない。

新日本プロレスにしても、小川が扱いにくいのか、それとも猪木が実現したがっている北朝鮮問題でお互い一歩も譲らないのか、8・28神宮大会は完全になし。10月のドームも高田がらみのカードが軸で、小川はないのではと見られている。

▼8・19リングス横浜大会前に記者に囲まれた前田社長は声を荒げた

格闘技ファンとしては『プライド』の常連、あるいはエースとなって、ゲーリー・グッドリッジ戦のような試合を期待しているのだが、これも小川サイドに聞くと「NO!」という返事が現段階では返ってきている。

今の小川の状況をあえて推測するならば、①新日本サイドは当面使うつもりはなし、②リングスには、小川の方がメリットを感じていない。③『プライド』ならば即出場可能だが、小川がヒクソン、高田戦を要求している、といったところか。

一部では「引退か?」とも囁かれている小川だが、本人が一番狙っているのは、新日本への復帰だろう。

一方、小川問題が難しくなったリングスで気になるのが『プライド』との接近。

プロデューサー前田は、自分が引退した後のリングスになんとか起爆剤を作ろうと他流試合を考えている。小川の次に考えられるのが、絶縁状態のパンクラス、犬猿の仲と言われる佐山・掣圏道ではなく、高田道場を中心とした『プライド』なのだ。

リングスの中でも、前田イズムを純粋に受け継ぐ山本は、他流試合の急先鋒。またアルティメット大会（UFC）で活躍する高阪も、他流試合はいつでもOKだ。

逆に、内側に目を向け、純粋リングスを守ろうとしているのが、現チャンピオンの田村潔司だ。

田村は8・19横浜大会後、リング上で次の防衛戦相手に中量級の王者の成瀬昌由を指名した。田村は成瀬に勝って2階級王者になり、完璧なリングス王者になって、リングス自体にファンの目を向けさせようとしているようだ。

◀小川はそれでも新日本首脳部と水面下で話し合っているとも言われている

ヒクソンがDSEに連絡 3月『プライド』に上がる!?

前号のホイス・グレイシーの独占インタビューで明らかになったように、ホイスは来年の1月『プライド』のリングで復帰することを宣言。インタビューでは「トーナメントでグレイシー柔術最強を証明したい。相手はタカダでも、オガワでもいい。ケアーともやる」と主張していたが、その後、グレイシー一族最強ヒクソンからもDSEの関係者に連絡が入ったことがわかった。

ヒクソンは、ハリウッド映画に出演する話があり、今度はどのタイミングで、誰と闘うか見えていなかったが、「来年3月以降に、プライドのリングに上がりたい」と電話連絡。ようやく本人のスケジュールが見えてきたようだ。果たしてこの話は本当か？ そして対戦相手は誰になるのか？

▶ヒクソン・グレイシーもリングに復帰する意志が固まってきた

偶然？

10月2日、掣圏道は有明コロシアム、UFC－JはNKホールで同日開催！
掣圏道VSUFC－J興行戦争が勃発！
佐山、ナイマン獲得、WWFと提携

まったく佐山聡というのは、不思議な男だ。修斗を離れ、UFOを辞めた後、突如旗揚げした新格闘技「掣圏道」がここに来て、完全に見逃せない存在になりつつある。

7月10日北海道旭川で旗揚げし、すでに7月中に4回の興行を行っている掣圏道は、9月末から10月にかけてシリーズ第2弾を開始。東北を中心に連日行う興行は、SAプロレスが中心だが、10月2日有明コロシアム、10月18日大阪府立体育会館でSAボクシングとアブソリュートのビッグマッチを開催する。

まずSAプロレスのほうは、佐山が初代タイガーマスクとして完全復活。しかも、あのWWFと提携したというから驚きである。佐山は資金面で豊富な北海道のプロモーターのバックアップを受け、WWFの日本エージェントのビクター・キニョネス氏を通じて全面協力を確約。

これは、WWFから大物レスラーが掣圏道に参戦し、掣圏道のルートでプロレスラーになりたいロシア格闘家を大挙WWFに送り込むというもの。そのロシア格闘家の中には、あのアレクサンダー・カレリンの名前も入っているという。つまり、シドニー五輪後、WWFにカレリンが上がる可能性は十分生まれてきたわけだ。またWWFと提携したことで、ウェイン・シャムロックらシュートファイターがSAボクシングに出るケースも考えられるだろう。

さらに、掣圏道のロシアルートを握るプロモーターは、ロシアでアブソリュート大会を定期的に開催している人物で、ヨーロッパやブラジルの格闘技界にも非常に精通している。そのコネで、なんと、リングス・オランダに所属していたハンス・ナイマンと、ボブ・シュライバーの10・2有明大会への参戦が正式に決定した。

そのロシアのプロモーターは、ナイマンらとも交流があり、場合によっては、ディック・フライの参戦も……と囁かれている。フライの場合はSAボクシングもやれるが、真剣勝負のSAボクシングよりも、SAプロレスで初代タイガーマスクとの夢の一戦もありそうだ。

さらに、10・18大阪大会は、アブソリュートの現役世界チャンピオンのミハイル・アヴィテシャンを招聘し、本場ブラジルから97年バーリ・トゥードチャンピオンのアルトゥール・マリアーノと、なんでも有りのアブソリュートマッチを開催する。本当にいつの間にか、次から次へと豪華な試合を実現しそうな勢いが、今の佐山にはあるのだ。

ところが、10・2有明大会は、なんとUFC－JのNKホールで行われる旗揚げ戦と同日開催になってしまった。同じバーリ・トゥード系ということで、これは完全に興行戦争となるのは間違いない。片や掣圏道の東京初進出、片やパンクラスと手を組んだUFC－Jのオクタゴン・ファイト。果たして、ファンはどちらを見に行くのか。両団体負けられない闘いになるはずだ。

▼SAボクシングをやることになったハンス・ナイマン

▼初代タイガーマスクと闘う可能性も出てきたディック・フライ

▲佐山は初代タイガーマスクとして完全復活。隣りはミスターXに扮するサダハルンバ編集長。噂の掣圏道が遂に8月26日のSRS（フジテレビ系）で放送！

快挙

プロレス界初の快挙
WWFが株式公開へ！

これは8月4日付の日経新聞にも掲載されて、世間を驚かせたが、全米プロレス団体のWWF（ワールド・レスリング・フェデレーション）が米店頭株式市場（ナスダック）に株式を公開した。

資本市場から資金を一般に調達することで、WWFは一気にライバル団体のWCWとの競争に勝負をかける。米証券取引委員会（SEC）に届けた資料によると、公開総額は、1億7千万ドル強になる見込み。WWFは年間200試合を開催し227万人を動員。この他テレビ放映や関連グッズで99年4月決算は、5千6百万ドルの純利益を計上している。なんと、読売巨人軍よりも儲けているのだ。

米国では大リーグやプロバスケット・チームがすでに株式を公開しているが、プロレス団体では初めて。なんとこのニュースで「ニューヨーク・タイムズ」の一面にアンダーテイカーの写真がデカデカと掲載された。WWF恐るべし！

意外？

最大の売りは、オクタゴンでのバーリ・トゥード・ファイト？
UFC－J 10・2NK旗揚げ戦発表 主役は安生とパンクラス山宮だ！

▼日本版ＵＦＣに出場する面々。坂田氏は尾崎社長とガッチリ握手

注目されていた日本版アルティメットUFC－J（アルティメット・ファイティング・チャンピオンシップ・イン・ジャパン）が、遂に旗揚げ記者会見を行った。開催日は、10月2日。場所は東京ベイNKホールで、くしくも掣圏道の東京初進出、有明大会と同日開催となった。

UFC－Jの売りは、バーリ・トゥードの試合が頻繁に行われるようになった現在、日本で唯一「オクタゴン」と呼ばれる9メートルの金網に囲まれた八角形のリングで試合を行うこと。これは、93年から世界中に「なんでも有り」ブームを作った本場UFCとまったく同じものになる。

このUFC－Jをプロデュースするのは、2年前に横浜アリーナで同大会を開催した実績のある坂田晶氏。坂田氏はパンクラスとの提携にも成功し、「プライド」の対抗馬として総合格闘技界からも注目されている。実際、記者会見には、パンクラスの尾崎充社長も出席し、本気ぶりをアピールした。

注目の出場選手だが、この日は、安生洋二、パンクラスの山宮恵一郎のほか、高瀬大樹（慧舟會）、矢野倍達（RJW）が出席。安生と山宮はスーパーファイト、高瀬と矢野は4人の選手による「UFC－J日本チャンピオン決定トーナメント」に出場すると発表された。

試合数は合計6試合。つまり、トーナメント3試合と安生、山宮のスーパーファイトの他に、外国人ファイター同士の試合がもう1試合組まれるというのが全容のようだ。

これは、UFC－J自体が本場UFCの直輸入版ではなく、あくまでも日本独自の興行を展開していくことを物語っている。UFCをK－1に例えるなら、UFC－JはK－1ジャパンと考えるのが分かりやすいだろう。

したがって、出場選手は日本人中心、旗揚げ戦の主役は、安生と山宮というわけだ。トーナメントに関しても、記者から「1回の4名のトーナメントで日本人のチャンピオンを決めてもいいのか？」という質問に対し、坂田氏は「トーナメントは数回行い、その中で優勝した選手を集めてリアル・ジャパン・チャンピオンシップをやりたい」と答えている。

そうなってくると、一体、誰が出て来るのかが問題になるが、坂田氏は「プロレス、格闘技すべてに門戸を開いていますので、もし自信がある方がいらっしゃれば、ウェルカムなんで」と答える。トーナメントの残り2名に関しては、現在調整中だが、リングスを離脱した山本喧一、ビバリーヒルズ柔術クラブの須藤元気らが候補に上がっているようだ。

安生と山宮の相手については、記者会見では触れられなかったが、記者会見後、坂田氏の口から「安生の相手にはケビン・ランデルマン、山宮の相手にはグレイシー一族なんかいいのではないかと考えている」とほのめかした。

安生は席上、「K－1で学んだ打撃の技術をうまく活かして闘い抜きたい。22日にK－1ジャパンの大会があるが、それを一区切りとして、アルティメットに出場したい」とK－1卒業を宣言。一方、山宮は「オクタゴンで試合をしてみたかったので、凄く光栄。アルティメットの本場の選手とぜひ一戦やってみたい」と力強く語った。

いずれにせよ、横浜アリーナとはいえ高田や小川といったビッグネームを起用しても苦戦している「プライド」を例にとるまでもなく、興行的にはパンクラスの船木級の大物が看板にならないとなかなか難しい部分がある。その課題をどう乗り切るかがUFC－Jの成否を占うだろう。

なお、記者会見には、UFCを主催するSEGのロバート・メロウウィッツ氏は欠席。船木からは、「やるからにはパンクラスの選手の連勝でいきたいと思います。今日は本人の希望もあって斬り込み隊長の山宮を送ります」というコメントが寄せられていた。果たして、掣圏道との興行戦争の行方は？

◀安生は「K－1ジャパンの決勝に進出しても大阪ドームは辞退させていただきます」と発言。これに会場は爆笑

◀パンクラスの尾崎社長は「今回、山宮選手をウチから出させていただくんですが、これを機に随時、日本人選手、外国人選手問わず用意したい」と語った

合体

修斗のカッコ良さは、一体どこまで行くのか？
「プロレス」とは絶対に交わらない今年のバリ・ジャパは音楽と合体！

▼オシャレに「デビロック・ナイト」と連日興行をやることになったバリ・ジャパを行う修斗軍団

日本で一番最初にヒクソン・グレイシーを呼んだイベントと言えば、修斗主催の「バーリ・トゥード・ジャパンオープン」（通称バリ・ジャパ）。今年で6回目を数えるそのバリ・ジャパが、12月11日、東京ベイNKホールで開催されることが決定した。

最初は修斗にとって最も似合わなかった会場NKホールだが、今や完全に定番となり、格闘技団体の中でもNKホールが一番似合うオシャレな団体として修斗はブレイク。修斗にとって、年間の定期興行の集大成が、このバリ・ジャパとして位置づけられている。

しかし、昨年末に修斗のスポンサーだった「龍車グループ」が撤退し、株式会社ワールド修斗が空中分解。経費がかかることもあって、今年のバリ・ジャパは開催困難な状況に陥った。

しかし、ワールド修斗の坂本一弘プロデューサーは、佐藤ルミナらと株式会社サステインという興行会社を興し「この流れを止めるな」と奮闘。5・29横浜文体で行った「修斗10周年興行」を成功させた勢いに乗り、今年のバリ・ジャパ開催に漕ぎつけたのである。

しかも、坂本プロデューサーは、今年のバリ・ジャパを音楽と合体させて開催するという新たな戦略を打ち出した。バリ・ジャパは、12・11NKホールで行うのだが、翌12日にバリ・ジャパで使用した同じ花道、リングで「デビロック・ナイト」という音楽ライブを行う。

「デビロック・ナイト」とは、恵比寿にある洋服屋「デビロック」が、97年から始めたイベントで、最初は「みるく」という小さなクラブで開催したのがあっという間にSOLD・OUT。これが神話となって、昨年には東京、沖縄、福岡、大阪、岐阜、福井、名古屋の千人以上の会場をすべてSOLD・OUTにしている。

佐藤ルミナら修斗ファイターは、この「デビロック」と親交が深く、Tシャツなどを多数販売。最近の修斗Tシャツブームの影には、この「デビロック」があったのだ。

そこで両者は今回合同開催を決定。修斗と音楽の連日興行という格闘技界初のイベントを行うことになった。両イベントは8月31日より「パームストア」というショップで通し券も発売。2万円で両イベントのほか、Tシャツ等のレアな特典がついてくるという。果たして、格闘技ファンはこの試みにどんな反応を示すのか。

気になる出場選手は、佐藤ルミナと桜井速人の出場が確定。あとは、9・5後楽園大会、9・7スーパーブロウル、10・29大阪大会の結果を見て、最終決定していくという。

坂本プロデューサーは「昨年の宇野薫のような若手の大抜擢もある」と発言。修斗はプロレスラーなどを導入したスケール感のあるイベントではなく、あくまでも修斗独自のイメージを膨らませてNKホールを満員にする意気込みだ。

ちなみに修斗はバリ・ジャパに先だち、10月29日大阪府門真市の「なみはやドーム」サブ・アリーナに進出。キャパは2500人の会場だが、修斗にとっては8年ぶりの大阪進出。8年前は大阪府立で4大タイトルマッチをやりながら、150人程度しか客が集まらなかっただけに、リベンジに燃えている。

▲坂本一弘プロデューサーは、今年はどんなカードを用意するのか？

本物

鈴木秀明、またもムエタイ越え！今、一番頼りになるキックボクサーだ

▲名古屋にある名古屋JKF所属の鈴木秀明

ニュージャパン・キックボクシング連盟所属の鈴木秀明が、またまたタイで本場ムエタイ選手に勝利するという快挙を成し遂げた。

鈴木は8月12日、タイ王妃生誕記念試合というビッグイベントに招待され、チャンノーイ・ソー・ワニットというムエタイ戦士と対戦。試合は1Rから4Rまでローキックやパンチの打ち合いとなり一進一退の攻防を繰り広げたが、最終5Rに右ストレートでダウンを奪い、見事判定勝利。鈴木を応援に行った100名の日本人を喜ばせた。

ここに来て、本場タイでも勝ち続ける鈴木は、まさに最も頼りになる日本人キックボクサーに成長。プロモーターのソンチャイ氏も鈴木を高く評価し、これまでのリングネーム「スズキ・イープンジム」（日本のジムの鈴木）から「スズキ・ニュージャパン」と連盟の名前を採用。地元TV局でも鈴木とニュージャパンの名前が何度も紹介された。

明暗

その瞬間、会場に漂うキックの暗さは吹き飛ばされた
後楽園に魔裟斗のハイタッチ現象
一方、立嶋篤史は「引退」へ……

8月17日、後楽園ホールで行われた全日本キックの興行で、キックの会場ではかつて見たことのないムーブメントを感じさせられた。その主役が、21世紀型のヒーロー、魔裟斗である。

これまでキックの会場といえば、暗さや孤独感といったイメージがひとつの求心力になっていた。その代表が、立嶋篤史だった。イジメられっ子だった立嶋が、世の中を見返すために始めたキック。立嶋の試合にはいつも、その暗さや孤独感、悲愴感がみなぎっていた。それがそのままキックのイメージでもあった。

しかし、今回のメインに出場した魔裟斗が登場すると、会場は総立ちで魔裟斗のほうを振り返る。しかも客席を花道として魔裟斗が入場すると、魔裟斗のグローブに少しでもハイタッチをしようとファンが群がり出すのである。フジテレビSRSのキャスター畑野浩子ちゃんは、初の格闘技観戦が魔裟斗だったが、ここでハイタッチを体験。本人はいたく感動していたが、今や会場中で魔裟斗にハイタッチしようとする現象が生まれているのだ。

その光景はまさにブッチャーに群がり、頭に色紙をつけて血拓をとろうとするプロレスファンにそっくり。こんな明るさは、かつてのキックの会場にはなかったことである。魔裟斗人気で、キックは今、新しいファン層を動員しようとしているのだ。

一方、その魔裟斗と対極をいくキック界のカリスマ立嶋も、この日、KO勝ちで感動の勝利。しかし、その立嶋は、試合後のコメントで、「今日、僕がみんなに深々と頭を下げた理由はわかる人にはわかる」と発言。

この言葉の真意を立嶋に近い人に尋ねると、「立嶋は今日の試合で引退するつもりかも!?」という衝撃的な発言が飛び出した。理由は肉体的なものもあるが、キックでは生計が立てられないため、というのがもっぱらの噂だ。

かつて年俸1200万を稼いでいた立嶋だけに信じられない話だが、この日会場で何人もの人間が立嶋の勝利に涙していたというから信憑性も高い。

また、立嶋のライバル前田憲作もキックではなく、K—1のリングを選んで復帰。その前田にJ—NETWORK所属で、魔裟斗のライバル小比類巻貴之が、団体を離脱して行動を共にした。果たして、これらキックのエースはどこへ行くのか？　一日も早く環境を整えてもらいたいものだ。

▼今、全日本キックは魔裟斗人気で盛り上がっている

▲これが本当に最後の試合だったのか？

打倒ムエタイ

新日本キックがなんと本場ラジャダムナンで手打ち興行を打つ！

前号でもお伝えしたように、新日本キックボクシング協会が打ち出している団体のカラーは「打倒ムエタイ」！　その徹底ぶりは、キック団体の中でも一番である。

その新日本キックがなんと、11月28日、ムエタイの本場ラジャダムナン・スタジアムで自主興行を開催することを決定した。これまで、選手が単身タイに乗り込み、ラジャダムナンやルンピニーの2大スタジアムで試合をすることはあったが、団体が手打ち興行をするのは初の快挙！

新日本キックは、まさに国技ムエタイの歴史に風穴を開けようとしている。言ってみれば、これは外国人が国技館で、大相撲の興行を打つような凄いことなのだ。

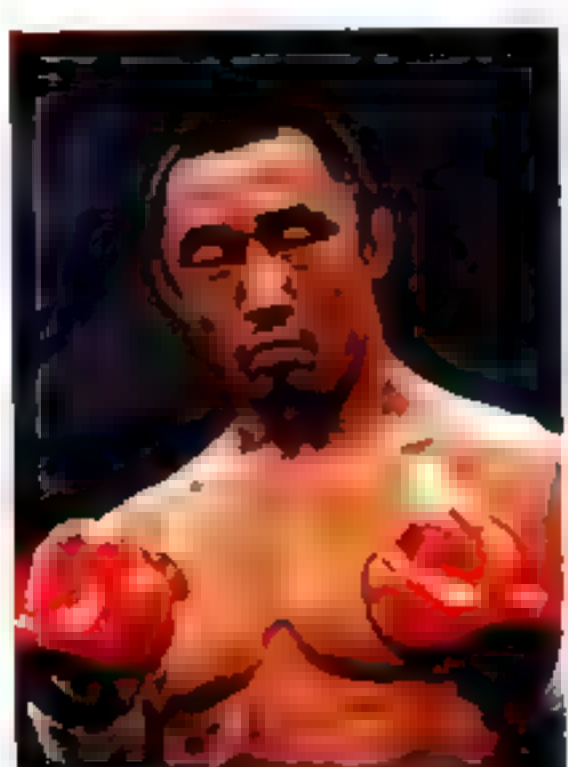
しかも、試合は「新日本キックVSタイ」という気持ちのいいほど大胆な内容。日本からは、深津飛成、菊池剛介、小野寺力、鷹山真吾、武田幸三、小笠原仁と、すべて日本チャンピオンが殴り込みをかける。これほど団体を賭けた挑戦はない！　なお、同大会は、3種類の応援ツアーを予定しているので、日本人のキックファンなら、ぜひ見に行くべし！　料金もすべて8万円前後の格安になっている。問い合わせは、☎03—3432—0761　株式会社グロリアまで。

◀小野寺力

◀小笠原仁

◀武田幸三

Beauty forever
神奈川美容外科クリニック

男

神奈川美容外科クリニックの 男の自信を手に入れる本

プロだからできる「自然にムケた感じ」

●私たちは「自然にムケた感じ」に仕上がることがベストだと考えています。そして、神奈川美容外科クリニックでは、これを実践していると胸を張って宣言できます。
●神奈川美容外科クリニックには、泌尿器科、形成外科、美容外科、ヒフ科、麻酔科それぞれの医師が在籍しています。つまり、私たちは、ある一分野に片寄ることなく、冷静かつ正確な診察と手術が可能なのです。また、開院以来35万件の包茎治療の経験と、そこから得た臨床データも手術後の仕上がりに大きく貢献しています。

■包茎ってなに？
●ひとくちに包茎といっても三種類あります。まずは亀頭部分にかぶっている包皮をムイてみましょう。

■仮性包茎
●勃起時、非勃起時にかかわらず、痛みをともなわずムケる場合です。
●普段亀頭が包皮に覆われているので、不衛生になりやすく、包皮炎など泌尿器科系の病気の原因となるうえ、外部からの刺激に弱く早漏になりやすいなど、衛生面以外のデメリットも多くあります。

■真性包茎
●勃起時、非勃起時にかかわらず、まったくムケない場合です。
●包皮口が非常に狭く、亀頭の部分の正常な発育が妨げられ、いわゆる先細りのペニスになってしまうばかりか、セックスが困難な場合もあります。

■カントン包茎
●非勃起時にはなんとかムケるが、勃起時には全くムケなかったり途中で止まってしまう。また、つっぱる感じや痛みを伴う場合です。
●このタイプの人は勃起時に無理して亀頭を出さないよう注意が必要です。
●勃起時に包皮が戻らなくなり、腫れあがってしまうことさえありますので、早急に手術を受けてください。 (以上、目次より)

包茎治療の画期的発明

■「神奈川式亀頭直下埋没法」
●神奈川美容外科クリニックでは、『神奈川式亀頭直下埋没法』を採用しています。これは、縫合線をカリ首(亀頭冠)のすぐ下にとることで、縫合線が目立たなくなります。 (以上、目次より)

ひとりひとりのペニスに合わせた丁寧な手術

●手術時間は約60分と一般より少し長めです。逆に私たちからみれば、このくらいの時間をかけなければ充分な手術はできないと考えています。ミリ単位でメスを扱いますし、縫い合わせも普通ならば1針のところを2針、それも傷が少しでも目立たないように浅くかけているのですから。
●切る必要がない軽度の仮性包茎には切らない手術も行っています。これは根本部分に包皮をひきよせて固定させる手術方法です。こちらは10～15分ほどで終わります。 (以上、目次より)

痛みを感じない最高の麻酔技術

●手術前の麻酔には、針を使わない画期的な麻酔方法もあります。まず、「リドカインテープ」という局所麻酔剤を包皮に貼り、麻酔剤を次第にペニスに染み込ませていきます。
●すでにこれだけで痛みはなく、手術ができるほどなのですが、神奈川美容外科クリニックではさらにアメリカ製の「マーダジェット」と呼ばれる針のない麻酔器を用いて、より痛みのない手術を実現させています。 (以上、目次より)

24時間のカウンセリング体制

●神奈川美容外科クリニックでは、手術に対する患者さんの不安を取り除き、リラックスして治療を受けることができるよう、「チャンネル式情報提供フリーダイヤル」を採用しています。音声ガイダンスに従って操作するだけで、いつでも簡単にお好きな情報を得ることができます。
●また、直接すぐにカウンセラーに相談されたい場合は、男性スタッフによる「24時間相談フリーダイヤル」をお気軽にご利用ください。 (以上、目次より)

手術に関する素朴な疑問

(以上、目次より)

神奈川美容外科クリニックの包茎手術では適正費用以上は一切いただいておりません!!

●亀頭へのコラーゲン注入を行わないと、包茎治療ができないと案内している一部のクリニックもありますが、包茎の治療では、コラーゲン注入の必要は全くありません。神奈川美容外科クリニックの包茎手術費用は、15万円(学割12万円)で、これ以上一切かかりません。手術費用には、アフターケア代、消費税等全て含まれています。 (以上、目次より)

その他の泌尿器科系の手術について

●亀頭冠にできたペニスのイボ状のブツブツも手術で除去できます。 (以上、目次より)

自信と行動力と喜びを手に入れました/体験談

●さらば、包茎。堂々と男になれた実感をかみしめています。(20歳・学生)
●包茎コンプレックスを解消。女性に積極的になれました。(24歳・銀行マン) (以上、目次より)

信頼できるクリニック選び

■手術成功のキーポイントはクリニック選びにある
●神奈川美容外科クリニックは、美容外科、形成外科の分野での医療技術の向上をめざし、日々研究開発を続けています。なかでも歴史ある日本美容外科学会には、神奈川美容外科クリニックのすべての医師が所属しています。 (以上、目次より)

「神奈川美容外科クリニックの男の自信を手に入れる本」
発行／株式会社ぶんか社
〒102-8405 東京都千代田区一番町29-6
TEL.03-3222-5115[出版営業部]
●新書判●124頁●定価:840円(税込)
●著者／山子大助・高橋金男・伊沢克巳・吉種克之・宗本尚志・角谷正樹

この本についてのお問い合わせは

包茎専用 チャンネル式情報提供フリーダイヤル 0120-013929
包茎専用 24時間相談フリーダイヤル 0120-860929
インターネットホームページアドレス http://www.k-c.co.jp/m/
メールでの相談も受け付けております。soudan@mx5.mesh.ne.jp
●診療時間／朝9時～夜9時●年中無休●完全予約制●秘密厳守の院内クレジット(ボーナス併用払いあり)●学割あり
カウンセリングは無料で行っています。お気軽にご相談ください。

■渋谷本院／東京都渋谷区神南1-14-3 OHBA BLD.1,2,3F TEL03-5321-8470
渋谷・新宿・目黒・横浜・札幌・盛岡・仙台・新潟・高崎・宇都宮・水戸・大宮・千葉・西船橋・池袋・町田・静岡・名古屋・大阪・神戸・岡山・広島・北九州・福岡・熊本・鹿児島
この書籍を購入ご希望の方は、書籍名と代金プラス送料200円を現金書留で、神奈川美容外科クリニック渋谷本院までお送りください。

K-1 JAPANシリーズ
K-1 SPIRITS'99
〜魂の戦い〜
JAPAN GRAND PRIX 99
8.22 有明コロシアム

なんと決勝進出は21歳の新鋭、ドージョー・チャクリキの新手のノブ・ハヤシ!

中迫敗れる!
K−1ジャパン大番狂わせ!

当たり前のジャパンGP初V！ 武蔵、最後の最後で目覚めた「正道魂」

▲ことごとく正道勢が消え、気付くと武蔵だけが残った。それでも入場時は自信満々の表情でファンにハイタッチ！

▲大方の予想を裏切り、決勝に進出したノブ・ハヤシ。オランダからの逆輸入ファイターが、今大会の台風の目に

★第18試合（K-1ジャパンGP決勝戦・3分3R）
○武蔵（判定3—0）ノブ・ハヤシ●
（日本、正道会館）（日本、ドージョー・チャクリキ）
※30—28、30—28、30—28

武蔵余裕の"ニヤリ"

「効かないー」とばかりにノブへニヤリとする武蔵。まさに横綱相撲状[illegible]

ノブのハイキックにも…。

112キロの体から繰り出されるチャクリキ・ハイキック[illegible]それでも武蔵は倒れ[illegible]しかも……

◀武蔵のハイキックもクリーンヒットするが、ノブは倒れず 決してさがらないノブ。日本のトップファイター武蔵にもまったく臆するところなし！ 気持ちがいいほど前へ前へ出ていった

まずは、お詫びからである。このページの担当ということで、私が謝ることになってしまったが、今号のP4～5の原稿は、締め切り上の都合で「K—1スピリッツ」前に入稿されたものだ。

この中で、〃佐竹雅昭VS中迫剛が濃厚〃となっているが、これは谷川編集長が中迫が決勝まで上がると仮定して書いたもの。言い訳のしようがないが、要はまたしても、情報を飛ばしてしまったのである。お詫びだらけの雑誌で本当に申し訳ありません。重ね重ね関係者の方にはお詫び申し上げます。

さて、格闘技取材歴15年の谷川編集長の予想を裏切る活躍を見せ、あの中迫を撃破して決勝戦に進出してきたのは、なんとドージョー・チャクリキのノブ・ハヤシ。

試合前日の記者会見で、ハーリック会長は「この中では、ムサシ、ナカサコ、ミヤモト、そしてノブがベスト4だ。だから、1回戦でノブとミヤモトが当たってしまうのがもったいない。ノブはチャクリキ魂を持ったいいファイターだ。2年後には日本人で初めてのK—1チャンピオンになれる」とまぁ、自信満々なのである。

もともとノブ・ハヤシは高校の頃に空手とラグビーを経験し、高校1年生にして現在の体格くらいあったそうだ。K—1の大ファンで、K—1戦士になりたいと思い、97年7月にモーリス・スミスのジムで1カ月修行。そして、日本に戻り徳島で空手を教えていた。

その1年後の98年8月に、本格的に練習がしたいということで、多くのチャンピオンを輩出したドージョー・チャクリキに入門。

この時のことをハーリック会長は次のように語っている。

◀武蔵のハイキックもクリーンヒットするが、ノブは倒れず

「チャクリキは後ろへさがらない」(byハーリック) たった1年でチャクリキ魂を習得した男！

決してさがらないノブ。日本のトップファイター武蔵にもまったく臆するところなし！ 気持ちがいいほど前へ前へ出ていった

▶3Rに入ると、武蔵の怒涛の攻撃がノブを襲った。「パンチで倒せると思ったから」(武蔵)とパンチを多用した武蔵

宮本の分も、中迫の分も… 武蔵、怒涛の猛ラッシュ！

▶天田戦で足を傷めた武蔵はほとんどローキックが出せず。変わりにヒザ蹴り！そして後ろ蹴りなども出した

この時のことをハーリック会長は次のように語っている。

「一番最初に会った時は132キロと大きかった。それから、毎日トレーニングして3カ月様子を見ようということで、練習をしたんだ。その間、ノブは道場で寝泊まりをして、掃除、片づけ、ハードなトレーニングをやってきた。それに耐えられたのだから凄い」

チャクリキと言えば、強い選手のみ残れる振り子のシステムのジム。その練習はスパーリング中心で激しいことこの上ない。そんな環境の中、シカティックやアーツなどのK－1王者が誕生したのだ。

その練習についていけたノブは、入門から2カ月後に初ファイトが組まれ、1RKO勝ち。さらに今年の3月にも判定勝ちを収めた。

驚くことに、ノブの実績はこの2試合だけなのだ。だが、ノブの快進撃はとても2戦だけのグリーンボーイではなかった。あれよ、あれよという間に本命の中迫を下して、GP開幕戦のキップをゲットし、決勝のリングへ。相手は大本命の武蔵が待ちかまえていた。

その武蔵。今大会では本命も本命。さらには、佐竹が日本人に見せたようなズバ抜けた強さを見せての優勝が期待されていた。

「地味でもいい。とにかく確実に勝ちたい」(武蔵)

この言葉通りに、確実に勝ち上がった。その武蔵に決勝の前に通路でばったり会ったが、拳をキュッと突き上げ、言葉はないが「勝ちますよ」という気持ちが十分に伝わってきた。

それもそうだろう。大方の予想を覆し、正道勢は宮本、タケルが

当たり前の優勝だけに

勝ってもこの表情！

余裕の勝利だけに表情も実にふてぶてしい。でも、こういう武蔵の姿を待っていた！

◀石井館長が「的確な指示を出していたのが、武蔵勝利の要因」と絶賛した武蔵チームのセコンド陣。アーツが日本人ファイターナンバー1と言った金泰泳と内田弥

◀優勝賞金1000万円を手にした武蔵。とりあえずはバイクの大型免許をとりたいようだが、GP開幕戦があるだけに当分無理かも

◀「お客さんの心を掴むファイター。1、2年後が楽しみ。倒せる日本人が出てきましたね」とノブ・ハヤシを評価した石井館長

1回戦負け。そして中迫が準決勝で敗退。気がつくと、武蔵しか残っていなかったのだ。しかも、そのうち宮本、中迫がノブにやられているのである。

決勝での武蔵は、スキがなかった。ノブが経験不足で集中力が途切れると、怒涛の攻撃でラッシュをかけるなど、格の違いも見せつけ、優勝が決定した瞬間も、決してはしゃいだりしなかった。

「中迫が負けた時点で、正道会館がいなくなって、勝たなきゃいけないというか、（勝てて）仕事を終えたという感じです」（武蔵）

最後の最後で武蔵が見せた「正道魂」。なんだかんだ言っても、有言実行で優勝をもぎとった武蔵は逞しい。現段階ではGP開幕戦で、アンディとの対戦が有望視されているが、まだ佐竹VS武蔵の可能性もある。いずれにせよ、ビッグカードには違いない。

そして、もう一人、グランプリのキップを手にしたノブは、試合後に「GP開幕戦では佐竹さんと闘いたい」と発言。

さらに、気をよくしたハーリック会長は「今日は75点だが、精神的な部分は100点だ。3年後には世界中どこに出しても恥ずかしくない選手になる。大阪ドームではサタケと闘わせたい。そのためにパンチを磨く。忘れて欲しくないのは、ノブはチャクリキが作り上げたということだ。ガハハハハハ」とご陽気に佐竹戦を指名。

たとえ、佐竹VSノブ戦になったとしても、面白いカードには違いない。次号では間違いのない正式な大阪ドームのカードを発表できるように努力します。（石黒）

武蔵のコメント

中迫が負けて正道会館がいなくなった中で勝てて、仕事を終えたという感じ

——優勝決めた感想から。

武蔵 けっこう番狂わせというか、宮本さんが負けたりとか、タケルが負けたりとかそういう中で闘ってたんで。もう中迫が負けて正道会館がいなくなったという中で、勝たなきゃいけないというか、（勝てて）仕事を終えたという感じですね。

——決勝戦の相手がノブ・ハヤシ選手に決まったときの気持ちは？

武蔵 まぁ、特に難しくは考えなかった。とりあえずは中迫に勝ったということで、調子にのっているんじゃないかなって感じたんですけど、全然自分の動きで闘おうと思ってた。

——ハヤシ選手の印象は？

武蔵 力はあると思うんですけど、まだ経験が少ないということで、動きは全部見えました。今日はリラックスして闘えたというより、体が重かったんで、油断だけしないようにやろうと。

判定は自分が勝ったと思った？

武蔵 まぁ、どうだろうなっていうのはあったんですけど、そこで勝ったと思いこんで、張りつめた糸が切れたんで、セコンドからも「ドローと思っとけ」とだけ言われて、緊張感だけは切らないように。天田戦で足を傷めちゃったんで、蹴りが出せないというかローキックが蹴れなかったんで、倒しに行くことができなかった。でも、パンチでも倒すチャンスはあったと試合をしてて思ったんで、無理して蹴らないでおこうとは思ったんですけど。基本的には両足なんですけど、ひどかったのは右足。右ローが出せなかった。

——天田選手とは？

武蔵 やりにくかったですね。やっぱり天田戦で集中力が欠けたというのもあったんですけど、どうにか勝ったんで決勝で頑張ろうかなと思いました。

——天田戦が一番きつかった？

武蔵 やっぱり、毎日スパーしてますからね、お互いに手の内分かっているんで。ちょっと天田のパンチの距離で付き合ったというのがあったんで、天田戦に関しては引き分けでもしょうがないなというぐらいで思ってたんですけど、蹴りの分でとってたかなと。

——優勝したのはどこが良かったと分析してますか？

武蔵 今回に関しては、僕は絶好調ではなかったんで、万全の動きではなかったんで、ここが良かったというのは、ないです。トーナメントですからね、上手く闘うことだけ意識して、闘おうと思ったんですけど、なかなか体が言うこときいてくれなかったです。

——ハヤシ選手の試合はモニターなどで見てましたか？

武蔵 ほとんど見てないです。宮本さんのときにちょっと見たんですけど、そのときは打たれ強いと思いました。中迫戦は見てないんですけど、中迫戦できれてたという周りの意見もあったんで。足も効いてたんじゃないかという話もあったんですけど、僕も足を傷めてたんで、蹴りにいけなかった。もし蹴れたらもっと早く終わらせてたかもしれないですけど。

——グランプリ本戦へは？

武蔵 早くケガを治して、準備に入りたいと思います。

——日本の頂点に立ったということで、佐竹越えも見えてきたと思いますけど。

武蔵 佐竹師範代と試合をするということは、今は考えてないですけど、大阪ドームでともに闘うという形になるんで、いずれ闘うことがあったら、勝つつもりでいきます。今は佐竹師範代に対してこれといって意識はないです。

——ドームでは誰と闘いたいですか？

武蔵 特にはないです。当たった人と全力で闘わないといけないと思うので。

——K－1GPではどこまで狙うのか？

武蔵 出るからには狙っていきたいですけど、レベルも上がってきていると思うので、気を引き締めていかないといけないなと思います。

——1000万円の使い道は？

武蔵 いやぁ、まだ考えてないんですけどね。ちょっと大型のバイクの免許をとりたいと思っているんですけど、時間があるかどうかわかんないんで。とりあえずはみんなでメシでも食いに行きたいな、ぐらいです。

——K－1GPへ向けて一言。

武蔵 この優勝に満足するんじゃなくて、めざすはK－1の大阪、東京なんで、大阪ドームの試合も期待して下さい。押忍。

ノブ・ハヤシのコメント

グランプリ開幕戦で佐竹さんと闘いたい！

——感想を。

ハヤシ やっぱり疲れちゃいました。1日で4試合をしたのが初めてなんで、それが一番ですね。

——初めて上がったK－1の印象は？

ハヤシ K－1を見て、格闘技を始めたんで、その舞台に立てるということは夢のような感じ。まぁ、できるだけリラックスするように心がけました。

——ここまで頑張れた原動力は？

ハヤシ やっぱり、チャクリキでトム・ハーリック先生を始め、僕のためにトーナメントに向けての厳しいトレーニングを与えてくれたっていうこと。

——自分でここまで上がれるとは？

ハヤシ 1回戦勝てば、決勝までいけるとは思ってました。

——では、今日の結果については？

ハヤシ 満足してます。本戦に出られるということで。

——決勝はスタミナ切れですか？

ハヤシ ちょっと疲れが出ちゃいました。気持ちの上での疲れですね。

——武蔵選手の印象は？

ハヤシ 速いとは思いました。最高のコンディションで試合をさせてもらえれば、どうなるかは分からないですね。

——課題はスタミナですか？

ハヤシ そうですね。スタミナというかメンタリティーな部分ですね。今回は決勝でちょっと落ちちゃいました。

本戦で闘ってみたい選手は？

ハヤシ やっぱりずっと目標にしていた佐竹さんとやりたいです。

——K－1で勝つためにオランダへ？

ハヤシ そうですね、K－1に勝つというか、なんていうんですか、オランダはK－1のチャンピオンがいっぱいいますよね。そのチャンピオンがいる中で、自分がどこまでやれるのかを試したかった。もし、それでダメだったらやめるつもりだったんで。

——チャクリキでの練習の成果は100%出ましたか？

ハヤシ 100%出たとかそんなん分からないですけど、とりあえずは決勝までいけたということは、出たんじゃないですかね。前の自分だったら、決勝までいけなかったです。

——4試合中3試合が正道勢だったんですけど、正道包囲網というのは？

ハヤシ やっぱり、正道会館の人達とやれることが嬉しいですね。K－1のファンで見てるときから出てる方ばっかりだったので。強いというか、もうちょっと僕が練習をすれば、簡単に勝てるかもしれませんけど、ハイ。僕は前にガーッと出るしかないんで、もっと落ちついて闘えるようになればと思います。

——今後、練習は？

ハヤシ オランダに帰って、ロイドも出るんで、一緒にもっと激しいトレーニングをすると思います。

K－1 JAPANシリーズ

K-1 SPIRITS'99 〜魂の戦い〜

JAPAN GRAND PRIX'99

8.22 有明コロシアム

選手	流派・所属	身長・体重
中井一成	空手・日進会館	183cm、95.1kg
安生洋二	プロレス・フリー	180cm、94.9kg
ノブ・ハヤシ	キックボクシング・ドージョー・チャクリキ	190cm、112.4kg
宮本正明	空手・正道会館	190cm、102kg
大石亨	空手・士道館	185cm、97.4kg
タケル	空手・正道会館	192cm、96kg
安部康博	キックボクシング・重武館	181cm、92.1kg
中迫剛	空手・正道会館	190cm、95.2kg
武蔵	空手・正道会館	185cm、98.8kg
吉岡基治	空手・ISM麻生塾	174cm、101.3kg
長井満也	プロレス・フリー	188cm、96.3kg
村上竜司	空手・士道館	175cm、85kg
天田ヒロミ	ボクシング・フリー	185cm、96.7kg
滝川剛	ボクシング・書原道場	185cm、96.7kg
滕軍	散打・中国武術協会	182cm、89kg
サダウ・ゲッソンリット	ムエタイ・ゲッソンリットジム	180cm、94kg

WIN

優勝 1000万円
準優勝 300万円
第3位 100万円

るように努力します。

（石黒）

歯車はどこから狂ったのか？ 中迫に立ち塞がった「巨大な壁」

これがあの中迫なのか？　セコンドの肩を借りて控室に向かうその表情は、次代を担うスターとしての中迫からは、ほど遠いものだった

★第16試合（K-1ジャパンGP準決勝戦・3分3R）
○ノブ・ハヤシ（判定2—0）中迫剛●
（日本、ドージョー・チャクリキ）（日本、正道会館）
※30—29、30—29、29—29

今日、K－1の世界で強く求められているのが、佐竹雅昭に続く強い日本人選手であり、K－1ジャパンが、そうした意図の元に発足したことは衆知の通りだ。

昨年のK－1ジャパンGPで、その佐竹と決勝を争い、将来を大きく期待されたのが中迫剛である。以来、K－1ジャパンの次期エースとして、武蔵と共に、中迫は内外の強敵と激闘を展開してきた。

昨年のK－1ジャパンから一年。前回準優勝の中迫が、この大会に活躍を要求されるのは当然であり、佐竹に続く日本人K－1戦士としての成長を大いに期待されていた。

武蔵が、オープニングの1回戦第1試合でKO勝利を収めた一方、別のブロック最終試合に中迫は登場、なんと安部康博に大苦戦。

まだ1回戦だからエンジンもかからないのだろう、という見方に反し、2回戦では大石亨からダウンを奪って判定勝ちしたものの、ダウンを宣告されてもおかしくないパンチを喰らい、不本意な勝利。

次に待っていたのが、チャクリキで修行をしてきたノブ・ハヤシであった。1回戦から、驚異的な打たれ強さとパワフルなパンチを武器に、連続KOで勝ち上がったきたノブであるが、中迫のキャリアとセンスの前には歯が立たないと思われた。

しかし、ノブと対峙した中迫は、1、2回戦の不調をさらに悪化させた姿を、我々の前にさらすことになった。

ジャブの固さが消え、蹴りも出るようになってきたのだが、ノブと決定的に違っていたのは、ノブがパンチからローを自然に出せる

◀なんと、ノブは同じハイキックをすぐさ

のに対し、中迫は「打とう」とい

中迫のコメント

「結果については、もう何も言うことはないです。体が動かなかったんで、1回戦から気力だけで闘ってました。敗因は、何なんすかね、自分でも分かんないです。昨日まで調子良かったのに。何かにとり憑かれたとしか……。1回戦も、負けたなと思いましたから。何をやっても相手が倒れる気がしなかった。大石選手が一番強かった」

▲ノブの攻撃は、決して[illegible]いフォームとは言えないが、その執念深い連打がじわじわと中迫を捕らえ始める

▲パンチからスムーズにローへと繋げられる。チャクリキでの豊富な練習の賜物だ

中迫の肉体が蝕まれていく……

ノブの右ロー[illegible]中迫の左足を攻めていたが[illegible]奥足へも[illegible]中迫のダメージは内側へと蓄積していく

▶中迫は得意のハイキックでノブを強襲

◀なんと、ノブは同じハイキックをすぐさま返して反撃してきた

打てども蹴れども パンチが飛んでくる こいつはバケモノか!?

中迫は左ミドルに進歩が見られたが、前へ前へと出てくるノブのパンチがカウンターとなって、次が出せない

のに対し、中迫は「打とう」という意識の下にしか攻撃を出せないことであった。

チャクリキの巨漢達と、弱肉強食のスパーを積んできたノブは、体で攻撃の連鎖をマスターしていた。コンビネーションがない、などとも言われていたが、それは彼が自然な流れを身につけ、ムエタイのような連係を可能にしていたからに他ならない。

コンビネーションなどを意識するあまり、パンチ、蹴りそれぞれの単発技までもがバラバラになってしまった中迫とは、次元が異なる域にまで、ノブは達していたのである。

中迫に、アクシデントがなかったわけではない。試合前日までは好調に練習をこなしていたのだが、試合当日となって一回戦の際に酸欠となり、血糖値が下がる事態が生じてしまったのだ。

そんな状態でも、2回戦の大石戦では猛打戦を制し、自己の新たなる境地へと踏み込めた。その直後、同じ1日の中に、もっと大きな壁が立ち塞がってきたわけだ。トーナメントは、これだから恐しい。

日本の明日を担うファイターとして、中迫がその力を認められるまでには、まだまだ課題は多い……、と昨年のK－1ジャパンGPでは感じられたが、今年はそれ以上の困難と距離を痛感させられずにいられない。もちろん、案ずることもない。ノブのようなわずかキャリア1年の選手を見れば、この迷宮を抜け出すための答えは、すでに明確となっているからだ。

（野沢）

もうひとつの準決勝戦は同門対決が実現
武蔵の存在感にボクサー天田近づけず！

天田のパンチにジャストミートの左ミドルのカウンターをする武蔵

めざすは"天下統一"

天田のコメント

「すいません！ハイキックが当たりました。武蔵さんのパターンは分かってました。ローキックでくるなって。だから自分も引かないように、作戦どおり闘いました。明らかに3R目で、武蔵さんは疲れてましたね。右ストレートと右フックが、凄い気持ちよく当たりましたよ。でも、武蔵さん倒れませんでしたね（笑）」

▲走らせる右ロー、腰を引いたままでスピーディに当て、ここから左の蹴りへ

◀天田もいいパンチをヒットさせるが…

▲天田のガウンの背中には、「天下統一」と刺繍されていた。だんだん天田もプロらしくなっている

天田のガードのスキをついて左ハイが襲う

★第15試合（K-1ジャパンGP準決勝戦・3分3R）
○武蔵（判定3—0）天田ヒロミ●
（日本、正道会館）（日本、フリー）
※30—29、30—29、30—29

格闘技者が、時に苦行僧のように見え、その闘いそのものが、修行のように見える時がある。

多くの格闘技者は、不完全であり、自分の課題を背負っている。

そして、その課題の解消とは、皮肉なことに、対戦相手との闘いを通じてのみ可能になる。

武蔵も天田もともに課題を抱えている。武蔵の課題はよく言われるように、手数の少なさ。連打が少なく一発狙いになる。またカウンターを狙えても、自分からの攻めパターンやパンチの攻めが少ない、などだ。武蔵は1回戦、2回戦、この課題の克服に積極的に挑んだ。まず、パンチ、特に左のジャブが出やすいように左手を下げ、下から突き上げるパンチが出やすい構えに変えた。また、左ジャブを出やすくすることによって、蹴りへの連携パターンを増やすようにした。また、カウンターの一発狙いから、自分で攻めパターンを作る工夫が見られた。

一方の天田はパンチ主体の闘い方のため、蹴りの連携と防御が課題。その両者の激突。試合は武蔵が右ローと左の蹴りのカウンターで着実にポイントを重ねる。天田は最後まで自分のパターンにもち込めずに終わった。これまで無敗の天田と、敗戦の味をいやというほど知っている武蔵。修行とは、自分の弱さを知るところから始まるとしたら、武蔵の修行歴は、天田よりもずっと長い。天田の修行は今日始まったばかりである。そんな思いを抱かせるほど、武蔵はいつの間にか日本人選手を率いる側の存在感ある選手となっていた。

（山田英司）

K-1 JAPANシリーズ
K-1 SPIRITS'99
〜魂の戦い〜
JAPAN GRAND PRIX'99
8.22 有明コロシアム

K-1は三千年の歴史を経験した 天田が散打王者に判定勝ち!

▲なんと珍しい天田のハイキック

▶中国からも応援団が多数来日。今回のK・1参戦を経験したことで、さらに強くなって来るはずだ

▲滕は前半、横蹴りストッピングと前蹴りで、天田の接近を拒む

残念…もしK-1に投げ技があったなら……

▲もちろんタックルは禁止。注意を取られる

▶天田は後半、ノーモーションのショートパンチで、滕をとらえる

◀天田のパンチをダックし、そのままタックルの姿勢に入る滕

滕軍のコメント

「今回、K－1に参加できて嬉しかったけど、負けてしまいました。一回戦のサダウは、ムエタイスタイルが非常に散打と似ていたので、やりやすかった。天田もボクシングスタイルで、いけると思っていたが、K－1ルールでは使えない技が多かったのが悔しい。ルール次第では、絶対に優勝できたと思う。50％の力も出せてない」

★第11試合（K-1ジャパンGP2回戦・3分2R）
○天田ヒロミ（判定2—0）滕軍●
（日本、フリー）　（中国、中国武術協会）
※20—19、20—20、20—18

サダウVS滕のムエタイ・散打対決で浮き彫りにされたのは、ポイントを取ろうとするスポーツと、ポイントを取らせない事を旨とする武術との対照性であった。

中国武術などの異分子が、K—1のメンバーに入ってくると、全く別な角度から格闘技というものが照射されて面白い。

ボクシング出身の天田と、相手のポイントを殺すのがうまい滕との試合。内容は、滕が天田が近寄ろうとすると横蹴り。パンチを出すとダックしてタックル。これをくり返してしのいでいたが、その闘い方の消極性が災いし、判定負け。ポイントを取り合うスポーツ格闘技の中では、当然の結果である。私は、むしろ、ポイントを殺すのがうまい滕が、負けるパターンを見るのが楽しみであった。

サダウの得意技は、モーションの読みやすい蹴りであったため、試合は滕ペースで進んだが、幸か不幸か天田はボクシング出身。それもフォーム規定のうるさいアマボクシング。ヒジを締めてインサイドから打つショートパンチを最も得意としている。言い換えればモーションの読みにくいパンチ。中国武術でいう寸勁や短勁といわれるパンチだ。

長い歴史を持つ中国武術では、滕のようにポイントを殺すのに長けた人間が多い。中国武術が護身を目的に発達した事を考えれば、これは当然。その中で八極拳や形意拳のような短勁を得意とする手技が生かされ、多くの達人を輩出した。その三千年の歴史を、滕はわずか2試合で体験してしまったということか。

（山田英司）

心のぶつかりが昇華を導いた
己の殻を破った中迫が猛打戦制す

貴公子然としたクールな中迫が見せた必死の形相。絶対負けられない気持ちが、大石の猛打を凌ぎ、中迫の成長を促した

大石のコメント

「ダウン取ったと思うんですけどねぇ……。悔しい。まだ闘える。全然疲れてないですから。もう1ラウンドやりたかった。もうちょっとズル賢くやらなきゃいけないのかも。中迫はズル賢かったもんなあ。(一回戦のタケルは）スピードがあった。タケル選手も強かったけど、この一年、自分のほうがより成長していたんでしょうね」

▶中迫からダウンを奪われた大石は猛反撃。左をヒットさせ、中迫は横を向いてしまう。クリンチで急場を逃れる中迫。ダウンを奪われてもおかしくない危ない場面だった

★第13試合（K-1ジャパンGP2回戦・3分2R）

○中迫剛（判定2ー0）大石亨●

（日本、正道会館）　（日本、MAキック士道館ジム）

※19ー18、20ー18、19ー19。大石は2Rに右フックでダウンを喫した

判定を聞いた2人の表情。中迫は自分に上がった判定を聞きながら何度も首を振り、大石は相手セコンドの水を口にしなかった

1回戦の苦戦が尾を引く中迫は、パンチと蹴りが相変わらずバラバラだ。特に、左ジャブは1、2というリズムの2挙動になってしまっているのが気になる。対する大石は、パンチやプッシュからの右ローを有効に使い、絶好調で飛ばしていく。

2R、中迫は作戦を変えた。手打ちに近いパンチを軽く連打する。左ボディフックと右ストレートを中心にした攻めで猛然と前へ出る大石は、中迫をロープに何度か追いつめるが、その間隙をついた中迫の右フックがタイミングよく打ち下ろされ、大石ダウン。それでも大石の勢いは衰えず、中迫に右ストレートを決めてダウン寸前まで追い込んだ。

中迫は、大石の猛打を何度も喰らいながらひるまず反撃し、これまでにはない自分を切り開き、新しい中迫像を見せつけてくれた。己の殻を破った、といってよかろう。

中迫の健闘とは逆に、大石の優勢を唱える向きも多い。中迫が殻を破ったのと同様、大石も自己の限界を突き破るファイトを展開し、士魂を満場にアピールした。

しかし、フルパワーでパンチをふるい、バランスを崩しがちだった大石に対し、回転を効かせた細かいパンチでリズムをつかみ、チャンスを逃さなかった中迫の作戦が、心のぶつかり合いに終止符を打つ結果となった。

激しい打ち合いが続いた試合、というイメージでとらわれがちだが、そこには中迫サイドの綿密な作戦が、最終的な勝利の布石となっていたのである。（野沢）

K-1 JAPANシリーズ

K-1 SPIRITS'99 ～魂の戦い～

JAPAN GRAND PRIX'99

8.22 有明コロシアム

長井、惨敗！なれど収穫あり勝利の予感をつかむ

▶試合開始早々、左ハイ連打で攻勢に出るも実力の差が歴然と出てしまう

村上の棄権で武蔵戦の機会を得、「俺に運が向いていると思った」と語った長井だが……

◀ノーモーションでグサリと突き刺さった左ミドル。控室に戻る途中でもうずくまってしまう

◀武蔵の左ミドルは強烈！「でも、これで日本のトップの強さは分かった」と試合後にコメント

★第10試合（K-1ジャパンGP2回戦・3分2R）

○武蔵（1R3分0秒、KO勝ち）長井満也●

（日本、正道会館）　（日本、フリー）

※左ミドルキック。長井は、1回戦勝者の村上がドクターストップで棄権したため敗者復活

一回戦で村上に負けた長井だったが、村上の棄権によって急遽武蔵戦の相手に浮上するチャンスをつかんだ。だが、結果は村上戦に続いて敗北。それでなくてもK－1初白星がほしい長井であるのに、トーナメントでは普通ありえない2連敗というヘビーな出来事を経験してしまったのだ。さぞや意気消沈しているだろうと思っていたが、今回の長井はまったく違っていた。試合後のコメントでも分かる通り、武蔵と試合ができたことを「運が向いている」と語り、敗北についても「日本のトップの強さが分かった」と前向きだ。すべてをプラスに転化させてるわけだ。また、この日の試合内容においても常に自分から攻撃して極めてアグレッシブ。プロレスからK－1に転向した30歳の妻子ある男・長井。あとのない男、暗くなっていてもまったく意味のない男が、苦悩を突き抜けて歩み出したということだろう。味あわされた屈辱はバネにしなければもったいないということである。（中村）

2回戦ダイジェスト

代打の中井、安生破るもノブのパワーに歯が立たず！

◀ノブには負けたものの、プロレスラー安生を破り、明るい表情だった中井

◀ノブ・ハヤシが初戦に続き、パンチ連打でKO勝ち。52秒の早業だった

ノブのパンチで、95kgの中井が吹っ飛んだ。恐るべきパワーで2試合連続のKO勝ち

★第12試合（K-1ジャパンGP2回戦・3分2R）

○ノブ・ハヤシ（1R0分52秒、KO勝ち）中井一成●

（日本、ドージョー・チャクリキ）　（日本、日進会館）

※2ノックダウンによるKO。中井は1Rに右ストレートとパンチ連打でダウンを喫した

トーナメント1回戦を沸かせた中井とノブ・ハヤシ、二人の新鋭が再び場内を盛り上げた。22歳の中井と21歳のノブ、伸び盛りの若手はとにかく成長が著しい。一つの勝ちが自信となり、実力となる。初戦で大方の予想を覆して安生をKOで下した中井は、身長7センチ、体重約17キロ差のノブに対しても、全く臆することなく、序盤からアグレッシブに前に出た。「最初はスピードでかき回そうと思ったんですが、首相撲やったらいけたんで、組んでいけるかなっと思ったら、パンチをもらってしまった。作戦ミスです」。普通に考えれば、1回戦でハードパンチャー宮本をパンチでKOしたノブを相手に接近戦でいけると思うのは、はっきり言って無謀。しかし、それが若さのなせる技なのかもしれない。物知り顔で自分の限界を決めてしまう若者よりは遥かに面白い。正道勢に占められているK－1ジャパンを、そしてK－1を面白くするのはこういう若手選手の出現である。（タケ・ハヤシ）

これが男の意地じゃ‼

村上竜司、全治3カ月の重傷をおして強行出場

気力だけでド突き合いを続ける長井と村上。完全に疲労困ぱいだ

★第2試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○村上竜司（延長判定3−0）長井満也●
（日本、士道館）（日本、フリー）
※2R判定ドロー、延長10−9、10−9、10−9

士道館空手の師範にして昼の職業は金融業というコワモテなバックグラウンドを持つ元MAキック日本ヘビー級王者の村上竜司が、K−1という華やかな場に登場したのは実に喜ばしい。

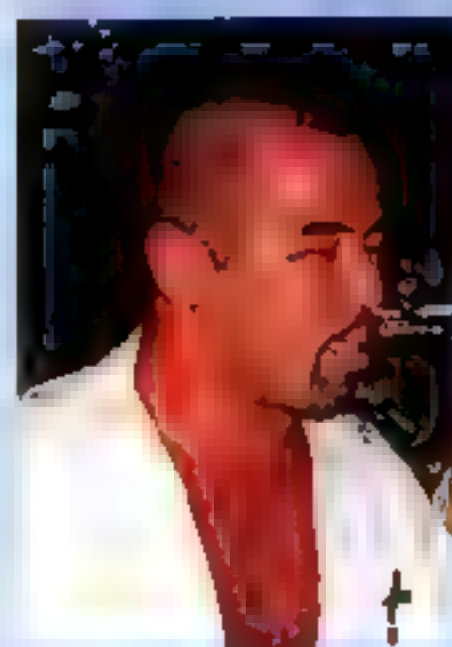
そのセコンド陣が着込むTシャツはフロントには「粋」と墨文字で大書され、バックは竜の彫り物プリント。まさに「男！男！男！」なのである。そんな一団が東映ヤクザ映画の名作『仁義なき戦い』のテーマ曲をバックに入場してきたのだから気分はもう「殺ったれ！殺ったれ！殺ったれ！」なのだ。愛が地球を救ったりしている、その最中にそんな不謹慎なことを考えてしまった自分をつくづく反省するが、村上は左眼窩（か）底骨折という重傷をおして試合に出てきてるのだから、必要以上に入れ込んでしまうのも仕方なしと勝手に納得させていただきます。押忍！

なにしろ、眼球を支える骨を骨折して全治3カ月なのだ。しかし、本人は1週間で病院を抜け出すという無軌道ぶりなのだ。シビレる、無茶っぷりだ。だが、こういう状況で試合に出たら負けられない。負けても同情される状況で負けるのは最も恥ずかしいことだろう、「男」として。

一方、K−1戦線でまだ勝ち星のない長井だって負けてはいられない。だが、根本的に気の優しい長井にケガした部分を攻撃できるのかは不安。試合前に「出てくる以上は徹底的にやる」と言ってても本番を迎えるまでわからない。

果たして、その心配はまったくの杞憂だった。試合開始早々から前蹴り、左ハイの連打、すかさずバックハンドブローと一気に畳み

8.22 有明コロシアム

鬼の覚悟！容赦なしの長井の蹴り

村上のコメント

「(ケガの為に) 練習不足で全然動けなかった。距離がつかめなくて、左のパンチが踏み込んで打てなかったしな。1Rに顔に一発もらって、あの後は相手が二重に見えていたんだ。今日は出ることに意義があると思っていたんで、申し訳ないが今日はここで帰らしてもらう。これから病院に行って来るわ」

K−1初勝利に執念を燃やす長井は村上の負傷個所でさえ。攻めたてる。容赦ない！

◀大きなハンディキャップを背負いながら掴んだ勝利！　傷だらけのツラ魂が男の勲章だ

▼試合前「長井だけは病院送りにする！」と宣言していた村上。左のパンチで突破口を見いだす

2Rから執念の反撃開始！

アグレッシブな長井。ついには飛びヒザ蹴りまで叩き込む

重傷の左眼のみならず右眼まで

右眼まで腫れた村上は2R目から長井が二重に見えていたという

前蹴り、左ハイの連打、すかさずバックハンドブローと一気に畳みかける長井は、カカト落としで骨折している左眼付近の粉砕まで狙う。ちょっとやりすぎるぐらいの徹底ぶりだ。村上は得意の左パンチの距離を掴めず、じりじり後退するが、有効打は浴びない。1Rはやや長井有利か。

インターバル中、村上の骨折してない方の右眼付近が腫れ上がってくる。長井の左ハイやバックハンドブローがガードの上からも効いてきたらしい。

2Rでも長井はコーナーに村上を詰めてパンチやヒザ蹴りを叩き込む。クリンチされると、またも左眼のあたりをパンチでゴツゴツ殴りつける。エゲツない。それでも倒れない村上は、これしかないと左パンチを振るいまくって本戦終了。判定は長井の勝ちに一人、残り二人のジャッジは引き分け。

試合は3分間の延長戦に入るわけだが、ここからはもう意地の張り合い。長井の蹴り対村上のパンチがガツンガツン交錯する。長井は最後には飛びヒザ蹴りまで繰り出してきた。どちらが勝ってもおかしくない展開だったのだが、ジャッジは僅差で村上を勝ちとした。

結局、試合後、右眼を痛めた村上は次の武蔵戦を棄権。もともと無茶な闘いだったが、無茶だからこそ意地になって両者は殴り合ったわけだ。

意地で試合に出場した男・村上竜司VS意地になってケガした部分を攻めたてた男・長井満也。

こういう泥臭くて、男クサイ闘いすら、内包できるのはK―1ジャパンならではだろう。　(中村)

武術（ウーシュウ）はスポーツより強し
ムエタイ・サダウは散打に判定負け

▶得意の首相撲にもち込んでも、柔道経験のある滕の体勢を崩せない。逆に滕に投げられてしまう。滕の投げはもちろんレフェリーの注意を受けた

サダウ・ゲッソンリットのコメント

「負けるとは思わなかった。実際、効いたパンチもほとんどなかった。KOできると思っていたし、彼はキックボクサーとしては、上手な方とはいえない。敗因は、自分が想像以上に、途中で疲労してしまったこと。だが、判定については非常に不満だ。応援してくれた人に申し訳ないと思っている。今日はとてもアンラッキーだ」

接近しようとするサダウに横蹴りでストッピング。これがうるさい

散打のサイドキック

サダウの蹴りを取っての右パンチ。1Rに滕がサダウからダウンを奪う。しかし判定はスリップ扱いだが、ダメージはあった

ムエタイの回し蹴り

滕の頭脳的作戦があったにしても、33歳のサダウの動きには衰えが目立った

目標100万円が取れずに大落胆のサダウ。100万円あれば、村で家が買えたのに……

★第4試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○滕軍（判定2－0）サダウ・ゲッソンリット●
（中国、中国武術協会）　（タイ、ゲッソンリットジム）
※20－20、20－19、20－19

なんと武術的な試合なのだろう。中国拳法散打の滕が、ムエタイの強豪、サダウに判定勝ちしてしまった。この試合、展開だけを見ていたら、両者まったくカミ合わない試合だったろう。サダウの突進を滕が横蹴りストッピング。ミドルを蹴ろうとすれば、これをつかんでパンチを放つ。得意の首相撲にもち込もうとすれば、滕が強く、ヒザ蹴りの体勢にもっていかせない。

サダウにまったく得意技を出させないのだ。これを単にカミ合わない試合として総括したのでは、あまりにもったいない。この試合には、普段なかなか見ることのできない格闘技のもう一つの本質がかいま見える。

まず、格闘技の強さとは、言うまでもなく、限られたルールの中で初めて測定できるものだ。ルールが変われば格闘技者の強さも変わるのだ。ムエタイの強豪であるサダウは、よく似たルールのK－1の中では、ポイントの取り方には熟知していたはず。だから我々はサダウの勝利を露ほどにも疑わなかったのだ。

しかし一方の相手がクセ者だった。中国の散打とは、パンチ、キックと投げの競技だが、投げにポイントが高い。だから散打王者とは、相手のパンチやキックの間合いを封じることに長ける。サダウがポイントを取る達人なら、滕はポイントを取らせない達人。どんな強打者もボール球はヒットできないのと同じ理屈だ。最後まで相手の得意技を封じ続けた滕は、ポイントを取るスポーツとは対照的な闘い方をした。それが武術である。

（山田英司）

K-1 JAPANシリーズ
K-1 SPIRITS'99 ～魂の戦い～
JAPAN GRAND PRIX'99
8.22 有明コロシアム

▶「やってもうたぁ～。いい歳こいて固くなった。情けないよ」（安生）

安生まさかのKO負け！「いい歳こいて情けないよ～」

▲安生は2ラウンドに2回ダウンをきして、よもやのKO負け

▲不用意にパンチをもらう安生。中井も飛び抜けて動きがよくはなかった安生の調子が悪すぎた

★第5試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○中井一成（2R1分22秒、KO勝ち）安生洋二●
（日本、日進会館）　（日本、フリー）
※2ノックダウンによるKO。安生は2Rに右ストレートで2度ダウンを喫した

安生洋二は非常に如才ない。これまでもスタイルの違うプロレス団体をあちこち渡り歩き、バーリトゥードにも出場。そして10月のUFC－Jにも参戦しようというその最中に、1年も前から練習しているK－1ジャパンの試合でコロッと負けてしまう。どういうこっちゃ？　相手はまだグローブ経験の浅い日進会館という空手の中井選手。試合後に安生が語ったところ「2ラウンドしかない試合。時間がないことで急に緊張してしまった」という。だが、緊張で言うならば散打選手、安虎の欠場で急遽参戦することになった中井の方がよっぽどナーバスになるだろう、普通。さらにはコメントを出す時の笑顔。完璧なまでに人に素顔を見せない男だ。だが、安生はヒクソンにボコボコにされ、Uジャパンではアルバレスに負けて嫌というほど恥をかいてもいる。立ち直りが早いのかなんなのか。この日の試合は安生洋二という男の底の部分にますます興味を引かれる負けであった。（中村）

パンチを打っても足がついてこない。コンビネーションも出ない。体が思うように動かない安生

1回戦ダイジェスト

豪腕対決で宮本が完敗！ノブ神話はここから始まった

◀宮本渾身の右がノブの顔面を完全にとらえた。しかし、これでもノブは倒れない

▼宮本のセコンドには大会前の調整をしたボス・ジムのヨハン・ボス会長が。

これが無名の新人！？ ノブ・ハヤシがパンチの連打で宮本にKO勝ち

★第6試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○ノブ・ハヤシ（1R1分48秒、KO勝ち）宮本正明●
（日本、ドージョー・チャクリキ）　（日本、正道会館）
※2ノックダウンによるKO。宮本は1Rにパンチ連打で2度ダウンを喫した

「ボクの右が3つ当たって倒れなかったらもうお手上げですよ。二つ目のパンチが当たった時は、どうせ倒れるだろう、と振り返ろうと思ったくらいです。もう手の骨折れそうですよ」。試合後の宮本は半ば呆れ顔だった。まさか自分が、1回戦で、キャリア2戦の新人に、どつき合いでKO負けするとは夢にも思わなかった。そんな表情だった。K－1トップファイターでさえヒットすればダウンすると言われる宮本のハードパンチを、まともに、しかも3発も食らってなお、前に出続けるノブの打たれ強さとハートの強さは尋常ではない。そして、一発でダウンを奪えるパンチ力も驚異だ。K－1トップファイターの試合にも負けない迫力で観客を沸かせたこの一戦。両者の激しいファイトは日本人同士ではなかなか味わえないヘビー級の醍醐味で、ファンを熱狂させた。「今日は彼が強くて、ボクが弱かった。言い訳はありません。でも、許されるならもう一度やらせていただきたい」（林）

1回戦ダイジェスト

最年長、闘う社長・吉岡 武蔵相手にど根性ファイト！

★第1試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○武蔵（2R2分13秒TKO勝ち）吉岡基治●
（日本、正道会館）（日本、ISM麻生塾）
※レフェリーストップ。吉岡は1Rに右ストレートでダウンを喫した

▶1回戦第1試合は、優勝候補の武蔵にISM麻生塾の吉岡が勇敢に挑んでいった。武蔵は吉岡相手に落ち着いたファイトを展開。ジャブ、ハイキック、ローキックと的確にダメージを与え、吉岡の顔面は血だらけに。とくに武蔵のジャブがよく入っていた。試合は2R2分13秒、レフェリーストップで武蔵が順当に勝ち上がった

◀吉岡は東京都のパワーリフティング75キロ級優勝経験をもち、フルコンタクト空手で活躍する選手。本職は12人の社員を抱える工務店の社長で、3児のパパでもある。今大会最年長の36歳。空手生活24年で、ローキックを強烈な武器としている。最後まで武蔵相手に前へ出ていったのは立派だ！

ああ、タケル、雪辱ならず MAキック王者・大石、強し

▶昨年の1回戦で実現したタケルVS大石の再戦。この時、判定で負けたタケルにとってはまさにリベンジ戦だった。その意気込みどおり、前半はタケルが力強く攻め込んだが、3R大石のパンチでタケルが失速。判定は3者1ポイント差で大石。大石はなんとか勝利をあげ、リベンジできなかったタケルは相当落ち込んでいた

▶後半になってからタケルは、大石のワンツーとローキックのコンビネーションに手こずりはじめた。大石もまたこの一年で、MAキックのヘビー級チャンピオンになるほど成長。その目は、すでに中迫に向けられていた。「コンディションはよかったけど、いつの間にか終わっていた」とタケル。無念！

★第7試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○大石亨（判定3—0）タケル●
（日本、MAキック士道館ジム）（日本、正道会館）
※20—19、20—19、20—19

天田、昨年の3位滝川とのボクシング対決を制す！

▶1回戦屈指となった滝川VS天田のボクシング対決は、連打の回転が上回った天田が1Rで勝負を決めた。対する滝川は、昨年第3位に入った選手。この結果を見ても、元アマチュアボクシング全日本王者の天田の非凡ぶりが光って見えた。しかし、滝川はやや練習不足か？

◀現在、元ムエタイ王者の藤原敏男のジムで練習する滝川。元は協栄ジムでボクシングも習っていた。しかし、パンチの回転力では天田が上。滝川が蹴りも使っていったのに対し、天田はボクシング一本で勝負して、エンジン全開の試合運びだった。「やっぱり、年に一回の試合ではK-1では勝てない」と滝川

★第3試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○天田ヒロミ（1R2分6秒、KO勝ち）滝川鋼●
（日本、フリー）（日本、藤原道場）
※2ノックダウンによるKO。滝川は1Rに左フックで2度ダウンを喫した

判定の瞬間、場内ブーイング 安部、中迫に僅差の判定負け

▶延長までもつれた中迫VS安部の試合は、本当に僅差の10－9で中迫に。安部のほうがパンチの手数が多かったが、ジャッジは中迫のローキックのダメージを取った。判定が告げられた瞬間、場内からはブーイングも生まれたほど。安部にとっては惜しい一戦だった

★第8試合（K-1ジャパンGP1回戦・3分2R）
○中迫剛（延長判定3—0）安部康博●
（日本、正道会館）（日本、建武館）
※3R判定ドロー、延長10—9、10—9、10—9

◀本当に多彩な攻撃で中迫を攻めた安部。「蹴りは重たかったが、プレッシャーは感じなかった。自分ではリラックスして動けた試合。やっぱり敵地なので倒さないとダメ。ツメの甘さを感じました」と試合後語った。ぜひ再戦が見たい！

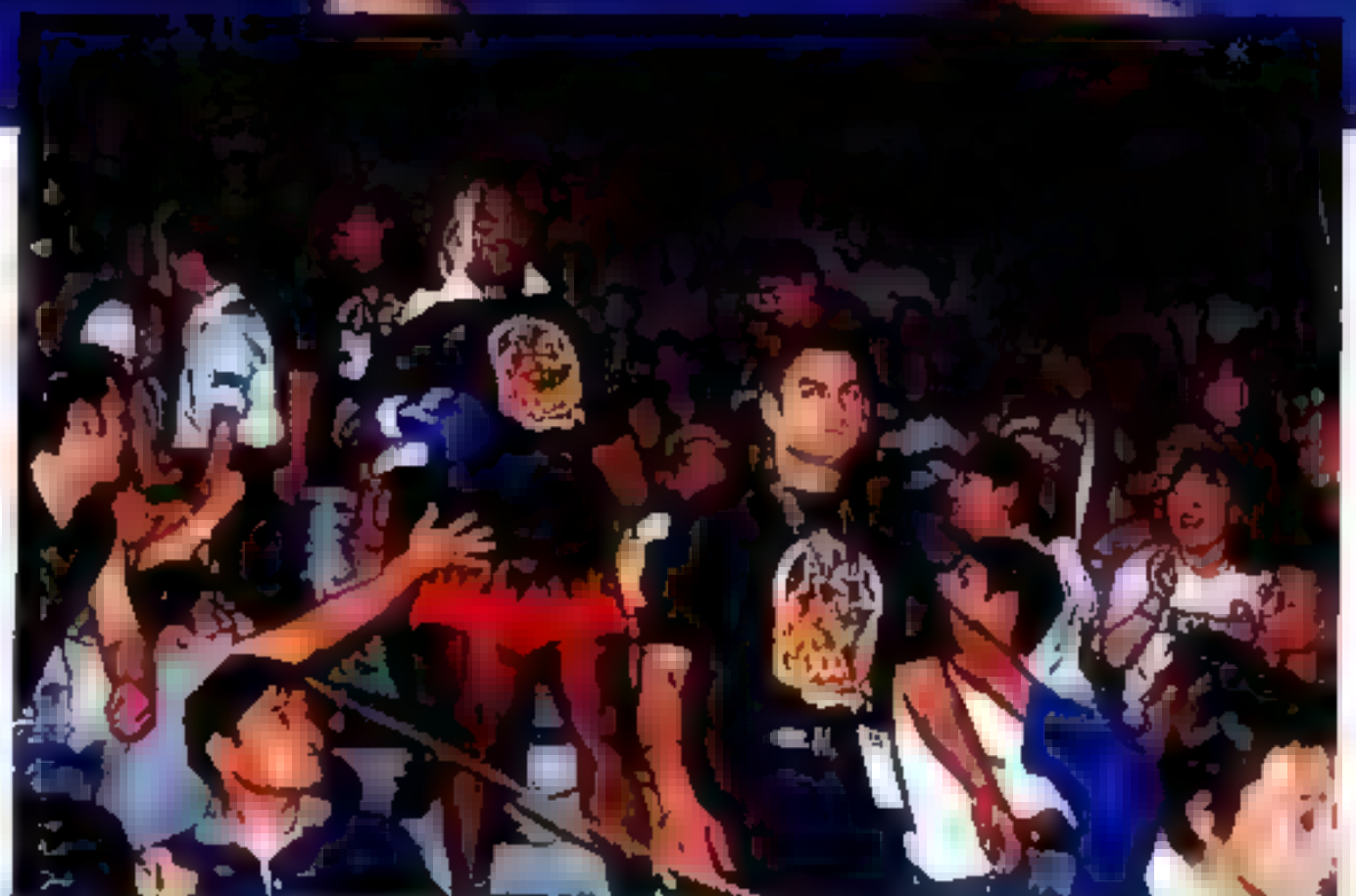
K-1 SPIRITS'99
〜魂の戦い〜
JAPAN GRAND PRIX '99
8.22 有明コロシアム
勝てて良かった本当に!
今日は劇画『タイガーマスク』の伊達直人の気分です

異種格闘技戦は佐竹に任せろ！ え!?ゲーリーがクリーンファイト？

最近の佐竹は、本当にいい顔をしながら入場してくるようになった。…はやるぞー

いきなりパンチを振り回してくるグッドリッジ。小川戦の再来か、佐竹も前へ

▶テーマ曲に合わせながら胸を叩いて入場してくるグッドリッジは、何かやりそうな予感が……

試合前に反則をしな…レフェリー。…そんな堅いこと言わないで

★第14試合（K-1スーパーファイト・3分5R）
○佐竹雅昭（3R2分47秒KO勝ち）ゲーリー・グッドリッジ●
（日本）（トリニダード・トバゴ）
※左ローキック

ゲーリー・グッドリッジよ。
お前は一体、何者だ？
温厚なジキル博士か？
それとも悪のハイド氏か？
8月22日。
有明コロシアム。
「K－1スピリッツ99」の
スーパーファイト第14試合、
それがこの日の目玉。
言わずと知れた佐竹の試合。
相手はなんと、
その名も狂乱ファイター
ゲーリー・グッドリッジなのだ。
お前、やってくれるよな？
暴走するのか？
それとも、
試合をぶっ壊すのか？
期待は大きいんだ。
わかっているだろうな。
おっと、赤コーナーから
カラテ衣を着た
佐竹、登場！
その思いは一つ。
我が心、カラテ衣にあり。
原点に戻るんだ。
呼び起こせ、
内なるカラテスピリット！
思い出せ、
若き日のカラテスピリット！
それに今回、
佐竹は体の不自由な少年たちと
約束した。
絶対に
KOで勝ってね、と。
梶原一騎原作
かの有名な誰もが知っている
劇画『タイガーマスク』。
孤児院で育った主人公は、
伊達直人！
佐竹はつぶやいた。
ああ、
オレは伊達直人なのだ！
あの子らのために、

K-1 SPIRITS'99
～魂の戦い～
JAPAN GRAND PRIX '99
8.22 有明コロシアム

最後は佐竹のローキックに耐えられず、片ヒザを着いてテンカウントを聞いたグッドリッジ

今日はこのくらいにしといてやる！

グッドリッジの主武器はパンチ。時折、グーンと空を切る鋭い音が唸った

▲佐竹も負けじとローキック。先を走らせるいい蹴りが何発も決まった

▼乱打戦に持ち込もうとするグッドリッジ。「行け！　金的だ！」と思っていたら止めるのが早い

あの子らのために、
負けるわけにはいかない。
そして、
このカラテ衣のためにも
負けるわけにはいかない。

一方、青コーナー
どうしたんだグッドリッジ。
お前はいつも
サングラスをかけて
花道からやってくるのに
サングラスなしではないか？
ゴングが鳴った。
オー、なんということか？
天下の狂乱ファイターが、
一転してクリーンファイト！
よくも
すかしてくれたぜ
グッドリッジ！
K－1の〝K〟とは
お前にとって
狂暴の〝K〟、
狂気の〝K〟ではなかったのか。
なぜだ？
どうしたんだ？
何があったんだ？
これはこの日、一番の謎だ！
狂暴だから
狂気だから
佐竹にとってグッドリッジは
おいしい相手だったのに。
だが、今、目の前にいるのは、
牙をみせない、
毒をみせない、
クリーンファイター！
だが佐竹は冷静に攻めた。
まず、右のロー、
サンダーボルトだ！
ロー、ロー、ロー。
徹底したロー。
次に左のロー。
レッドストームアタックだ！
効いたぞ。

「あと1回立ってくれれば、もっと面白くできたのに…」（佐竹談）

今日の勝利は特別だった佐竹。なぜなら、ハンディキャップの子供たちにKOを約束したからだった

おまえらもガンバレよ！

◀この日は、日本テレビ夏の恒例24時間テレビのチャリティも会場で行われた

▲試合後、ハンディキャップの子供たちに声をかける佐竹。本当に嬉しそうだ

大阪ドームで佐竹VSノブ実現か？

大阪ドームの開幕戦で俄然実現性が高くなった「佐竹VSノブ・ハヤシ」戦。果たして……

――今日の左胸（の刺繍）は、なぜ「正道会」ではないんですか。

佐竹 やっぱり燃える赤と合わせたんですけど。分からない程度にしたんですけど、分かりました？（笑）。

みんな、応援ありがとう！　君たちもこれから挫けずに前へ向かって突き進みましょう。それからテレビを見てい

手応え十分！
新必殺技、二つ。
それも予告殺人だ！
いいか、
公約ははたすんだぞと
佐竹は燃えた。
この野郎！
グッドリッジの奴。
血の海に沈めてやるからな！
そうだ、佐竹。
お前はK―1一期生なのだ。
グッドリッジを
KOできなくてどうするんだ。
3ラウンド
ついに足にきた。
グッドリッジKO寸前！
やばいぞ。
こんな形でKOしても
佐竹は不満だ。
立て、
向かってこい。
お前にパワー。
あのファイティングスピリット。
どうしたグッドリッジ？
立つんだ。
かかってこい。
オレは止めを刺したいんだ。
佐竹の祈りもむなしく
3ラウンド2分47秒、
ついに勝負あった！
でも、勝てて良かった。
本当に良かった。
そういう佐竹の顔は
かつてないほど
すがすがしさで一杯だった。
試合を、K―1を、
そして選手であることを、
みんな、みんな
楽しめるようになった。
今の佐竹はもう
限りなくその心はピュアだ！

（ターザン山本）

佐竹のコメント
虹の橋を架けたいですね。そういう疑問だけを投げかけておきます（笑）

──会心の勝利でしたね。

佐竹 はい。公約どおり右のサンダーボルトが当てられたんで、意表を突いて左のレッグストーム・アタックも出せました（笑）。

──空手衣の日の丸は自分が日本代表だということを意識されたんですか。

佐竹 もちろん。やっぱり生まれ育った国がこの日本なんで。

──ローキックは、練習している時間同様、スネで当たりましたか。

佐竹 ええ、当たりましたね。最初は向こうも絶対にそれを研究してきたんで、足を上げたところをわざと蹴ったんですよ。やっぱり寝技系の選手だけあって、地力とパワーを感じましたね。ファイティング・スピリットが非常にある選手だと思いましたし、やっぱり修羅場をくぐってる選手だなって。まあ、最後もう一回立ってきてもらってトドメを刺したかったんですけど、あれだけのローキックをもらって立ってただけでも凄いと思いましたけどね。痛いでしょうね、今は（笑）。

──アーツやベルナルドのパンチとは全然質が違うものでしたか。

佐竹 重さも凄くあるし、油断してたら倒されるパンチで、KOのパンチ力はあると思いますね。

──会場の子供たちに言葉をかけていましたが……。

佐竹 本当に今回これが、何よりもプレッシャーで（笑）。「24時間、愛は地球を救う」の枠の中で、ハンディキャップのある少年たちのところに2日前に「行ってください」って言われたんですよ。こっちも試合前でナーバスだったんだけど、「タイガーマスク」の伊達直人じゃないけど、そういう気持ちで会いに行ったら、物凄い心のキレイな少年たちでね。その子らに「ぜひKOで勝ってくれ」って言われて。今までは正道の看板とか空手界の看板を背負って闘ってきた僕があったけど、今回はそういう意味で異種格闘技戦だったけど、それよりもピュアな部分で子供たちが応援してくれて、本当にそれが約束どおりにKO勝ちできたこと自体にホッとしました。

──ローをスネで蹴ったり、空手衣を着たりっていうのは、空手の原点に戻るとか、そういう気持ちですか。

佐竹 やっぱりもう一回、自分自身の中に改革を起こしていかなきゃいけないんで。やっぱりね、虹の橋を架けたいですね。オーバー・ザ・レインボーということで。一応、そういう疑問だけを投げかけておきます（笑）。

──今日の左胸（の刺繍）は、なぜ「正道会」ではないんですか。

佐竹 「闘志天翔」って、やっぱりこれは僕の座右の銘なんで、今後はこれでいきます！

──他の日本人選手の中でも佐竹選手を目標にして、倒したいっていう選手は多いと思うんですが。彼らのそういう意識は感じますか。

佐竹 意識しないと言ったら嘘になりますけどね。でも、彼らは彼らのフィールドで頑張ってもらってると思うんでね。やっぱり僕らK―1第一世代が昇ってきた時とは違って、出来上がったところで闘っているんで。スポーツライク的な部分でなくて、何かもう一つ味付けをして出てきてもらいたいですね。美味しくなってもらいたいですね、僕が闘う相手として。

──その味付けって、佐竹選手から見たら、たとえばどういうものですか。

佐竹 それは何とも言えないんですけどね。僕のフィーリングに合うような……。まずは今回勝ち残ってくることでしょうね。

──次はグランプリなんですが、去年とか一昨年と違って、今年は行けるっていう手応えはありますか。

佐竹 足指を傷めて前回の試合で蹴って骨折して、さらにローキックを鍛えて今回こういう形でダメージを与えられたことで、凄い自信付いてきたんですね。空手チャンピオンだった佐竹雅昭っていうスタイルで、このK―1にチャレンジするし、いろんなところにチャレンジしていきたいなと思ってるんですけどね。やっぱり空手衣や帯は僕にとって原点であるから。

──髪を赤くされたのは？

佐竹 やっぱり燃える赤と合わせたんですけど。分からない程度にしたんですけど、分かりました？（笑）。

──最後に今回応援してくれた子供たちと全国のファンにメッセージをお願いします。

佐竹 とにかく今回、相手の脚を蹴り込んで勝つことができました。本当にみんな、応援ありがとう！　君たちもこれから挫けずに前へ向かって突き進みましょう。それからテレビを見ている皆さん、日本人が今頑張ってます。多くの日本人を応援して、世界に対抗できるようにみんなで応援してください。ニッポン、ガンバレ！

グッドリッジのコメント
しばらく経てば全員、俺の足下に倒れることになるだろうな

──まず、佐竹選手の印象をお聞かせください。

グッドリッジ 非常に強い選手で、蹴りも非常に強かったと思うよ。

──今回の参戦前に、どのようなトレーニングをやってきましたか。

グッドリッジ コーチの勧めでムエタイのトレーニングをかなり積んできて、それと並行してボクシングのスパーリングもやってきたんだ。前回のムサシとのファイトでローキックは非常に痛いということを学んだので、何よりもそれを防ぐためにディフェンスのトレーニングをしてきたんだけど。ムサシと対戦した時は彼のローキックは非常に速く感じたが、俺も経験を積んで、より多くのローキックをディフェンスできたと思う。

──ルールは違いますが、もし小川直也選手と佐竹選手を比較するとしたら、どういった比較になるんでしょうか。

グッドリッジ オガワは思っていたよりも非常に性格がいい人間だった。サタケはあまりそうではないという噂を聞いていたが、実際に闘ってみて、非常にいい選手だと思ったよ。俺の彼らに対する意見は、両方ともブッ倒したいということさ。

──今後はどんな団体で、どういうスタイルで闘っていきたいと思いますか。

グッドリッジ ファイターだから、街のケンカだろうが、ケージ・ファイトだろうが、リングの上での闘いだろうが、スタイルにはこだわらないよ。

──これから闘いたい相手とかは？

グッドリッジ 自分をファイターだと名乗る人全員と闘いたいぜ。K―1のようなタイプの格闘技では、まだ不慣れだけど、しばらく経てば全員、俺の足下に倒れることになるだろうな。

石井和義館長の総評
▼中迫はこういう敗戦があったほうが成長できる

──中迫選手にだいぶ話しかけていましたが？

石井 （中迫は）体調が悪かったらしいんですけど、体調が悪い時は悪い時なりに、ちゃんと闘えるのが「プロ」だから。

──この結果はショックですか？

石井 いえ、全然ショックじゃないですよ。天田、武蔵、中迫、あと何名か、実力的には高いですよ。ノブ選手と中迫の試合も、決して中迫は負けてないと思いますし。逆に今の中迫は、こういう敗戦があったほうが、より大きく成長できるんじゃないかな。これは強がりでもなく、そう思いますけどね。

──優勝した武蔵選手に関しては？

石井 武蔵は順当というか、キャリアを活かして、トーナメントをキッチシと勝ちにいった、と。セコンドが変わったのが大きいんじゃないかと思いますね。金泰泳、内田弥チームに変わりましたんで、「チーム武蔵」ということで、まあ金ちゃんがキチッと的確なアドバイスを与えていたような気がしますけどね。だから派手なKOはなかったんですけども、横綱相撲というか、地道に圧勝したと思います。

──準優勝はノブ・ハヤシ選手でしたが？

石井 彼の闘い方は、お客さんの心をつかむんじゃないかな。1年後、2年後が楽しみですよね。久し振りに破壊力のある、倒せる日本人が出てきた、と。ただ、技術的にはまだまだなんで、これから彼はしっかり練習して頑張ってほしい。彼が潰れるか、それとも時代を勝ち取るかということですね。ただ、1回戦、2回戦はよかったですけど、準決勝の中迫戦と決勝の武蔵戦に関してはパンチが大振りなんで、中迫選手にもジャブをもらってましたね。

──判定に関して、挨拶の時にも触れていましたが？

石井 ジャブの的確さでいえば、僕は（安部ではなく）中迫選手に軍配を上げた試合だったんです。確かに、安部選手はパンチを当ててるんですけど、アマチュアのポイントの取り方であって、ダメージがある動きではない、と。それよりも中迫選手のローキックのほうが確実にダメージを与えてました、と。で、「僅差ではありましたけど、そちらを取りました」というのが（ジャッジ）三者の意見でしたね。

──総じて今日の試合を見ていて感じたことは？

石井 全体的に感じたのは、倒せるパワーをつけなくちゃいけないということですね。やっぱり一番感動があった試合は宮本VSノブ・ハヤシの試合と、大石選手VS中迫の試合。この二つが対照的な試合でしたからね。ヘビー級の打ち合いと、気を失いかけながら前へ出て行った大石選手の精神力があったんで、この二つの試合にベストファイトをあげたいな、と。

◎総評

私が格通時代、なぜK-1は活字でも売れていたか……

文◎谷川貞治

最近、僕が一番考えることは、格通時代、K-1を活字でどうやって扱い、雑誌を売っていたかということだ。

K-1は今や「視覚的スポーツ」と言われている。

テレビでも、ライブでも、見たら興奮する格闘技。

そりゃあ、そうだ。ヘビー級とヘビー級のぶつかり合い。一発で決まるKO劇。だからこそ、K-1に勝るブラウン管格闘技はない。

しかしその反面、K-1は見たら終わり、その瞬間、瞬間を楽しむスポーツだとも言われている。だから、テレビやライブで楽しむものだが、余計な能書きはいっさいいらない世界——それがK-1の本質だと言われ始めてもいるのだ。

しかし、待てよ。初期の頃、僕は確かにK-1で部数を伸ばしてきた。

あれは一体、なんだったのだろうか。

それを今、必死に思い出しているのである。そういえば、僕はこの2~3年間、K-1とはテレビやイベントでしか、関わっていなかったのである。

それを思い出していて、大きな事実に気がついた。それは、K-1を活字で扱うということは、K-1そのものを扱うというより、石井館長という存在が、読者を刺激していたということである。

K-1の初期の頃を思い出してみよう。

K-1が最初から多くのファンを会場に導いたのは、やはり「UWF」という存在があったからだ。

UWFという運動体が、プロレス界を揺るがしている時、格闘技界でいち早く反応したのが、石井館長だった。

UWFというのは、プロレスを格闘技の方向に引っ張る運動体だった。

佐山、前田、髙田、船木といった時代の旗手たちが集まったその集団は、途中何派にも分かれたが、誰が一番早く格闘技のプロ・エンターテインメントを作り上げるか。その闘いでもあったのだ。

しかし、そこに空手界からもうひとり革命児が加わった。それが、石井館長だった。

石井館長は、プロレス界の人じゃないから、最初から格闘技スポーツをやってのける下地はあった。石井館長は空手やキックという立ち技格闘技を集めて、UWFをやろうとした。その発想と行動力の早さは、UWFのプロレスラーたちを遥かに上回っていた。

UWFがなかなか理想に辿り着けない。そこへ、石井館長が立ち技のUWF=K-1を作ってしまったのである。

しかも、そのK-1に辿り着くまでの石井館長は、本当にプロレスファンを刺激しまくった。

佐竹がキックのリングで、前田日明と闘ったドン・中矢・ニールセンに挑戦。

佐竹が猪木と伝説の試合をしたウイリー・ウィリアムスと激突。

佐竹と角田がリングスに参戦。それ以前から佐竹は前田に挑戦を表明し、石井館長は「新・空手バカ一代」を宣言した。

リングスに参戦しながら、総合格闘技のイベント「格闘技オリンピック」を開催。これには、シュートボクシングの平直行、今流行りの慧舟會の西良典、そしてあの大道塾の市原海樹もリングに上げた。

そして、K-1開催。K-1には、ピーター・アーツ、ブランコ・シカティックといったキックの強豪だけでなく、元極真空手のアンディ・フグをくどき落とした。アンディのあとには、マイケル・トンプソンやサム・グレコもやって来た。そして、極真本山が動き、今はフランシスコ・フィリォまでK-1に参戦している。

細かく挙げるとキリがないが、アルティメットで活躍した当時のパトリック・スミスやキモ、Uインターから離脱した田村潔司、そしてリングス所属の成瀬昌由、UFO小川直也に、安生洋二、長井満也といった面々も、K—1をくぐり抜けているのである。

こんな過激な仕掛けを次から次へとされたら、ファンはたまらない。だから、プロレスファンが「石井館長」という存在を気にし始めたのである。

それは、UWF以上にUWFをやりのけてしまう人物というイメージが膨らんだ。K-1に最初から観客が集まったのは、そんな理由からだ。

格通時代、僕はK-1を扱いながら、本当は石井館長の、そんな動きをことさら意識していたのだ。もちろん、闘っていたのは、佐竹であり、アンディでありながら、ファンもまたその後ろにいる石井館長を見ていた。それを、徹底的に刺激していたのである。

もちろん、プロレス・マスコミの反応も同じだった。ターザン山本さんは、週プロ時代、石井館長を徹底的にもち上げた。そのやり方は、石井館長しか視界に入っていないというやり方だった。

プロレス的に見ても、石井館長のスキャンダリズム的なやり方は刺激的で、プロレスと比較する意味で、もって来いの素材だったのである。

K-1はちょうど、アーツがベルナルドに負けた3年前あたりから、プロレスファンや格闘技ファンの手から、世間のものに移った。それは、フジテレビのイメージ戦略の結果だった。フジテレビは、K-1をメジャーで、スポーツであることを徹底的に印象づけたのである。

では、そうしたことで、K-1における活字の役割は終わったかというと、そうではない。

では、活字的にワクワクさせられるK-1とは何か？　そのポイントはやはり石井館長なのではないだろうか。

石井館長がドン・キングと会ったり、他ジャンルの大物を引っ張り出そうとすれば、やはりファンは気になる。これは決し

今日も冴え渡る 石井和義館長挨拶 in 有明コロシアム

「えー、8月22日、本日は空から大魔王が降ってくる日らしいんですけれども、何とか大魔王に負けないような試合を開催致します。本日はご来場ありがとうございます！！（場内より大拍手）　一昨年の夏のK―1ジャパントーナメントより、数えて第3回、このように盛大なトーナメントが開催できますのも、本当に皆様の応援の賜物だと心より感謝しております。また、少しずつではありますが、K―1ジャパンの選手もレベルが上がってきております。K―1グランプリともども、このK―1ジャパンを育てようと思っております。本日、ここに日本テレビさんの24時間テレビの中で、テーマは「愛は地球を救う」とありますが、選手たちの夢を賭けた、魂のぶつかり合いに、最後までご声援のほどをよろしくお願い致します。えー、最後に、トーナメントにおいて「判定」というのは非常に難しいものであります。えー、私も近くで見ておりますが、一番近くで見ているのはジャッジです。最後の試合（中迫VS安部）、僅差ではありますが、非常に難しい判断ではあります。皆様の望みがあれば、改めて試合を組みたいと思っているのでありますが（場内より大拍手）、ただ、これだけは分かってほしいのは、審判団が誰よりも近くで、そして誰よりも選手を見ているということだけは分かってください。私は審判団を信じております。最後にご声援のほど、よろしくお願いします。以上、ありがとうございましたあ!!（場内より大拍手）」

▼この日、有明コロシアムには1万370人満員札止めの観客がジャパン勢の活躍を見守った

てお世辞ではなく、何をしでかすのか分からない館長を、みんな面白がっているのだ。インターネットの書き込みを覗いても、プロレスファンからいまだに反応があるのは、石井館長くらいなものである。

僕はそのことを先日、石井館長本人にぶつけてみた。やはり、K-1ではなく、石井館長なのだ、と。特に雑誌的な意味では、それが重要なのだ、と。

考えてみれば、それは当たり前の話である。

ひとつの真理を言えば「プライド」ではなく、高田延彦が重要なのだし、UFOではなく、A・猪木や小川直也なのだ。

さらにリングスはやっぱり前田日明であるし、佐山だからこそ「掣圏道」も何かしでかしそうなのである。極真はやっぱり松井館長だと思う。

しかし、石井館長は納得しながらも反面では、こう言っていた。

「新聞記事なんか見ても、選手よりも僕の言葉が見出しになる。佐竹以外は、ほとんどそうじゃないですか。でも、本当はそれじゃあダメなんですよ。選手は僕から与えられたレールの上でただ試合をするんじゃなく、その前にひとりのプロじゃないと。もっとK-1を破壊するような強烈な個性を、選手には期待しているんですけどね」

確かに、それも納得できる話である。石井館長や、佐竹に頼らざるを得ないのは、プロの選手に面白いことを言うヤツ、面白いことをしてくれるヤツが少ないからだ。

プロの選手は、まず「個人事業主」という自覚がないといけない。

K-1には今、悪役がいない。K-1をスポーツライクに捉えすぎているのか、ルール上で強くなろうとしている選手があまりにも多すぎる。

あのゲーリー・グッドリッジでさえ、K-1の中では、いい子になってしまった。佐竹も「もう1回立ってくれれば、もう少し面白くできたのに……」と悔しがっていたが、本当に惜しい限りである。

モハメド・アリという20世紀最高の格闘家をみても分かるように、メジャーになることと、爽やかなスポーツマンになることは、全く関係のないことなのだ。

その突破口を見い出すのは、やはり日本人ファイターである。日本人が個性を発揮しない限り、K-1のリングは次の段階のステップは踏めない。それが次のK-1のテーマだろう。

たとえば今年、武蔵や中迫がK-1をあきらめて、極真の世界大会に出場すべく行動を起こしていたら、大きなイメージとなっていたはずだ。たとえ負けたとしても、数見とでも闘っていたら、プロとして2～3年はそのイメージで食っていけただろう。

その逆をやったのが、フランシスコ・フィリオである。聞くところによると、今年の極真・世界大会は、3日間通し券を先行予約発売したところ、あっという間に完売したという。それは、フィリオがK-1で活躍したことで、より極真の世界大会が面白くなったからであろう。

その意味でも、松井館長の選択は正しかったと言えるのだ。

K-1とプロ魂。

石井館長の仕掛け。

そういった刺激が、たぶん求心力のファンを作っていくのである。

石井館長は「求心力のファン」を「信者」と呼ぶ。そういえば、大山倍達も猪木も、アリも信者を作るのが、抜群にうまかった。

「信者」を一字で書くと「儲け」になる。つまり、どれだけの信者を作ることができるかで、雑誌などの売れ行きは変わってくるということだ。

そんなことを考えながら、有明コロシアムを出ると、また携帯電話を落としているのに気がついた。

「K-1スピリッツ'99」の試合レポートは、101ページに続きます

'99 10.3[日] 大阪ドーム
開場11:00/試合開始13:00
8月29日[日] 一般発売
チケットぴあ 8/29[日]特電☎06-6363-9911
8/30[月]~☎06-6363-9999
チケット・セゾン 8/29[日]特電☎0570-00-0097
8/30[月]~☎06-6232-9999
ローソンチケット 8/29[日]特電☎06-6369-6655
8/30[月]~☎06-6369-6633
(Lコード55600)
STO OOST
OF KINGS
BERNRDO
日清カップヌードル
K-1 GRAND PRIX '99
ALL 開 幕 戦 STARS
K-1オフィシャルホームページ
http://www.k-1.co.jp/
入場料金●SRS(スペシャルリングサイド)¥30,000/RS(アリーナ席)¥20,000
SS¥15,000/S ¥10,000/A¥5,000
主催●関西テレビ放送/株式会社K-1 後援●産経新聞/サンケイスポーツ/FM802 協力●フジテレビジョン
企画制作●K-1 GRANDPRIX事務局 特別協賛●日清食品 協賛●マツモトキヨシ エスエス製薬 Schick XING
お問い合わせ先●ステージア☎06-6344-4441/K-1 GRANDPRIX事務局☎03-3796-2977

K-1四天王見参!!

PETER AERTS

ERNESTO HO

ANDY HUG

MIKE BERNAR

ライバルは力道山！ なんと総合、プロレス界へ「進出宣言」

K－1プロデューサー遂に登場！ 石井和義

インタビュー◎谷川貞治

▲力道山の銅像の前で初めて撮影。これもかなりのインパクトがある

K－1GP'99の代表メンバーもほぼ出揃い、いよいよ本番に突入！ そこで、本誌になってから初めて石井館長にインタビュー。ドーム、海外、ゴールデンタイム放送と夢を実現してきた風雲児・石井館長が見つめているものとは何か？

――館長！ ズバリお聞きしたいんですけど、石井館長は今後、何になりたいんですかぁ？

石井 はぁ？

――いや、今日はK－1の話というよりも、石井館長の話をお聞きしたいんです。これから石井館長は何をやろうとしているのか？ このままK－1のコミッショナーとなってK－1を大きくしていくのか、それとも猪木さんのような政治家になろうとしているのか。あるいは、芸能界にも顔が広いので、芸能界のドンになろうとしているのか、そこが聞きたいんです。

石井 僕は何かになろうと考えてやったことってないんですけどね。たとえば、芸能界ねぇ。そういう格闘技以外のことって、なくは……ないですけどね（笑）。

――なくは、ない（笑）。

石井 でも、K－1のコミッショナーとかチェアマンというのは、なりたくないですね。よく政治家にならないかって言われることもありますけど、そういう気も正直ないですね。そうなると行動の規制も出てくるし、ちょっと何かあったら写真も撮られたりするじゃないですか（笑）。

――いやいや、すでに館長は「フライデー」に狙われていますよ（笑）。

石井 いや、いや、何を言うとるんですか（笑）。だから、僕なんか猪木さんのような人を政治家にする立場になりたい

Kazuyoshi Ishii

物事を完成させるには、K—1の対極「プロレス」や「総合」をやる必要があるんです

ですね。たとえば、佐竹とか角田を政治家にするとか（笑）。そういうのは燃えますけど、自分がなるのは興味がないですね。

——角田さんが政治家になるのは笑えるなぁ（笑）。確かに燃えますね。でも館長はK—1をゴールデンタイムでも放送したし、ドームでもやった。アメリカにも行ったし、日テレにももってっちゃったじゃないですか（笑）。だから今、一番興味のあるのは何なのかなぁ、と。アメリカなのか、ジャパンなのか、それともお金なのか、女の子のことなのか（笑）。館長の野望が聞きたかったんです。

石井　女の子は興味がありません（笑）。もちろん、アメリカでやっていくにはもっとお金も人材も必要ですし、世界中でK—1が放映されるようなスポーツにもしていきたいし、ジャパンだって始まったばかりじゃないですか。ただ、僕の年代や地位になると、ある程度付き合う層が限られてくるんだけど、僕の場合は業界の人とも付き合うし、社会的に地位のある人とも付き合っている。そうかと思えば、若い年代の人とも付き合っていますからね。それが「笑っていいとも」の花の多さでも証明されていると思うんですけどね。そういう状況から考えると、何か一つのことに興味をもつのって良くないと思うんですよ。車を集めるとか、何かを集めるとか、一つのことに熱中すると、志を忘れてしまうんで。

——あぁ、館長自身はまだ「やるべきことは全部やった」という気持ちはないんですか。

石井　そりゃあ、振り返ってみると「凄いことやってるな」と思うことはありますよ（笑）。シャワーあびたり、トイレに入って1人になって考えると（笑）。でも、それは過去のことですからね。

——ははぁ。というと、やっぱり館長は未来に向けて、まだやりたいことがあるということですね。

石井　あのー、やりたいというより、必然的にやらなければならないこと、というのはありますよね。

——それは何ですか？

石井　プロレスと総合でしょう。

——えっー　館長がプロレスや総合格闘技に乗り出すということですか？

石井　いや、冗談、冗談（笑）。まあすぐにという話ではないですけど、つまり、アマチュアの空手を広げるために、プロのK—1を広めた。今度は、そのプロのK—1が確立したことで、その対極にあるのが、総合であったりプロレスだったりするんですね。K—1というのは、ルールのあるスポーツじゃないですか。それで、ルールのない規制のないものがプロレスや総合じゃないですか。だから、必要とあらば選手を供給する意味で、K—1にプロレスや総合から選手を連れてこなければならない。あるいは、K—1からプロレスや総合に選手を出さなければいけない場合もある。物事を成し遂げるには、表裏一体というか、「対極の論理」が必要になってくるんです。そうであるならば、僕はそのプロレスや総合というものを、やらなければいけないということなんですよ。

——ほぉー。

石井　昔、猪木さんがリアルファイトの格闘技からいろんな選手をプロレスのリングに上げて闘わせてきた。それは、ルールのない世界だからできることなんです。じゃあ、ルールのないプロレスラーやバーリ・トゥードの人がルールのある世界に来て闘えるかといったら、闘えないんですよね。ええ。ということは、ルールのあるK—1というものを確立しているのであれば、ルールのないもうひとつの大きなジャンルを自分の手で確立しなければならない。それで、物事が完成し、K—1にも跳ね返ってくると思うんです。それが表裏一体ということです。だから必要というんであれば、僕は必ずそれをやらなきゃならない、ということです。

——これは爆弾発言ですね。また、館長の幻想が膨らみますね（笑）。じゃあ具体的に総合とか、プロレスをどうしようっていうのはあるんですか。

石井　それはありますよ。だって、僕は蝶野選手が今みたいになる前から、いいと言ってたくらいですからね。でも、今はまだ言う段階ではないですね。

——はぁ……。

石井　結局、ライバルは力道山ですよ。

——力道山？　どういうことですか。

石井　力道山というのは、プロレスをベースにして、プロレス専用の会場としてリキパレスを作って、ボクシングや他のスポーツにも手を広げていったじゃないですか。不動産とか、当時あまり日本に外車が来ていない時代に、海外遠征に行ったついでに外車を輸入したりして、他のビジネスにも積極的に手を広げていった。ある意味で力道山って先駆者じゃないですか。何もなかったところから、外国人を呼んでプロレスを始めて、NHKと日テレの両方でゴールデンでやったんですからね。

——ああ、なるほど。そういえば館長も力道山ですね。

石井　エディ・タウンゼントを呼んでボクシングの世界王者を日本からたくさん作ったり、カール・ゴッチを呼んで今のUWFのような流れを作ったのも力道山ですからね。だから、プロレスというジャンルから、ありとあらゆるジャンルに発展させようとした力道山のハングリーさというか、生き様は好きですね。最近、力道山の本を読んで凄く感銘を受けたんですよ。

——具体的には、力道山のどんなところに感銘を受けたんですか？

石井　もちろん実業家という部分のハングリーさも凄いと思いますけど、特に感銘を受けるのは、やっぱり彼がプロレスを日本に根付かせたというプロデュース能力と、レスラーとしてのプロ魂ですね。

——はあはあ。まず力道山のプロデュースで、館長が一番凄いと思うのはどんなところですか？

石井　いろいろな意味で力道山というのは先駆者ですから、格闘技ソフトのベースという部分では、僕がやってきたことって力道山と似ていると思うんですよ。もちろん無意識ですけど。

▲石井館長はやはり「プロレス」や「総合」にも目を向けていた！

「武道の父」が大山倍達で、「プロ格闘技の父」が力道山

――なるほど、なるほど。確かにK―1って力道山の「ワールドリーグ戦」みたいなインパクトですもんね。

石井　そうでしょ。もちろん時代も違うし、興行そのものが成熟してますから、比較することはできないですけど、考え方のベースって同じだと思うんですよ。当然リーグ戦とトーナメントというシステムが違うし、似てるって言えば猪木さんのIWGPとかプロレスの方が似てますけどね（笑）。

――でも、世界中から未知の強豪を集めて「最強」を決定しようという、発想そのものは力道山がベースにありますよね。特に最初のK―1はそんな感じがしたなぁ。

石井　だから、力道山の感性って凄く合うなと思うところがあるんです。まぁ、ハングリーさや目立ちたがり屋な部分では、僕よりも上だけどね（笑）。

――僕は館長の考え方は猪木さんの感性に近いと思っていたんですけど、そう考えてみると、館長も猪木さんもベースは力道山なんですね（笑）。

石井　そりゃあ猪木さんは力道山の弟子ですから、僕とは違って意識的にやってこられたんでしょうけど、突き詰めてみれば、力道山は日本の「プロ格闘技の父」ですからね。

――凄いなぁ、それは。館長は「武道の父」が大山倍達で「プロ格闘技の父」が力道山なんですね（笑）。お母さんは誰なんだろう（笑）。

石井　何を言ってるんですか（笑）。でも、格闘技興行の基本的エッセンスって、力道山がすべて作ったんじゃないですかね。僕らはそれをアレンジして、スケールアップしているだけのような気もするんですよ。

――確かにフォーマットは力道山でしょうね。プロレスじゃなくても、沢村忠や、かつて大山総裁がやろうとしたプロ空手も、力道山の影響っていうのは絶対あったでしょうからね。メディアでも梶原一騎なんか、力道山の影響が一番大きいんじゃないですか。

石井　たとえば、相撲の東富士っていう横綱を力道山が引っ張ってきたじゃないですか。

――はいはい。

石井　あれは僕がプロレスラーをK―1に上げたり、タイソンを引っ張り出そうと考える発想と同じですよね。

――そうですよね。館長はフィリオもK―1に上げちゃいましたからね（笑）。猪木さんの異種格闘技戦にしても、一般的に知名度のある他ジャンルの選手を自分の土俵に上げるというのは、力道山がすでにやっていることですからね。

石井　決して、そのジャンルを貶めようとしてやってるわけじゃないと思うんですよ。横綱という知名度の高い人をリングに上げることで、一般の人の目をプロレスに向けさせる。それで、「ああ、相撲も面白いけどプロレスも面白いな」と思わせることが、マーケットの拡大に繋がる合理的なやり方ですよね。

――初歩的なやり方ですよね。

石井　僕らは初歩的だと思いますけど、それは力道山が作ったフォーマットがあるから、そう思うんですよ。力道山にしてみれば、オリジナルな考え方だったんでしょう。

――なるほど〜。

石井　もちろん、相撲では横綱までいっても、プロレスではなかなかトップになれないよ、というプロレスの厳しさを見せる意味もあったでしょうけどね（笑）。

――力道山は、プロレスを日本で始めてかなり早い段階で、あの柔道王の木村政彦をリングに上げて、思いっきり潰しちゃいましたからね（笑）。

石井　力道山はそういう「強さ」も持っていたから、自分のプロデュース能力をより活かせたでしょうね。

――そういえば、館長もアルティメットが出始めの頃に、あのキモをK―1に上げて佐竹選手に潰させてるじゃないですか（笑）。

石井　確かに似てますねえ（笑）。でも、佐竹や角田というのは、正道会館が名前を売っていくのに「他流派荒らし」という他流試合の歴史があって、その先駆者なんですよね。外の空手団体にも挑戦して、リングスとかで総合もやって、キックにも挑戦して、そうして出来たのがK―1じゃないですか。

――そこらへんは大山倍達イズムなんですよね（笑）。

石井　ええ（笑）。だから、それだけの

▲石井館長は本当に「プロレス」や「総合」もやろうとしているのか？

Kazuyoshi Ishii

努力はしているんです。ただおいしいところを取って行くみたいに思われたくはないですよ。相手を自分のリングに上げるというのは「政治力」だと思うんですよ。僕はその「政治力」が備わってなかった頃は、純粋に選手の強さ、つまり「身体力」で闘ってきたわけですよ。力道山もその「身体力」と「政治力」を兼ね備えたからこそ、木村政彦戦のような試合ができたということでしょう。

――K―1はすでに「政治力」も身につけた、ということですね。

石井　でもプロデュースのアイディアがなければ、その「政治力」を使う機会がないですからね。それに選手の「身体力」もなければ、結果的に実は得られないんです。

――結局、力道山のフォーマットがあっても、その「身体力」と「政治力」を兼ね備えていなければ、実践はできないということですね。

石井　力道山が亡くなってから、そのフォーマットを実践できたのは、猪木さんと僕だけじゃないですか。だから僕は猪木さんに似ていると言われるんでしょうけど。でも、猪木さんも力道山から学んでるんですよ。だから、（ターザン）山本さんなんかは「館長はプロレスから多くのことを学んだ」って言うけど、確かにプロレスですけど、僕は力道山から学んでるんです（笑）。

――いやあ、館長は「平成の力道山」になりたかったんですか（笑）。

石井　なりたいじゃなくて、越えないとダメですよ（笑）。

――館長はもう力道山が亡くなった年齢を越えてますからね（笑）。

石井　そうか（笑）。がんばります。

――今のお話以外にも、力道山のフォーマットっていっぱいありますよね。

石井　ありますね。

――たとえば他にどんなのがあります？

石井　第一は日本人が勝つことですよ。もちろん敗戦直後という時代背景もありましたけど、日本人が勝つというのは根本的にファンが感情移入しやすいですからね。そういう意味じゃあ、K―1ももっと日本人を強くしていかなきゃいけないですよね。そのためのK―1ジャパンなんですよ。

――なるほど。外国人選手のキャラクター作りも、力道山はうまかったですよね。

石井　そうですね。それも海外からの情報が少ない時代だからこそ、という部分もあったでしょうけど。ただ、そういう意味では今のK―1は凄いと思いますよ。大手の広告代理店がリサーチしたらしいんですけど、今の日本人の知っている外国人で一番有名なのが、アンディ・フグやピーター・アーツだと言うんですよ。確かにアメリカの大統領を知らない子供はいても、アンディやアーツ、ベルナルドって知ってるからね。僕らの子供の頃って、力道山がプロレスをそういうふうにしていたんですよ。シャープ兄弟とかブラッシーとかルー・テーズとかジエス・オルテガとかキングコングとか、当時の子供たちはみんな知ってましたからね。今のプロレスラーでみんなが知っている外国人っていないでしょう。

――確かに、ゴールドバーグとか知らないでしょうね。僕もよく知らないんですけど（笑）。

石井　そういう部分では、K―1もかなり力道山に肉薄したと思いますよ。

――そうですね。それと、館長が感銘を受けた力道山のプロ魂というのは、どういうところですか？

石井　たとえば、力道山の場合、自分が朝鮮人だという国籍の問題やプロレスが八百長だと言われることに対し、常に反発し怖い自分を演じていたでしょう。人前でレスラーにコップを食わせたり、猪木さんを靴ベラでひっぱたいたりしていたそうじゃないですか。

――大木金太郎なんて、ゴルフクラブで頭殴られてたらしいですよ（笑）。

石井　それは凄いなあ（笑）。結局、地方の興行でヤクザ者にナメられないようにいつも怖い自分を作っていて、弟子をメチャクチャいじめてたそうですよ。そこらへんは徹底してたみたいですね。

――それは大山倍達の試し割りにも通じるところがありますね。

石井　ええ、やっぱり大山総裁と力道山は似てますよね。力道山もフォーマットの中に「超人追求」がありましたからね。グレート・アントニオにバスを引っ張らせたり（笑）。猪木さんの話だと、銀座の飲み屋に行くと弟子にボトルを何本も一気飲みさせたらしいですからね。「プロレスラーは超人だ」っていう思想を一般世間に植え付けてたんでしょうね。

――でも、力道山みたいな人に育てられたから、猪木さんや馬場さんみたいな超人的スーパースターが生まれたんだと思いますよ。

石井　そうですね。それにしても力道山って、あの時代の大相撲という厳しい社会で、チョン髷してインディアンというハーレーのようなバイクに乗って国技館まで行ったというのは、根っからの目立ちたがり屋ですよね。

――着てる洋服もメチャクチャカッコいいんですよ。

石井　いつもファンの目を気にしているプロ意識なんでしょうね。K―1にもそういう選手を作らないと。

――ああ、いいですね。館長もハーレーに乗って東京ドームに行けばいいじゃないですか。あ、館長の場合はフェラーリか。かっこいいなぁ。

石井　何を言ってるんですか（笑）。でも、どうせなら、オープンカーのほうがいいでしょう（笑）。

――さすが、館長。その時はぜひ、僕を助手席に乗せてくださ〜い。

石井　そんなあか抜けない力道山でいいんですか？（笑）。さあ、谷川さん、これから力道山のお墓参りに行きましょう！

――えっ！　これからですか？

石井　そう！　今日の写真はそこで撮影しましょう！

――んあーっ！　■

人前で必ず怖い自分を演出していた力道山のプロ魂がK―1にも必要

▲力道山のお墓にお参りする石井館長

散打は果たしてK-1で通用するのか？

この6月に、プロデュース組織『チーム・ドラゴン』が発足され、同時にキックボクサーとして復帰宣言も行った前田憲作。8・22『K－1スピリッツ99』での復帰が決定した前田は、同大会に参戦する散打チームのコーチとして中国を訪れていた。未知の強さを秘めた散打軍団について、そして2年ぶりの試合を迎える自分自身の心境について。大会を直前に控えた前田に語ってもらった。

（構成◎橋本宗洋）

▲左から小比類巻貴之、散打からK－1に参戦する滕軍、チャーン・トレーナー、前田憲作。この4人で、K－1へ向けての練習を行った

【チーム・ドラゴン】

復帰を決意したのは、『チーム・ドラゴン』を作ったことが大きな理由ですね。試合をしていない間、いろいろな映画に出演したんですけど、やっぱり目標にしているブルース・リーのように、格闘家とアクション俳優の両面で活躍したいっていう気持ちが強くて。『チーム・ドラゴン』は自分の組織ですから、好きなことをどんどん追求していきたいんです。

それに、キックに対してまだケジメをつけてない、完全燃焼してないっていう気持ちもありました。あんな形（97年11月に行われた『K―1ジャパンフェザー級グランプリ』一回戦で、当時SBの村浜武洋に判定負け）では終われないですからね。それで、復帰宣言をして最初に話を頂いたのがK―1だったんです。

K―1は世界を相手に闘えるこれ以上ない大舞台ですし、しかも今回の大会はヘビー級に混じって、軽量級は僕の試合だけ。目立つチャンスじゃないですか（笑）。こんないいチャンスはないと思って、すぐに出場を決めました。

【散打チームのコーチ】

試合が決まってから、K―1から散打のコーチとして、自分の練習も兼ねて中国に行ってみないかという話があったんです。こんな機会はなかなかないですからね。いい話だと思って引き受けました。

中国へ行っていたのは、8月1日から10日までの10日間です。場所は上海にある青浦という町で、日本から参加したのは僕とコヒ（J―NETWORKの小比類巻貴之）、それと今回、僕のトレーナーをやってくれているチャーン（これまで多くの王者を育てた、タイの名トレーナー）もタイから来てくれました。この3人が、『チーム・ドラゴン』として散打の選手を指導しました。着いて2日目から練習を始めたんですけど、まずは散打の動きを見せてもらって、それを活かす形でK―1のスタイルへの対処方を教えていきました。

やっぱり、同じ打撃系の格闘技とはいえルールが違いますから、最初は大変でしたね。まず、散打では投げると大きなポイントになるので、どうしても投げを使ってしまうんですよ。そこを矯正しないといけなかった。それとローキックの防御。キックやK―1はローが多いですし、特にトーナメントではダメージが蓄積しますから、しっかりカットしないと。

でも、教えている10日間で、かなり良くなっていきましたよ。とにかくやる気が凄くて、あっという間に吸収していく。それに、今回、僕はK―1に出場する滕軍と、コヒ、チャーンの4人でチームを作って練習していたんですけど、周りで散打だけの練習をしているはずの選手たちも、僕たちの練習方法をすぐに取り入れ

散打選手のパンチで、タイのベテラントレーナーの腕が腫れた!?

▼前田がグローブを着けるのを手伝う滕軍。チーム・ドラゴンと散打の選手たちは、言葉の壁を越えて交流を深めていった

▲滕軍以外にも、何十人もの選手が練習を行っていた。彼ら中国のスポーツエリートが、今、本気でK－1に取り組もうとしている

▲散打のスパーリング風景。散打の試合はこのような舞台が試合場となる。ここから落としても、ポイントになるのだ

▼練習終了後に記念撮影。「責任は重かったですけど、いい仕事ができたと思います」（前田）

◀復帰戦へ向け、前田は自らのトレーニングも十分にこなせたという

前田、タイ・スタイルに加えてジークンドーのテクニックもマスター！

るんです。僕たちがスパーリングをやればスパーリングを始めるっていう感じで。これから散打の選手はK－1にどんどん出てくると思うんですけど、かなりK－1参戦に対して本気で取り組んでいるんだなっていうのが分かりました。

しかも、そのK－1に対して本気になっている選手たちっていうのが、レベルの高い選手ばかりなんです。国を挙げてバックアップしている競技の、トップクラスの選手ですからね。みんな体は出来てるし、足腰は強いし、力もある。特にパンチが重いですね。滕軍のパンチを受けて、ミットを持っていたチャーンの腕が腫れちゃうくらいですから。それと、スタミナもあります。今回のトーナメントも、3分2Rか3R、ずっと攻めていれば自然に勝ちになりますからね。それができるだけのスタミナは十分ありますから。かなり期待してもいいと思います。

この青浦という所は、体育館のある競技場の他には何にもないような町なんですよ。遊ぶ所もないし。毎日合宿をやっているようなものですよね。それは強くなりますよ。しかも、一日3回、朝昼晩と練習するんです。僕ももちろん朝昼晩ビッシリ練習しました。毎日クタクタで、練習以外ではほとんどホテルから外に出ませんでした。

でも、その甲斐がありました。僕たちの教えることを熱心に聞いてくれたし、最後には「チーム・ドラゴンは中国の仲間だ」って言ってもらえて。こんなに嬉しいことはないですよね。

俳優業の面でも収穫がありました。中国の武術協会の副会長さんに自分のプロフィールと、出演した映画のアクションシーンを集めたビデオを渡したんですよ。映画のプロデューサーとも親交がある方なので、どうなるか楽しみです。

【復帰戦に向けて】

久々の試合なので、最初は不安でした。でも、チャーンと合流してからは、それも吹っ飛びましたね。チャーンは僕のことを昔からよく知ってるし、僕もチャーンを100％信頼してる。チャーンと練習していれば、キッチリ仕上げてくれるっていう安心感がありますね。それと、ジークンドーも学んでましたから、その技術も試合で見せたいなと思ってます。以前とは、かなり違ったスタイルになりますから、楽しみにして下さい。

【今後】

まだ、今回の試合が終わってみないとなんとも言えないですね。どこで練習するかも決まってない。「チーム・ドラゴン」のジムがあれば一番いいんですけど。でも、まったく問題ないです。だって、僕は元々中央高速の下でキックを始めたんですよ（以前、前田が所属していたジム・SVGは、高架下で練習を行っていた）。いざとなったら、チャーンと二人で公園で練習しますよ。グローブとミットさえあって、チャーンがいれば、なんにも怖いものはないですから。それから、また中国に行ってみたいですね。散打の人たちともっと練習したいし、それにカンフー映画を見て育った人間としては、一度は少林寺に行かないと（笑）。

フランス「KARATE・BUSHIDO」誌提携

SRS・DX

スペシャル・リング・ガイド

No.5 9・9号

CONTENTS

表紙デザイン◎小幡浩史

格闘家の「プロ意識」

――緊急大熱唱――

SRS・DXサスペンス

カラオケボックス・マウント事件②

乱闘事件をリカバリーするプロの大放談!! 『貞』も負けじとオムライスのリベンジについに立ち上がる!?

出席者◎プロレス・格闘技マスコミのあきれた「三本の矢」
ターザン山本＝「ダンディー」のプロ
サダハルンバ谷川＝「オムライス」のプロ
"Show"大谷泰顕＝「ブルース・ハープ」のアマチュア
司会◎柳沢忠之（本誌発行人）

谷川　ストップ、ストップ！　ドント・ムーブ！　ちょっと二人を離して。

――Ｓｈｏｗ、離せ！

山本　離せー！　コラァ！

――Ｓｈｏｗ、お前、店のもの破壊しちゃったらダメだろう！

大谷　オレじゃないよ！　山本さんが仕掛けてきたんだもん！

山本　うぅぅうう、はなせぇ～。

大谷　じゃあ、話し合いましょうよ！　山本さんが先にやってきたんだから。

谷川　と、と、と、とりあえず僕の上からどいてくれない？　ちょっと。

――Ｓｈｏｗ、離れろ！

〈ここでやっと両者ブレーク〉

山本　ゼー、ゼー、ふ、ふざけるなぁ！　俺のどこがアマチュアなんだ。俺のほうがプロじゃねえか！　世間の皆さまに聞いてみろぉ、コラァ！　ターザン山本とお前のどっちがプロだと言うんだよぉ！

大谷　ふざけんな、バカヤロー！　東京のバカヤロー！　今日はハーモニカもなしだ！〈と捨てゼリフを残し、突如Ｓｈｏｗが退席〉

山本　クッソ～、どっちがプロなんだ、世の中に聞いてみろぉ！

――あ～あ。

谷川　大丈夫ですか、山本さん？

山本　そりゃあ、俺だって怒るよ！　なんで俺がアマチュアなんだよ！

――いや、Ｓｈｏｗはアマチュア以下だって言ってました（笑）。

山本　俺はプロ中のプロじゃねえか！

谷川　そ、そりゃあ、そうです。もったいないなあ、僕のオムライス。まだほとんど食べてなかったのに。

山本　あそこで怒らなかったらバカだよぉ！

――何か割れた？

谷川　いや、割れてはいないけど僕のオムライスが……。しょうがないなぁ、Ｓｈｏｗは。

山本　言葉には言葉で反撃してこいよなぁ。落ちぶれたとかアマチュアだとか。この俺様のどこがアマさんだよぉ。

――「闘技者」ならではの行動でしたね（笑）。

山本　あいつもバカだよなぁ、全部食ってから帰ればいいのにさぁ。

谷川　ホントに帰っちゃったの？

――帰っちゃったみたいだよ（笑）。カメラマンさん、ちゃんと撮った？

カメラマン　いやぁ、冗談でやってるのかなぁと思ったんですけど、飛びかかっていったから「ここだっ！」と思って。最高の瞬間、撮りました（笑）。

山本　これこそ最高のプロフェッショナルですよぉ！　冗談じゃないよぉ！　俺はどこに行っても暴れるっていう伝説があるんだからぁ。Ｓｈｏｗも上になったんだから殴ってくればいいのにな、抑えただけだよ、アイツ。人がいいなぁ。

谷川　ちぇっ、僕のオムライス。Ｓｈｏｗのヤツ、ほとんど食っていかなかったからもらっちゃおうっと。

山本　ところでどうなるんだ、この座談会は？

――続けますよ。ノー問題です。脱落者が約1名いますけど（笑）。

山本　俺は今年で53歳だよぉ（笑）。ダメな男だねえ、アイツは。このプロフェッショナルな舞台から降りていくなんて、とんでもないバカだ（笑）。面白いのはこれからなのに。

俺のどこがアマチュアなんだぁ！俺はプロ中のプロじゃねえか！

谷川　じゃあ、気を取り直して続けたいと思います。あの―、僕の小川のインタビューはなぜ良かったんですか？

山本　なんで、お前の話なんだ！

谷川　い、いや、僕じゃなくて小川選手の話なんですよ（笑）。山本さんに誉められたことなんて初めてなんで、ちょっと嬉しかったんですけど（笑）。

山本　と・に・か・く、小川は言いたいことを言ってるんですよぉ！　お前とは正反対ですよぉ。谷川ぁ！　お前は小川にインタビューしたんだから、言いたいことを言うってことを学べぇ！　何を小川から学んできたんだ！

谷川　飛行機ポーズです（笑）。具体的には小川の何が良かったんですか？

山本　具体的には憶えてないけど、とにかくよ〜するにプロレスに対する自信と、プロレスに対する打ち込み方とか、プロレスに対する信頼感とか、そういうことが前座を経験してないのにあそこまでなったということ自体が不思議だよぉ。普通は前座を経験して、道場でいじめられて、そういう時間を通してプロレスラーという習性を身につけるわけでしょ。そういう習性を身につける時間がないのに、ああいうふうにプロレスを堂々と語れるというのは、一大事件だよ、あれ。習性を身につけてきてるのにプロレスを語れない人が多いでしょ。だからなぜ、大仁田があぁいうことをやるかというと、プロレスの習性そのものだからなんですよぉ！　それ以上、それ以下でもないけども、習性が丸出しに露出してるから大仁田は評価されてるわけでしょ。

谷川　なるほどぉ、勉強になるなぁ。格闘家はインタビューしても、面白いことを言う選手は少ないんですよね。

山本　それは過剰なものに対して、慣れてないというか、そう育ってないんだよ。過剰なものというのは、そこにお客がいるとかファンがいるとかマスコミがいるということも含まれてるんだよぉ。それを意識した時に自ら過剰なものになっていくんだから。格闘家は自分と対決する人だけを意識してるでしょ。あれはモノローグの世界だから、過剰になりようがないんだよぉ。観客が一人しかいないんだから、対戦相手という。

――山本さん、エンセンはどうなの？

山本　エンセンはぁ、近いんだよぉ、プロレスとか過剰なものに。

――リングでも過剰さを見せたがるじゃないですか。

山本　見せたがる！　過剰を一つの自分の自意識として。ただ、あれはプロレスラーに近いんだよなぁ。あのスタイルのほうが、プロレス的に見えるんだよぉ。

谷川　山本さん、他に格闘家で興味ある人はいないですか？

山本　ヒクソンは格闘家さんだけれども、本当に過剰なものを見せようとしてるよね。そこに付加価値が生まれてきて、俺たちにヒクソン幻想ができたわけ。あれは自分で過剰なものを発散してるから。

――ただ、ヒクソンがいい例だけど、格闘家は極力試合をしないっていう過剰さに今動こうとしてるじゃないですか。それがね、やっぱりプロレスとの大きな差ですよね。

山本　ああ、そうだなぁ。

――見せてナンボがプロなのに、「試合をしない」というシステムが「強い」という幻想を守れる、という構造が分かっちゃったわけですよね。

谷川　ヒクソンが謎解きになっちゃったよね、ホントに宮本武蔵みたいな感じで。

――試合をやらなければやらないほど幻想が膨らむ、っていうかね。もちろん超一流の幻想がなければ、忘れ去られるだけなんだけど。

山本　だからそこにもね、大きなヒントがあって、格闘家とプロレスラー、格闘家と猪木という比較をしたら分かるわけね。格闘家はやっぱりさぁ、リカバリーする材料というか、世界がないんだよねぇ。だから一回試合をしたら答えがハッキリしてさぁ。それは永久結論みたいなものでしょ。プロレスの世界は、いつでもリカバリーできるという安心感と大胆さがあるから、猪木のようにいつでも試合に出ていけるんですよぉ。この「リカバリー」というものがあるかないかというのが大きな分かれ道で、プロレスには「リカバリー」が過剰にあるんだよぉ！　格闘家には全然リカバリーできるものがないわけよ。だから、試合に出ない、闘わないようにすることによって神話を作るしかないっていうこと。宮本武蔵が一番始めにやってたことはそうでしょ。負けない神話というか。

――プロレスはリカバリー精神ですね。

山本　猪木は何をやっても失敗しても、すぐにリカバリーできるんだという構造を知ってたよ、頭で。だから、どんなところでも出ていくじゃない。ソ連に行ったりとか、中国に行ったりとかさぁ、グレート・アントニオと闘ったりさぁ、釘板マッチやったりとかさぁ、もうメチャクチャじゃない。

――それはリカバリーのエクスタシーを知っているからでしょうね。

山本　リカバリーが物凄い安心感とパワ

ーを与えてるわけですよぉ。それがエクスタシーになるんですよぉ！　だから、リカバリーがないわけよ、格闘家には。そういう意味ではあの人たちは本当に気の毒だよぉ。

——でも、リカバリーの精神というものを、プロデューサーとして石井館長が「リベンジ」っていう言葉にしたけど……。

山本　そうそう。「引き算の思想」を「足し算」に変えたんだよねぇ。プロレスには「足し算の思想」が物凄く山ほどあるからさぁ。格闘家というのはホントに引き算の概念しか頭にないんだから。ヒクソンなんかその典型でしょ。年に一回やるか、3年に一回くらいしか試合しないじゃない。怖いから。

——そういう意味で、ヒクソンは面白いことを言ってましたよ。2回目に髙田と闘う時に、「ファンは髙田の成長の過程なんか見たくないはずだ」って。でも、大間違いでしょ。見たいに決まってるんですよ、リカバリーの思想があるんだから（笑）。

山本　そうでしょ。だから、俺たちに言わせたら見たいに決まってるでしょ。成長して、どうやって勝つとか、勝たないとか、どこまでできるのかという、そういう過程を拾ってきてるわけ。よ～するに修行する時間をね。

——そこがポイントですよね。でも、K—1の「リベンジ」の思想みたいなものが、今のファンには今一つ盛り上がっていない気がするんですよ。

山本　うん。

——それはマスコミの伝え方が悪いんですか？　それとも今の格闘技を観に来る人たちにそういう概念がないのかな。

山本　ない。

——ダハハハハハッ！

「リカバリー」が物凄い安心感とパワーを与えてるわけですよぉ！

山本　そういうこと自体がめんどくさいもん。「リベンジ」とか「復讐」とか「仕返しをする」ということが。よ～するに、記憶に置き止めて、その記憶を持続させてはじめて成り立つことでしょ。その記憶させる装置とか、その記憶を持続させる装置がめんどくさいの。「リベンジ」というのは記憶の装置があって持続させないと成り立たないでしょ。物凄いパワーが要るよ。選手本人もパワーが要るし、観る方もシミュレーションをやらなきゃいけないでしょ。これほどめんどくさいことないよ。でも、プロレスファンはその記憶的快楽を感じるのが得意だったの、昭和のプロレスファンは。俺はプロレスの快楽は、「視覚的快楽」「思考的快楽」「記憶的快楽」だと言った。

——やっぱり3つなんだよなあ（笑）。

山本　それで、昭和のプロレスファンはその3つを持ってたの、猪木のプロレスによって。平成のプロレスファンは「視覚的快楽」しかないわけ。「思考的快楽」と「記憶的快楽」が要らなくなったわけ。これが昭和と平成の一番の断層の違いなんですよぉ。だからそうなると、「視覚的快楽」だけで訴えるK—1は正しいし、新日本プロレスの路線も正しいわけ。

——なるほど。

山本　俺たちの活字プロレスは3つの快楽を追求してたわけ。で、そういうものを支えるファンがいたわけよ。

——まさしく極真はその3つを持ってるんですよ。

山本　持ってるでしょ。3拍子揃ってるでしょ。

——これが大山倍達の天才性ですね。

山本　アンディがかつて世界大会でフィリオに負けたとか、そういう記憶でしょ。

——だから、「リベンジ」っていう考え方を出す時点で、石井館長は記憶的なエクスタシーを感じる力を持ってる人だと思うんですよ。

山本　それは持ってる。記憶がよ～するにエロスというか色気になることが分かってるわけよ。「これは求心力として重要なポイントだ」と。でも、本当は必要としてないんだよなぁ。マスコミ向けには必要ですよぉ。マスコミというか、雑誌には求心力がなければいけないから。でも、映像的には必要ないわけよ。

映像的には必要ないのか。

山本　映像的には「視覚的快楽」だけでいいわけ。パッと観てパッと反応するだけだから。そういう区分けがあるということが、分かってきたというか、俺たちには。でも、これは昭和のプロレスを通ってきたからはじめて分かることでさぁ。

——でも、映像っていってもスポーツという部類で考えた時に、野球だって相撲だってみんな記憶があるじゃないですか。記憶的快楽が。

山本　うん。

——だから、K—1はフジテレビや日テレが力を入れて「視覚的快楽」に重点を置いているとしても、特に継続的なファンを必要とする興行論としては、記憶的な快楽も大切なファクターでしょう。

山本　うん。それを大切にしていくと、記憶的快楽によってそのジャンルは成熟の過程を踏んでいくんだよねぇ。成熟するかどうかなんだよぉ、それは。記憶が入るとはじめて成熟の過程を踏んでいくわけね、ファンもマスコミもファイターも。だから、昭和のプロレスの3つの快楽っていうのを格闘技側にも持っていかなきゃいけないんですよぉ！　持っていったら面白くなるんだよぉ、俄然。

——それはどうしたらいいんですか？　ねえ、教えて、ターザン（笑）。

山本　地道な努力しかないんだよねぇ。

「時間」という概念を腐らしている。「時間」を活かせというんですよぉ！

――ダハハハハッ！

谷川 いやね、たぶんね……。

山本 なんだ？ また後付けか？

谷川 んぁ～！ いや、K－1の「リベンジ」が中途半端すぎるのかなぁ。

山本 おい、谷川。お前、今日初めて言いたいこと言ったな。うん、中途半端すぎる。

谷川 「リベンジ」になっていない「リベンジ」というか。溜めがないというか。「なんで？」っていう「リベンジ」が多いでしょ。たとえばアンディとベルナルドにしても、アーツとフィリォにしても、すぐにやったほうがいいとか、溜めたほうがいいとか、そういうタイミングが問題なんじゃないですかね。

山本 うん。だからよ～するに、「リベンジ」がなぜ成立するかといったら、大きな精神的ダメージとか後遺症とか、心の傷ね、それがあってはじめて「リベンジ」が生まれるんだから。その傷とか後遺症とか精神的ダメージとかが明確に出てこないことには、「リベンジ」という言葉は活きないよね。

谷川 たとえば、アンディがフィリォにぶっ飛ばされて凄くショックだったんだけど、時間の流れが早くてアンディがフィリォにぶっ飛ばされたこと自体を忘れようっていうムードが急に流れたりとか。

――それに、そのリベンジまでの間に別のテーマの試合がありすぎるんだよね。

谷川 そこが問題なんでしょ、たぶん。

――あのたった一発で負けたアンディが、一年間山籠もりでもして帰ってきたら、もう拍手喝采なんですけどね（笑）。

山本 それは昔の日本的な時代劇のドラマそのままだな（笑）。

谷川 そういうことだったらホントに喜ぶでしょう、今のファンでも。

――プロレスじゃ、スター選手を一年間休ませるってことはできないだろうけど、格闘技だったら高田VSヒクソンみたいに一年間寝かせることができるわけですからね。

山本 その、「消える」ということができないんだよなぁ。

――格闘技のように少ない興行数だったら、我慢して消えればいいじゃないかと思いますけどね。それは一つのヒントですよ。格闘技にとっては「消える」ことが大事だということが。

山本 それと大きな精神的な傷、後遺症、ダメージ。そういうものをアピールするというかさぁ。もちろん、本人もそう思わなきゃダメだよ、うん。

――だから、エンセンとかヒクソンは、試合をしないっていう方向性の中で、もっと突き詰めて「消える」っていう作業をしないとダメなんだよね。

山本 そうそうそう。

谷川 だから、消え方が悪いんだよ。緻密じゃないんだよ、そのへんが。だから、すっかり忘れちゃうんですよ。忘れさせる構造もあるんですよ。だって、「アンディ強いじゃん！」って思ってて、フィリォに一発でぶっ飛ばされた衝撃なんか、今は誰も憶えてないですからね。

山本 今年さ、フィリォにホーストがやられたでしょ。あれなんかホントは大事件なんだよなぁ。

谷川 大事件ですよ。それで、本当はホーストの復活戦はフィリォしか考えられないんだけど、ホースト自身が軽い相手にしてほしいということでイゴール・ボブチャンチンになって、それでホーストが勝って……。

山本 それはドラマにならないよねぇ。もっとフィリォに負けた時のあのダメージを大きく、過剰にして、次はフィリォとしか試合をしないというくらいに消えたら、俄然大ドラマになるんですよぉ！ それはワンマッチで東京ドームをできるくらいにしないといけないんだよなぁ。そういうドラマにしないと。

――それが今、格闘技に一番足りないところですよ。

谷川 だから、ホースト自身が自分の輝き方を間違えているんですよ。

山本 俺から言わせたら、「時間」という概念を腐らしているんだよなぁ！

谷川 その通りですよ。

山本 「時間」というのが一番重要なんだよ、人間にとって。やられて負けたということが、「時間」としては活きるんだよ。その「時間」を活かせというんですよぉぉぉ！

――そうそう、その通り。だから、それこそ記憶っていう「時間軸」が一番大切なんですよ。

山本 時間軸に対する意識が、希薄というかさぁ、プロ意識に欠けてるよぉ。

――人の記憶と、そこから伝播する幻想が商売になるんですよね。「スター・ウォーズ」なんか凄いじゃないですか。だって、巨人なんかいまだに長嶋茂雄で食ってるんですよ（笑）。

山本 それは、長嶋という人が生きた時間が、永久の価値観として消耗されてないんだよねぇ。やっぱり記憶が一番の財産なんだよぉ。

谷川 マスコミも記憶を大事にしなきゃいけないんだけど……。

――入れたらすぐ出すくせに（笑）。

谷川 格闘技の人たちは、そこが本当にできないから、マスコミも中途半端になっちゃうんだよねえ。いつの間にかアン

俺たちは「ダンディー」ですよぉ。人生はそうあるべきだと思わないか？

ディ・フグが極真の選手だったことや、K－1で負け続けて這い上がってきたことを忘れちゃってるんだよね。そこをマスコミや選手自身がしっかり意識していれば、だいぶ変わるんですけどね。

――でも、今はそれを排除するっていうか、「そんなことじゃ今の時代は商売にならない」っていう風潮もあるわけでしょ。

山本　シューティングなんか青山のTシャツ屋とタイアップして、若い女の子とさぁ、茶髪の人とかが会場に来てるわけでしょ。もう驚くよ！　技術的野次はゼロですよぉ。

――いやあ、我々がオヤジなんですかねえ。もう全然ダメなんですかねえ。

谷川　でも、普通に見れば、時間とか記憶とかで見るじゃない、物って。

山本　いや、そうなのよ。

谷川　記憶を財産にしないで試合を見に行く方がよっぽど異常だと思うよ、2万円も3万円も出してさ。

山本　やっぱり、一番分かりやすい言葉で言うと、僕たちの「記憶」というのは賞味期限のない世界なんだよぉ。でも今の時代はコンビニに行くとさぁ、賞味期限1日とか2日とかおにぎりに書いてあるでしょ。つまりよ～するに、賞味期限30分とか1時間とか3時間くらいの世界を作っちゃってるんだよねぇ、とくに新日本プロレスは。

　ダハハハハッ！

山本　俺たちは賞味期限不滅の世界だもん。

――永久保存可の世界ですか（笑）。

山本　そうだよぉ！　猪木VSストロング小林を観てこんなになっちゃってんだから。もう賞味期限が何年続いてんだよぉ。死ぬまで賞味期限が切れないって、凄いよこれは。賞味無期限ですよぉぉぉぉー

――宇宙食じゃないんだから（笑）。

山本　今のファンたちは賞味期限という枠の中で楽しんでるわけでしょ。要するにディズニーランドに行って、一日楽しんで帰ってきて寝たら終わり。賞味期限エンターテインメントというかさぁ。

――でも、時代がそうだとしたら、マーケットもそういうエンターテインメントを求めてるんじゃないですか？

山本　そういうことです！

――じゃあ、やっぱり今話してることなんか無駄なことじゃないですか（笑）。

山本　いや、全然無駄なことじゃないね。

――無駄なことじゃない？　なんで？

山本　こういうことを敢えて言うことが、よ～するに我々が「ダンディー」だということですよぉ。

――だ、だ、ダンディー！（笑）。

山本　俺たちは「ダンディー」ですよぉ、人生が。人生はそうあるべきだと思わないか？

――ダンディズム（笑）。ちゃんと自分の人生をデザインしてるわけですね。

山本　そうそう、ちゃんと贅沢な世界を俺たちは生きようとしてるわけだよぉ。

――それこそ格闘芸術ですね。格闘芸術はダンディーだったんだ。

山本　すべてにおいてダンディーですよぉ。

――素晴らしい結論だなあ（笑）。Ｓｈｏｗには永久に理解できないでしょう！

谷川　まあね、一生分からないでしょうね。あれ？　外からハーモニカの音が聞こえない？

――Ｓｈｏｗが悔しまぎれに長渕でも吹いてんじゃないの？（笑）。

山本　ほっとけ！　ああ、疲れたよ今日は。暴れたし。こんなんでまとまるのか、今回の座談会は。

谷川　いやあ、もうバッチリです。

山本　そうかぁ？　じゃあ、もうそろそろ歌っていいか。

谷川　もうジャンジャン歌ってください。

山本　谷川はオムライス食ったのか？

谷川　ええ、Ｓｈｏｗが残していったのをしっかり食べました。

山本　じゃあ歌うぞ！　谷川ぁ！　『瀬戸の花嫁』入れてくれぇ！

谷川　『瀬戸の花嫁』、入れさせていただきま～す！

山本　谷川ぁ！　お前も歌え！　デュエットするぞぉ！

谷川　んあぁぁぁぁぁぁーっ！

山本　♪せとぅわぁ～　ひぐれてぇ～　ゆうなぁ～み　こぉ～なぁ～みぃ～■

一方、立ち去ったShowは……。

俺は別に何もしてないじゃん。自分の身を守っただけ。仕掛けてきたことに対処しただけなんだから。もちろん、自分も傷ひとつないけど、山本さんだって傷つけてないはず。ただ、あのまま暴れたら、チョークで絞め落としていたかもしれないよ。だいたい、そっちこそ言語化につまって暴力に訴えるアングルは全然笑えないよ。「言いたいことを言え」と言うから正直に言っただけなのに。あ～あ、あのオムライス、三分の一しか食ってないよお。それとさあ、だいたい山本さんの言ってることは当たり前のことばっかりじゃん！　みんなが「その通り」とうなずくのは当然でしょう。もともと第一線から落ちぶれて、ほとんど今も「現場」にいないんだから、そんな人間が「プロ意識」を語るなんて到底ムリなんだよ。でさ、最後に言うけど、もう呼ばれたら、どこにでもノコノコ出てくる癖は直したほうがいいよ。そりゃあ、みんなにシカトされて寂しいのは分かるけど、1年なり2年、ひっそり業界から身を引けば、帰ってきた時に「未知の強豪」になれる素質はあるんだから。「寝かせる期間を置け」って親切に言ってやってるんだから、そのくらい気づけよな。せっかくの忠告を聞かないと、今度こそ本当に絞め落とす!!　ただ、「瀬戸の花嫁」は聞きたかったね（笑）。クッソ～、悔しいから部屋の前で長渕の「巡恋歌」を吹いてやる！　これでも食らえっ!!

郵便為替（かわせ）が安くて便利です。詳しい事は郵便局でおたずね下さい。（為替用紙＋商品メモを必ず同封して下さい）

カンフーシューズ
中国武術やトレーニングに最適。

サイズ：25、26、27cm
色：黒 ¥1,500

死亡遊戯 マーシャルアーツシューズ

映画「死亡遊戯」でブルース・リーがはいていたシューズを忠実に再現!!
サイズ：25、26、27cm
色：黄色地の黒線 ¥6,800

武闘扇子
古来中国で隠し武器の1つとして使われてきた扇子が入荷しました。

アルミ製と鉄製はずっしりとした感触です
竹（重さ：100g）¥1,500
アルミ(170g)、鉄(450g)（各ケース付）各 ¥4,000

ヌンチャク

死亡遊戯ソフト ラバー製（練習用） プラスチック製 85g 30cm 色 黄色 鎖タイプ ¥1,200
ひもタイプ有 ¥1,500 限定20本 ホワイト ¥2,200
280g 33cm ドラゴン模様入り 鎖タイプ ¥1,800

赤樫八角 330g 36cm A.ひもタイプ ¥2,400
320g 30.5cm B.ひもタイプ（ブラック有）¥2,400
350g 36cm C.鎖タイプ ¥2,800

黒丸（シルバー有） 木製 335g 32cm 鎖タイプ ¥3,300
ハードラバー製 ドラゴン模様入り 540g 32cm 鎖タイプ ¥2,800
ドラゴン（木彫り使用） 360g 36cm 木製 ブラック 鎖タイプ ¥2,800

トンファー
木製 空手格闘タイプ
沖縄丸型ブラック（2本1組） 46cm 重さ1組 1000g ¥6,000
沖縄丸型（2本1組） 46cm 重さ1組 1000g ¥6,000

警棒ヌンチャク
真ん中の接続部分をゆるめると一本の警棒がヌンチャクになります 一本二役
色 ブラック スチール製
全長40cm／ショート／450g ¥3,000
全長59.5cm／ロング／500g ¥3,500

忍者着
上・下服、頭巾、覆面、手甲 5点セットの本格的な忍者着セットです 当店おすすめ（内ポケット付 手裏剣をそえはせる事も可能）
色 黒 サイズ M,L ¥9,800

忍者グッズ
忍者ナックル キーリング付 スチール製
古くから伝わる武道で使用される護身具です。3箇所の突起部分で相手の関節・ツボをねらいます。正拳突き、振り下ろしなどで ¥1,200

角指（かくし）
つかみナックルタイプ 江戸時代以前から忍者や武芸者が使用していた、隠し武器「角指」を再現！突起をてのひら側に向けて使用。相手の腕、手首、頸筋、足などをつかむ事により強力なダメージを与える突起の部分を手の甲側に向ければナックルの様にも使用できます
スチール製 日本製 サイズ.フリー 直径2cm 2コ ¥1,800

まきびし
忍者の小道具で有名なまきびしです。忍者ファン必見のコレクションアイテム との用途から役立ちます
注）車や人などに絶対使用しないで下さい
鉄製 10ヶ入 タテ ヨコ21mm
日本製になり強度が上がりました ¥2,000

スーパー忍者スパイク（3本釘）
従来のスパイクより一層使い勝手、フィット感が本格、日本製の為変わりました。手首に取り付け可能な本革ホルスター付 スパイク
全長16cm 1本の重さ35g ¥3,300

忍者Tシャツ
約25.5×7cm フロント、右側にプリント オリエンタルな雰囲気の忍者Tシャツが入荷しました 忍者ファンにおすすめ 後ろ襟首には NINJA の文字が入ってます。サイズ M 色 ブラック ¥4,200

新サスケチェーン
鎖の両側の先にオモリがついているため非常に強力で長さも103cmあるので回す事もでき、遠心力をつかう練習も可能です スチール製
重さ 340g サイズ103cm ¥3,300
注）むやみに振り回したり投げないで下さい

忍者刀
105cm 1250g ¥12,000（刀身に龍の彫物入り ¥13,800）
木製黒塗り刀掛 ¥5,000
DX忍者刀 93cm 1000g より本物指向の方にお薦めです。刀身は鈍く光ってます。鞘は龍の彫物入り ¥14,800

ビデオ伊賀流忍術
伊賀流忍者の武闘法や補術、九字、十字などいろ秘術を紹介するビデオ 戦国時代を生きた忍者が今 ここによみがえる
カラー VHS ¥3,800

忍者ペンダント
忍者の姿がプリントされた手裏剣型のペンダントです。お守りとして不思議な効果も有
くさりの長さ 61cm（ブラック、ゴールド、シルバー）¥1,500

ビデオ
琉球古武術 トンファ・ヌンチャク ¥5,631
琉球古武術 棒・サイ ¥5,631
ダンイノサント フィリピーノ マーシャルアーツ カラー各55分 Vol.1～Vol.6 ¥4,000

特殊三段警棒（Kシリーズ）
強度は日本警察使用の2倍
（ホルスター付）ベルト着用可 注）縮める時はアスファルト・コンクリートなど固い場所に垂直に強く打ちつけて下さい

型番	価格	仕様
K-26	¥9,800	3段伸縮(24～67cm) 重さ：560g
K-21	¥8,800	3段伸縮(20～52.5cm) 重さ 450g
K-16	¥7,800	3段伸縮(16～41cm) 重さ：375g

バトンセイバー
（3段伸縮時 32～56cm）（5段伸縮時 32～84cm）
新しい伸縮式スチール製の武器が入荷しました（映画 スターウォーズ でダースモールが使用のライトセーバーを使用しております）重さ 750g ¥18,400

ブラックジャック 本革
革製の袋の中に鉛がたっぷりと入っている為、非常に重く強力です。全長24cm 重さ220g ¥3,900

USスラッパー
本革製のボディーの先に鉛が入っています。うすいので手に持ちやすく、警棒の様に使用できます。携帯に便利（バッグやポケット）
重さ 220g 全長280mm ¥3,900

レザービリー 本革製
先端に鉛が入っており、スプリングのようにしなり、手にしやすいコンパクトタイプの警棒です
重さ 370g 全長235mm ¥3,900
・非常時、車の窓ガラスをたたけば簡単に割れます

ナックル、その他
カイザーナックル
握り辛さを解消。手にジャストフィット!! ブラック、シルバー、ゴールド
O型 重さ180g（1ケ）¥3,300
A型 重さ180g（1ケ）¥4,500

メリケンナックル
ナックルの定番メリケン型です 色 ブラック、シルバー スチール製 重さ80g（1ケ）¥2,200

ロッキーナックル
下部が平面になっている為、握り易さ抜群です ブラック、シルバー スチール製 重さ200g（1ケ）¥2,700

レザーパワーナックル 強力タイプ
本革に鉛が入っており、打撃力が増します。手の保護もでき、安全性も向上しています。サイズ調整可能 重さ40g 色 ブラック（1ケ）¥2,900

K-ONCRETE コンクリート SR-2係
（当店のオリジナルカタログ希望の方は切手1,200円分お送り下さい）
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-10-7 ダイヤモンドビル1F
（JR新宿駅東口徒歩5分／西武新宿駅徒歩3分）
TEL/FAX（FAX 24H受付）
03-5272-4152
年中無休!!
PM12:30～PM9:30

必ず電話番号記入。ないものは商品を送れません。
■ご注文方法
有太陽プラネット
●現金書留 為替の場合は 商品代金＋消費税5%＋送料同中でも840円（離島は別途料金）
●ハガキ、電話、FAXの場合、代金引換
●100cm以上の商品は書留 為替のみ受付です

バタフライナイフ

KB-1 ¥3,800 5インチ 全長226mm
SB-1 ¥3,800 5インチ 全長225mm
DB-1 人気ダイヤカット 5インチ 全長231mm ¥6,000 バリソン社製
・バリソンブック1,2 各 ¥2,800

バリソン・バタフライナイフ ビデオ
ナイフ動作の基本から上級テクニックまでを紹介、上方のカットでくわしく解説・シェフ・イマダのアクションも見所です。カラー40分英語版 ¥4,000

一部商品を卸し行います。詳しくは電話にて（担当／高橋・松村）

夢の格闘技コミュニケーションスペース

『BODY PLANT池袋』オープン

ボディープラント

極真空手、柔術、新空手、
ジークンドー、中国拳法が学べる
夢の格闘技コミュニケーションスペースが
池袋西口にオープン。

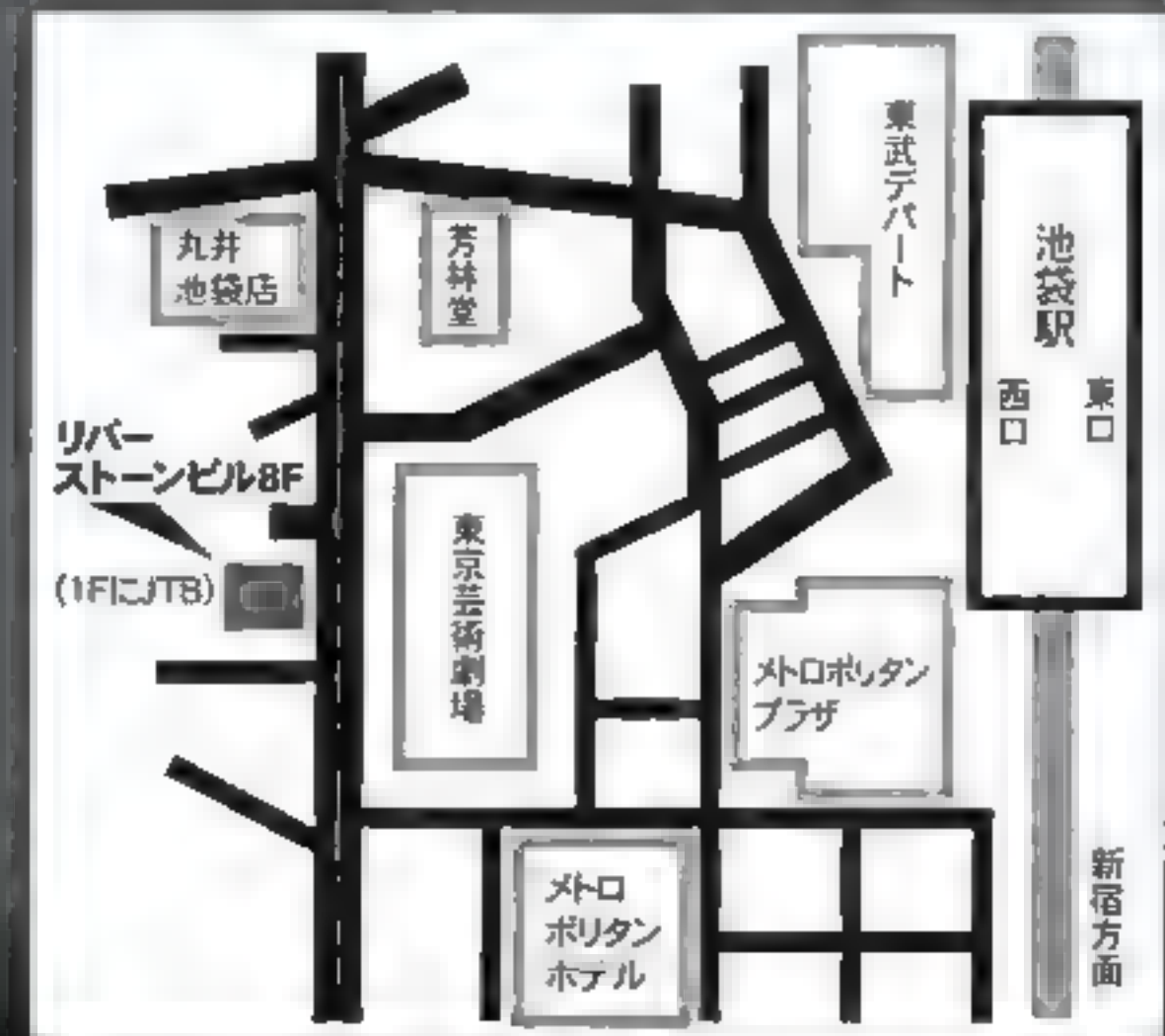
極真空手
柔術
新空手
ジークンドー、中国拳法

夢じゃない!?

**打撃も組み技も総合武道も、全て学べる。
あこがれの選手とともに汗を流し、
あこがれの選手の強さと身体を
君自信が手に入れる。
BODY PLANTなら、全て、夢じゃない。**

クラススケジュール

	19:00~20:30	21:00~22:30
月	柔術テクニッククラス	柔術一般部
火	新空手	極真空手
水	組技一般部	組み技テクニッククラス
木	極真空手	新空手
金	IUMAジークンドー	柔術一般部
土	新空手	
	10:00~12:00	
日	中国拳法	

BODY PLANTはこれまでの道場やジムとは全く異なるコンセプトで生まれた格闘技のコミュニケーションスペースです。
格闘技のジャンルを超えて、BODY PLANT内でのクラスは自由に交流できるシステムを取っています。空手を学びながら、寝技を学ぶもOK。極真ルールを学びながら新空手を学ぶもOK。ブルース・リーを追い求めつつカンフーや健康法を求めてもOK。さらに他のクラスと交流できる自由練習時間もあります。
いずれも一流のコーチ陣。何の格闘技が向いているか、なんてもう悩む必要なし。
多くの仲間があなたを待っています。

オープン記念トライアルコース
正式オープン以前のトライアルコース実施中
月謝/6000円(オープン時まで)

BODY PLANT池袋
東京都豊島区西池袋3-25-13
リバーストーンビル8F
TEL03-5955-7766

8/26 THU ~ 9/9 THU
CALENDAR

日付	曜日	内容
8/26	THU	●フジテレビ系「SRS」(25:20～25:50)放送⇐p77 ★「SRS・DX」5号発売日
8/27	FRI	
8/28	SAT	◆全日本キックボクシング連盟「WAVE Ⅶ」/チケット発売⇐p57
8/29	SUN	◆K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS開幕戦/チケット一斉発売⇐p54 ■ニュージャパンキックボクシング連盟/愛知・安城市総合体育館(13:00～)⇐p56
8/30	MON	
8/31	TUE	◆VALE TUDO JAPAN '99/恵比寿・パームストアで『DEVILOCK NIGHT』との通し券先行発売⇐p56
9/1	WED	
9/2	THU	●フジテレビ系「SRS」(25:20～25:50)放送⇐p77
9/3	FRI	■全日本キックボクシング連盟/東京・後楽園ホール(17:30～)⇐p57
9/4	SAT	■パンクラス/宮城・仙台市泉総合体育館(18:00～)⇐p55 ◆新日本キックボクシング協会「Road to Muay Thai 2」/チケット発売⇐p57 ◆修斗「the Renaxis 1999 in OSAKA」/チケット発売⇐p56
9/5	SUN	■修斗/東京・後楽園ホール(18:00～)⇐p56
9/6	MON	
9/7	TUE	
9/8	WED	
9/9	THU	●フジテレビ系「SRS」(25:20～25:50)放送 ★「SRS・DX」6号発売日

UFC-JAPAN

'99 ULTIMATE FIGHTING CHAMPIONSHIP IN JAPAN

10月2日(土)
千葉・東京ベイNKホール

久々に開催のアルティメット日本大会果たして大物外国人選手の参戦はあるのか?

97年12月以来となる、アルティメット日本大会の開催が決定した。今回は、パンクラスとの提携により、山宮恵一郎の参戦が決定。今後もこの路線で大会が続くなら、船木誠勝の参戦にも期待が集まる。また、安生、山宮の対戦相手として、海外からどんな選手が参戦してくるのか。こちらも興味が尽きないところだ。

◆開場／16:00　試合開始／17:00
◆入場料／ロイヤルシート20,000円　アリーナS席15,000円　アリーナA席10,000円　2階S席7,000円　2階A席5,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、丸井チケットぴあ☎03-5385-9999、チケットセゾン、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、レッスル池袋店、レッスル渋谷店、プロレスマニア館、アイドール、チケットトラベルT-1、UFC-J事務局
◆会場アクセス／JR京葉線舞浜駅からホテル循環バス5分
◆お問い合わせ／UFC-J事務局☎03-3343-2444

バトラーツ

ヤンジェネ、ついに優勝者決定!そしてこの秋、あのシュー・キムがやってくる!?

《大会日程》

ヤングジェネレーションバトル99
◆8月29日(日)　TOKYO FMホール13:00〜
◆8月29日(日)　TOKYO FMホール18:30〜

ACTIVE-B'99
◆9月23日(木・祝)　青森県民体育館サブアリーナ
◆9月25日(土)　宮城・若柳中央公民館
◆9月26日(日)　宮城・白石勤労者体育センター
◆9月27日(月)　秋田市立体育館サブアリーナ
◆9月28日(火)　山形市総合スポーツセンター・サブアリーナ

OCTOBER INPACT in 大阪
◆10月8日(金)　大阪府立体育会館第2競技場

ビバ・アミーゴ　ツアー〜シュー・キム日本初見参〜
◆11月13日(土) 徳島市立体育館
◆お問い合わせ／バトラーツ☎0489-63-0005

K-1グランプリ・シリーズ

K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS　開幕戦

10月3日(日)
大阪ドーム

グランプリ対戦カード発表第一弾アーツvsヴァン・ダム、決定!

K-1GP開幕戦の対戦カードの一つが、早くも発表になった。昨年のチャンピオン、ピーター・アーツと、福岡でのトーナメントを勝ち抜いたロイド・ヴァン・ダムの対決だ。アーツは以前、チャクリキに所属していたが、2年前に離脱している。対するヴァン・ダムは、現・チャクリキのエース。アーツ越えへ向け、その決意には並々ならぬものがあるだろう。開幕戦のお祭り気分を吹き飛ばすような、波乱含みの一戦になりそうだ。

ピーター・アーツ vs ロイド・ヴァン・ダム

◆開場／11:00　試合開始／13:00
◆その他の出場予定選手／アンディ・フグ、マイク・ベルナルド、サム・グレコ、アーネスト・ホースト、レイ・セフォー、佐竹雅昭、ジャビット・バイラミ、ステファン・レコ、サミール・ベナゾーズほか、K-1ジャパングランプリ'99上位2名、館長推薦枠3名
◆入場料／SRS席30,000円　RS席20,000円　SS席15,000円　S席10,000円　A席5,000円
◆チケット発売日／8月29日(日)一斉発売
◆会場アクセス／地下鉄大阪ドーム前千代崎駅すぐ、地下鉄九条駅徒歩9分、JR環状線大正駅徒歩7分
◆お問い合わせ／ステージア・K-1大阪事務局☎06-6344-4441、K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦チケット発売所
8月29日(日)一斉発売
チケットぴあ
チケットセゾン
ローソンチケット

K-1 GRAND PRIX'99決勝戦
12月5日(日)　東京ドーム

詳細未定
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

K-1ジャパン・シリーズ

K-1ジャパンオープン
9月15日(日・祝)　東京・国立代々木第2体育館

◆一般公募で選出された、アマチュアをベースとする選手によるウェイト制トーナメントを開催
◆会場アクセス／JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分

※主なチケット発売所は、P83「イエローページ」をご覧下さい

パンクラス

PANCRASE 1999 BREAKTHROUGH TOUR 仙台大会

9月4日(土)
宮城・仙台市泉総合体育館

UFC-JAPANへの参戦、エスケープなしへのルール変更など、注目度がますますアップしているパンクラス。この秋に行われる大会でも、見所の多いカードが続々と決定している。9／4仙台大会では山田学と石井大輔が日韓対抗戦に挑む。続く9／18NKホール大会では、船木誠勝、柳澤龍志、菊田早苗の3人が、揃ってパンクラチオンマッチを行う。船木の対戦相手ペテーラは、過去にUFCにも出場している強豪。ブラガ戦での激闘から5ヵ月、船木の進化した闘いぶりに期待したい。

◆開場／17:00　試合開始／18:00
◆入場料／SS席12,000円　A席7,000円　B席5,000円　2F-A席6,500円　2F-B席4,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／ローソンチケット(Lコード22120)、パンクラス、ams西武、サイカワスポーツ、藤崎、エスパル
◆会場アクセス／地下鉄泉中央駅より徒歩10分
◆お問い合わせ／キョードー東北☎022-296-8888、パンクラス☎03-5792-0815

注目カードが続々決定！ 9/4仙台で日韓対抗戦、9/18NKホールで、船木、菊田、柳澤がパンクラチオンマッチに挑む！

KING OF PANCRASE TITLEMATCH
9月18日(土)
千葉・東京ベイN.K.ホール

◆開場／16:30　試合開始／18:00
◆入場料／SS席16,000円　RS-A席8,000円　RS-B6,000円　ST-A10,500円　ST-B7,000円 ST-C5,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、YOKOHAMA AO CORNER、パンクラス
◆会場アクセス／京葉線舞浜駅よりホテル循環バス5分
◆お問い合わせ／パンクラス☎03-5792-0815

主な対戦カード

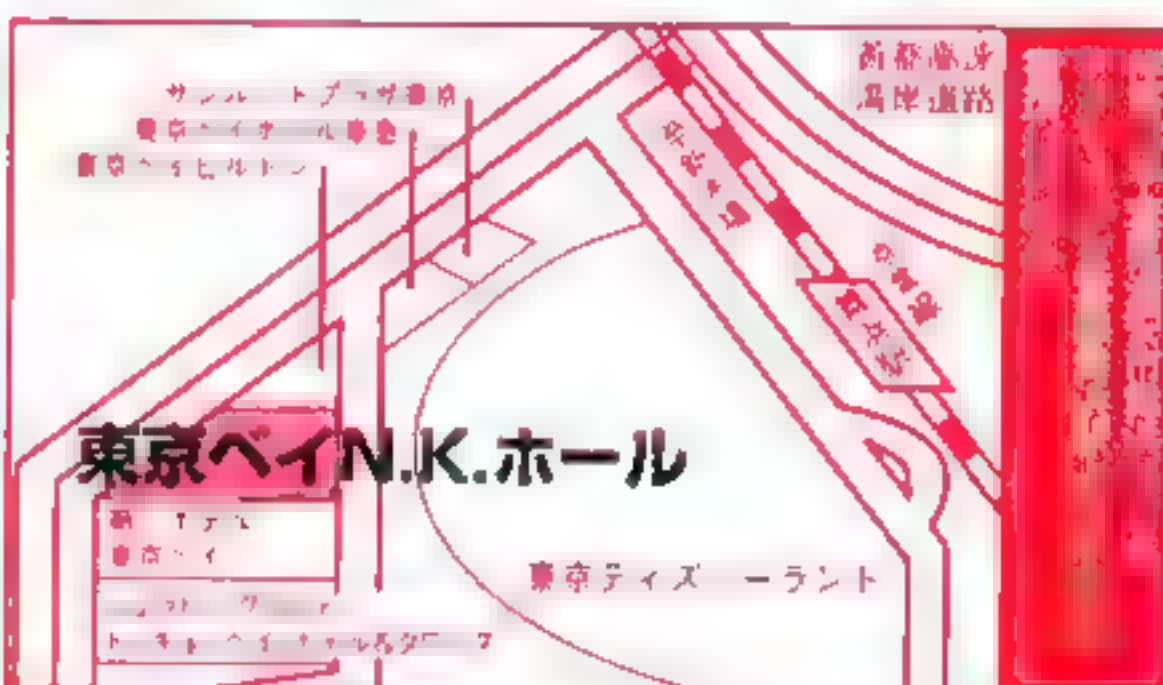
仙台大会で船木誠勝&鈴木みのるが握手会

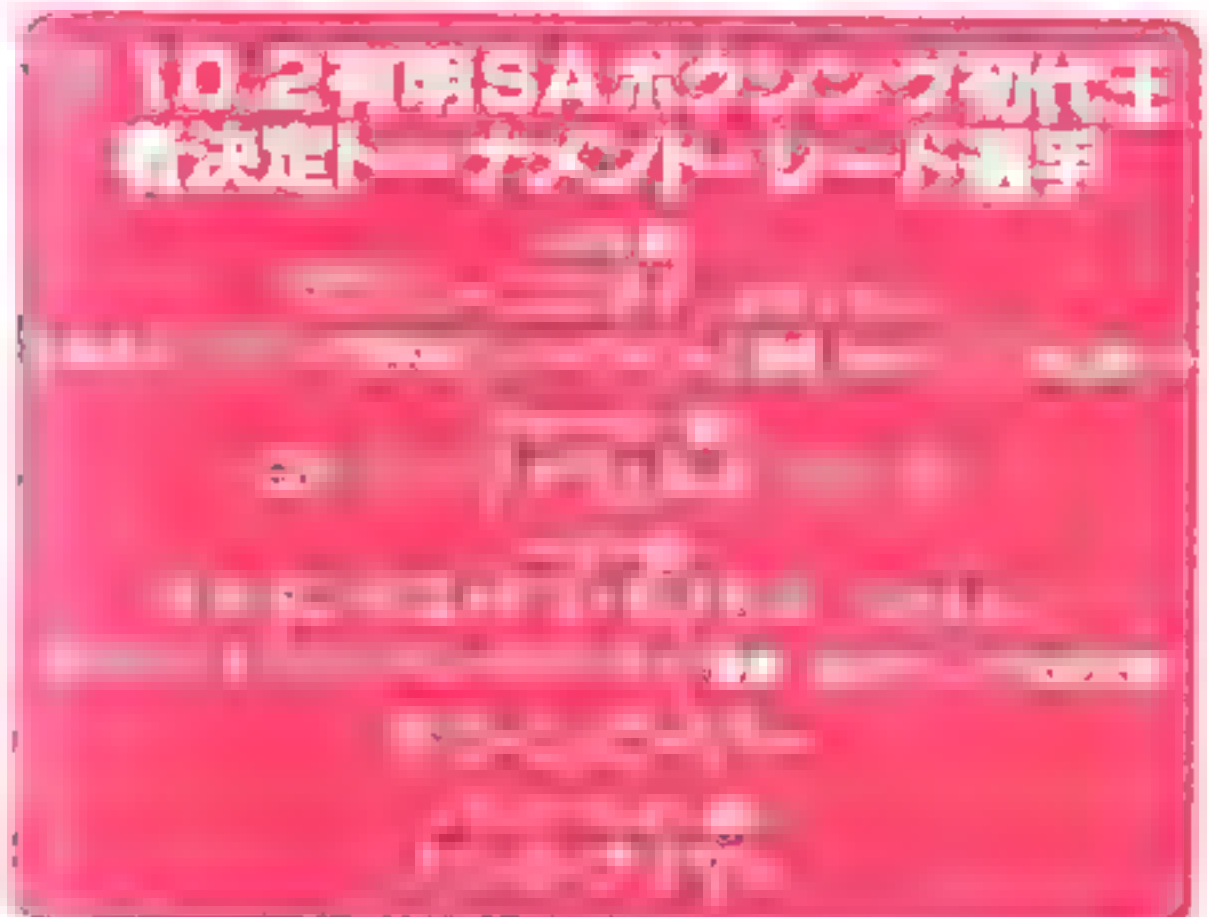
仙台大会の当日、ファンクラブの会員および大会パンフレット HYBRID VOL.12（1,500円）購入者を対象に、船木誠勝と鈴木みのるによる握手会が開催される。開始予定時間は17:15、場所は会場内アリーナ東側となっている。

PANCRASE 1999 BREAKTHROUGH TOUR 道場対抗戦part2
10月25日(月)　東京・後楽園ホール

◆開場／18:00　試合開始／19:00
◆出場予定選手／(東京道場)船木誠勝、冨宅飛駈、髙橋義生、山田学、渋谷修身、山宮恵一郎、石井大輔、渡部謙吾、菊田早苗、(横浜道場)鈴木みのる、柳澤龍志、稲垣克臣、國奥麒樹真、伊藤崇文、近藤有己、渡辺大介、窪田幸生、美濃輪育久、(外国人選手)セーム・シュルト、ジェイソン・デルーシア、リオン・ヴァン・ダイク
◆入場料／SS12,000円　A9,000円　B6,500円　C4,500円　立見(当日券のみ)3,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売／[優先発売]パンクラスにて発売中。9.18東京ベイNKホール大会のロビーで発売[一般発売]9月25日(土)10.00～
◆チケット発売所／チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、パンクラス
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 1999BREAKTHROUGH TOUR
11月28日(日)　大阪・なみはやドーム

◆開場／15:30　試合開始／17:00
◆主な対戦カード／9.18NKホール大会のタイトルマッチ勝者による王[illegible]
◆入場料／SS15,000円　RS-A8,000円　RS-B6,000円　2F-A7,500円　2F-B5,000円※当日券は500円増し
◆チケット発売／9月26日(日)
◆チケット発売所／チケットぴあ☎06-6363-9999、チケットセゾン☎06-6232-9999、ローソンチケット☎06-6369-6633、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、パディスラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富方☎078-811-6222、パンクラス
◆会場アクセス／地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／GAORA☎06-6374-0002、パンクラス☎03-5792-0815

掣圏道

10.2有明大会に強豪が続々参戦 格闘技界に新たなムーブメントを起こすか!?

9月21日(火)　福島国体記念体育館

◆開場／17:30　試合開始／18:30
◆チケット料金／リングサイド席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／あきたや楽器店、日野屋楽器店、福島楽器店、三野屋楽器店、サウンドプラザ中芝、中合プレイガイド、福島ビブレ

9月24日(金)　山形厚生年金休暇センター

◆開場／17:30　試合開始／18:30
◆チケット料金／リングサイド席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／山形プレイガイド、八文字屋POOL、山形松坂屋、(株)大沼、十字屋山形

10月2日(土)　東京・有明コロシアム

◆試合開始／18:30
◆詳細未定

10月24日(日)　大阪府立体育会館

◆主な対戦カード／[ロシアン・アブソリュートマッチ]ミハイル・アビティシャンvsアルトゥール・マリアーノ、SAボクシングランキング戦、SAプロレス
◆詳細未定

◆お問い合わせ／掣圏道協会 ☎03-5456-7333

旗揚げシリーズでその面白さと可能性を存分に見せてくれた掣圏道。10月2日(土)には、有明コロシアムでビッグマッチを開催する。現在、出場が決定しているのは、旗揚げシリーズで好成績を残したロシア人選手と、ヨーロッパの強豪選手。なんと、あのハンス・ナイマンも出場することになった。ほかにもそうそうたるメンバーが出場し、ミドル級～スーパーヘビー級の4階級で、4人によるトーナメントを開催。初代王者が決定する。

リングス

BATTLE GENESISVol.5

9月15日(祝・水)
東京・後楽園ホール

◆開場／18:00　試合開始／19:00
◆主な対戦カード／山本宜久vsヴァレンタイン・オーフレイム
◆入場料／リングサイド席12,000円　S席8,000円　A席5,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット(Lコード39249)、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、ファイター新宿店
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／オデッセー☎03-3796-9999

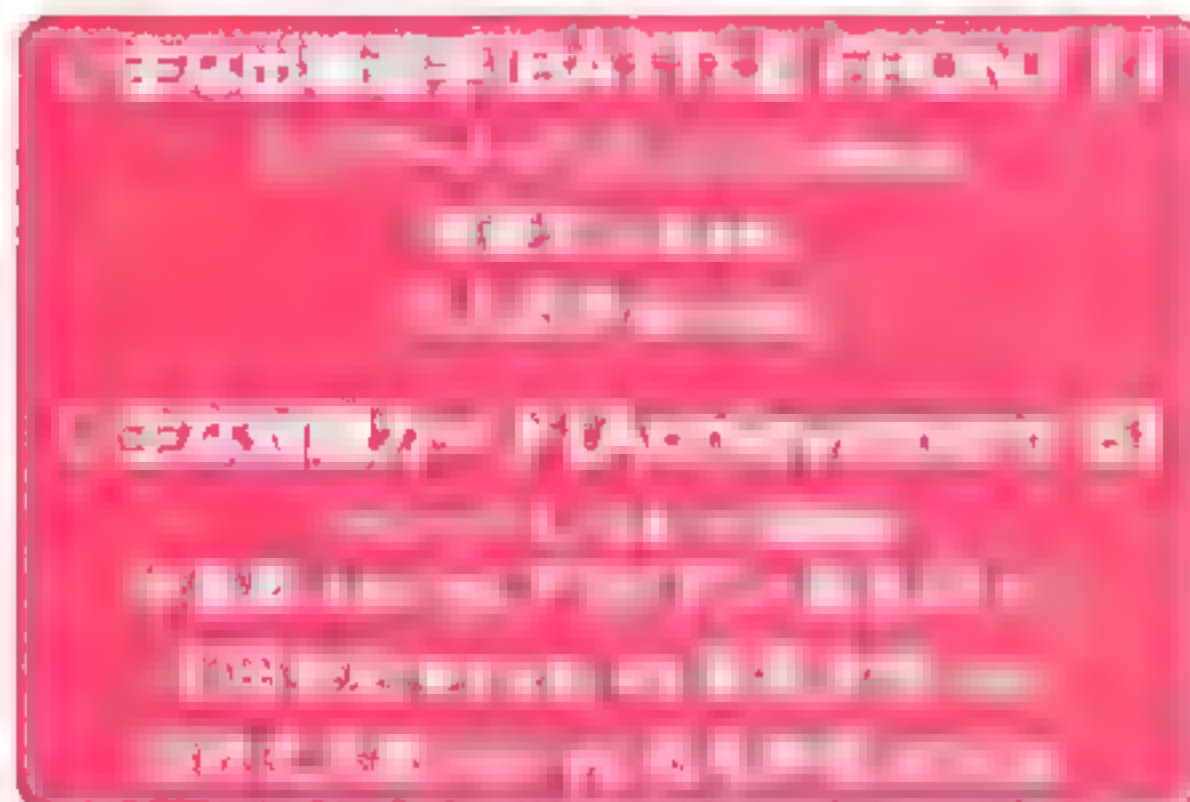
大会名未定
10月28日(木)　東京・国立代々木第2体育館

◆詳細未定
◆会場アクセス／JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／オデッセー☎03-3796-9999

ニュージャパンキックボクシング連盟

ムエタイ・キラー鈴木秀明が10月大会で日本に凱旋！

日本人、いや、世界のキックボクサーの究極の目標である、"打倒ムエタイ"に邁進する鈴木秀明。タイでも頻繁に試合をしており、この8月12日にも、タイ遠征で勝利を収めている。そんな鈴木の日本での次の試合は、10月1日（金）の後楽園大会だ。対戦相手は現在未定だが、鈴木はタイのプロモーターからも期待されているだけに、半端な選手は用意されないはず。今回もまた、鈴木とタイ人との激しいシノギの削りあいが見られるだろう。

BATTLE FRONT I &Achievement 6
8月29日（日）　愛知・安城市総合体育館

◆開場／12:00　試合開始／［BATTLE FRONT I］13:00 ［Achievement 6］16:00
◆入場料／特別リングサイド15,000円　指定席A10,000円　指定席B7,000円　2階指定席5,000円　2階自由席3,000円　子供（小・中）1,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ☎052-320-9999、闘真会館
◆会場アクセス／名鉄西尾線北安城駅より徒歩10分、名鉄本線新安城駅よりバス5分、JR東海道本線安城駅バス8分
◆お問い合わせ／ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-3239-7703、闘真会館☎0566-77-5470

Achievement 7
9月15日（水・祝）　宮城県スポーツセンター

◆開場／13:00　試合開始／14:00
◆入場料／特別席7,000円　リングサイド席5,000円　指定A席4,000円※当日券は1,000円増し。小学生以下は無料
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／森天裕堂☎022-222-3512、青葉プロモーション
◆会場アクセス／JR仙台駅よりバス乗車、「国際センター仙台博物館」下車
◆お問い合わせ／青葉プロモーション☎022-222-4772、仙台青葉ジム☎022 225 8149

Achievement 8
10月1日（金）　東京・後楽園ホール

◆チケット料金／特別リングサイド席12,000円　リングサイド席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　立見3,000円（当日券のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売／未定
◆チケット発売所／チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、書泉ブックマート、ファイター、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、西谷センタースポーツ☎03-3400-3308、格闘館MAX☎03 5212 7897
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-3239-7703

修斗

8年ぶりの修斗大阪大会で佐藤ルミナがカムバック！バーリ・トゥード・ジャパンにも出場決定

実に8年ぶりとなるプロフェッショナル修斗の大阪大会に、佐藤ルミナの出場が決定した。大阪大会の観客の多くは、ライブで修斗を見るのは初めてのはず。そんな観客に、ルミナがどれだけ修斗の醍醐味を伝えられるか、日増しに期待は高まっている。また、ルミナは12月に開催されるVTJ'99にも桜井"マッハ"速人とともに出場が決定している。修斗トップファイターと海外の強豪選手の対決は、今年も大きな話題となりそうだ。

Ⅳ 修斗 the Renaxis 1999
9月5日（日）
東京・後楽園ホール

◆開場／17:00　試合開始／18:00
◆入場料／RS席10,000円　SS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、チケットセゾン、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋、ファイター、格闘技チケット（インターネット予約）
http://www.interq.or.jp/tokyo/ticket/
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

大会名未定
10月6日（水）　東京・北沢タウンホール

◆試合開始／18:30
◆主な対戦カード／未定
◆入場料／S席6,000円　A席4,000円
◆チケット発売／未定
◆会場アクセス／小田急線・京王井の頭線下北沢南口より徒歩5分
◆お問い合わせ／総合格闘技木口道場修斗教室☎044-988-3633

修斗　the Renaxis 1999 in OSAKA
10月29日（金）
大阪・なみはやドーム　サブアリーナ

◆開場／16:00　試合開始／18:00
◆主な出場選手／佐藤ルミナほか
◆チケット料金／1階RS席10,000円　1階SS席7,000円　1階S席5,000円　1階A席4,000円　2階パノラマ席6,000円　2階A席4,000円
◆チケット発売／9月4日（土）発売
◆チケット発売所／シューティングジム大阪☎06-6930-5010、チケットぴあ☎06-6363-9999
◆会場アクセス／地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／修斗大阪事務局☎06-6233-8890

VALE TUDO JAPAN'99
12月11日（土）
千葉・東京ベイNKホール

◆開場／15:00　試合開始／16:00
◆主な出場選手／佐藤ルミナ、桜井"マッハ"速人ほか
◆チケット料金／［1階］SRS席20,000円　RS席15,000円　SS席10,000円　S席7,000円［2階］パノラマ席10,000円　S席8,000円　A席6,000円　B席5,000円　C席3,000円
◆チケット発売／9月18日（土）。8月31日（火）より恵比寿・パームストアで「DEVILOCK NIGHT」との通し券（20,000円）先行発売あり。
◆チケット発売所／チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋、ファイター
◆会場アクセス／JR京葉線舞浜駅よりホテル循環バス5分
◆お問い合わせ／バックステージプロジェクト☎03-3357-8080

PRIDE

PRIDE.7
9月12日（日）
神奈川・横浜アリーナ

高田延彦vsアレクサンダー大塚!? 超異色の顔合わせ、実現か

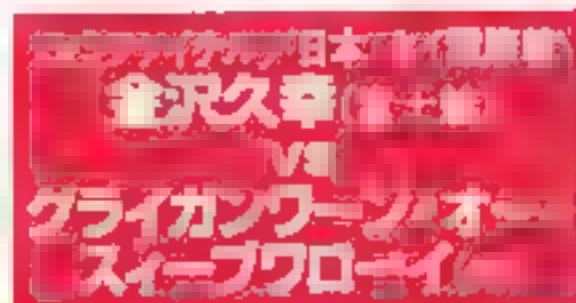
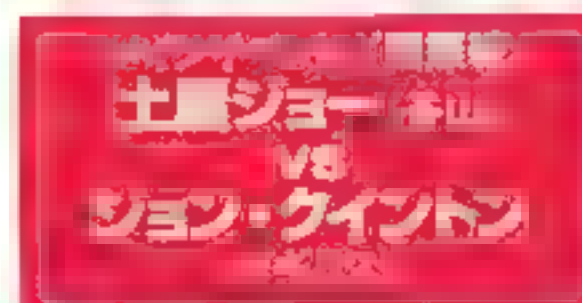
高田の対戦相手として、意外な選手が浮上してきた。なんとアレクサンダー大塚との試合が噂されているのだ。まったく展開の想像がつかない、この異色マッチメイク。マット界に大きな波紋を起こしそうだ。

◆開場／15:30　試合開始／17:00
◆出場予定選手／高田延彦、桜庭和志、小路晃、エンセン井上、マーク・ケアー、ゲーリー・グッドリッジ、イゴール・ボブチャンチンほか
◆入場料／SRS20,000円　RS13,000円　S7,000円　A4,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／ドリームステージ、チケットぴあ〈スポーツ専用〉☎03-5237-9977、チケットセゾン〈スポーツ専用〉☎03-3250-9911、ローソンチケット、CNプレイガイド、サークルK、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット＆トラベルT-1、後楽園ホール、アイドール、横浜アリーナ、YOKOHAMA AO CORNER、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319 2456、神奈川新聞プレイガイド関内セルテ店☎045-651-1431、神奈川新聞プレイガイド横浜シアル店☎045-316-0001、公武道☎052-241-2511
◆会場アクセス／JR東海道新幹線、横浜線新横浜駅正面口、地下鉄新横浜駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／ドリームステージエンターテインメント☎03-3552-6300

全日本キックボクシング連盟

WAVE-Ⅵ
9月3日(金)
東京・後楽園ホール

土屋、新田が英国の強豪を迎撃 リベンジマッチ3試合も見逃すな!

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/RS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円 一般立見3,500円(当日のみ) ※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-Ⅶ
10月8日(金) 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆主な対戦カード/千葉友浩vs内田康弘ほか魔裟斗、前谷直子が出場予定
◆チケット発売/RS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円 一般立見3,500円(当日のみ) ※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/8月28日(土)発売
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟 ※全日本キックで電話予約をすると、「魔裟斗・特製ポストカード(非売品)」をプレゼント
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-Ⅷ
11月22日(月) 東京・後楽園ホール

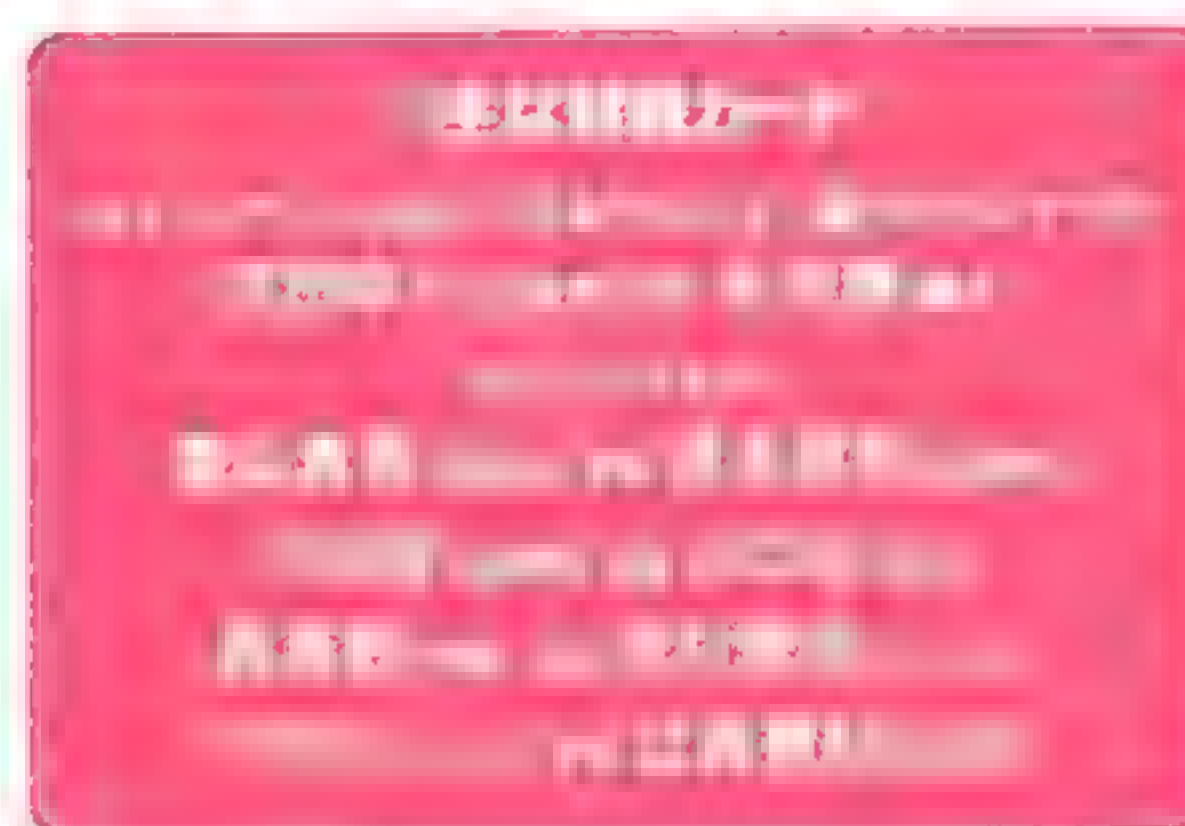
◆開場/17:00 試合開始/18:00
詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

新日本キックボクシング協会

過酷な『ムエタイへの道』を 小野寺、深津は踏破できるか!?

全階級の王者が出場するタイ遠征を控えた新日本キック協会。大会タイトル通り、まさに「Road to Muay Thai」(ムエタイへの道)を選手たちは進んでいる。中でもとりわけ厳しい道を行かねばならないのが、小野寺力と深津飛成だ。二人は7月の大会でタイ人に敗北を喫しており、再生を期して10月にもムエタイに挑むことになったのだ。ここで結果を出さなければ、タイ遠征どころではなくなってしまうが…。小野寺と深津の底力に期待!

Road to Muay Thai 1
9月15日(水・祝)
東京マリン

◆開場/16:30 試合開始/17:00
◆入場料/SRS12,000円 RS10,000円 A席7,000円 B席5,000円 立見3,000円(当日券のみ)
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、治政館
◆会場アクセス/東武伊勢崎線、地下鉄日比谷線西新井駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/治政館☎0489-53-1880

Road to Muay Thai 2
10月30日(土)
東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 A席7,000円 B席5,000円 立見4,000円(当日券のみ)
◆チケット発売/9月4日(土)発売
◆チケット発売所/チケットぴあ、伊原プロモーション
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

大会名未定
12月5日(日) 東京・後楽園ホール

◆詳細未定
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

MA日本キックボクシング連盟

SET FIRE
キックに火をつけろ! Part2
9月25日(土)
東京・後楽園ホール

女子キックを支えた名選手、神風杏子が引退試合

◆開場/17:00 試合開始/17:15
◆入場料/特別リングサイド20,000円 リングサイド15,000円 S席10,000円 指定A席7,000円 指定B席5,000円 立見3,000円
◆チケット発売/発売中

◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、山木ジム
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

花澤ジム興行
10月10日(日・祝)
千葉・袖ケ浦臨海スポーツセンター

◆開場/16:00 試合開始/16:30
◆入場料/リングサイド10,000円 A席8,000円 B席5,000 1,2階席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、花澤ジム
◆会場アクセス/JR長浦駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/花澤ジム☎0438-62-7967

◆チケット発売所／チケットぴあ、チケットセゾン、勇志会総本部・神奈川県本部および各支部
◆会場アクセス／JR南武線、東急東横線武蔵小杉駅下車バス7分、徒歩25分
◆お問い合わせ／勇志会総本部事務局☎03-3990-9270

内田塾

JAPAN-GAME'99
第7回全日本空手道選手権大会
10月24日(日)
大阪・東淀川体育館(予定)

詳細未定
◆お問い合わせ／大会事務局☎06-6379-2421

ワールド大山空手

'99全日本選手権大会
11月28日(日)　神奈川・横浜文化体育館

◆開場／10:00(予選開始)　◆開会式／13:00　◆本戦開始13:30
◆入場料／1,500円　※当日は500円増し
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、チケットセゾン、勇志会総本部・神奈川県本部および各支部
◆会場アクセス／JR南武線、東急東横線武蔵小杉駅下車バス7分、徒歩25分
◆お問い合わせ／勇志会総本部事務局☎03-3990-9270

士道館

第19回全日本空手道選手権大会
11月21日(日)　東京・後楽園ホール

◆開場／10:00(予定)　試合開始／10:30(予定)
◆入場料／指定席5,000円　自由席1,000円(予定)
◆チケット発売／未定
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／士道館東京本部☎03-3642-3161

大道塾

'99オープントーナメント
北斗旗全日本無差別選手権
11月21日(日)
東京・国立代々木競技場第2体育館

◆開場／9:30
◆入場料／SS席5,000円　S席4,000円　A席3,000円　高校生以下1,500円　※当日券はSS、Sが1,000円増し、A、高校生以下が500円増し
◆チケット発売／未定
◆会場アクセス／JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／大道塾総本部☎03-3931-6856

白蓮会館

'99ファイティングオープントーナメント
白蓮会館全日本空手道選手権大会
(15周年記念大会)
10月31日(日)　大阪府立体育会館第1競技場

◆出場予定選手／未定(64名による無差別級トーナメント)
◆開場11:00
◆入場料／前売り2,500円　当日3,000円
◆チケット発売／未定
◆チケット発売所／未定
◆会場アクセス／南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／総本部☎06-6783-7833

日本グローブ空手道連盟

第7回グローブ空手オープン選手権大会
10月23日(土)
東京武道館　第一武道場

◆試合開始／12:00
◆会場アクセス／地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／日本グローブ空手道連盟☎03-3239-7703

空手道MAC

第7回ルーキーチャレンジカラテトーナメント'99

極真会館(松井派)

第7回全世界空手道選手権大会
11月5日(金)、6日(土)、7日(日)
東京体育館

◆出場選手／第6回世界大会入賞者、97世界ウェイト制大会各階級優勝者、世界120カ国の予選を勝ち抜いた総勢192名の極真ファイター集結。
◆5日／10:00開場、11:00開会式　6、7日／10:00開場、11:30開会式
◆入場料／SS席50,000円(前売りのみ／アリーナ3日間通し券　指定券　大会記念品、パンフレット付き)　各日S席15,000円(前売り13,000)　A席8,000円(前売り7,000)　B席4,000円(前売り3,000)
◆チケット発売／発売中
◆会場アクセス／JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ／極真会館チケット係☎03-5992-9900

第4回極真カラテ大仏杯空手道選手権大会
9月5日(日)　奈良市第2武道場

◆会場アクセス／近鉄奈良駅よりバス10分
◆お問い合わせ／奈良支部☎0742-33-5799

第3回極真カラテ・クラス別山梨県交流大会
9月5日(日)　山梨・甲府市小瀬武道館

◆開場／9:00　試合開始／10:30
◆入場料／無料
◆会場アクセス／JR中央本線甲府駅より車で20分、中央自動車道甲府インターより10分
◆お問い合わせ／本部直轄山梨道場☎0553-22-2737

第17回北信越空手道選手権大会
9月12日(日)　松任総合運動公園体育館

◆会場アクセス／JR北陸本線松任駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ／石川支部☎0762-91-6110

'99京都府新人空手道選手権大会
9月15日(水・祝)
京都市武道センター旧武徳殿

◆会場アクセス／JR京都駅よりバス30分
◆お問い合わせ／京都支部☎075-801-8155

第7回オープン全関東空手道選手権大会
9月19日(日)　千葉・船橋アリーナ

◆開場／9:30　試合開始／10:00
◆入場料／1階アリーナS席6,000円　1階アリーナA席4,000円　2階自由席B席3,000円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、ローソンチケット、関東地方の極真会館各道場
◆会場アクセス／新京成線北習志野駅より高根公団行きバス乗車、「東警察署前」下車
◆お問い合わせ／千葉県北支部☎047-437-0188

第12回全九州空手道選手権大会
10月17日(日)　大分県総合体育館

◆会場アクセス／JR大分駅より大洲運動公園行きバス乗車、「運動公園前」下車
◆お問い合わせ／大分支部☎0975-56-4511

正道会館

'99ウェイト制オープントーナメント
第18回全日本空手道選手権大会
9月26日(日)
大阪府立体育会館第1競技場

◆試合開始／10:00
◆入場料／2,500円(全席自由)
◆会場アクセス／南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／正道会館総本部☎06-6357-1654

勇志会

第4回勇志会オープン全日本空手道選手権大会
9月26日(日)
神奈川・川崎市とどろきアリーナ・メインアリーナ

◆開場／10:00(予選開始)　◆開会式／13:00　◆本戦開始13:30
◆入場料／1,500円　※当日は500円増し
◆チケット発売／発売中

J-NETWORK

The KICK 1999～stage 3～
10月14日(木)
東京・後楽園ホール

貝沼慶太、戦線復帰！
vsムエタイの作戦はいかに!?

貝沼慶太(アクティブJ) vs アラビアン・長谷川(タイ)

◆開場／17:00　試合開始／18:00
◆入場料／RS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円　立見3,500円(当日のみ)
◆チケット発売／未定
◆チケット発売所／チケットぴあ、後楽園ホール、アクティブJ三軒茶屋ジム、サバーイ町田ジム、J-NETWORK
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／J-NETWORK☎03-3418-5248

増田博正のタイトル奪取をはじめ、躍進著しいアクティブJ。その影には、コーチ役、そしてブレインとして選手をバックアップする貝沼慶太の大きな力があった。その貝沼が、久しぶりに自らリングに上がる。相手は百戦錬磨のタイ戦士、アラビアンだが、貝沼の頭脳には、しっかりとアラビアン攻略法ができ上がっているだろう。

その他の主な対戦カード
増田博正(アクティブJ) vs タイ国強豪選手
五十嵐ヨシユキ(アクティブJ) vs ピニミット・シタラン(タイ)

シュートボクシング

第11回アマチュアシュートボクシング東海大会
8月29日(日)　愛知県春日井市総合体育館

◆開会式／10:00　試合開始／10:30
◆入場料／無料
◆会場アクセス／JR春日井駅よりバス乗車、「総合体育館前」下車
◆問い合わせ／風吹ジム☎0568-76-5054

アジア太平洋キックボクシング連盟

THE SUPER KICK M111
熱き男の闘い
9月26日(日)　神奈川・鶴見青果市場

◆開場／12:00　試合開始／14:00
◆主な対戦カード／赤土馬ヤストvsロシア強豪選手、ゴーリヤ・アレクセイvsブラック・ドラゴンほか
◆入場料／A席5,000円　B席3,000円　立見1,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、鶴見青果市場、みなみジム
◆会場アクセス／JR京浜東北線鶴見駅下車バス15分、東急東横線綱島駅下車バス5分
◆お問い合わせ／エム・プロモーション☎045-542-7193

日本キックボクシング連盟

99躍進シリーズ
10月9日(土)　東京・後楽園ホール

詳細未定
◆お問い合わせ／日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

その他

日本女子ボクシング協会

第3回日本女子ボクシング大会
初代ミニフライ級王座決定トーナメント決勝戦
10月5日(火)　東京・北沢タウンホール

◆主な対戦カード／トーナメント決勝戦ほか
◆入場料／全席自由5,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／後楽園ホール、日本女子ボクシング協会
◆開場アクセス／小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ／日本女子ボクシング協会☎03-3485-7063

プロ団体連絡先リスト

K-1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒173-0001 東京都板橋区本町34-4石田コーポラス501
☎03-3961-2704

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町2-158-1
☎0489-63-0005

高田道場
〒146-0082 東京都大田区池上4-27-13トウセン池上ビル
☎03-3755-1444

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9新川第2ビル
☎03-3552-6300

掣圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒102-0076 東京都千代田区五番町12-7ドミール五番町1-055(5F)
☎03-3239-7703

J-NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K-U(キック・ユニオン)
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1、2F
☎03-3843-1212

アマチュア

パレストラ東京

第16回ブラジリアン柔術ワンマッチ交流戦
HAKODATE B.J.J. JAM
9月19日(日)
北海道・函館市民体育館　柔道場

◆試合開始／13:00
◆入場料／無料
◆会場アクセス／JR函館駅より路面市電に乗車、「市民体育館前」下車
◆お問い合わせ／パレストラ札幌☎0705-600-6765

日本テコンドー連盟

全日本学生テコンドー選手権大会
8月29日(日)
東京・台東リバーサイドスポーツセンター

◆会場アクセス／地下鉄銀座線浅草駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ／総本部☎03-3350-0550

全日本テコンドー選手権大会
11月28日(日)　東京都夢の島総合体育館

◆開会式／10:00(予定)
◆入場料／無料
◆会場アクセス／有楽町線・JR京葉線新木場駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ／総本部☎03-3350-0550

S.A.W.サブミッションアーツレスリング

全日本サブミッションアーツ
レスリング選手権大会'99
『極　Ⅳ』　KIWAMI Ⅳ
10月3日(日)　東京・スポーツ会館

◆[1ST STAGE]開場／8:00　試合開始／10:00[2ND STAGE]開会式／14:00　ワンマッチ試合開始／14:10
◆会場アクセス／JR新大久保駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ／S.A.W.総本部☎048-465-3362

コンプリート・ファイティング・コミッション

第11回アマチュア・コンプリート・
ファイティング・トーナメント
10月11日(月・祝)
東京・中央区立総合スポーツセンター　第1武道場

◆試合開始／10:30
◆入場料／無料
◆会場アクセス／都営新宿線浜町駅下車すぐ
◆お問い合わせ／CFC事務局☎0564-55-9070(16:00まで)、0120-00-4524(17:00以降)

合気道SA

第3回実践合気道選手権大会
SA杯争奪合気道戦
10月23日(土)
東京・都立多摩スポーツ会館柔道場

◆開場／12:30　試合開始／13:00
◆入場料／[往復ハガキで予約]2,000円　[当日券]3,000円
◆チケット予約方法／9月30日(木)までに、往復ハガキに住所、氏名、電話番号、年齢、「観戦希望」と明記の上、下記まで郵送。大会概要が返信される。
◆会場アクセス／JR青梅線東中神駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／櫻井文夫　〒193-0821 東京都八王子市川町128-280　☎0426-51-8418

真武館

第14回オープントーナメント'99
全日本格闘技選手権大会
11月28日(日)　福岡武道館

◆会場アクセス／地下鉄大濠公園駅下車徒歩12分
◆お問い合わせ／真武館本部☎092-862-1006

10月24日(日)
神奈川・横浜市平沼記念体育館

◆試合開始／10:30
◆会場アクセス／JR横浜駅よりバス乗車、「三ツ沢グランド入口」下車
◆お問い合わせ／空手道MAC☎045-913-2183

極真会館(松島代表)

第31回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
11月7日(日)　茨城・茨城県武道館

◆会場アクセス／JR常磐線水戸駅よりバス15分
◆お問い合わせ／大会事務局☎0292-54-5830

極真会館(三瓶代表)

第7回全世界空手道選手権大会
12月4日(土)、5日(日)　東京体育館

◆会場アクセス／JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ／国際武道センター☎03-3268-5671

第3回オープントーナメント
全北海道空手道選手権大会
8月29日(日)　北海道青少年会館

◆会場アクセス／地下鉄真駒内駅より真駒内線青少年会館行きバス乗車
◆お問い合わせ／札幌武道センター☎011-711-3377

第5回オープントーナメント
全関東空手道選手権大会
9月12日(日)　神奈川・平塚総合体育館

◆会場アクセス／JR平塚駅北口よりバス乗車、「共済病院総合公園西」下車
◆お問い合わせ／実行委員会☎0463-23-7891

第16回オープントーナメント
東北空手道選手権大会、第12回子供型空手道選手権大会、第6回シニア空手道選手権大会
9月26日(日)　福島市国体記念体育館

◆会場アクセス／JR福島駅よりバス乗車、「国体記念体育館前」下車徒歩5分
◆お問い合わせ／大会実行委員会☎024-531-5452

第16回オープントーナメント
学生空手道選手権大会
10月17日(日)
福島市国体記念体育館・サブアリーナ

◆会場アクセス／JR福島駅よりバス乗車、「国体記念体育館前」下車徒歩5分
◆お問い合わせ／福島大学極真空手道部・猪瀬☎024-548-3033

第14回オープントーナメント
全関西空手道選手権大会
10月17日(日)　和歌山県立体育館

◆会場アクセス／JR和歌山駅より徒歩10分
◆お問い合わせ／和歌山支部☎0734-26-2124

第10回福島県ジュニア空手道選手権大会
10月24日(日)
福島・郡山市総合体育館・柔道場

◆会場アクセス／JR郡山駅よりバス乗車、「一本松」前下車
◆お問い合わせ／無限塾・平野和博(共進木材(株)内)☎024-934-5445

第16回オープントーナメント
全中国空手道選手権大会
10月24日(日)
広島市東区スポーツセンター

◆会場アクセス／JR広島駅よりバス乗車、「東区スポーツセンター」下車
◆お問い合わせ／広島支部☎082-253-7350

第3回オープントーナメント
福岡県空手道選手権大会
10月24日(日)　福岡・小倉北体育館

◆会場アクセス／JR小倉駅よりバス乗車、「市民球場前」下車
◆お問い合わせ／福岡支部☎093-923-6699

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

浅草キッド…お笑いマニアなら誰もが「実力日本一」と認める、水道橋博士（右）と玉袋筋太郎の漫才コンビ。芸能界きってのプロレス・格闘技通として知られる。現在、師匠・ビートたけしとともにパーソナリティーを務めるラジオ番組「ビートニックラジオ」（TOKYO-FM、毎週月曜深夜1:00～2:00）が好評放送中。
◎浅草キッドHP《キッドリターン》
http://www02.so-net.ne.jp/~a-kid/

キッドのイチ押し

PANCRASE 1999 BREAKTHROUGH TOUR 仙台大会
9月4日（土） 宮城・仙台市泉総合体育館

芸能界随一の格闘技マニアが選んだ8/26～9/8の最注目大会はこれだ！

山田学、石井大輔が日韓対抗戦に出場 あの文鮮明がマッチメイク？

博士 今回の注目大会は、パンクラス9・4仙台市泉総合体育館大会だ。その前に我々キッドは8・1に行われた第5回「ネオブラッドトーナメント」後楽園ホール大会をリングサイドで観戦した。

玉袋 あの日は昼夜2回興行で、空き時間は山下書店～後楽園サウナ～後楽園飯店とを満喫したなぁ。

博士 それじゃ場外で馬券獲ったオヤジの、男の醍醐味ゴールデンコースだよ。試合を満喫しろ！

玉袋 我々がレギュラー出演している「格闘コロシアム」の番組発掘ファイター須藤元気選手、良かったねぇー。

博士 でも日本で公式戦デビュー戦だったから心配したんだよ。さんざん煽っといてとんだ一杯食わせ物の可能性もあるからね。

玉袋 でも、さすが自称格闘アーティストと言うだけあって、パンクラスの静寂したムードに入場時から思いっきり風穴開けてましたからね。

博士 自分で作った非常灯搭載ヘルメットや天狗の面をつけての入場、試合でのネコだまし。膠着のない動きとか、魅せる行為が難しい競技の中で存分に元気選手の持ち味を出していた。

玉袋 師匠ルッテンの採点もパンクラスの×マークではなく、○マークでした。

博士 優勝は3年連続出場の美濃輪育久選手がオール一本勝ちで飾った。

玉袋 若手の選手層の厚いパンクラスだけど、このまま美濃輪選手にはランキング1位まで上がって、番組で語った「表に出て勝負したい」を是非実践してほしい。

博士 このトーナメントの面白さの秘密は、門戸を開き若手選手がいろいろな団体から集まり、意地を張って試合をしているからだと思うんだけど、今回のパンクラスも意地張りまくりだと思うんだよ。なんてったって国の威信を懸ける試合が2試合あるから。

玉袋 インドVSパキスタン戦とかね。

博士 さすがにその対抗試合はマッチメイクできないよ。日韓対抗戦だよ。

玉袋 往年の馬場＆鶴田VS大木金太郎＆キム・ドク韓国師弟コンビのインタータッグ選手権以来のビッグマッチですよ。

博士 話が古すぎるよ！　山田学オヤビンが迎え撃つのが初参戦の韓国選手。

玉袋 リー・ガク・スー選手。

博士 懐かしのFMW創成期のインチキくさいテコンドー選手じゃないよ。

玉袋 すみませんハン・モン・テン選手でした。

博士 板門店を区切って言ってるだけだろ！　違うよハン・テン・ユン選手だよ。板門店じゃキナ臭すぎるだろ。

玉袋 38度線固め。

博士 どんな技なんだよ。ハン選手は凄い選手らしいぞ、柔道2段にテコンドー4段。

玉袋 その上コマンドサンボの教官ですよ。

博士 ヴォルク・ハンと混ざってるよ。

玉袋 ハイブリッドだけに混ぜた方がいいギャグかと思いまして。

博士 くだらないよ。もう一人石井大輔選手と闘うのがパンクラス金道場の金宗王だ。

玉袋 この試合はあの文鮮明がマッチメイクしました。

博士 なんで合同結婚式になってるんだよ！

玉袋 しかし日韓対抗戦などやめて、日韓米で北朝鮮を攻めたほうがいいんじゃないか。

博士 国際政治問題をリングに持ち込むな。

玉袋 国際政治問題がダメなら坂口征二問題はどうですか？

博士 パンクラスと何も関係ないよ。なお、当日は会場内で鈴木選手の握手会があるそうです。

玉袋 鈴木選手は写真集のサインもするため全裸で来るそうです。

博士 来ないよ！

玉袋 ファンの方は握ってあげて下さい。

博士 全裸の男のどこ握らせようとしてんだよ。井手らっきょじゃあるまいし。しかし休場中の鈴木選手にも早く復帰してほしい。

玉袋 芸能界にもファンが多いですからね。

博士 昔は鈴木選手目当てで内田有紀チャンも会場に出没してたもん。そして「♪風になれ！♪」って入場曲を歌う中村あゆみ（現・なかむらあゆみ）はモチロンだしな。

玉袋 それだけじゃないですよ、最近じゃなぎら健壱もテレビで「風」って帽子かぶって応援してますぞ。

博士 あの人は違うだろ！

もう一度、「プロレスラー」の触覚を取り戻したい

『プライド6』終了後、「おそらくない」と言っていた
新日本参戦が急遽決定した髙田延彦。
その髙田に新日本参戦の真意、
そしてマット界で話題の人物について、
忌憚のない意見を聞いてみた――。

Nobuhiko Takada

髙田が語った
健介、ホイス、小川、田村、船木……。

聞き手◎"Show"大谷泰顕
撮影◎乾晋也

健介は新日本のトップだと思ってる 彼が『プライド』に出てきたら面白いね

——あのー、今回は高田さんにいくつか聞きたいことがありまして……。

高田 この前インタビュー受けたばっかりじゃない。で、今日は何？ 前回（創刊第2号のマーク・ケアー戦直後の独占インタビュー）は「負けてますます」みたいなことを言われたからなあ。

——いえいえいえ（苦笑）。

高田 今日は、ちゃんといい質問を用意してきた？

——ええ、バッチリと。で、まずは前号の本誌の表紙に謳った「高田VSホイス・グレイシー決定！」っていう話をする前にですね、いきなり本題に入っちゃいますけど……。

高田 だから何？（笑）。

——この間の「プライド7」……、じゃないや、「プライド6」の後に高田さんが「おそらくないだろう」と言っていた新日本プロレス参戦（8月28日、神宮球場）が正式発表されたんですけど、まず、そこから話を聞きたいな、と。

高田 うーん……、当初、俺が今後どういう道を歩いていくかということを考えた時にね。「チャンスがあれば、どこのリングでも上がっていきたい」と言ってたじゃない。それが偶然にも、そのタイミングで新日本から話があってね。なのに、まだ答えも出していない時に、どこかのアホが勝手に先走って、あたかも「新日本に出る」ように書いちゃってさ。それを良しとしてやっているのか、嫌味でやっているのかわかんないけどね。

——無責任すぎると。

高田 やっぱりいいモノを生んでいこうとか、いいモノをつくっていこうとか、俺の頭の中には自分のやりたいものもそうだけど、そのうちの50％は、いかに喜んでもらえることを提供できるか、それを考えてやってるわけだから。それを専門誌が潰してどうすんの？ っていう当たり前の疑問だよ。

——はいはいはい。

高田 法律がなければ、一人二人ぶった斬りたいところなんだけどさ。「アマチュア以下」みたいなことしかできないのもいるしね。

——いますよねえ!!

高田 ただ、そういう「ひと山いくら」みたいなヤツを相手にしてもしょうがないしな。

——ひと山いくら（苦笑）。

高田 やり方がとても理解できないよね。いいものをつくろうとしてるときにブチ壊されたんだからね。それで一度は白紙になったんだよ。100％白紙の状態だったところに同じような話を先方が持ってきて、お互いが気持ちよく合意したというのが今回の流れなんだよ。

——で、相手は佐々木健介選手という発表がされたんですけど、高田さん的には「なぜ健介なのか？」という意味も考えたわけですよね。

高田 まあ、いろんな見方があると思うけど、健介っていうのは、俺の中では新日本のトップなんだよ。彼みたいな選手が「プライド」に出てきたら面白いなと思ってるしね。いろんな意味を含めて、プロとして三拍子揃った素晴らしい選手だなって思ってるよ。それがたまたま、今回は向こうから名乗りを上げてきた選手であったということだね。それなら、俺の気持ちとピッタリじゃない。何も異論はないよね。俺は今がやりたい時期なんだから。

——じゃあ、ホイスとの闘いが決定した今、その前に健介選手と試合をするのは、高田さん的には「プロレスを再認識しよう」という気持ちがあるわけですか？ 来たるべき「プロレス」VS「柔術」のため、というと大袈裟だけど、その前に自分の原点を確認したいというか。

高田 うん。「プロレス」のリングに受け皿があるならば、その中でも強い「プロレス」のリングで、強い「プロレスラー」と試合をさせてもらって、自分の「プロレスラー」としての、いろんな触覚みたいなものを、もう一回磨いて「よっしゃー！」っていう気持ちを持って臨みたいからね。ずいぶん「プロレス」を忘れているから、その新鮮な状態で「プロレスラー・高田延彦」がホイスにぶつかっていく状況をつくりたいなっていう考えもあるよね。

——やっぱり新日本というのは、高田さん的には「故郷」じゃないですか。

高田 「故郷」だよ。

——僕は東京にいるのに、時々無性に東京に腹が立ったりするんですけど、やっぱり里帰りというか、そういう気持ちで新日本に行くんですか？

高田 まあ、どういうふうに変わっているのか。故郷の景色を見に行くというのもあるよね。たくさんビルが建っているのか、昔のまま田んぼがあって山があって、牛がモーモー鳴いているのかさ。

——逆に、かつてアントニオ猪木さんがバリバリの頃の新日本魂というか、「プロレスは最強の格闘技である」というモットーが息づいていた頃の、いわゆる「猪木イズム」と言われているものを、きっと高田さんは持っていると思うから、それを新日本のリングで見せてほしいと思うんですよね。

高田 俺の中にそういうものが埋め込まれているなら、意識せずに出るだろうね。ただ、上っ面だけを出したくないからさ。そのDNAが身体とか脳みその奥にしっかりと受け継がれているのなら、自然に試合の中に出てくると思うよ。

——うーん、そうかあっ!! で、当日は何かグローブを着けるとか……。

▲「小川戦？ 俺の中にはない。ジ・エンドだね」と高田

▲髙田の「打倒グレイシー」第3Rは来年のホイス戦だ！

髙田　着けない。

——あっ、着けないんですかあ。

髙田　「プロレス」をやりに行くんだよ。だから昔のままで、「プロレスラー」が「プロレス」のリングに上がるわけだから、そういうものは必要ないよ。

——じゃあ、新日本時代に当時使っていた技とかで、「これをやってやろう」っていうのはあるんですか？

髙田　そうだね、いろいろやってみたいね。ま、何が出るのか楽しみにしててよ。

——はい、わかりました。

髙田　何も出ないかもしれないし（笑）。

——そんな（苦笑）。で、当日はグレート・ムタVSグレート・ニタ戦が発表されていて、「ノーロープなんとかかんとか」っていう、僕らでも覚えられないような凄く長い名前のデスマッチがあるんですけど、髙田さんはその試合も見てみようと思ってるんですか？

髙田　わかんないね。

——ワイドショー的な見方をすると、あの大仁田厚さんが上がっているリングに髙田さんが上がれば、嫌でもファンには比較されると思うんですよ。

髙田　しゃあないでしょ、比較されたって（笑）。違うものだと思えばいいんだから。どこに出たって、比較されることは多々あるわけだからさ。というよりも比較されてナンボなんだよ。比較されることが「プロ」なんだよ。

——そうかあっ！　じゃあ逆に髙田さんはそういうバリバリのエンターテインメント志向の試合をやってみたいという願望もあるんですか？

髙田　WWFでやってみたいね。

——おおーッ、WWF!!

髙田　いろんなことを経験したいからね。自分がやってみたいと思うことは、極力実現させたいね。やっぱりプロレスっていうのはアメリカが本場だからね。それにWWFには歴史があるしさ。常に団体としては業界のトップを行ってるしね。株式公開したでしょ？　凄いよね。

——じゃあ、うまくいけば、ビンス・マクマホンJrと髙田延彦が同じリングに上がるかもしれないですね!?

髙田　うまくいけばね。

——それは見たいなあ!!　あのー、ところで「プライド」の話も聞きたいんですけど、ホイスとの試合に関しては、髙田さん的にはどうなんですか？

髙田　やりたいね。ただ、ホイスはホイスでまた別だよ。そういった意味では、「プロレス」と「バーリ・トゥード（以下、VT）」はまったく違うものなんだよ、俺の中では。

——でも、たとえばさっき言ったWWFにしても、ダン・スバーンであったり、ウェイン・シャムロックであったり、VTをやっても、キチンと実績を残す選手がいますよね。

髙田　でも、WWFで「プロレスラー」としては成功してないじゃない。

——あっ、そうかあっ。

髙田　だから「プロレス」っていうのは凄く大変だし、難しいし、奥が深いよ。VTで成績が残せたからって、一流の「プロレスラー」になれるほど甘いもんじゃないよ。インディーなら別だけどさ。大きなメジャー団体でね、レベルの高いところでみんなが競り合ってるわけだから。そこへポンッと、要は素人だよね、その素人が入ってさ、いい「プロレス」ができるわけがないよ。そんな甘いもんじゃない。だって「プロレスラー」なんて一人前になるのに最低10年はかかるよ。まあまあ出てくるのに5年から7年くらいかかるからね。どんな「格闘技」の下地があっても、それだけ難しいスポーツなんだよ。

——はいはいはい。で、「プライド」の話に戻りたいんですけど、髙田さんと同じく「プライド」を盛り上げている小川直也選手に関して、髙田さん的には、まだあんまり……。

髙田　あんまりじゃなくて、完璧にないよ（笑）。

——エヘヘヘヘッ。

髙田　ただ、もったいないよね。

——そうなんですよ!!

髙田　小川VS髙田にしても、もったいないと思う。ビジネスになるカードだと思うんだよ。だから、このまま流してしまうのも非常に残念だし、ファンが望むんだったら、本当はやるべきなんだろうけどさ。でも、実際にやるのは当人なんだよ。周りがなんと言おうとさ、俺の中にはもうない。ジ・エンドだね。

——ジ・エンド……。

髙田　「なぜ髙田と試合がしたいか？」って（小川が）聞かれて「コマーシャルに出たいから」って。バカ言ってんじゃねえって感じだよね。まあ、好きにやっとけって。

——まあ、小川選手も人間だから、そういう下世話な気持ちもあるとは思うんですよね（苦笑）。

髙田　下世話な気持ちを口にしたって、話は始まらないよ。ガキじゃないんだから。

——でも、小川選手のフォローすると、「プロ」であるならば、もっと光りたい気持ちがあるんだと思うから、「髙田さんとやったら光れるんじゃないか」っていう、いい意味での欲みたいなものを持ってるんじゃないですかねえ。

髙田　欲なんて誰だって持ってるよ。当たり前の話をするな、お前は！

——あっ、そうかあっ。

髙田　そんな話は100も200も聞いたんだよ。でも、本人の口から出るのは未だに「髙田、テメエこの野郎！」じゃない。それしかないんだから。それじゃあ物事は始まらないよ。いくら殴り合いでも、俺は常に相手に敬意を持ってやりたいしね。今回の健介にしたって、敬意を持ってリングに上がるわけだよ。それはヒクソンにだって、ホイスにだって同じだよ。まあ、この分だと人生が200年、300年あっても無理だね。

——そんなに無理なんですか（苦笑）。

髙田　だから、ないって言ってるだろ。しつこいなー。

——エヘヘヘッ、そんなあ（苦笑）。

髙田　動かそう、動かそうとするんだ、みんなねえ。

——だって、見たいですもん!!

田村？　俺が人間不信に陥った大きな要因のひとつだからね

Nobuhiko Takada

船木？ 本当に桜庭とやる気があるのかな？

高田　俺だって見たいよ。だけど、まあ、これも運命じゃん。なんでもそうじゃん。

——まあ、確かに馬場VS猪木も、結局は最後まで実現しなかったしなあ。

高田　そうだよ。いくら周りが躍起になったって、本人の心が動かないと始まらないんだよ。ビジネスを起こそうとしても、やってるのは人間なんだからさ。人間には感情があるんだから。これは他人がドライバーを持ってきてキュッキュッと締めてもダメなんだよ。

——なるほど。それから、あとは……。

高田　まだあるの？

——いや、前号で田村潔司選手に髙田さんのことについて聞いたら「一時は感情的になって言ってしまったこともあるので、満があるだろうから、まずはこちらから素直に謝りたい」と。で、「その後に闘うことができるならぜひやりたい」みたいに言ってたんですけど、僕的には髙田VS田村も見たいなあ、と。

高田　う〜ん……、俺が人間不信に陥った大きな要因のひとつだからね、あいつは。最も信用できないタイプだよ（苦笑）。謝る謝らないなんて誌面で言うことじゃないよ。自分が正しいと思ってやったことなんだから、貫き通すべきだよ。それがあいつの売りなんだろ。

——確かに、自分の信じた道を貫いた結果なんでしょうけどね。

高田　結果は自分で処理しようよ。それが人間ってもんだろう。とにかく俺の記憶からは消えてる人物なんだよね。

——そ、そこまで……。

高田　まあ、道で挨拶してくれれば挨拶くらいはするよ。だけど、もう近寄りたくはないね。もうこれ以上、人で苦労するのは嫌だからね。

——いやあ、確かに人間関係が一番面倒くさいんですよねえ……（苦笑）。

高田　うん、それはどこも大変だと思うけどさ。俺はやってきたからね。今でも大きなツケを払い続けてるんだよ（苦笑）。

——じゃあ、髙田さん的にないってことは髙田道場もないってことだから、桜庭和志VS田村戦も難しいですか。

高田　ないよ。100歩譲って「プライド」のリングでの可能性を残しておくとしよう。でも……、1％でも、いや0・1％でも今までに桜庭が築いてきたものに傷がつく可能性があるならば、そういうチャンスはあげたくないヤツだよね。

——じゃあ、それに関連して、この間、桜庭選手のトークショーでもファンから質問されてたんですけど、桜庭VS船木誠勝戦について、髙田さん的にはどう思っているのかなと。

高田　次から次に嫌な質問を持ってきたね、今日のShowは（笑）。

——えっ、そうですか（笑）。でも、実際のところ、どうなりそうなんですか、桜庭VS船木戦は？

高田　そもそも、最初からそんな話はないんだよ。

——……。

高田　わかるだろ？

——あ、そうかあ!!　確かに、元は「プライド6」の時に、桜庭選手が「フランクさん」と言ったのを「船木さん」と間違われたのが発端でしたもんね（笑）。

高田　そういうことだね。

——じゃあその対戦も、あるとしたら「プライド」になりますか？

高田　まあ、それならテーブルにつくことはできるよね。

——でも、船木選手は『週刊プレイボーイ』（8月17＆24日号）のなかで「プライドではあり得ない」と公言してますよね。ガイ・メッツアーやエベンゼール・ブラガのようなパンクラスにゆかりのある選手のブッキングに関して、「プライド」は「パンクラスに話をした」と言ったけど、「そんな連絡はなかった」と。「俺はそういう嘘をつかれるのは嫌なんです」と書いてありましたよね。

高田　まあ、そこまで断定的に言われちゃうと、何も始まらないよ。俺はその記事を読んだ時に寒気がしたよ。事実無根だよ。相手の選手がベースにしているイベントを中傷するような発言は慎んでもらいたいね。らしくないなと思うよ。そんな「プライド」を切って捨てるような言い方をされたらね。ずいぶんな失言じゃないかな。これも、もったいない話だよ。本当に桜庭とやる気があるのかな？

——確かに、観る側からすれば、パンクラスでもUFC−Jでも「プライド」でも、リングは関係ないですからね。あとは、やる気次第だから。

高田　彼の発言をよく聞くと、「ファンが望むなら」とかって言ってるでしょ？　もし「ファンが望むなら」という言葉を使うのならば、もう少しファンのみんなにその可能性を分けてあげながら言ってほしかったね。そう言われちゃうと、やっぱりこっちも「パンクラスとか、UFC−Jでやることはあり得ない」と言わざるを得ないよ。

——なるほど。

高田　それに、わざわざ桜庭を緊急記者会見（8月1日、後楽園ホール）みたいに引っぱり出さなくたっていいわけだろ？

——そうかあ……。

高田　ダメだな、今日のShowのインタビューは。小川だ、田村だ、船木だって。全然、ポジティブな話がないじゃない（笑）。

——いえいえ。じゃあじゃあ、次の「プライド7」（9月12日、横浜アリーナ）に関してはどうなりそうなんですか？

高田　またネガティブな話だなあ（苦笑）。

——えぇーッ、そうなんですかあ!?

高田　それに関しては、あと2、3日待ってよ。何か決まったら電話でも話をしようよ。■

PRESENT
髙田延彦サイン入り、髙田道場Tシャツプレゼント！

髙田延彦が髙田道場オリジナルTシャツにサインを入れて、本誌読者にプレゼントしてくれた。種類は、髙田が持っているタイプと、着用しているタイプの2種類。欲しい人は、本誌のプレゼント募集要項を参照のこと。

緊急速報！

「PRIDE.7」で決定!!
髙田延彦VSアレクサンダー大塚

聞き手◎"Show"大谷泰顕

髙田のインタビューから数日後、本誌は「プライド7」での髙田の対戦相手の情報を入手。締切りの関係上、深夜ながら、髙田をキャッチし、電話取材を試みた。

――あのー、ごめんなさい、ごめんなさい。こんな真夜中にすみません。

髙田 ああ、いいよ。こんな真夜中なんだから、今日こそは抜群にいい質問なんだろうな。

――ええ、夜中ならではのバッチリの質問です。なんか、急遽「プライド7」でアレクサンダー大塚選手との対戦が決まったっていう情報を聞いたんです。

髙田 うん。これはもう急遽決まったことだよ。で？

――えーっと、髙田さん的にはこれも佐々木健介戦に向けて言っていたみたいに「プロレスラーとしての触覚を取り戻す闘い」ということなんですか？

髙田 それとはまったく違うね。

――あっ、それとは違う？

髙田 これはもうバーリ・トゥードだから、俺はそのつもりで闘うよ。

――というと？

髙田 「プライド」のリングは「プライド」のリング。他のリングは他のリング。

――あー、なるほど。でも、対戦相手がアレク選手に決まったというのは、どういう経緯なんですか？

髙田 まあ、DSEからオファーを何人かもらってて、その中にはブランコ・シカティックとかね、何人か入ってたんだけどさ。やっぱり「プライド6」のマーク・ケアー戦の後にも言ったと思うけど、「自分の中での区切り」みたいなものから考えると、彼らとやっても、自分の中に問題提起というか意味がないんだよね。

――ああ、はいはいはい。

髙田 ホイス戦が見えているからには、自分の中に「やるからには」っていう物語がないと始まらないでしょ。そう考えた時に、対戦候補の中にアレクが入っていて、アレクなら意味合いがあるんじゃないかってね。

――その意味合いというと？

髙田 やっぱり俺はバトラーツっていう団体は好きだし、小さいけど凄く元気があるじゃん。「プライド6」でもカール・マレンコが元気よく（イーゲン井上に）勝ったしさ。なんか凄くエネルギーがあるじゃない。アレクがマルコ・ファス戦の時に、「朝から一生懸命「プライド」のリングを組み立ててた」っていう話もチラッと聞いたことがあるし。どこからそのエネルギーが出てくるのかっていうね。なんか自分の若い時のエネルギーに似たようなものが見えるんだよ。感じ取れるというかね。

――ほほーお！　髙田さんの若手時代のエネルギーを感じますか。

髙田 プロレスも背負って愛して、それを大事にしながら、なおかつ「プライド」で頑張るなんていう、そういう選手は今いないじゃん、あんまり。

――はいはいはいはいはい。

髙田 実際に「プライド」でも実績を挙げてるし、そういう選手だったら自分のリスクを懸けて試合をしてもいいんじゃないかなと。それをやる意義みたいなものが強く感じられたんだよね。それはマーク・ケアーにしてもそうだし、マーク・コールマンにしてもそう。それが、たとえ後輩であっても自分が認める人間だからこそ試合ができるっていう想いがあるわけだよ。ひょっとしたら一本取られるかもしれないけど、あくまでも「プロ」の先輩としては胸を貸す気持ちでね、「どんと来い！」という想いでリングに上がりたいと思ってる。

――ふう～ん、そうかあっ。でも、髙田さんもヒクソン・グレイシーと2回も試合をやった強運を持ってるけど、正直な話、アレク選手だって「髙田延彦とやりたい」と言ってポンッと実現しちゃうわけだから、凄く強運の持ち主ですよね。

髙田 うん、ある意味、強運だよね。

――そういう意味では、髙田さんの「運」とアレク選手の「運」のどっちが強いのかという、そういう部分も興味深いと思うんですよ。

髙田 うん、楽しみだね。大急ぎでコンディションを整えるよ。

――もう1カ月ないですけど、大丈夫ですか？

髙田 うん、まあなんとかなるでしょう。

――ほおーっ！　その辺はやっぱり今まで培ってきたものがありますもんね。

髙田 やりたいと思い始めて、そういうものを見出してさ、目的までの道のりが始まると、やっぱり身体も起きてくるからね。筋肉も起きてくるしさ。この1カ月くらい眠り続けてたけどね、パアーッと目が開いてきたよ（笑）。

――あっ、そうですか。でも、この前インタビューした時も思ったんですけど、最近の髙田さんって凄くアグレッシブですよね。

髙田 そう？

――それはメチャクチャ感じますよ。何を聞いてもポジティブですもん。

髙田 ああ、そう？　いい状態なんだろうね、自分の中のいろんな状態が。

――エヘヘヘッ。ボクも髙田さんを見習って、アレク戦の当日はアグレッシブでポジティブに取材しますんで、髙田さんも頑張ってくださ～い。

髙田 まあ、楽しみにしててよ。

Alexander Otsuka

強運の持ち主、
再びプライドに出陣

バーリ・トゥードで、髙田さんをジャイアント・スイングで回します!!

昨秋の『プライド4』以来、約1年ぶりの『プライド』参戦が決定し、しかも、なんと髙田延彦との対戦をゲットしたアレクサンダー大塚。果たして、髙田戦への秘策は……？

聞き手◎"Show"大谷泰顕
撮影◎乾晋也

Alexander Otsuka

僕がマルコ・ファスに勝てたのは「プロレス」を一生懸命やっていたから

▲約１年ぶりに『プライド』のリングに立つアレク。マルコ・ファス戦以来の衝撃が再び『プライド』に起こるのか！？

——今日は本誌で初のアレクサンダー大塚インタビューなんですけど、正直に言うと、僕はあんまりというか、バトラーツに関して不勉強なので迷惑をかけるかもしれないですが、今日はいい質問をバッチリ用意してきましたから。

アレク　『SRS・DX』のインタビューは、前号の桜庭（和志）さんとか、田村（潔司）さんとかのインタビューを読んでも、けっこう選手の辛口発言が多いですよね。

——あっ、そうですかねえ。

アレク　でも、読む側としては面白いですよ。ワクワクしますね。

——あっ、それは嬉しいなぁ。で、昨日高田延彦選手に取材をしたら、急遽「プライド7」でアレクさんと高田選手との対戦が決まったということで驚いたんですけど、アレクさん的には早くから「高田さんとやりたい」と誌面上を通して言っていましたよね。

アレク　そうですね。去年の「プライド4」で僕はああいう結果（「路上の王」と呼ばれたマルコ・ファスを破る）を出したわけですけど、結局、あれから1年近く経って「アレクサンダー大塚」っていうプロレスラーのグレードや、プロレス関係者からの扱いが、そんなに上がってないと思うんですよ。ああいう試合でせっかくプロレスラーとしての底力が見せられて、うまく結果を出せたのにもかかわらず、今の現状の「アレクサンダー大塚」でしかないっていう部分で、結局はプロレスラーとしてのネーム・バリューや僕の試合に対する価値を上げていくためには、やっぱり高田さんなり、船木（誠勝）さんなり、プロレス界で一目置かれている人と闘って、結果を出すなり、試合内容で証明するしかないんじゃないかなあ、という結論が僕の中で出てきたわけですよ。

——あっ、そうかあっ！　でも、プロレスラーとしてのグレードということで言えば、例えばメジャーの新日本プロレスのリングにも上がりました（4月10日、東京ドームで石川雄規と組み、山崎一夫&藤田和之と対戦）けど、それは満足してないんですか？

アレク　いや、もちろん新日本さんという大きなブランドの中に呼ばれたことは凄く感謝してるんですけど、対戦カードとして、自分のイメージを限定されちゃったというか……。

——ああ、でも、あの試合はセミファイナルの前に組まれてましたよね。

アレク　あっ、そういう部分では凄く買ってくれてるんだなあというのは感じましたよ。ただ、あの時点くらいから、僕自身のモチベーションのもっていき方にしろ、もっといろんな「プロレス」を勉強して、もっと世界に通用する「プロレスラー」になりたいと思うようになりましたから。そう考えると、結局のところ、あのマルコ・ファス戦っていうのは、「アレクサンダー大塚」っていうプロレスラーとしてのブランドの足をちょっと引っ張ってる部分もあるかな、と。

——えっ、逆に「足を引っ張ってる」っていうのは凄く意外です。

アレク　ええ、単純にそこだけを見れば、プロレスラーという価値観だけで見れば、という話ですけどね。

——そうかあ。プロレスラーといっても「格闘プロレスラー」みたいなイメージに限定されるのが嫌だっていうか。

アレク　そうですね。プロレスは奥が深いし、幅もありますし。あらゆる意味で超一流のプロレスラーを目指したいですから。そういう意味で、高田さんから「超一流のプロレスラー」を実感したいというか。現実的に高田さんも体験した「バーリ・トゥード」っていうスタイルもそうだし、「プロレス」もそうだし、僕は両方ともやりこなしてきた人間だと思ってますから、高田さんにはそういう部分で僕を受け止めてもらえればいいかなあ、と。

——高田選手は「来年1月にホイスとの試合が決定した」と前号で本誌も書いたんですけど、その前に、今回アレクさんと闘うことで「プロレスラー」としての触覚を、あらためて取り戻してほしいんですよね。

アレク　はい。まあ、試合前にそこまで思えなくても、試合をやった後に「やっぱりアレクサンダー大塚とやって良かったよ」っていう言葉を高田さんから引き出せればいいですね。やっぱり僕がマルコ・ファスに勝てたのも、「プロレス」っていう基本的なジャンルを一生懸命やってて、あとは自分自身の底力とか、そういうものがあったからこそ勝てたと思うんですよ。そういう部分で「プロレス」というものを、またもう一度高田さんに再確認してもらいたいな、と思います。

——あの一、大変失礼で申し訳ないんですけど、率直に言って、高田選手とアレクさんだと、もし「格」っていうものがあるとしたら、凄く開きがあると思うんです。ごめんなさ〜い。

アレク　まだまだ開きがありますね。

——だから、その二人が並ぶっていうだけで、凄く興味深いんだけど、それよりも「アレクって凄く運があるな」と感じるんですよねえ。

アレク　そこです、そこです。そこの

P R E S E N T

アレクサンダー大塚サイン入り、バトラーツTシャツプレゼント！

アレクサンダー大塚がバトラーツTシャツにサインを入れて、本誌読者にプレゼントしてくれた。欲しい人は、本誌のプレゼント募集要項を参照のこと。

桜庭さんは「プロレスラー」らしい「仕事」をしてないんじゃないかな

「運」っていう部分で、僕はそういうレスラーにもなりたいですから。今、大谷さんが言った「運」っていうところは、凄くいい感じだと思います。

―あ、いい感じですか。

アレク　今まで高田さんは一流レスラーとして闘ってきて、やっぱりヒクソン・グレイシーと2回やれるっていう「運」があるんですから。それは高田さんの周りの環境、バックアップしてくれる人間関係とか、もの凄い強運の持ち主ですよね。そういう部分も含めて、やっぱり高田さんは超一流だと思うんですよ。

―そうやってアレクさんみたいに、高田さんの「運」の強さを正当に評価する人は珍しいと思うんですよ。正直な話、高田選手の話になると、高田選手の一般的な知名度や強さをまったく評価せずに「いつも負けてる」とか「弱い」とか、そういうネガティブな言い方というか、皮肉った言い方をする人もいるじゃないですか。

アレク　いや、ヒクソンとの2試合に限らず、ヒクソンとやる以前の高田さんを考えても、ホントに超一流のスーパースターですよね。他団体の東京ドームのリングでメインを張ったりとか、自分の団体でも一流選手を引っ張ってきて倒してましたし。そういう部分でやっぱり、結局は何だかんだ言われながら、凄く一目置かれてる部分はあると思うんです。

―それは、やっぱり「運」を味方につけたアレクさんだから言える発言なんでしょうね。

アレク　「運」っていうのも、なんか夢があるじゃないですか。宝クジもいっしょですよね。「運」を勝ち取るために夢を買ってるわけじゃないですか。そういう部分ではそれくらい大きな夢を持ってる、運をつかめるレスラーになりたいなあ、と。やっぱりそういうレスラーを見てると、見てる側っていうのはいろんな夢を抱けるじゃないですか。金銭的な面もそうだし、人生、生き方とか。もちろん闘ってる姿を観て勇気を感じたりだとか。一番基本的なもんだと思うんですよ。プロとしてやっていく中で。

―じゃあじゃあ、高田戦では「アレクサンダー大塚」っていう宝クジを買ってくれというか……。

アレク　「サマージャンボ」は3億円ですからね（笑）。

―そのくらいの価値はある、と（笑）。

アレク　それくらい価値観のあるレスラーになりたいですね。まあ3億円のレスラーじゃあつまらないですけどね（笑）。もっと稼がないと。普通のサラリーマンで定年まで働いて2億円くらい稼ぐんですよね。だったらレスラーをやってて3億円じゃ夢がないですからね。

―大きく出ましたねえ。

アレク　やっぱり世界を見てくると大きくなりますね（※つい最近アレクは海外遠征から帰国）。そういう部分で今、僕の頭の中は凄くパニクってるんですよね。広いものを見てきて、こっちに帰ってきて目の前のこともやらないといけなかったり、そういうことをしながら世界っていうものを照準にして考えると、ホントいろいろやらなくちゃいけないことがあって。ホント、考える時間やゆとりが必要ですよね。

―じゃあ、そういう意味では海外遠征は凄く良かったんですね。

アレク　はい、良かったですね。視野が広くなったというか。

―で、話を戻したいんですけど、アレクさん的に、本当にプロレスラーとしてやりたいことはどういうことなんですか？　たとえば桜庭さんなんかは、「プライド」の舞台でプロレスラーの強さを証明してますよね。

アレク　桜庭さんの名前が出たんで、桜庭さんを例にしますけど、桜庭さんの考え方だとか、ハート的な部分は凄く「プロレスラー」を感じるんですよ。でも、バーリ・トゥードを主戦場にしている中で、プロレス団体にはなかなか出られない現状があるわけだし、そういう部分でまだちょっと、僕が言ってる「プロレスラー」ではないんじゃないかなあ、と。

―えっ!?　じゃあ、桜庭さんがＵＦＣ―Ｊで優勝（97年12月21日、横浜アリーナ）して「プロレスラーは本当は強いんです」と言った時は、率直にどう思ったんですか？

▲「高田さんは超一流のスーパースターですよね」とアレク

アレク　まあ、率直にその発言に対してはうなずけますけど、桜庭さん自身が「プロレスラー」と言えるほどプロレスラーらしいことをしてるかな？　っていう気持ちはありましたね。

―「プロレスラー道」とか「プロレスラー観」がアレクさんとは少し違う？

アレク　「観」とかじゃなくて、ハートは「プロレスラー」だけど、練習も含めて、ホントの「プロレスラー」という「仕事」を現実的にしていないんじゃないかなあ、と。これは決して桜庭さんに対して批判的だとか、嫌いだとかという意味ではないですよ。

―ええ、分かります。

アレク　僕は「プロレス」っていうジャンル自体を一般的に分かってもらったり、理解してもらったり、プロレス界というものを守ったりっていう部分を考えると、「プライド」を主戦場としては考えたくないんですよ。ヒクソンって何だかんだ言っても、対戦相手を選んで闘っている人じゃないですか。そういう部分でマルコ・ファスというのはヒクソンが

分かりにくかろうが面白いのが「プロ」なんだと思うんですよ

対戦してくれなくて。で、僕とやって、結果として負けちゃった。そういうヒクソンが逃げてる選手に勝った僕自身っていうのは、自分で言うのは変ですけど、それなりのものを持ってると思うんですよ。

――はいはいはい。

アレク　じゃあ、それ以上そのバーリ・トゥードというスタイルにおいてやるべきことはあるのかっていったら、べつに僕としてはないと思うんですよね。もうヒクソンとやるしかないと思うんですよ。やっぱり、なんだかんだ言っても「プロレス」が好きなファンは、ヒクソンの負けを目の前で見てないじゃないですか。それだけだと思うんですよ。そういう一番根っこにある部分以外だと、相当意味のあるテーマがないと、僕としてはバーリ・トゥードをやる価値を見いだせないんですよ。それだったら一番基本的な部分でプロレスラーとして、みんな一歩一歩段階を踏んで頑張ってる中で、僕も頑張っていければいいなと思うんですよ。だから、今度の高田戦というのは、バーリ・トゥードというスタイルと、プロレスラーとしての意地のせめぎ合いというか、今の僕が唯一、ヒクソン戦以外に価値を見いだせるテーマなんです。

――そうなると、高田戦の後のアレクさんはどうなっていくのかなあって考えちゃいますよね。

アレク　そうなんですよ。だから、帰国して何を頑張ればいいのかさえも分かってない中で、今回、高田さん、船木さんの名前を出したのが、まず僕が見つけた目標なんですよね。これをやったことによって、何か次が見えてくると思って。むしろ見えればいいと思ってこれに臨んでるわけですから。

――じゃあ、最後に高田戦に向けて、「これをやりたい」みたいなことがあれば公約して下さい（笑）。

アレク　やっぱり、マルコ・ファス戦でも心にあったジャイアント・スイングをやりたいですね。

――おお、ジャイアント・スイング!!　凄いなあ～。今度こそ回しますか？

アレク　回せたら回します。

――極端な話、ジャイアント・スイングで回して負けちゃったらどうします？

アレク　それでいいです。

――それでいい（苦笑）。気持ちいいなあ。でも、それはやっぱりアレクさんだから言える言葉だと思うんですよ。

アレク　いや、僕が考える「プロレスラー」だったら誰でも言えると思いますよ。僕はそれが「プロ」だと思うんですよ。ただ、その「アレクさんだから言えることだ」っていう部分で、やっぱりそのレスラー像はそれぞれがつくり上げていくものだと思うんですよ。僕はそういうふうに言っても何ら問題のないプロレスラー像を今つくり上げているからこそ、お客さんにそういう目で見られると思うんですよね。

――それは、勝っても負けても「アレクサンダー大塚」が語られるプロレスラーになるっていうことですよね。

アレク　そうですね。やっぱり「プロ」の基本はそこだと思うんですよ。だから、その点はゲーリー・グッドリッジなんかは、「プロ」として凄く評価してますよ。

――小川直也選手に負けても？

アレク　ええ、負けても。ゲーリー・グッドリッジは僕がプロモーターならいつでも使いたいですよね。お客さんを呼べる「プロ」ですよ。やっぱり、単純に面白いですもん。「単純に」っていうのは、最近よく言われる「分かりやすいプロレス」だとか、「分かりにくいプロレス」だとかっていう部分ではなくて、観てただ単に面白いっていう部分でね。分かりにくかろうが面白いっていうのが「プロ」だと思うんですよ。

――「分かりにくくても面白い」のがプロか。

アレク　そういうふうに見せられるのがホントの「プロ」だし、それこそが「プロレスラー」だと思うんですよね。

――じゃあ、極端な話、アレクさんが考える本当の「プロレスラー」にはいつ頃になれるんでしょうか。

アレク　そうですねえ……。『1・2の三四郎』（講談社）の東三四郎と、漫画の中で闘える時ですね。

――じゃあ、逆に言うと作者の小林よしのりさんだけが知ってることかもしれないですね。

アレク　よしのり……。

――あっ、ごめんなさい。小林まことさんでした。間違えちゃいました（苦笑）。

アレク　小林まこと先生が筆を持つためには、やっぱり周りがそういうふうにもっていかないといけないですから。周りがもっていくためには、自分がそういうレスラーになって、ファンに支援してもらって、ファンがたとえば講談社に「描いてください」っていう投書を出すだとか、そういうことになってこそ、ホントの「アレクサンダー大塚」のプロレスラー像に近づいている証拠だと思うんですね。だから、もし現実に描かれなかったとしても、そういう現象や行動が起きれば僕は理想にほぼ100％近づけたんじゃないかなあと思いますよね。

――じゃあアレですね、さっき宝クジって言ったけど、「アレクサンダー大塚」っていう「株」をみんなで買おうということじゃないですかね。

アレク　あー、ある部分では「株」という言い方もできるかもしれませんね。

――価値が上がったり下がったりするじゃないですか、その人や会社の頑張りによって。

アレク　まあ、そういう部分では「株」でありたいですよね。宝クジは一発当たったらそれでおしまいですから。一発屋にはなりたくないですね（苦笑）。

――分かりました。僕も徐々に自分の株を上げるように頑張りま～す（笑）。■

本誌は極真（松井派）世界大会を応援します！

短期集中連載
極真世界大会カウントダウン
〜昭和編〜 第1回

郷田勇三（最高顧問）

数見をして勝てなかったら、日本は当分世界で勝てない！

▲第１回世界大会での盧山VSマーチン戦。この大会で日本が負けたら、大山総裁は腹を切る！ と宣言していた
写真提供◎ワールド空手

インタビュー◎谷川貞治

11月5日から3日間、東京体育館で開催される松井派・極真世界大会まで、あと100日を切った。そこで、本誌はこの4年に一度の世界大会を盛り上げようと、短期集中連載として「極真世界大会カウントダウン」をスタートする。しかも、それは昭和編と平成選手編に分けて、多面的に極真の魅力をお届けする。その昭和編の第１回目は、極真最長老にして、最高顧問の郷田勇三師範にお聞きする。

▲郷田師範は大山道場時代からの直弟子で、長く本部の師範代を務めていた

直前集中連載
極真世界大会カウントダウン
～昭和編～ 第1回

——極真の世界大会を第1回から現場で見ているのは、極真の中でももう郷田・盧山両最高顧問しかいないんじゃないですか。

郷田 まあ、そうだね（笑）。

——そこで、今日は創成期の極真イズムというものを、郷田先生からバッチリ若いヤツらに叩き込んでもらおうと、話を聞きに来たんですよ。もう、最近は誰も「負けたら腹を切れ!」なんて言わないじゃないですか。

郷田 いや、もう、だってさぁ、総裁がね、第1回世界大会を開く時に「向こう10年は日本は負けない!」「もし負けたら腹を切る!」と言ったでしょ?

——は、はい。確かに言っていました。

郷田 でも、もう10年なんてとっくに過ぎてんだもん。で、今回みたいに「日本が危ない、危ない」と言われてるのは、もう松井館長が現役の時代から言われているんだから。

——へっ?

郷田 だけど、考えたら数見というのは、歴代の全日本チャンピオンの中でも最高の選手だからね。これをもって外国に勝てなかったらさぁ、これはもう仕方ない。数見ほどのチャンピオンなんて、もう絶対に出ないんだから。

——逆に言えば、数見選手が負けたら、日本のお先はまっ暗じゃないですか。

郷田 当分勝てないでしょ。だけど、今年の世界大会ほどね、自分個人として悩む世界大会はないね。どういうことかと言うと、数見の先生は廣重（城南支部長）でしょ。フィリォの先生は磯部（南米支部長）ですよ。この二人とも、本部の内弟子で自分が教えた人間なんだから。一緒に寝食を共にして、付き合ってきた密度と言ったら、他のどの支部長よりも濃いわけだから。この二人との絆が一番強いんだよ。本当に悩むよなあ。

「今回の世界大会ほど悩む大会はない。磯部も、廣重も内弟子で、自分とは一番濃い関係にあったから」

——ああ、なるほど。

郷田 その一番濃い二人の弟子が、数見とフィリォなんだから。フィリォにしても、ガキの頃から知ってるわけだよ。自分はフィリォが入門する前からブラジルに行ってるし、当然入門した頃も知ってるし、南米大会でも何度も見てきたんだから。可愛さからいっても、普通の外国人選手とは違うんだよ。だから、郷田勇三個人としては、本当はどっちが勝ってもいい。できれば、二人ともチャンピオンにしてあげたいくらいなんだよ（笑）。

——そう、来ましたか。

郷田 極真会館最高顧問としては、もちろん数見に勝ってほしい。けれどもね、郷田勇三個人としては、フィリォにも優勝してもらいたいんだよね。だってさ、フィリォが世界チャンピオンになるということは、磯部にとって総裁に対する最高の恩返しなんだから。あいつだって、28年も前に命張って裸一貫でブラジル行って頑張ってきたんだから。これはね、大変なことだよ。

——いやぁ、確かに郷田先生と磯部師範の絆は傍から見ても強いですね。

郷田 磯部なんて本当に豪傑ですよ。酒飲んで寮に女の子を連れ込もうとしたりさ、どこで喧嘩してきたのか知らないけど、1階にいたら、2階から磯部の血が天井を伝わって落ちてきたことだってあるんだから。

——ええっ!! 天井から、ち、ち、血があ……。

郷田 そうだよ。磯部の血だよ。あいつ外で喧嘩してきて頭から血ィ流してんだけどさ、俺は出血多量で本当に死ぬと思ったもん。本人はガァーガァーいびきかいて寝てたんだけどさ（笑）。

——ハハハハ、さすが磯部師範（笑）!

郷田 そうですよ（笑）。あいつは本当は福井の田舎に帰ってなくちゃいけないんだよ。でも、それを俺とUSA大山の泰彦最高師範がダマしてブラジルに行かせたんだよ。それが、あいつ永住して頑張ってるわけでしょう。可愛いよ。

——郷田師範がダマしたんだ（笑）。

郷田 そうだよ。俺と泰彦最高師範がダマしたんだよ（笑）。でも、福井の田舎にいるよりはいいでしょう。

——いやぁ、どうですかね（笑）。廣重師範はどうだったんですか?

郷田 廣重!? あいつだって凄いよ。あいつは寮の規則を作ったんだから。

——寮の規則!? それは磯部師範とはえらい違いですね（笑）。

郷田 いやぁ、廣重は堅い男だったからね。大山総裁もずいぶん信頼していたほどだから。

——磯部師範のように天井から血を垂らしたとか、そういうエピソードはないんですか。

郷田 そりゃあない。

——あっ、ない。

郷田 でも、廣重は派手さはないけど、実に実直にやる男だったよ。あいつもね、自分が「プロ空手」に引っ張ったんだよね。谷川さんの年代なら知っていると思うけど、極真もK―1じゃないけど、「プロ空手」をやってたじゃない。その選手として、俺が廣重をサラリーマン辞めさせて引っ張っちゃった（笑）。でも、結局は失敗しちゃったから、しょうがなくて内弟子にしたんですよ。あいつも、確か27歳か28歳で他流派から来たんじゃないかなぁ。普通、そういうタイプは必ず潰されるんだけど、廣重も頑張ったからねえ。

——いやぁ、郷田先生も人の人生を左右しますねぇ（笑）。

郷田 でも、あいつだってサラリーマンやってるよりはいいでしょう（笑）。廣重も世界チャンピオンを、今度の数見がなったら4人目ですよ。本当にたいした男ですよ。だから、さすがに今度の世界大会は俺も悩むよ。

——そうかぁ。

郷田 だいたいフィリォなんて、俺もかなり出費しているんだから。ブラジル勢は世界大会になると必ず10日前に来て、内弟子の中村金ちゃんのところに寝泊まりさせているんだけど、フィリォは俺んところの道場のサンドバッグ全部ぶっ壊しやがるんだから。それと、フィリォが初めて出た第5回世界大会。俺はフィリオに言ったんだよ。「オマエの先輩のアデミール（・ダ・コスタ）は、あのアンディ・フグに負けたんだ。もし、フグに勝ったら、賞金で5万円出すよ」って。そしたら、見事にぶっ飛ばしたでしょ。

——ハイキック一発でKOでしたね。あれは極真世界大会史上に残る衝撃的なシーンでした。

郷田 そしたら、磯部が真っ先に飛んで来てさぁ、「先輩、5万円! 5万円!」って手を出すんだよ。「馬鹿野郎! オマエに出すんじゃないんだ」と怒ったんだけど、結局5万円取られてさぁ。もう、かなりの出費ですよ（笑）。

——ハハハハハ、いい話だなぁ（笑）。でも、本当は僕、郷田先生に「日本人

よ、負けたら腹を切れ!」という話をしてもらいたかったんですよ。

郷田 ハハハハ、でも数見なんかも可愛いよ。やっぱり合宿を見ててもさぁ、ひとつ一つキチッと真剣に基本稽古をしているのは、ハッキリ言って数見だけですよ。だから「腹を切れ」なんて言えないよ。腹を切るんだったら、俺があいつの代わりに切ってやりますよ。

——泣けるなぁ。では郷田先生、ちょっと話は変わりますが、第1回世界大会の時の日本人のムードというのはどうだったんですか。

郷田 それはやっぱり緊張感あったよ。総裁が全空連がパリで負けた時、声明文出したからね。「全空連は外国に負けたけど、極真がある限り、日本の空手は断じて外国なんぞに負けておらん!」って。

——あれは感動的な声明文でしたね。

郷田 そういう意味でも絶対に日本は負けられないと思ってたよ。それで「負けたら腹を切る!」でしょ。でも、本当は総裁、負けたら何か言い訳を考えていたと思うんだよなぁ。本当に切るわけないもん(笑)。

——そ、そんなぁ(笑)。

郷田 でも、言われたほうはやっぱりビリビリしましたよ。ただ、自分はまだ負ける気はしなかったけどね。ちょうど、世界大会前に代表メンバーで、アメリカに行ったでしょ。それで自信もついたし。

——大山茂師範、中村忠師範のニューヨーク道場ですね。

郷田 そうそう。そこに佐藤勝昭、西田幸夫、二宮城光、添野義二、岸信行、佐藤俊和と、自分で行ったわけですよ。

——うわぁ、凄いメンバーですね。まさに『空手バカ一代』そのままだ。

郷田 で、行く前に総裁が吹くわけですよ。オリバーというのがいたじゃない。そのオリバーのことにしても「忠の道場には、ジャンプして、空中で3回蹴る凄い黒人がいる」とか、さんざん本部で言うわけ。だから、自分らも緊張するわけよ、やっぱり。でも、佐藤俊和は秋田にいたから、そんなこと聞いてないわけ。先入観がないから「なんだ、このチビ!」って、ガガガガーッと潰しに行くんですよ。それを他のヤツらも見て、「あれぇ、なんだたいしたことないじゃないか」と思って行けるようになったわけ。もちろん、たいしたことはあったんだけどね、俊和の相手を知らない強みが良かったんだろうね。

——ウィリー・ウイリアムスとか、チャールズ・マーチンとかともやったんですよね。

郷田 やったよ、そりゃあ。もちろん大変でしたよ。でも、当時はまだ下段回し蹴りを知らなかったからねぇ。とにかく日本代表にも「下段は世界大会まで使うな」と意志統一してたんですよ。でも、どうしても出ちゃうんだよね。そしたら、オリバーとか、チャールズとか「下を蹴るのはどうやってやるんだ?」と稽古が終わった後に聞いてくるわけ。「下段だけは絶対に教えるな!」と言われていたから、それをゴマカすのが大変でねぇ。第1回の場合は、外国人が下段回し蹴りを知らなかったことで、ずいぶん助かったよ。

——ええ、その話は聞いていています。

郷田 でも、当時、勝昭は90キロ以上あって外国人から見ても大きいと思われていたんだけど、今じゃあ当たり前だからね。その意味でも、やっぱり30年近く経ってるわけですよ。磯部がブラジルで命懸けて怪物を作ってるんだから、強いヤツが出るのは当たり前のことなんだよ。

大山総裁が第1回世界大会前に吹くんですよ。「忠のところには、空中で3回蹴れるのがいる」って

——まあ、そうですけど、今と比べると稽古量なんかは当時のほうが多かったんじゃないですか。

郷田 稽古量は今のほうが多いんじゃない? それにレベルも今のほうが上ですよ。ただ個性は今よりあったよなあ、ひとり一人の個性は。代表じゃない黒帯なんかもそうだけど、今よりかあったよなあ。今はどっちかというと、大人しくなってるからねえ。

——それこそ、磯部師範のような豪傑ばっかりでしたからね。

郷田 そうそう、そこは違うね。みんなよく喧嘩したしさぁ。俺なんか、警察にもらい下げによく行ったけど、今はまったくないんじゃないの?

——郷田先生は、本当に「もらい下げ」専門でしたよね。

郷田 そうですよ。俺なんかは捕まるような喧嘩はしないですよ。やる前から逃げ道を考えて喧嘩するからね。でも芦原英幸で2回くらいでしょ。大石代吾は3回くらいあったかな? 泰彦師範、岸、三浦もあったな。ちょうど鹿児島にいる竹の頃まではあったんじゃないかなあ。

——いやあ、勲章ですよね(笑)。

郷田 でも今は勲章なんかにならないよぉ。酒飲んで喧嘩するなんてね、イメージも悪くなるし、お金もかかるし、いいことなんてひとつもない。喧嘩なんて、やっちゃダメですよ。

——そうかなぁ、僕はそういう極真も好きなんだけどなぁ。

郷田 いやぁ、もうダメだって、そんなんでは。時代が違うよ、時代が(笑)。でも試合をしても、喧嘩をしても、極真は絶対に負けちゃいけないという気概は、当時は強かったんじゃないの?

▲郷田師範から見ても、フランシスコ・フィリォは史上最強の外国人だそうだ

——大山総裁に「負けたら腹を切れ!」と言われて、本当にカバンの中に短刀を入れていた選手なんかいないんですか。

郷田 さすがにいないでしょう(笑)。でも世界大会の前の話なんだけどさぁ、自分も芦原も藤平君(大沢昇)もロッカーの中にドスを入れていたよ。

——ええ? ロッカーにドス!

郷田 いや、万が一道場破りが来てさ、負けたら刺し違えてやろうと、真剣に考えていたからねえ。だから、みんな一本ずつ持ってましたよ。

——ほぉ!

郷田 実際は、たまたまそういうことがなかったし、あっても茶帯で十分やっつけたけどね。本当に不覚をとったら、やっちゃおうと考えていたんだから。

——それは、いい話ですね。

郷田 でね、芦原は鈑金屋だったからね。自分で長いドスを作ったんだよ。それで、「じゃあ、俺ももっと長いの作るよ」と言って、自分で日本刀作ることにしたんだから。

——えっ? 郷田先生が自分で作ったんですか。

▶日本代表メンバーの腹筋にパンチを入れる郷田師範。相変わらず厳しい

郷田 そうそう。当時、目白に日本刀を売っている店があって。そこへ行って、どうやって刀を作るのかずっと見てさぁ。昼休み1時間、帰りに1時間、2カ月毎日通って研究したよ。それで「よし、できる！」と自分で本当に立派な日本刀を作ったんだから。それは立派でしたよ。ちゃんと鍔まで作ったしねぇ。

――へぇー、それをロッカーに。

郷田 そうそう。それで、スペインの皇太子が来た時に、自分と泰彦師範が真剣白刃捕りをやったんだけど、その時にその日本刀使ってやったりした。だから、自分はロッカーにドスと日本刀2本入れてたんですよ。そしたら、たまたま総裁がロッカーを開けて、持っていっちゃったんですよ。それで、しばらく総裁の部屋で飾ってあってね、自分は「まずいなぁ、なんとかしなきゃいけないなぁ」と思っていたんだけどね。

――で、どうしたんですか？

郷田 そうしたら、いつの間にかその日本刀がない。で、勇気を出して聞いてみたんだよ。当時はまだ館長だったから、「館長！ ここにあった刀はどうしたんですか？」と尋ねたら、「あぁ、あれはねキミィ、誰かが持ってちゃったよぉ」と。それっきりどっかに行っちゃった。

――ハハハハ、それは腹が立ったでしょうね。

郷田 だってさぁ、当時250cc新車のバイクを持ってるヤツが、その刀と変えてくれって言ってたくらいなんだから。もう踏んだり、蹴ったりだよ（笑）。でも、負けたら、刺し違えようなんて、自分たちも純情だったよねぇ。

――いや、それでこそ極真！

郷田 ただ負ける気はしなかったけどね。自分はともかく芦原とか、藤平君強かったからね。そりゃあ、負けませんよ。

――僕はそういう過激な極真が好きなんですよ。でも実際、日本が負けたら本当にヤバイでしょう（笑）。先ほど郷田先生が言っていたように、数見をして勝てないとなったら、本当に日本は当分勝てないでしょう。

郷田 まあ、数見にしたって28歳？ もう1回4年後を目指せというのは、酷だからねぇ。でも、数見以外の人間がね、自分たちが絶対に優勝するんだ！ という気持ちがあったら、数見は今の倍以上の力を発揮すると思うよ。松井館長が優勝した時は、まだ増田とか、黒澤とか、緑だとか、八巻だとか、それなりの選手がいっぱいいたからね。今回は数見だけということになったら、本当にヤバくなるだろうね。

――そうですよ。僕は極真だけは海外に王座を取られてほしくはないんです。だって、極端なことを言うと何十年、何百年後に、海外の人が館長になったりしたら嫌じゃないですか。

郷田 そりゃあダメだ！ でも現に講道館柔道が外国人に仕切られているからね。でも、極真はやっぱり日本が中心となって組織化しなきゃダメですよ。外国人に「もう日本から何も学ぶものはない！」とは言わしちゃいけない。

――そうですよ。だから郷田先生にハッパをかけてもらいたいんです。大山総裁の「極真は背中を見せない！」とか「負けたら腹を切る！」という、あの過剰さがいいんじゃないですか。

郷田 そういうところは、総裁はね、思いきったこと言ったよね。絶対に勝つという保証なんかないんだからさ（笑）。でも、そういうところは、引き継がなきゃダメだよね。だから、「数見が絶対に勝つ！」と言ってもいいんだ。

――絶対に勝つって、郷田先生が断言してくださいよ。

郷田 おう、勝つ、勝つ！ 万が一にも負けたら自分が腹を切る！

――あ、やっと嬉しい言葉が聞けました。

郷田 でも、やっぱりフィリォも可愛いしなあ……（笑）。 ■

「自分たちはロッカーにドスを入れてましたよ。もし道場破りに不覚をとったら刺すつもりで」

▲果たして日本は勝てるか？

奇跡の純朴少年 18歳！ 田中健太郎

極真史上最年少の世界大会出場！！

インタビュー◎金井由紀子
（奇跡の暴走ハリケーン娘）

11月5～7日の3日間にわたり東京体育館にて開催される「第7回全世界空手道選手権大会」は、あのフランシスコ・フィリォやグラウベ・フェイトーザら世界の強豪が、空手人生のすべてを賭け頂点を目指して闘う。その厳しい状況下で極真史上初、弱冠18歳で出場権を獲得した田中健太郎。4年前、数見肇の活躍に魅了され大山総裁の存在も知らずに、極真の門戸を叩いた純朴少年が、今憧れの大舞台に立つ！　田中健太郎の静かな闘志に注目したい！

―極真史上最年少、18歳世界大会出場おめでとうございます。

田中　押忍、ありがとうございます。

―18歳のわりには落ち着いてますよね。ちょっとおやじっぽいと言うか（笑）。

田中　いや（笑）、あの14歳で極真を始めてから毎日大人の皆さんの中にいますので、そう見えるかもしれないですね。

―今時の18歳というと、茶髪、色黒、メッシュ入りみたいな、ある意味対極にいる彼らを見てどう思います？

田中　自分には似合わない格好だと思います。ただ、ズボンを下げて歩いているのは……あの格好だと足が上がらなくて蹴れないですよね？

―蹴れない！　素敵だなぁ！　それじゃ街でケンカしたことなんかはない？

田中　一回もありません。もともとケンカはあまり好きではないので。

―血の気はないと。確か去年までは高校生でしたよね？　西武の松坂選手と同級生とか。仲は良かったんですか？

田中　いや、向こうは自分のこと知らないと思うんで。あ、[illegible]お母さんが[illegible]なんですよ。今でも去年の[illegible]の試合とかビデオで繰り返して見てるんですよ（笑）。松坂の出てるテレビ番組は、全部ビデオにとってます！

―素敵なお母さんじゃないですか（笑）。

田中　[illegible]とうございます（笑顔）。

―[illegible]からは……。

田中　[illegible]横浜港南支部の内弟子でな[illegible]

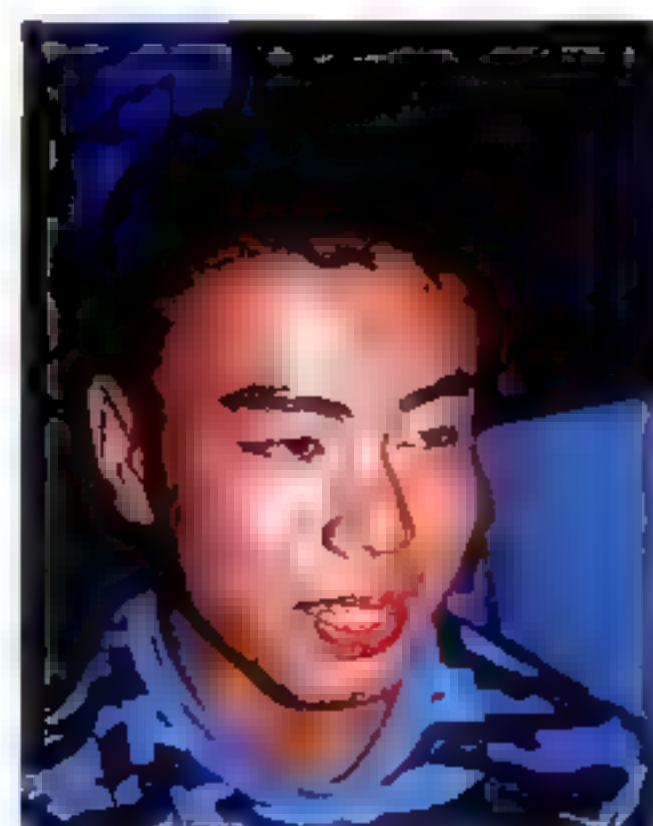
[illegible]

短期集中連載
極真世界大会カウントダウン
～平成選手編～　第1回

▲夏合宿で「上段回し蹴りを間近で見られて参考になった」という成嶋と組手稽古。世界大会で活かすことができるか？

すし、幸せだと思います。
――そうですね、好きなことだけできる人は、あんまりいないですからね。
田中　あの～、お仕事あまり好きじゃ…。
――好きですよ、当たり前じゃないですか（笑）。ところで、お休みは何してますか？
田中　日曜日が休みで、ほとんど寝てます。あとは友達に会ったり…です。
――18歳というとやっぱり彼女が欲しいと思う年齢ですよね？
田中　友達の話を聞くと、いいなぁと思うこともありますが、でも今は時間もないですし、少し面倒な気もするのでそういうことは考えていません。
――健全だなぁ。健全すぎますね。それじゃ好きな芸能人とかは…？
田中　いや特には…。
――いや、一人くらいはいるでしょう。
田中　（若干照れて）鈴木あみです…ね。
――アミーゴ！　普通の18歳じゃないですか。安心しました。では、14歳で空手を始めたきっかけから教えて下さい。
田中　あの…第6回世界大会を見て始めようと思ったんですが、ビデオを録画する時にGコードの間違いで…。
――え？　Gコード？
田中　はい、お父さんがバイクのレースをとろうとして第6回世界大会を間違って録画してしまって……。でも、それを家族で毎日見ていたんです。それで「何これ？」とお父さんに聞いたら「極真カラテだよ」と教えてもらい、その時に活躍していた数見選手や黒澤選手の強さに圧倒されて、すごくかっこいいなぁと憧れたんですよ。それで「よしやってみようかな」と、入門を決意しました。
――数見選手は大山総裁に憧れて…という理由だったそうなんですが、大山総裁への憧れはなかったんですか？
田中　あの、実は道場に初めて行った時に、正面に飾ってあった総裁の写真を見て「あれは誰だろう」と思っていました。
――え、えええっ？　知らない？　大山総裁のお顔も知らなかったんですか？
田中　……オッスゥ。家に帰ってお父さんに写真のことを尋ねたら「それは大山総裁だよ！」と怒られました（苦笑）。
――なんと、大山総裁を知らずして極真に入門！　もうそういう世代なんですね。
田中　すみません。
――いや、謝らないで下さいよ。では、『空手バカ一代』は読みました？
田中　道場にあるんですが、まだ読んだことがないので今度読みます。
――早急に読んで下さい。ぜひとも感想文を編集部宛に送って下さいね。それでは、先日のウェイト制を振り返ってみてどうですか？
田中　すごく厳しいトーナメントだと思いました。
――勝てば世界大会ということは意識していました？
田中　やっぱり、3位決定戦の時になって、羽田先生に「ここまで来たんだから負けたら意味がなくなるぞ！」と言われ、勝たなくちゃいけない、絶対に負けられないんだ、という気持ちが一層強くなりました。応援に来てくれている人達をがっかりさせないように、と思いました。

大山総裁の写真を見て「誰だろう？」と思いました

――みなさん応援に来てたんですか？
田中　家族全員大阪まで来てくれました。
――18歳だから、スタミナ的というか肉体的には問題なかった？
田中　いや、そんなことはないです。ウェイト制の前までは、大人の体に体格負けしていた部分が強かったんですが、それが少しなくなってきました。でも、今でもまだ子供の筋肉だと言われます。これからもっと体を大きくしたいです。
――身長、体重は変わりましたか？
田中　180センチ、86キロです。空手を始める前は65キロしかなかったんですが、1年くらいで今の体になりました。
――じゃあ、べらぼうに食べたんですね。
田中　押忍、べらぼうに食べました（笑）。
――身長はまだ伸びていますか？
田中　まだ伸びてるみたいです。
――まだ成長期ですもんね。180センチということは数見選手と同じですね。将来的にはやっぱり数見選手のような体を目指していますか？
田中　押忍、とにかく数見選手のように大きくなりたいです。95～100キロくらいで、素早く動けるような体になりたいです。あの、先日の夏合宿の時に、数見選手を近くで見たら2メートルくらいあるように見えましたが、同じ身長なんですか？
――同じ180センチです。その夏合宿は実際に日本のトップクラスの選手と手を合わせたわけですが、いかがでした？
田中　一番印象的だったのは、松井館長の基本稽古の正確さと綺麗さに圧倒されて本当にすごいと思いました。あとは、成嶋先輩の上段蹴りですとか…。たくさんあります。先輩方の優れたところを少しでも吸収しようと思って…。あと、今までフィリォ選手とグラウベ選手と闘ったことのある選手の体験談のなかでも、蹴りに対しては両手で受けなければいけないとか、本当にすべてが勉強になりました。

▲非常に穏やかに話をする田中。その落ちつきぶりは、同世代とは雰囲気がちょっと違う

――実際にあの代表メンバーの面々と稽古するのは緊張しませんでした？
田中　緊張したんですが、皆さんがたくさん話し掛けて下さったんで…。後で聞いたんですが、羽田先生が自分に内緒で、代表の皆さんに「田中に話し掛けてやって下さい」とお願いしてくれていたみたいです。すごく気を遣って頂きました。
――素晴らしい師弟愛ですね。夏合宿の時、憧れの数見選手とは話されました？
田中　いや、あのすぐ近くにいたんですけど、稽古の後にみんな水をかぶってたんですが、水のかぶり方とかお茶の飲み方とか、一つ一つの動作が豪快で……。
――見とれてしまった（笑）？
田中　こんなこと言っちゃだめですか？
――いやいや、数見選手に憧れて入門されたんですから、それは当たり前です。
田中　うちのお父さんが数見選手に話し掛けるんですよ。
――え？　またお父さん？
田中　ちょっと恥ずかしいんですが…ウエイト制の時とか「いつもお世話になっています」とか。
――熱心なお父さんですね。
田中　いつも一緒にビデオを見て研究し

▲田中が思わず見とれてしまった数見の水浴び。確かに豪快である

ているんですよ。自分のどこが悪いとか言ってくれます。最近は「丹田がどう…」とか言い出すんですよ（笑）。

――丹田！　お父さんは空手経験が…？

田中　いや全くないです（笑）。極真空手は大好きで今は港南支部の後援会長をしています。

――そうですか。現代版の星一徹と星飛雄馬みたいな素敵な親子ですね。

田中　いやいや…。

――そういえば、田中選手の組手は数見選手の組手に似ていますよね。

田中　極真のチャンピオンに似ていると言って頂けるのはすごく嬉しいです。でも自分なんかじゃ数見選手に申し訳ないです。

――またそんな！　でも正直なところどうですか？　研究してます？

田中　大会のビデオも何百回も家で見ました。「数見選手の強さの秘密は何だ？」とお父さんと一緒に研究しています！

――またしてもお父さん！　スパルタ教育ですね。それじゃあ、外国人対策も研究しています？

田中　今、お父さんが夢中です（笑）。自分は先生の言われる通りに稽古をしています。お母さんも試合前の食事のことなど羽田先生に電話で相談したりしてくれています。

――家族みんなが協力的というのは素晴らしいことですね。暖かいなぁ。

田中　ありがとうございます。

――では田中選手の18年間の中で人生観を変えるような出来事はありましたか？

田中　空手を始めてから考え方が変わりました。途中で諦めないというか、基本稽古とかを毎日毎日繰り返していくうちに、「自分でもやればできるんだ」という気持ちが生まれました。それに今まで何か達成することがなくて、諦めていたことも多かったんですが、そういうことがなくなりました。

――では将来的に田中選手の目指す組手はどういったタイプですか？

田中　羽田先生といつも話しているんですが、数見選手と黒澤選手の組手を足して2で割ったような組手が理想です。落ち着いた、安定した組手の中にも激しさというか、時にはものすごく猛々しく、荒々しいラッシュがあるような……。そういう組手が出来たら理想的なのですが。

――穏やかにものすごいこと言いますね。それは実現したら、スゴイ選手になりますね！

田中　押忍、一歩でも近づけるよう頑張ります。

――楽しみだなぁ。…さて、今回の世界大会ですが、どういった気持ちで臨んでいこうと思っていますか？

田中　押忍、今までの試合は自分のために個人として闘ってきたんですけど、今回は日本代表で、日本のためにということが初めてのことなので、正直に言って頑張るしかないというか……。どこまでやれるかは分からないですが、少しでも勝って日本に貢献したいという気持ちはあります。

――初めての世界大会で数見選手や諸先輩方に頼っている部分はないですか。

田中　あの、正直に言うと……やっぱりそう思ってしまう部分はないとは言えないんですが、自分も今は同じ日本代表としてそういうことは思わないようにしてます。いや、思っちゃいけないんです。

――そうですね、その意気で！　例えばブラジル勢のような選手と対戦したとしたらどうですか？

田中　グラウベ選手とかに、ただで負けるのは嫌なんで。できれば自分で勝ちたいです。あっ、でも難しい…です…よね。日本人とは勝手が違うというか一発一発の重さが違うと聞いていますので。

――外国人対策で特別な稽古は何かしてます？　お父さんと秘密の稽古とか？

田中　いえお父さんとは…（笑）。道場で外国人の重い攻撃に耐えられる様に技を受ける練習を多くしています。あとは自分の攻撃の後、すぐに回って相手の正面に立たないなど、間合いの取り方を重点的に稽古しています。

――残り3ヵ月を切りましたが…？

田中　一日一日がもったいないです。世界大会へ向けて、やらなくちゃいけない、勝たなくちゃいけない、という雰囲気や意識は周りからも伝わってきます。

――そういうプレッシャーには強い方？

田中　どちらかは分かりませんが、いつも「応援してくれる人のためにも、勝たなくちゃいけない、勝たなくちゃダメなんだ」と自分を追い込むようにしています。ただ、羽田先生にも言われるんですが、今回はあまり考え込まないようにしています。

グラウベ選手にただ負けるのは嫌なんで。できれば自分で勝ちたい！

――廣重師範は「田中健太郎は将来のエース候補だ」とおっしゃってますがどうですか？

田中　押忍、期待に応えられるよう、一生懸命頑張ります。

――最後に、今回の田中選手以外の19名の日本代表選手と比べて、これだけは負けないというところは何ですか？

田中　（しばし考えて）……若さです。迷いのなさというか、余計なことは考えず、ただがむしゃらに頑張ります。それしかありません。失うものは何もないので！　押忍。

――頼もしい！　世界大会頑張って下さい。期待してます。今日はどうもありがとうございました。あと、今度お父さんも紹介して下さいね。取材に行きます。

田中　押忍。ありがとうございます（笑）。

プロフィール

たなか・けんたろう◎1981年3月29日生まれ、18歳。身長・180センチ、体重・86キロ。初段。港南支部、内弟子。血液型・B型。得意技・左下段回し蹴り。主な戦績・第16回全日本ウェイト制重量級3位。好きな格闘家・数見肇、黒澤浩樹。ライバル・同級生の松坂大輔（西武ライオンズ）。趣味・音楽鑑賞（B’z）。好きな芸能人・鈴木あみ

◀生涯初の気合いポーズ！

番組インフォメーション

8/26、9/2の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは8月19日現在のものです。都合により多少の内容変更の可能性がございますのでご了承下さい。

『SRS』は毎週木曜日深夜1時20分～1時50分フジテレビ系で放送中。お見逃しなく！

8/26

あの噂の新格闘技がついに『SRS』でベールを脱ぐ！

北の聖地・北海道で生まれた新格闘技・掣圏道大特集

8/26（木）放送　25:20～25:50

8/12、8/19の放送で灼熱の沖縄武道特集をした『SRS』が、今度はなんと北海道へひとっ飛び、噂の新格闘技・掣圏道を大特集します。押忍は敬礼、道衣は背広型（襟付き）と、何もかもが新しい格闘技、巷で噂される『市街地型実戦武道・掣圏道』とはいったい何なのか？　格闘技ファンの皆さんの疑問に応えるべく、『SRS』が北海道・旭川での取材を敢行。本誌創刊2号でサダハルンバ谷川編集長がマスコミ初の潜入リポートを敢行した『虎の穴』に『SRS』のカメラが潜入。果たして『虎の穴』とはどんなところなのか？　旭川、札幌での興行が成功に終わり、実際に大会を目にしたマスコミやファンの絶賛の声に、ますます注目を集める掣圏道。9月には福島、山形、そして10月2日には東京・有明コロシアム、さらに10月18日に大阪府立と各地での大会が決まり、掣圏道旋風が日本中に吹き荒れそうな予感もひしひし。掣圏道の創始者であり、大ブレイク中の修斗創設者としても知られる、初代タイガーマスク・佐山聡氏へのインタビューも交え、掣圏道の謎にとことん迫ります。

9/2

10・3 K-1グランプリ開幕戦出場の16人遂に決定！

今年も熱いぜ！　K-1グランプリ日本代表特集

9/2（木）放送　25:20～25:50

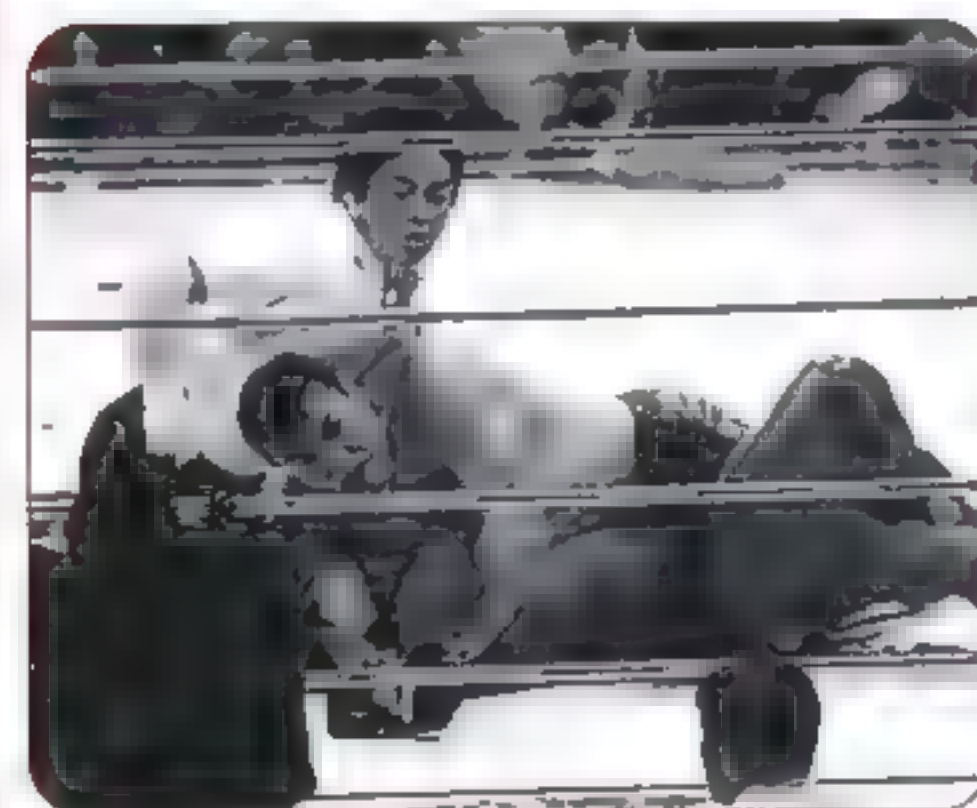
約1カ月後に迫った、立ち技格闘技の世界最高峰を決めるK-1グランプリ開幕戦。8月22日のK-1ジャパングランプリで、16参加選手の中からシ烈なトーナメントを勝ち抜き、晴れて日本代表となった2名の選手とすでに出場権を獲得している日本の第一人者、佐竹雅昭選手を招いてお届けするこの日の放送。3人の日本代表選手にトーク形式でK-1への熱い思いや本音、今年のグランプリへの意気込みなどを語っていただきます。ジャパングランプリ前にも壮絶（？）な舌戦を繰り広げた日本代表選手たち。果たして、グランプリ本戦を前に、再び熱い舌戦を繰り広げるのか。ちなみに、ガチンコトークで話してもらいたい内容、ファンの方々のぜひ聞きたい話などは、すでに視聴者の皆さんから『SRS』のホームページ上で募集させていただきました。たくさんのご質問、ご意見、激辛コメントなどから番組で使用させていただくものは現在選択中です（ご意見は8/25をもちまして締め切らせていただきました。応募いただいた方々どうもありがとうございました）。――一触即発の過激トークに発展する可能性もあるこの日の放送、ゼッタイにお見逃しなく。

フジテレビ系列の番組から

『CX Sports 739』

フジテレビ739
8月31日（火）/21:00～23:00

『プライド.6』特集

7月4日に横浜アリーナで開催された『プライド.6』。メインイベントの高田延彦vsマーク・ケアー戦、セミファイナルの小川直也vsゲーリー・グッドリッジ戦、そして桜庭和志vsエベンゼール・ブラガ戦など、まさに想像を超える素晴らしい試合の連続で、ひと月以上経った今も話題になることが多いあの大会が『739』に登場します。ゲスト解説は、本誌編集長サダハルンバ谷川とイカしたレフェリー島田裕二。一瞬も目を話せない試合映像もさることながら、ノー天気なサダハルンバ編集長と陽気な島田レフェリーの、噛み合うのか噛み合わないのかわからないトークは爆笑間違いなし。9月12日の『プライド.7』を前に、『プライド.6』特集でウォーミングアップしておこう！

CX SPORTS 739とは？
フジテレビ系のCS衛星放送チャンネル『フジテレビ739』で放送されているスポーツ番組。格闘技特集は月に2回、火曜日に2時間にわたり放送中。

SRSホームページにアクセスしてみよう！　http://www.fujitv.co.jp/

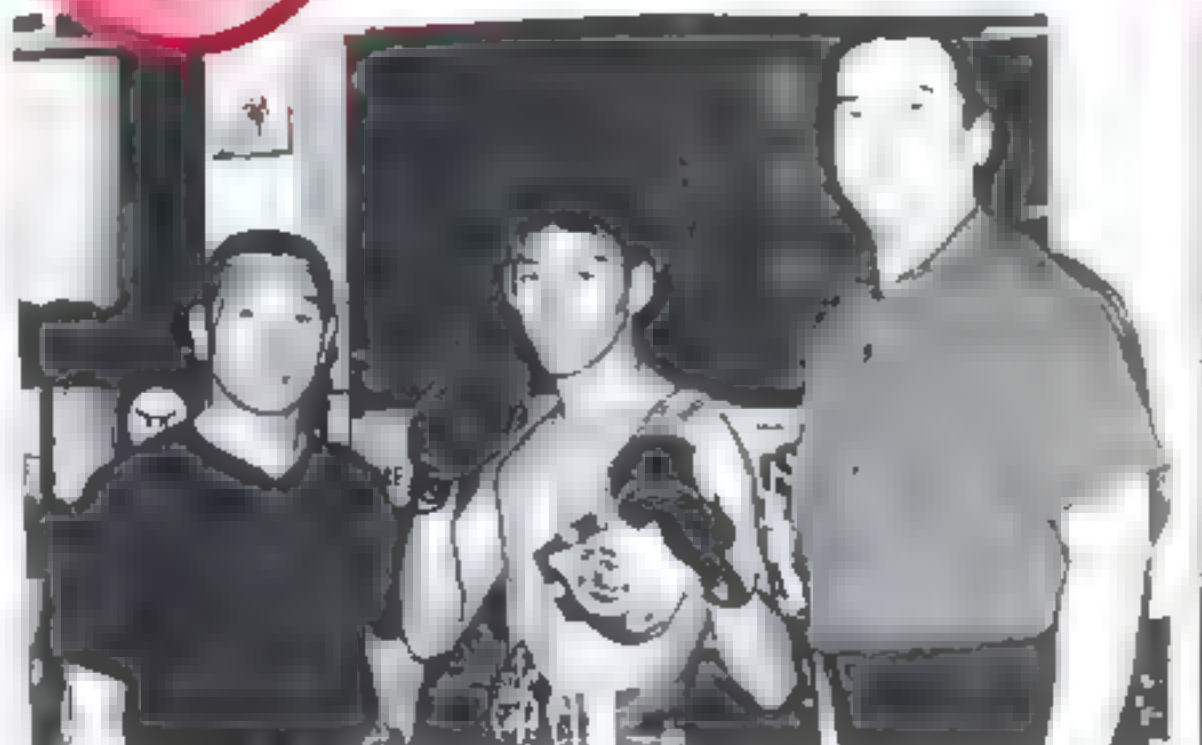
TV

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
8/26 THU	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	9.4.2『エクストリーム・チャレンジ23』パート2より、スーパーバウト、ゲーリー・マイヤースvsキース・ミエルキほか11試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	7.24新日本キック協会後楽園大会。小野寺力、武田幸三らが出場した日・タイ5vs5マッチを中心に放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77
8/27 FRI	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00〜 8：00 12：00〜13：00	8/26を参照
	GAORA	PANCRASE DAYS	13：00〜15：00	95.7.22〜23に行われた「第1回NEO BLOOD TOURNAMENT」から伊藤崇文vs柳澤龍志、船木誠勝vsリオン・ダイクなど熱戦の数々を一挙放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00〜15：30	8/26と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	18：00〜19：00	8/26と同内容
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30〜22：54	前田憲作特集。8.22「K-1スピリッツ'99」での試合の模様を中心に、前田憲作の魅力に迫る。前田のゲスト出演も予定
8/28 SAT	SKY sports 3	ムエタイ	16：00〜17：00	タイ国内のムエタイ中継番組をそのまま放送。日本に居ながらにして本場の熱気を味わうことができるマニア必見のプログラム
	GAORA	格闘伝説ムエタイ	22：00〜23：00	⬅Pick up①
	テレビ朝日	リングの魂	24：40〜25：11	先週に引き続き、南原清隆とダチョウ倶楽部が様々なカードを使って対決する「ファイティング・カジノ」後編を放送
8/29 SUN	SKY sports 3	ムエタイ	6：00〜 7：00	8/28と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：30〜11：00	8/26と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	11：00〜12：00	8/26と同内容
	GAORA	全日本キックボクシング	18：00〜19：55	8.17後楽園ホール大会を特集。メインの魔裟斗の壮絶ファイトは見もの。立嶋篤史も復帰戦を迎える
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	19：00〜20：00	高田延彦編。高田＆藤原vs高野＆越中戦を放送
	GAORA	ひとりパンクラッシュ!	19：55〜20：00	次回興行の告知を注目の選手自らがコメント
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	25：25〜25：55	世界タッグ選手権試合。大森隆男＆高山善廣の王者チームに三沢光晴＆小川良成が挑む
8/30 MON	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	11：00〜12：00	高田延彦編。8/29と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45〜26：15	8.22「K-1スピリッツ'99」の激闘を振り返る。スタジオゲストにトーナメント優勝者が出演予定
8/31 TUE	GAORA	格闘伝説ムエタイ	17：00〜18：00	デーッガロン・ソー・スマーリーvsコーグ・フェーテッグほかを放送
	フジテレビ739	Cx-Sports739	21：00〜23：00	⬅P77
	GAORA	全日本キックボクシング	23：00〜24：55	8/29と同内容
	GAORA	ひとりパンクラッシュ!	24：55〜25：00	8/29参照
9/1 WED	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・スペシャル	14：00〜17：00	8.1川崎市とどろきアリーナで開催された極真カラテ「第5回全日本ジュニア空手道選手権」の模様を3時間の特別枠で放送
	GAORA	ひとりパンクラッシュ!	21：55〜22：00	8/29参照
	GAORA	[illegible]	25：00〜26：00	⬅Pick up②〈6.10シュートボクシング後楽園大会〉
9/2 THU	GAORA	北斗旗空手道全日本体力別選手権	13：00〜15：00	宮城スポーツセンターで5.30に開催された同大会の模様を先月に引き続き放送
	GAORA	PANCRASE DAYS	18：00〜20：00	8/27と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	97.2.22「エクストリーム・チャレンジ4」より、ジェイソン・ゴドシーvsスティーブ・ジェナム戦ほか9試合を放送
	GAORA	全日本キックボクシング	20：00〜21：55	8/29と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	⬅Pick up③〈7.11『THE KAKIDAMISHI-1』〉
	GAORA	ひとりパンクラッシュ!	21：55〜22：00	8/29参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	8/26参照
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77
9/3 FRI	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00〜 8：00 12：00〜13：00	8/26を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00〜15：30	9/2と同内容
	GAORA	格闘伝説ムエタイ	15：00〜16：00	8/31と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	17：00〜18：00	高田延彦編。新日本対UWFの5vs5勝ち抜きマッチ（パート①）を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	18：00〜19：00	9/2と同内容
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30〜22：54	9.10より世界大会が開催される女子レスリングの特集。山本美憂、聖子姉妹や浜口京子ら強豪選手の活躍を追う
	SKY sports 3	ブラジル格闘技99 VT	23：00〜24：00	第2回IVC大会トーナメント前半戦の模様を放送。マーク・ホール、ブライアン・ガザウェイらが出場する。ゲスト解説は小路晃
9/4 SAT	SKY sports 3	ブラジル格闘技99 VT	3：00〜 4：00 25：00〜26：00	9/3と同内容
	GAORA	全日本キックボクシング	14：00〜16：00	8/29と同内容
	SKY sports 3	ムエタイ	21：00〜22：00	8/28を参照。別内容
	テレビ朝日	リングの魂	24：40〜25：11	「女子プロレスアームレスリング王座決定戦」を放送。井上貴子、井上京子、下田美馬らが出場
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	26：30〜28：00	「格闘ルネッサンスの源流」と題し、新日本プロレス異種格闘技史を放送。猪木vsチョチョシビリ戦ほか
9/5 SUN	SKY sports 3	ムエタイ	3：00〜 4：00 17：00〜18：00	9/4と同内容

ON THE AIR 8/26〜9/9

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『格闘伝説ムエタイ』

GAORA
8月28日(土)/22:00〜23:00 ほか

GAORAの人気プログラムが、リニューアルして放送を再開した。日本人で唯一、ムエタイ王者となった藤原敏男を解説に迎えた試合中継はもちろん、現地タイからの新鮮な情報、ルンピニースタジアムでの選手インタビューなど盛り沢山の内容。ムエタイの魅力と迫力がギッシリ詰まった60分だ。

Pick Up 2 『格闘真聖耀』

〈6.10シュートボクシング後楽園大会〉
GAORA
9月1日(水)/25:00〜26:00 ほか

9月から放送スタートの新番組。第1回の放送分では、6月10日に行われたシュートボクシング後楽園大会の模様を放送する。セミファイナルでは"おかまムエタイ戦士"として話題を呼んだノントゥム・パリンヤーとSB新世代の旗手、土井広之が対戦。衝撃のKO劇となったメイン、緒形健一vsダグラス・アラン・エバンス戦も必見だ。

Pick Up 3 『バトルステーション』

〈7.11THE KAKIDAMISHI 1〉
FIGHTING TV SAMURAI!
9月2日(木)/20:00〜21:30 24:00〜25:30 ほか

沖縄で行われた異色の大会『THE KAKIDAMISHI 1』を放送する。ブランコ・シカティック、チャンプア・ゲッソンリット、村上竜司らが試合を行ったほか、ゲストとしてバス・ルッテンが来場するなど、首都圏の大会でも見られないような超豪華メンバーが集結した今大会。灼熱のバトルを、TVで堪能しよう。

TV (右ページから続く)

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
9/5 SUN	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9:30〜11:00	9/2と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	11:00〜12:00	9/2と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	19:00〜20:00 23:00〜24:00	高田延彦編。IWGPジュニアヘビー級選手権・高田伸彦vs越中詩郎戦、高田&木戸vs木村&越中戦ほかを放送
	GAORA	パンクラッシュ! PANCRASE	23:00〜26:00	他団体選手も多数参戦で、ますます目が離せない8.1後楽園ホール「GAORA NEO BLOOD TOURNAMENT DAY & NIGHT」を放送
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	25:25〜25:55	9.4日本武道館大会で行われる5大シングルマッチの中から数試合を放送予定
9/6 MON	FIGHTING TV SAMURAI!	闘いのワンダーランド	11:00〜12:00	高田延彦編。9/5と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	24:45〜25:15	9.15に代々木第2体育館で開催される「K-1ジャパンオープン」の直前特集。一般公募から選ばれた選手によるトーナメントの見所を紹介
9/7 TUE	GAORA	格闘伝説ムエタイ	17:00〜18:00	ボーンピタッグ・ペッウドムチャイvsピンペット・ポー・パウイン戦ほかの[illegible]
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	20:00〜21:30	格闘探偵団バトラーツ『ヤングジェネレーションバトル98』より、98.8.22徳島、98.8.29札幌大会の模様を放送
	GAORA	格闘真聖耀	22:00〜23:00	9/1と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	24:00〜25:30	ニュージャパンキックボクシング連盟の98.12.25後楽園ホール大会を放送。エース・鈴木秀明がムエタイ現役ランカーに挑む
9/8 WED	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・スペシャル	14:00〜17:00	9/1と同内容
9/9 THU	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールド・コンバット・ファイト	19:00〜20:00 23:00〜24:00	97.6.25『エクストリーム・チャレンジ7』パート1(大会1日目)。パット・ミレティックvsチャック・キム戦ほか8試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20:00〜21:30 24:00〜25:30	8.4に開催された修斗『下北沢劇場第4弾・浪速からの挑戦状』の模様を放送。明日のメインイベンターたちの熱き闘いに注目!
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00〜23:00 26:30〜27:30	8/26を参照
	フジテレビ	SRS	25:20〜25:50	

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

■スカイパーフェクTV!
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550
(9:00〜21:00)

■ディレク・ティービー
☎044-862-0011
(9:00〜21:00)

■GAORA
〔スカイパーフェクTV!/ディレク・ティービー〕
☎03-5280-1104/06-6374-0002
(月〜金10:00〜18:00)

■スポーツ・アイ—ESPN
〔スカイパーフェクTV!/ディレク・ティービー〕
☎03-5474-3344
(月〜金10:00〜18:00)

■FIGHTING TV SAMURAI!
〔スカイパーフェクTV/ディレク・ティービー〕
☎03-5351-4055
(12:00〜20:00)

■フジテレビ721&739
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-8888

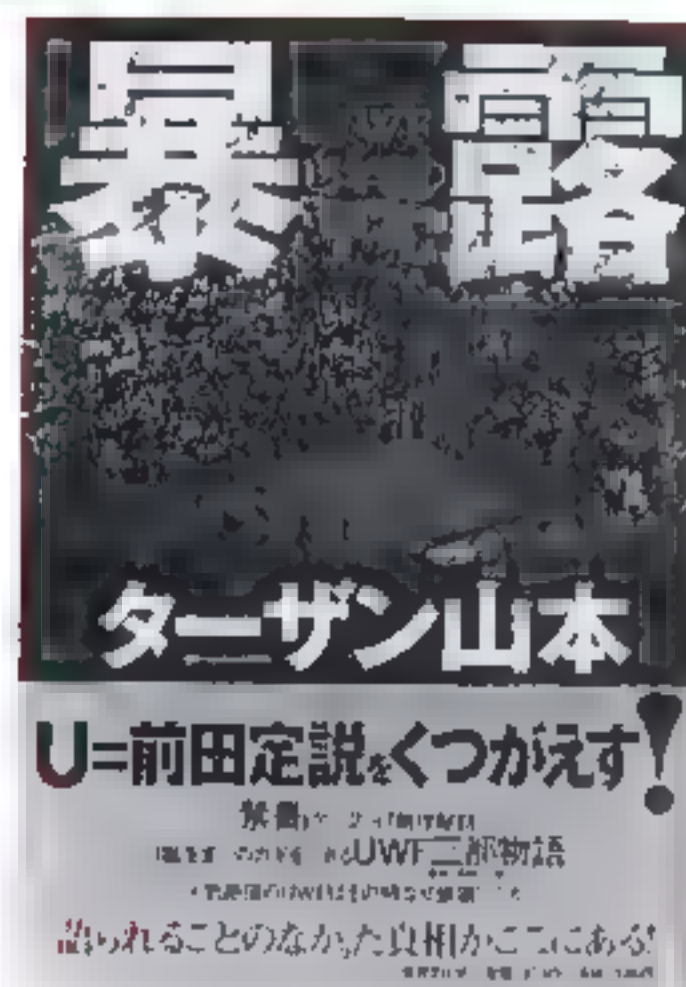
■SKY SPORTS 1&SKY SPORTS 3
〔スカイパーフェクTV〕
☎03-5500-3488

■ディレクTVボクシング
〔ディレク・ティービー〕
☎044-862-0011(9:00〜21:00)

■J-SPORTS
〔スカイパーフェクTV!/ディレク・ティービー〕
☎0120-197-520(9:00〜20:00)

■WOWOW
☎0570-008-080(9:00〜20:00)

BOOK
話題の本&新刊情報

〈新刊紹介〉

『暴露〜UWF 15年目の予言〜』

ターザン山本著
世界文化社
本体価格1,500円/発売中

**団体、概念、運動体…
UWFとは一体何だったのか
ターザン山本が切りまくる！**

本誌の座談会でもおなじみ、ターザン山本・元『週刊プロレス』編集長の新刊が発売され、話題を呼んでいる。これまで、長州力、ジャイアント馬場などについての本を発表してきたターザンの今回のテーマは『UWF』だ。伝説の第1次UWFが誕生して、今年で15年。プロレス界のみならず、格闘技界にも計り知れない影響を与えたUWFとは何だったのか？　記者として間近で見続けてきたターザンならではの視点と論理で、様々な切り口から答を出している。また、最終章では、ターザンが書いたとされている「ケーフェイ」の制作秘話も掲載。こちらも必読だ。

PRESENT!

今回このコーナーで紹介した『暴露〜UWF15年目の予言〜』を、「SRS・DX」読者10名様にプレゼント！　希望者は住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号で面白かった記事とつまらなかった記事を明記して、下記までご応募を。締め切りは9月10日（金）の消印有効。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『暴露』係

〈おすすめの一冊〉

『空手バカ一代』

梶原一騎原作
講談社漫画文庫
本体価格600円/発売中

**全格闘技ファン必携のバイブルが
文庫版で再び発売！**

これまでも何回か形態を変えながら発売されてきた『空手バカ一代』が、今回、文庫版として発売された。これまで品薄状態だったので、手に入りやすくなったのは嬉しいかぎり。内容に関しては、今さら何も言う必要はないだろう。このマンガを読んで空手を始めた人間は数知れず。評論の世界でも、近年再評価の気運が高まっている梶原一騎の真骨頂が味わえる傑作だ。格闘技ファンなら、一度は読んでおくべき、いわばバイブルともいえる作品。

〈注目の一冊〉 It's HOT!

『修斗創世記　虎（タイガー）の奥義を目指して』

横山哲雄著
福昌堂
本体価格1,500円/発売中

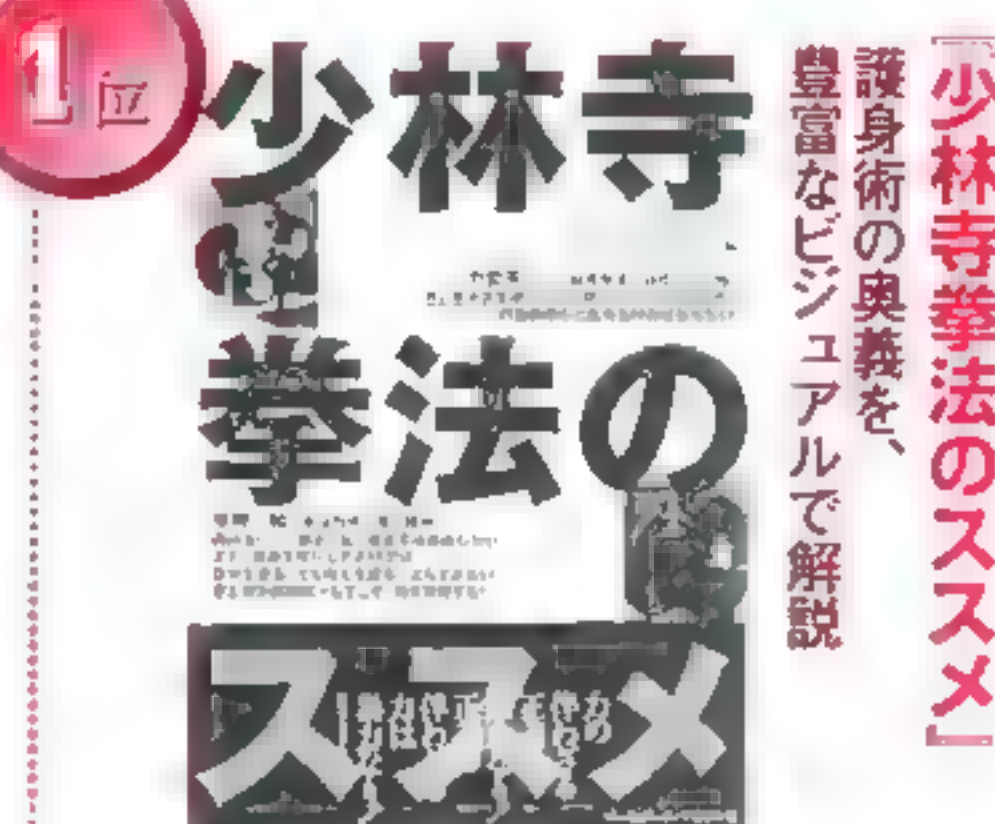
**全格闘技ファン必携のバイブルが
文庫版で再び発売！**

著者であるライター・横山哲雄氏は初代シューターで、プロシューティングライト級2位だったこともある人物だ。タイガーマスクとして活躍していた佐山サトルが、プロレスを離れて創設した新格闘技・シューティング。平直行など、そこに集まった多くの人材は現在でも格闘技界で重要な位置を占めている。決して恵まれてはいない状況の中で、本物の強さを求めて切磋琢磨する男たちのドラマを、修斗がブレイクしている今こそ読んでおきたい。

BOOK RANKING （7/22〜8/10調べ）

1. 『少林寺拳法のススメ』
ベースボールマガジン社編/ベースボールマガジン社
本体価格1,500円
2. 『実戦格闘技論』
小島一志著/ナツメ社
本体価格1,500円
3. 『空手バカ一代』③④
講談社漫画文庫
本体価格600円
4. 『武的発想論』
時津賢児著/福昌堂
本体価格1,600円
5. 『戦略的関節技』
麻生秀孝著/三天書房
本体価格1,800円

1位

『少林寺拳法のススメ』
護身術の奥義を、豊富なビジュアルで解説

格闘技関連書籍の中でも、常に高い人気があるのが「技術モノ」の本。今回のランキングでも、その中の一冊が1位となった。少林寺拳法の高度な法則と、250もの技法が、豊富な写真を使って解説されている。また、「力のない正義は無力でしかない」「勝とうとは思うなよ、だが、絶対に負けるな」といった、開祖・宗道臣の語録も収録されており、少林寺拳法の理念を知る上で興味深い。

書泉ブックタワー
東京都千代田区神田佐久間町1-11-1
☎03-5296-0051（代）

▲今回ご協力いただいた、「書泉ブックタワー」の店内。様々なジャンルの格闘技本が揃えられている

**書泉ブックタワー
土屋一夫副主任**

「不況の嵐は出版業界も無縁ではありません。格闘技関連本の売れ行きにも、確かにキビシイものがあります。ただ、逆に言うと、現在は"ホンモノ"だけが評価される時代なんだとも言えるでしょう」

GOODS
あの伝説の選手のグッズが登場

〈新作紹介〉 It's HOT!

『力道山ネクタイ』
A 7,800円（税込み） B 9,800円（税込み） 発売中

日本プロレス界のルーツがネクタイに ビジネスの場で絞めなきゃウソだ！

若者向けのオシャレなグッズが大流行している格闘技の世界。だが、こんなにシブ〜イグッズも発売されているのだ。日本のプロレス、いや格闘技界の源流・力道山の、しかもネクタイである。Aは、紺地に力道山の最も有名なポーズをプリントしたもの。Bには、空手チョップをはじめ様々なポーズの写真があしらわれている。このネクタイを絞めて仕事に行けば、もう怖いものなし！

〈おすすめグッズ〉 Recommend!

『IUMA 日本振藩國術館 Tシャツ』
4,000円（税別） 発売中

あのブルース・リー直系の ジークンドー団体のTシャツだ

「IUMA」とは、ダン・イノサント氏も公認するジークンドー団体。いわば、ブルース・リー直系なのだ。もちろん、Tシャツにはブルース・リーの姿がプリントされている。買おうかどうか迷っているキミ、"Don't think,feel!"

ワールドスポーツプラザ池袋店 田中義訓店長

「ご好評を頂いている「SRS・DX創刊記念ショップ」。開催期間はあとわずかですが、8月29日にはエンセン井上選手のサイン会、毎週土曜日には宇野商店の限定Tシャツの販売も行っていますので、ぜひお越しください」

ワールドスポーツプラザ池袋店
東京都豊島区南池袋1-28-2 池袋パルコ5階
☎03-5391-8388
営業時間/10:00〜20:00

GOODS RANKING (7/22〜8/10調べ)

1. 「ゲーリー・グッドリッジTシャツ」 プライド/3,000円
2. 「高田道場Tシャツ」 3,300円
3. 「桜井"マッハ"速人スタイルTシャツ」 修斗/4,500円
4. 「マサ大学Tシャツ」 バンバンビガロ/3,800円
5. 「ブロディ迷彩Tシャツ」 バンバンビガロ/3,800円

1位

この迫力は尋常じゃない！ グッドリッジTが1位を獲得

プライドに、K-1にと、その豪腕にまかせて暴れまくるゲーリー・グッドリッジのTシャツが、今回の1位となった。リング上のグッドリッジそのままのド迫力イラストは、ファンならずとも惹き付けられる。

Et cetra

スカイパーフェクTV！の格闘技トークショーにパンクラス勢が参加。9/11より随時放送

「プライド」シリーズやパンクラスのビッグマッチのPPV放送などで格闘技ファンにもおなじみのデジタル衛星放送・スカイパーフェクTV！が8月8日(日)、パシフィコ横浜中央プラザで開催したイベント「てってーてき、夏祭り!!」の中で、トークショー「スカパー！格闘技トークバトル」が行われた。ホンジャマカの恵俊彰、来栖あつこが司会を務めたこのトークショーには、パンクラスから船木誠勝、近藤有己、髙橋義生、菊田早苗、和術慧舟會からは小路晃が参加。9月18日(土)に行われるNKホール大会や、噂の船木vs桜庭戦についてなど、注目の発言が次々と飛び出した。また、この模様は9月11日(土)より18日(土)まで、スカイパーフェクTV！のPROMO200(200ch)で随時放送される。

修斗大阪進出イベントに佐藤ルミナが出演

10月29日(金)のなみはやドーム大会で、8年ぶりに大阪に進出する修斗のイベント「黒商人ノ部屋」が、8月29日(日)に大阪・梅田の阪神百貨店6Fにある「梅田阪神ナショナルショールーム」で開催される。このイベントには佐藤ルミナが出演。トークショーとこれまでの試合のビデオ上映が行われる。5 29横浜大会以来の試合となる大阪大会、そして出場が決定している「バーリ・トゥード・ジャパン99」へのルミナの意気込みを、ナマで確認しよう。また、修斗グッズの販売、大阪大会のチケット予約者を対象としたポスタープレゼントもあり。定員が約100名なので早めに来場を！

◆日時／8月29日(日)　[1部]11:00〜　[2部]13:00〜　※完全入れ替え制
◆会場／大阪・梅田　阪神百貨店6F「梅田阪神ナショナルショールーム」
◆入場料／無料
◆お問い合わせ／サステイン☎0471-66-6071

『格闘伝説ムエタイ』番組リニューアル記念プレゼント

CS衛星放送チャンネル・GAORAの人気番組「格闘伝説ムエタイ」が、8月より内容をリニューアルして放送されている。GAORAでは、これを記念して、ムエタイの殿堂・ルンピニースタジアム特製トランクスのプレゼントを実施中だ。希望者は郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、何でこのプレゼントを知ったか、GAORAに関する意見の各項目を記入の上、ハガキで下記の宛先まで応募を。

◆宛先／〒531-0072大阪府大阪市北区豊崎3-1-22淀川6番館 GAORA「ムエタイトランクスプレゼント」SRS・DX係
◆締切／8月31日(火)必着

トークイベント「『PRIDE』とは何か？」開催

横浜アリーナで開催される9.12「PRIDE.7」。格闘技ファン大注目のこの大会に向け、9月2日(木)19:00より渋谷ロックウェスト(東京都渋谷区宇田川町4-7トウテン宇田川ビル7F)にてトークイベント「『PRIDE』とは何か？」が開催されることになった。出席が予定されているのは「プライド」シリーズを主催するドリームステージエンターテインメントの森下直人社長、谷川貞治本誌編集長、「紙のプロレスRADICAL」の山口日昇編集長、「プライド」シリーズのルールディレクター島田裕二の4人。入場料は無料(ただし1ドリンク以上のオーダーが必要)、当日は「プライド」オフィシャルグッズ等が当たる抽選会も行われる予定だ。

◆お問い合わせ／渋谷ロックウェスト☎03-5459-7988

バトラーツ情報、今回は3連発!

◎9月5日(日)に開催されるバトラーツのアマチュア大会「グラップリング-B VOL.8」では、現在、参加選手を募集中だ。詳細は下記の通り。締切が迫っているので、希望者は即、応募せよ！

◆日時／9月5日(日)　12:00試合開始(11:00受付開始)
◆会場／埼玉・バトラーツ越谷道場
◆ルール／打撃なし、サブミッションスタイルレスリングのワンマッチ。参加資格は18歳以上
◆階級／-60kg、-70kg、-80kg、+80kgの4階級
◆参加費／3,000円(バトラーツジム生1,000円)
◆申し込み方法／バトラーツ事務所に電話連絡の上、参加費と返信用切手100円分を現金書留で下記まで送付
◆締切／8月29日(日)必着
◆お問い合わせ／バトラーツ「グラップリング-B」運営事務局
〒343-0807埼玉県越谷市赤山町2-158-1☎0489-63-0005

◎島田裕二レフェリーが、トークイベントをプロデュース！　9月3日(金)19:00(開場18:30)より渋谷ロックウェストでザ・グレート・サスケと石川雄規が出演する「社長はつらいよ！東京編」が行われる。料金は前売り2,000円、当日2,500円。社長コンビの過激トークを見逃すことなかれ

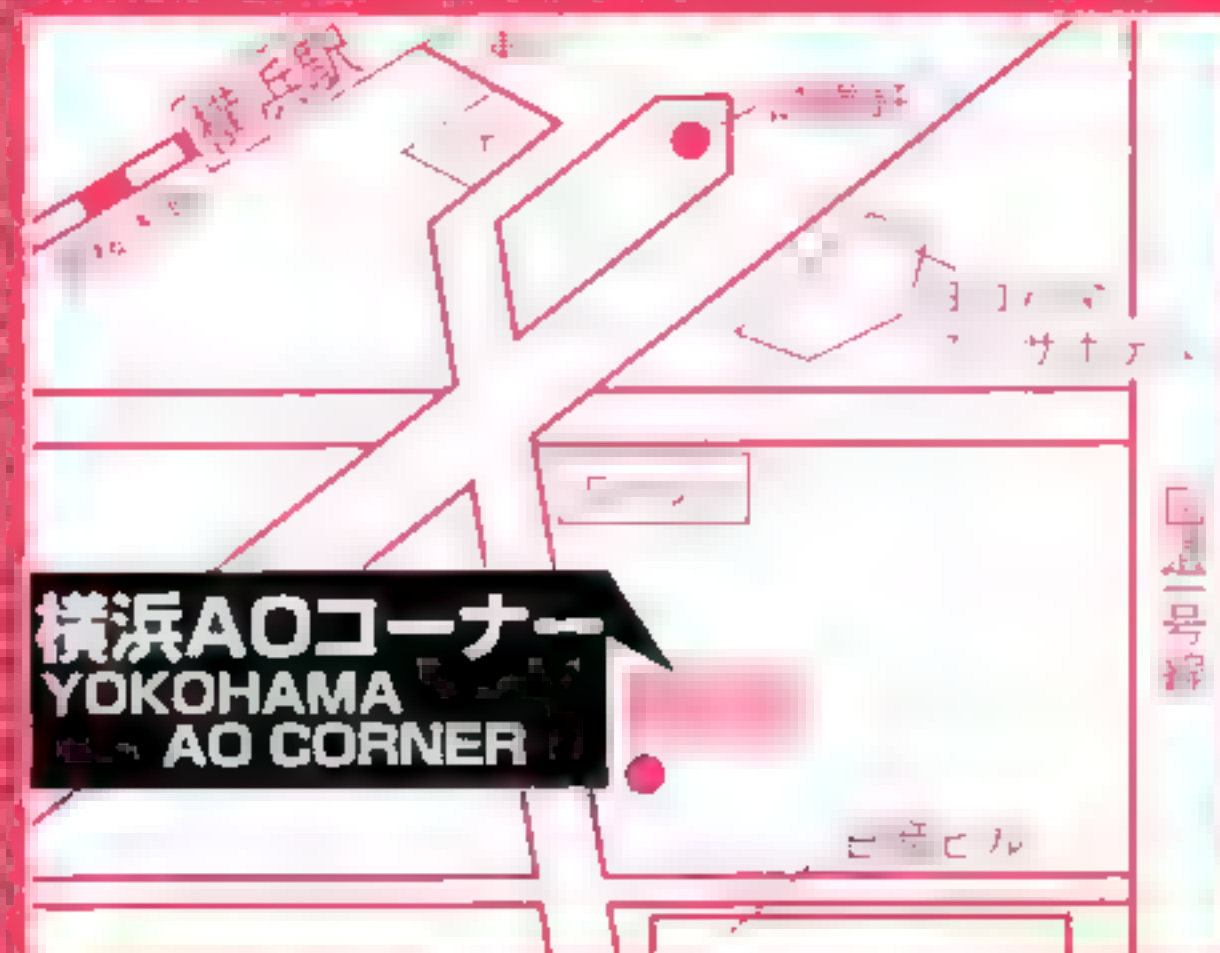
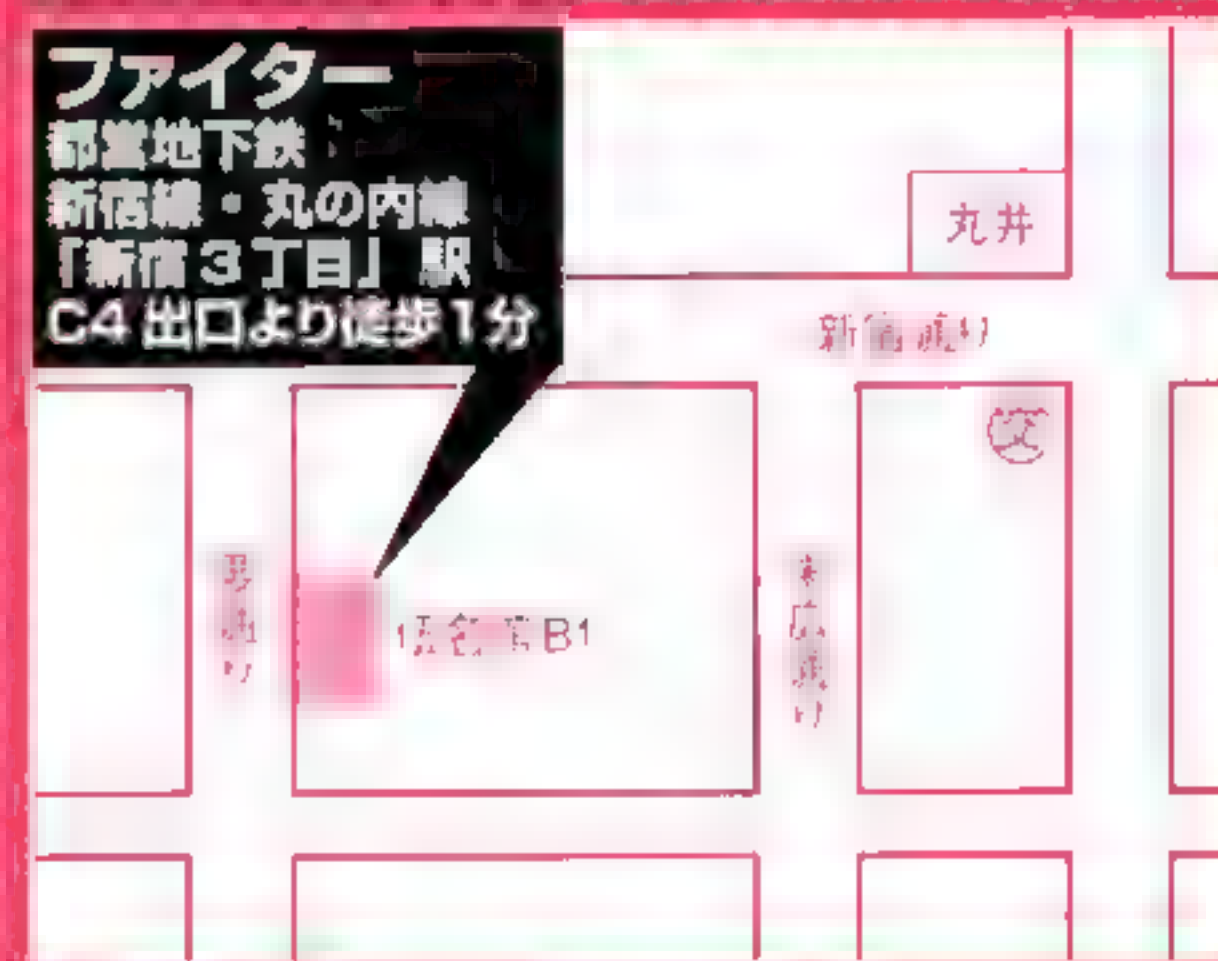
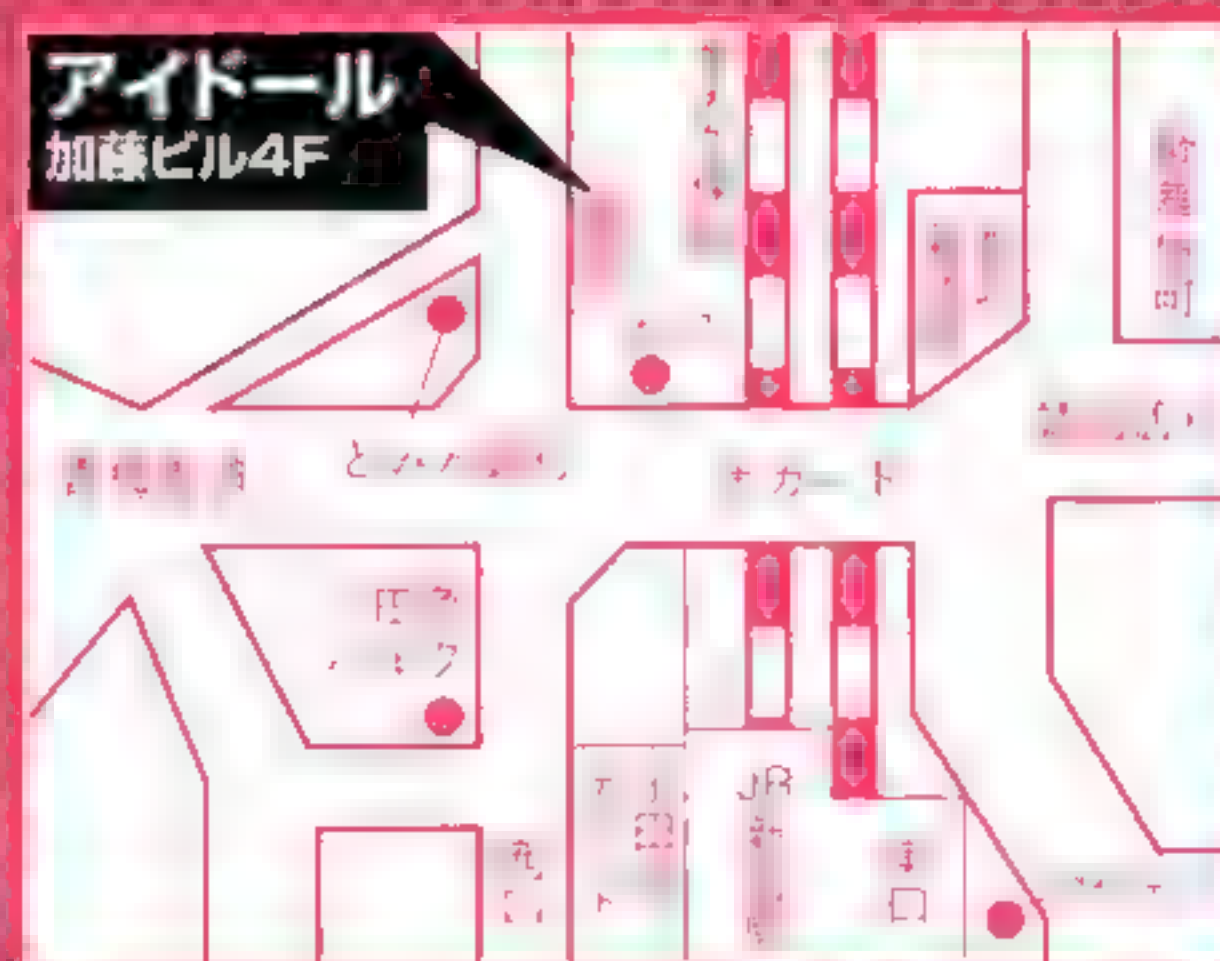
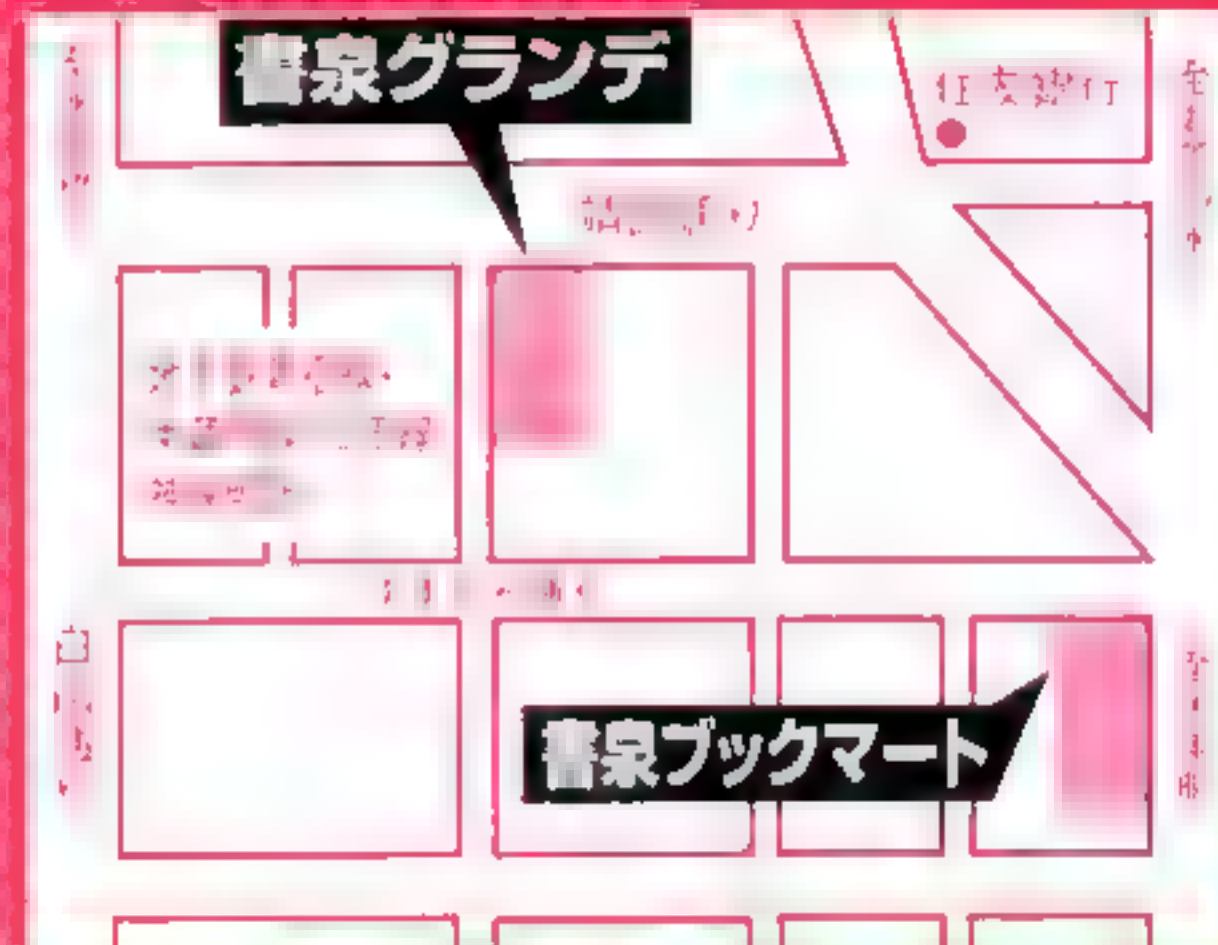
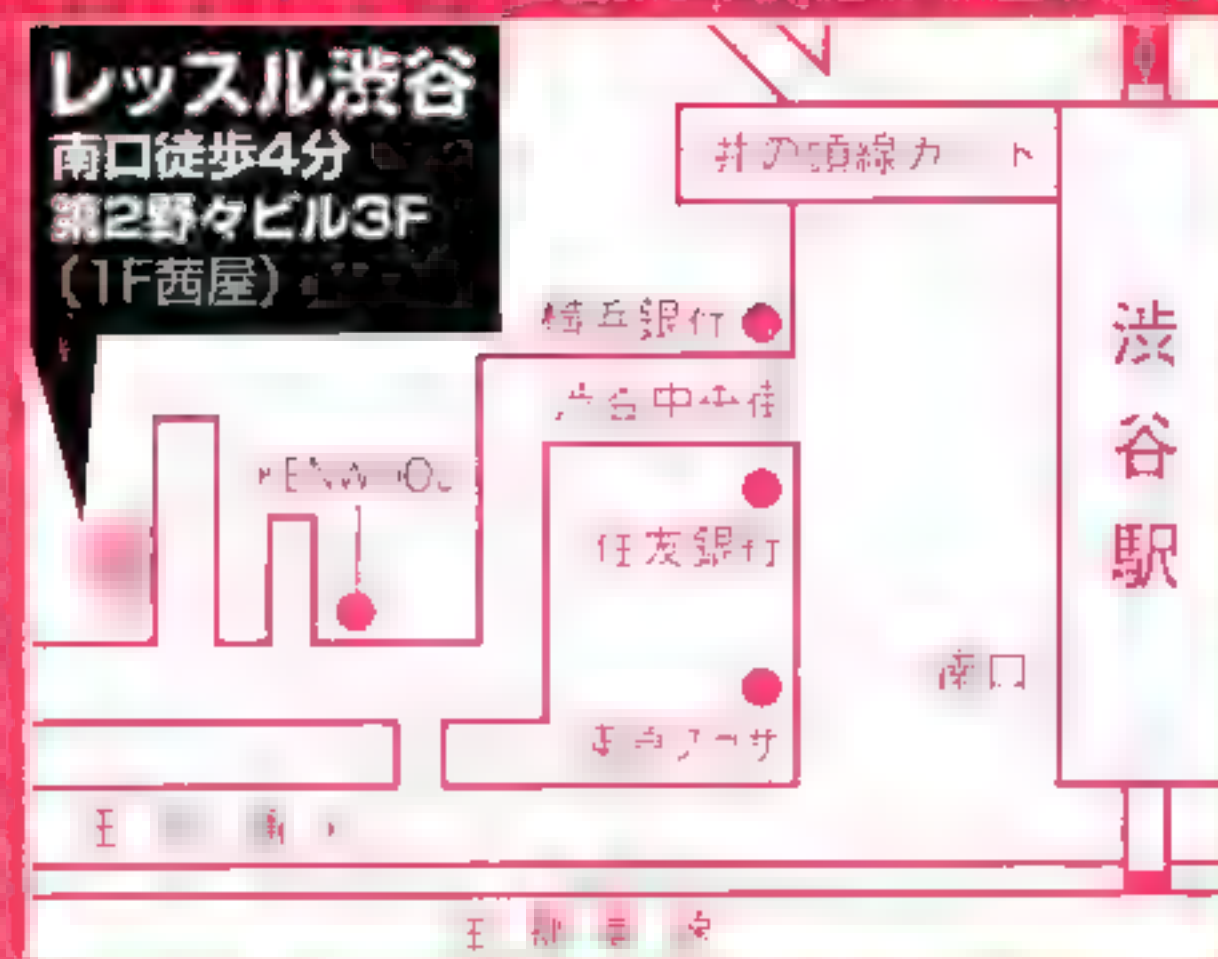
◆チケット発売所／渋谷ロックウェスト☎03-5459-7988、プロレスマニア館、バトラーツ

◎アレクサンダー大塚の凱旋帰国を記念したイベント「ただいま！アレクです!!」が、9月4日(土)、16:45(開場16:30)より開催される。会場は阪神百貨店6Fの梅田阪神ナショナルショールーム。入場は無料で、15:30より整理券が発行される。お問い合わせはバトラーツまで。また、9月5日(日)にはアレクの地元・徳島でもサイン会＆トークショーが開催される。会場はフクタレコード2F(アクア)。13:00より開始。こちらのお問い合わせはフクタレコード☎0886-52-7932まで。

正道会館が合同稽古を開催

9月11日(土)、大阪府立体育会館の柔道場、剣道場で、正道会館の関西地区合同稽古が行われる。角田信朗をはじめ、武蔵らK−1戦士も参加予定のこの合同稽古は、見学や無料体験入会も可能だ。

◆日時／17:30受付、19:00開始、20:30終了
◆お問い合わせ／正道会館総本部☎06-6357-1654

■主要チケット発売所一覧

チケットぴあ	✆03-5237-9999
チケットセゾン	✆03-3250-9999
ローソンチケット	✆03-3569-9900
CNプレイガイド	✆03-5802-9999
オデッセー	✆03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	✆03-3406-1513
レッスル渋谷店	✆03-3464-0078
レッスル池袋店	✆03-3989-0056
板橋大山アメリカン	✆03-3962-6443
チャンピオン	✆03-3221-6237
書泉ブックマート	✆03-3294-0011
後楽園ホール	✆03-5800-9999

星座別 タロット占い

宇月田麿凛慧
marie utsukita

8/26 Thu. 〜 9/8 Wed.

プロフィール　フォーチュンクリエーターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「マーヤー占星術」を中心にタロットカード・西洋占星術・四柱推命などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐（現ホリプロ所属、俳優）のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www happiness-f.com/

牡羊座 3/21〜4/20

全体運 夏も終わりに近づき、スポーツの秋に向け、そろそろ本腰を入れてトレーニングに取り組みたい。すぐに行動するよりも、まずは目標を設定し、トレーニングなどのプランニングをしっかりするのがグッド。現状では、実力不足、勉強不足で結果は付いてこない。目標を決め、自分磨きをしてから行動を起こすと好展開が望めそう。

勝負運 過去の栄冠を追い求めてはダメ！　今を大切に。

健康運 リラクゼーションを心がけるとグッド。

金　運 突然襲ってくる出来事による出費の予感。

ラッキーアイテム：**応急セット**
ラッキーカラー：**ブルー**

牡牛座 4/21〜5/21

全体運 実力があるのに、パワー不足や周囲のアシスト不足を感じて、思うような結果が得られないとき。周囲を見回し、人間関係を良好にする努力をして信頼関係を築き、あなた自身の考え方ややり方も変えてみよう。そうすれば良い環境が出来はじめるハズ。待つだけではなく、「果報は寝て待て」の状況を自分から作り出す努力が必要。

勝負運 勝負の時期ではないよう。タイミングをみて。

健康運 夏の疲れが出そう。休むときは休んで調整を。

金　運 友達や恋人にお金を貸したりと出費の予感。

ラッキーアイテム：**時計**
ラッキーカラー：**イエローグリーン**

双子座 5/22〜6/21

全体運 前半は恋愛・仕事・家庭などで不安材料が多くなるとき。あなたの中のビジョンやイメージが、崩れていくのを感じてしまう出来事が起きそう。描いていたイメージにこだわらず、壊れたものは捨てて新しいビジョンを立ててしまおう。それに向かって気分も新たに動き出すことで、いろいろなことが連鎖的に好転するハズ！

勝負運 試練の後、喜びを感じられるとき。

健康運 後半からはびっくりするくらいのパワー。

金　運 散財地獄からようやく脱出の予感。

ラッキーアイテム：**指に関するグッズ**
ラッキーカラー：**モノトーンカラー**

蟹座 6/22〜7/23

全体運 季節の変わり目で、体調や環境が変わりやすいとき。体調維持を心がけ、環境の変化によって左右されないよう、心身ともに自分をキープすること。気力が充実しているのに……とジレンマを感じるかもしれないが、焦りは禁物。時間をかけて、良い方向への舵取りを慎重に。焦るとコントロール不能状態にハマるので注意！

勝負運 お金を賭けた勝負は負けの暗示。

健康運 精神的に安定できる場所にいるとグッド。

金　運 賭事はダメ！　ギャンブル運がダウン。

ラッキーアイテム：**パソコン**
ラッキーカラー：**ライトブルー**

魚座 2/20〜3/20

全体運 ついつい信頼できる人に頼って、自分の意見を失いがちなあなたは、その子供っぽい甘い考えから卒業することが状況を好転させるキッカケに。意志を持って、自立するくらいの覚悟がないと世の流れに流されてしまうだけ。恋人に対しても親に甘えるように接しているみたい。そのうち重荷になって、恋人は逃げ出してしまうかも。

勝負運 一時的には勝利の女神が微笑むとき。

健康運 不規則な生活をしがち。規則正しい生活を。

金　運 現状維持するだけで、精一杯になりそう。

ラッキーアイテム：**北西の方角**
ラッキーカラー：**グレイ**

獅子座 7/24〜8/23

全体運 中盤に運気の盛り上がりあり。プレイスポット、トレーニングジム探しなどをすると、お気に入りに出会える予感。人との出会いも同じ。人が人を呼ぶときなので、ちょっとした縁でも大切にすると、そこから思わぬラッキーが転がり込んできそう。恋愛は相応しい人と出会えたり、恋人との関係が自然と性に合ってきたりするとき。

勝負運 精神面の弱さを克服することがポイント。

健康運 夏バテの影響もあり、過労には要注意。

金　運 頑張り過ぎは逆効果。自然に任せてグッド。

ラッキーアイテム：**CD**
ラッキーカラー：**オレンジ**

水瓶座 1/21〜2/19

全体運 夏が終わりを告げる頃、事件勃発の予感。魅惑的な異性にダマされそうになったり、詐欺に引っかかりそうになったり、危険な陰が近付いてきそう。親切そうに見える人ほど、要注意人物なので気を付けて。恋愛は、現在進行形の恋を大切にして。シングルはチャンスが少なく焦りがちだけど、危ない恋の誘いには乗らないこと。

勝負運 仕事では勝負に出てもOK。

健康運 ダイエット運あり。ウエイトダウンチャンス。

金　運 良かれと思ったことは危険な罠のよう。

ラッキーアイテム：**ビルケース**
ラッキーカラー：**ホワイト**

乙女座 8/24〜9/23

全体運 安定した運気。でも落とし穴に注意。気分は上々で、仕事も順調なときほど、甘えが出て落とし穴にハマる危険性あり。自信過剰だったり、個人主義に走り過ぎてはいないかな？　大きな懐で自分も周りも見つめよう。恋愛は誘惑に弱いとき。誘いはまず疑って、良きパートナーになれるかどうか冷静に判断を。痛い目を見るかも。

勝負運 チャンス。勝利の可能性が高まるとき。

健康運 ムリをしなければ健康状態はグッド。

金　運 金欲が高まるので、ゲットしやすいとき。

ラッキーアイテム：**文具**
ラッキーカラー：**ゴールド**

山羊座 12/23〜1/20

全体運 仕事運がアップ。実力はもちろんのこと、日頃の仕事に対する姿勢、勉強ぶりが評価されるとき。でも近くで、あなたに妬みを感じている年上の女性がいるかも。その人に罠にハメられる危険性があるので、好意的に要領よく振る舞って味方につけてしまおう。恋愛は、心と心が感じあえる、深く温かな愛情に包み込まれるとき。

勝負運 順調でもコケる可能性はあるもの。

健康運 貧血を起こしやすいとき。鉄分補給を。

金　運 ムダ遣いに注意すればそこそこOK。

ラッキーアイテム：**果物**
ラッキーカラー：**イエロー**

射手座 11/23〜12/22

全体運 腐れ縁から脱して自由になれるチャンス。縁を切りたくても切れない、ストーカーに追いかけられる、不倫の恋から抜けられない、そんな人は地獄から脱せられそう。強い意志を持ち、自由になるイメージを！　性急な新展開は望めないけど必ず自由は手に入るハズ。何事もタイミングがポイント。チャンスを逃さないように。

勝負運 安定してるとき。勝負に出てグッド。

健康運 怠さの原因が明確に。体調回復の兆し。

金　運 有力者がアシストしてくれそう。

ラッキーアイテム：**システム手帳**
ラッキーカラー：**トリコロールカラー**

蠍座 10/24〜11/22

全体運 運気は好調期なので、表舞台に立てるとき。前半から飛ばして行こう。センスがアップするので、センス勝負の仕事の人は、思い切った自分らしいプランニングをするとグッド。好評価を得てゴーサインが出る予感。恋愛では、ちょっと派手系ナイスバディの人とのお付き合いの期待。恋人同士はエッチな関係へと進展しそう。

勝負運 勝ちに行く途中、流れが変わった瞬間が危険。

健康運 身体的潜在能力が発揮されやすいとき。

金　運 金銭感覚が衰えるのでムダ使いしそう。

ラッキーアイテム：**海に関するグッズ**
ラッキーカラー：**ネイビーブルー**

天秤座 9/24〜10/23

全体運 順調に物事が進行し安定した状況で、運気は絶好調に！　それには前半にしっかりと目標設定することが大切なポイント。これをしないと、ただ良い運気に流されるだけで、何の結果も出せずにもったいないことに。目標次第では達成も可能に。恋愛も恋人とラブラブモードがアップ。シングルもパートナー出現の期待大。

勝負運 努力した人は報われる結果の期待。

健康運 太りやすいとき、ダイエットを心がけて。

金　運 目標達成のための出費は致し方ないこと。

ラッキーアイテム：**トレーニングマシーン**
ラッキーカラー：**レッド**

ザダハルンバ編集長の

一撃コラム

連載第5回

なぜ私はプロレスと格闘技が同じに見えるか、その理由。

私や松井館長、リングス前田日明の世代はちょうど「空手バカ一代」直撃世代だが、私の格闘技の入り口も「梶原一騎」だった。

もちろん、子供の頃からテレビで、馬場・猪木のBI砲、キックの沢村忠はずっと見ていたが、本格的にのめり込んでいったのは、梶原一騎からである。

ある漫画の編集者が、梶原一騎と小池一夫という劇画原作者の二大巨頭を比較して、梶原一騎は「テーマの人」、小池一夫は「アイディアの人」と評したことがある。これは、なるほどと思った。梶原作品には、もちろん魔球やタイガーマスクといったアイディアは出てくるが、根本にあったのは「生きざまとは？」とか「男とは？」「恋愛とは？」といったテーマ主義だった。だから、小池一夫のアイディア主義より、大きな影響力をもたらしたのだろう。

だいたい団塊の世代より下の世代は、漫画の影響で道徳観や倫理感を身につけているとよく言われている。自分にとって、それが梶原一騎だった。

いつぞや、ゴング格闘技のクマクマンボ元編集長に「梶原作品の中で一番好きな格闘家」、あるいは「最強と思う格闘家は誰？」と尋ねられた時に、私は「ボディガード牙」に出てくる「柳ヶ瀬次郎」の名前を挙げた。

柳ヶ瀬次郎は、大山倍達モデルの大東徹源が、神風特攻隊で死にそびれ、MP相手に喧嘩三昧にあけくれていた頃に知り合ったヤクザで、モデルは柳川組初代組長・柳川次郎氏（故人）である。200人くらいのヤクザを相手にたった8人で事務所に乗り込んで壊滅させたという柳川氏は、戦後、関西の武闘派として恐れられた人だ。『ボディガード牙』に出てくる、その柳ヶ瀬次郎の腹の座り方、生きざまは、どの格闘家より「強い男」に見えたのである。

普段の私からは、とても想像できないかも知れないが、そういうところで何かを学んでいたのである。

その梶原一騎を通じて、大山倍達を知り、プロレスを学んだから、格闘技イコール生きざまを教えてくれるもの、という意識が潜在的に私にはある。だから、そういう格闘技の記者になりたいと、高校生の頃くらいから漠然と考えていたのだ。

正確に言うと、格闘技というものをそう捉えていたため、私は猪木VSウィリー戦があるまで、生きざまの濃い極真空手の方が好きだったタイプだ。そして、プロレスに関しても、梶原手法の中でのA・猪木、つまり猪木の生きざまとかに純粋に憧れて見ていた口である。

だから、正直に言うと、私はプロレスファンだった時代でも、あまりコンプレックスを感じたことはなかった。梶原一騎のテーマ主義の中で、自然とプロレスも極真空手も一緒だったのである。

ところが、昭和55年、村松友視氏が「私、プロレスの味方です」という本を書き、プロレスファンに衝撃を与えた。その本が画期的だったのは、「物の見方」が書いてあったことだ。

プロレスというジャンルは、対世間から見た場合、蔑まれているが、それも物の見方一つで全然変わってくると、その本には書かれてあった。

高校生だった私がこの本を読んで驚いたのは、プロレスが蔑まれているジャンルだと初めて自覚したこと、そして表現として「理屈」をこねる手法があることを知ったことだ。

村松氏はこの著書で「ルールとはあらかじめ決められた八百長である」とか、「プロレスとは他に比類なきジャンルである」という名言を吐いているが、こんな理屈をこねる世界があるんだ、と初めて知ったのである。これは、明らかに梶原一騎とは違う。しかし、書いていることはめちゃくちゃ面白い。そういう単純な感動が、村松友視氏にはあった。

考えてみれば、この本が出るまで、プロレスというジャンルが世間から蔑まれた目で見られていたことに気がつかなかったのは、本当に脳天気な話である。平成の世になっても、私が格闘技のマスコミでそれなりにやっていけてるのは、プロレスや格闘技に対するコンプレックスが、潜在的にないからだろう。

だから、コンプレックスのない平成のファンともうまくやっていけるのである。これが、ターザン山本氏になると、コンプレックスを前提に言葉ありきの昭和のマスコミだから、今のファンとは合わないのかもしれない。

しかし、それも私が梶原一騎から入ったからであり、梶原作品の中では、野球も空手もプロレスも一緒に見えたからだ。梶原一騎と平成のファンとは、全く対照的にも思えるのだが、コンプレックスがないという意味で、意外とつながるのではないかと思うのだ。

「私、プロレスの味方です」が出た昭和55年は、ちょうど猪木VSウィリー戦があった年でもある。

私はこの試合、どうしても見たくて、なんとか東京に行く理由を見つけ出そうとした。それが、大学受験だった。

高校が進学校だったので、あまり勉強ができなかった私も周りにつられて、最初は国立一本！　なんて意気込んでいたのだが、昭和55年2月25日だけはどうしても東京に行きたかった。

大学なんてどこでもいい。そして、2月25日が受験日になっていたのは、日大法学部しかなかった。そして、私はその大学に行くハメになったのである。

※前号でライターの高島学氏はアルティメットのツアーに参加したとありましたが、個人観戦だったそうです。

最終回 「熱血の柔道王」〈最終話／「怪力ルイケル」〉
（原作／梶原一騎　画／茨木啓一）

▶発掘＆文／吉田豪（古本バカ）

発掘!! お宝格闘技漫画

©光文社（『少年』昭和30年7月号付録）

読者の皆様の反応はともかく、UWFスネークピット・ジャパンの宮戸優光氏にだけはなぜか不思議と評判がよろしいらしい、このコーナー。

しかし、そんな『熱血の柔道王』の再録も今回で遂に最終回である。

講道館柔道の創設者であり、本作の主人公でもある嘉納治五郎先生の前に立ちはだかる最後のボスキャラは、なんと日本の柔術家を8人も投げ飛ばした「外国の柔術家」！

この時期、外国に柔術が根付いていたとは到底思えないのだが、とにかくグレイシーのような外国の柔術を学び、ミュンヘン五輪で2階級制覇を果たした柔道王ウイリエム・ルスカのごとく「赤鬼」と呼ばれる柔術家が日本の格闘家たちをターゲットにしてきたわけなのだから、とんでもない。まさに黒船襲来である。

この梶原イズム溢れるドラマチックな前振りには、格闘技好きなら誰もが期待に胸を膨らませずにはいられないことだろう。しかし、そこで登場してくるのは、なぜか単なる外人プロレスラーの「怪力ルイケル」なのであった。期待は裏切られたが、さすがは梶原一騎先生だ！

ルイケルとの試合が組まれ、病床の身ながらホイス・グレイシーばりに「柔術のためなら死ねる」姿勢をアピールする柔術の鬼・島崎英之助と、アメリカレスリングの名誉のため病人との試合を断るルイケル。

どちらも素晴らしいまでの男らしさなのだが、死ぬ気だったはずなのにルイケルとの試合を商売敵の柔道家・嘉納にあっさり譲ってしまう島崎の奥ゆかしさも素晴らしすぎだ。

こうして実現した柔道対プロレスの頂上対決は、想像を絶するほどの淡泊さで非常に淡々と進行していく。

とくに58コマ目から60コマ目にかけて何の擬音も台詞もないまま「投げた、倒れた、勝った」という三段落ちで嘉納がルイケルにあっさり勝利すると、それからラスト2ページはジェットコースター・ムービー以上にハイスパートで突き進むとんでもない世界へと突入していくのだった。

つまりアメリカン・プロレスに勝利し、柔術家・島崎には感謝され、病院送りとなったルイケルにも激励された嘉納は、何の伏線もないままにいきなり海外へと旅立つのである。

正確には嘉納というよりも講道館で嘉納に学んだ猛者たちが世界へ柔道を広げていった結果、前田光世がブラジルで柔術を根付かせたりすることとなるわけだが、とにかく梶原先生に言わせれば「外国の柔術家」に勝てるのは日本の柔術家ではなく柔道家だということなのだろう。

結局、時代は小川直也なのである

アピールする柔術の鬼・島崎英之助——結局、時代は小川直也なのである。

島崎さんは死ぬきでいる……
ふっふっふっ
日本柔術だめねえ わたしたいくつです……
でもきょうのあいてはてごわいですよ…
島崎さんですか！
だめだめ！あの人からだわるい！
病気です わたし病人と試合する いやです ことわります！
でも見物がまっていますので……
なにをいいますか！
見物の人たちかえってください わたしやりません
わたしアメリカレスリングのめいよをほこります
ごめんください
おお島崎さん
ルイケルさん お話はききましたが…… わたしも日本の武術の……
めいよをおもんじます！

先生！嘉納先生か……
なにっ！
島崎さん きょうの試合はわたしにかわらせてください
おことわりする！
島崎さん柔術も柔道も……
おなじ日本の武術です わたしもあなたのようにほこりをもっている
島崎さん おねがいです わたしにかわらせてください
そしてはやく元気になってください
あなたと戦う日をたのしみにまっています
うむ
嘉納くんたのむ
おーいはやくやれ！
はやぼやするな
たいへんおまたせいたしました
本日の怪力ルイケルのあいてはつごうにより講道館の嘉納治五郎にかわりました
わあっ柔道の王者！
がんばれ

発掘!!

お宝格闘技漫画

よくやってくれました

……

先生
お元気で……

がんばってください

【完】

●協力/真樹プロダクション

QUEST VIDEO 好評発売中!

修斗ライト級選手権試合
朝日昇vs巽宇宙

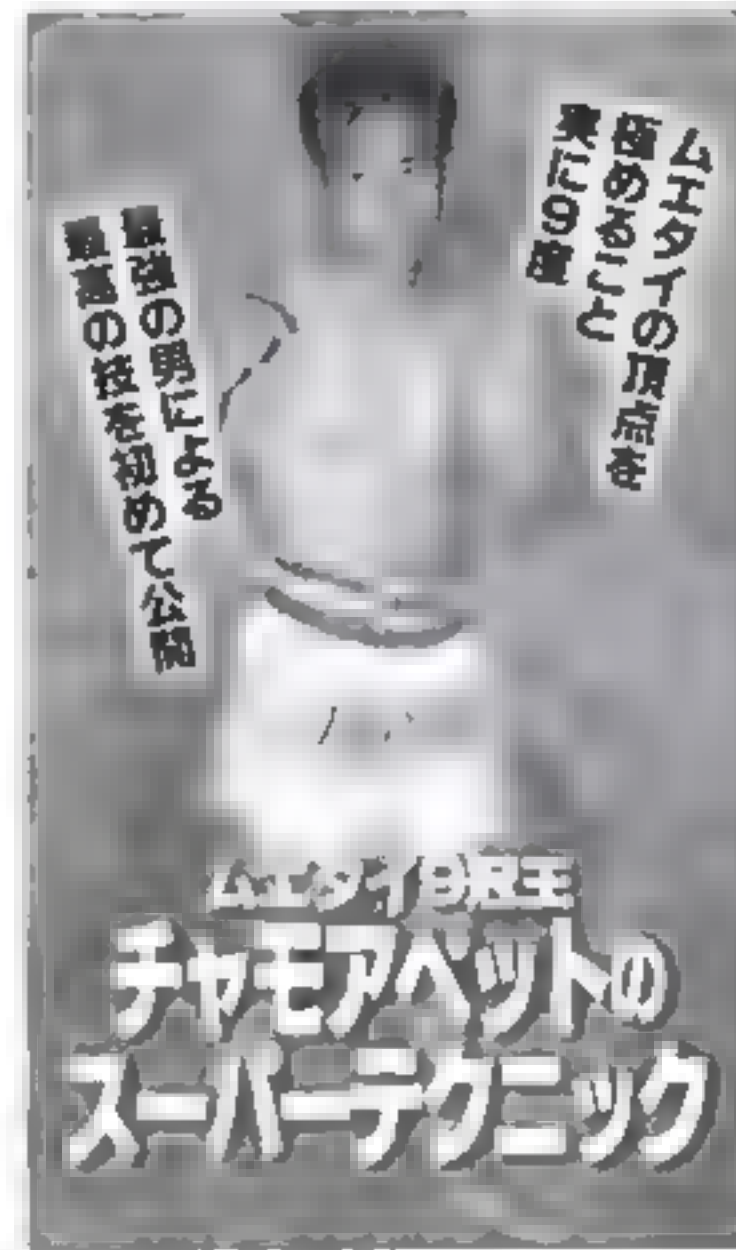
修斗新時代の到来を証明する名勝負集!

ニューウェイブコンビ植松&五味の躍進超新星同士の激突、佐々木vs桜井戦など'99上半期の激闘から注目の試合をピックアップ!

カラー74分 税込6,930円

朝日と巽、修斗を代表する業師であり、勝負への執念でも人並みはずれた両雄の、待ち望まれた対戦がついに実現。王者の牙城を陥落せんと必死で攻め込む巽、その攻め手を潰しながら厳しい反撃を見せた朝日。試合は互いに一歩も譲らぬ最高峰の技術戦となった。そのライト級の王座を狙うノゲーラは実力者大石を撃破、会場を熱狂の渦に巻き込んだ桑原と五味のダウンの応酬、そして、一気にライト級のトップ戦線に加わってきた新星植松、ライトヘビー級の次代を担う佐々木、桜井の激戦など、修斗の魅力が全開!

収録内容
- ◆ライトヘビー級2回戦 桜井隆多vs鶴巻伸洋
- ◆ライト級2回戦 大河内衛vs植松直哉 (1999年1月27日北沢タウンホール)
- ◆ウェルター級2回戦 竹内幸司vs阿部和也
- ◆ウェルター級2回戦 巖崎 綸vs八隅孝平
- ◆ヘビー級2回戦 アンソニー・ネツラーvs佐藤耕平
- ◆ウェルター級3回戦 桑原幸也 vs 五味隆典
- ◆ライト級3回戦 アレクサンドレ・フランサ・ノゲーラvs大石真丈
- ◆ライト級選手権試合3回戦 朝日 昇vs巽 宇宙 (1999年3月28日後楽園ホール)
- ◆65kg契約3回戦 植松直哉vsエリック・ペイン (1999年4月9日北沢タウンホール)
- ◆ライトヘビー級2回戦 佐々木有生vs桜井隆多 (1999年5月27日北沢タウンホール)

ムエタイ9冠王
チャモアペットのスーパーテクニック

カラー62分 税込6,930円

チャモアペット・チョーチャモアン ムエタイの2つの殿堂、ルンピニーとラジャダムナンの両スタジアムにおいて、前人未踏の9つの王座に輝き、400年を数えるムエタイの長い歴史の中で最も成功を収めた男。その強さの秘密は、蹴り、パンチ、ヒジ、ヒザ、あらゆる攻撃に優れているだけでなく、鉄壁の防御とカウンターのテクニック、それらすべてが高い次元でバランス良く組み合わされているところにある

これは、最強の男チャモアペットが、その芸術的テクニックのすべてを、具体的な実戦用法を中心に紹介した初めてのビデオである。

収録内容
- 構え一オーソドックス、サウスポー
- パンチ一ジャブ、ストレート、フック、アッパー、コンビネーション
- ヒジ打ち一打ち方と防御、パンチとのコンビネーション、カウンターのヒジ、蹴りを掴んでのヒジ
- キック一ミドルキック、ローキック、ハイキック
- ヒザ蹴り一ヒザ蹴り、テンカオ、飛びヒザ
- ガード一蹴りの防御、カウンターのヒザ、前蹴り、受け返し、蹴りのカット
- 首相撲一首相撲のやりかた、体勢の崩し方、ヒジへの連携、練習の仕方
- 実戦練習一シャドウ、スパーリング

1999年の
ヤマトダマシイ

2本組カラー120分 税込8,400円

エンセン井上をA面、B面の2方向から映像化する初めてのビデオ。A面は人生に、そして格闘技に正面から取り組む格闘家としてのエンセンをシリアスに追うドキュメント。フジテレビ系「NONFIX」で放送されたものに未公開映像を加えた完全版。B面は、バリジャパ96イゴール・ジノビエフ戦からアブダビでのマリオ・スペーヒー戦、PRIDE-5での西田操一戦まで、全8試合をエンセン自身の解説で振り返るとともに、グアム&ハワイロケを含むプライベート映像「エンセンの休日」、格闘家同士がテクニックを交換し合う「エンセンの友達の輪」など明るく笑顔が絶えないエンセンの素顔を描く。エンセンの魅力全開の2本組ビデオ。

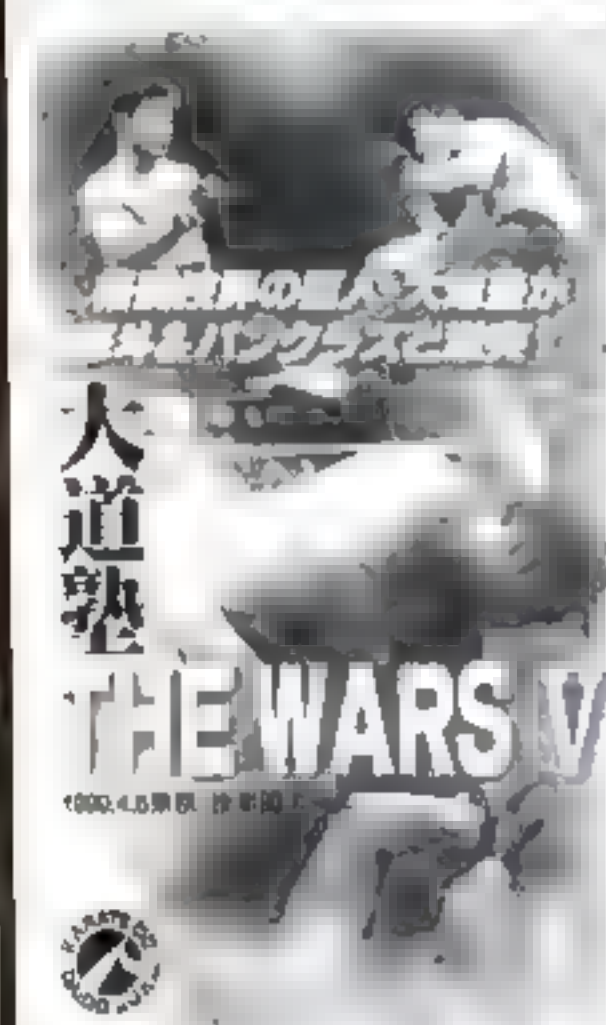
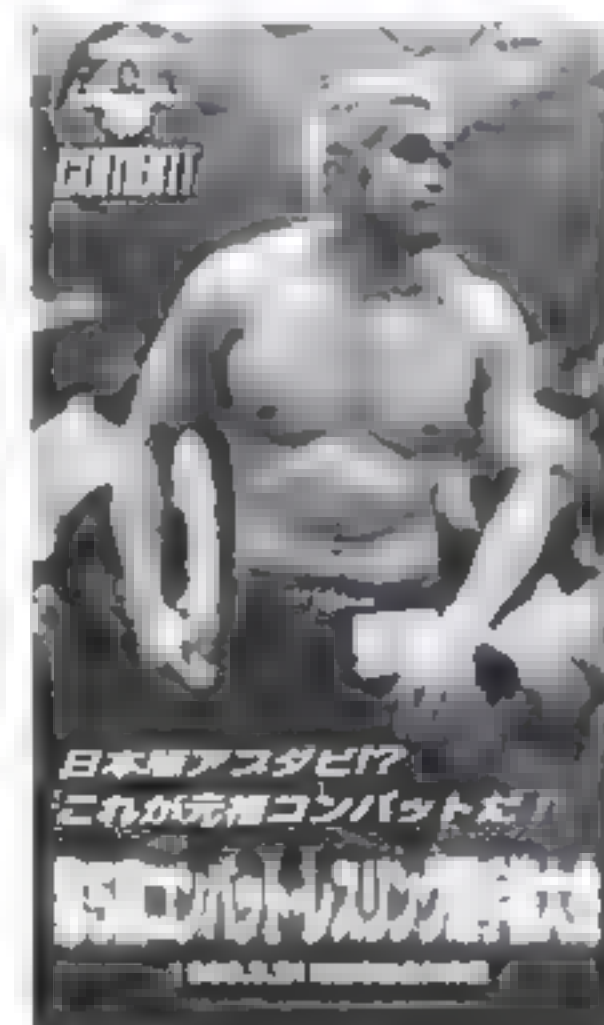
修斗バイブル

カラー111分 税込6,930円

ライト級チャンピオン・朝日昇が初めて公開する修斗の技術。それは、打撃、組技、寝技、3つの極を組み合わせた総合のテクニックであり、それぞれの技術が複雑に絡み合い、体系化されている。修斗の試合に出場するために必要な技術を、これ1本でマスターすることができる画期的なビデオである

[収録内容]構え(立ち方〜腕〜重心)/ステップ(前後〜左右)/サークリングステップ/パンチ ・ジャブ・ストレート・フック・アッパー・ボディーストレート・コンビネーション/パンチに対するディフェンス ・ジャブに対して・ストレートに対して・ワン・ツーに対して・ローリング・スウェーイング/キック ・ミドルキック・スイッチ・ローキック・前蹴り・腰を入れる蹴り・タックルを想定しての蹴り/キックに対するディフェンス ・ミドルキック・ローキック・前蹴り/タックル ・胴タックル・足へのタックル・足首へのタックル・タックルの切り方/テイクダウン ・胴タックルとそのディフェンス・両足タックルとそのディフェンス・片足タックルとそのディフェンス/四つ組/首相撲/ガードポジション ほか

THE WARS V

99.4.8後楽園ホール カラー80分 税込¥6,930

大道塾がパンクラス、修斗と激突!重量級制覇を目指す山崎はパンクラスの美濃輪とパンクラチオン・ルールで激突。さらに軽量級5連覇、中量級をも制した小川は、修斗元ライト級王者の田中と対戦。さらに中井祐樹の柔術マッチ、土居vs治政館・鶴屋、高松vs無門塾・赤崎、SAW・河村vsパレストラ・勢田、真武館・太田vs四王塾・金子など、総合の雄が大集合!

第5回
全日本コンバットレスリング

99.3.21町田市総合体育館 カラー110分 税込¥6,930

レスリング、修斗、サンボ、柔術、SAWなど、組技系&総合系のトップファイターが多数参戦した全日本コンバットレスリング選手権大会。エース・佐藤ルミナをはじめ伊藤武則、和田拓也らの修斗勢、RJWの太田浩史、米沢重隆、サンボの寺田淳、勢田誠一、そしてパレストラの大内、SAWの小西。寝技日本一を決めるにふさわしい強豪たちが激戦を繰り広げた。

★お求めはお近くの書店、レコード店、ビデオショップ、電器店か、直接当社にて。

〈通信販売要領〉
1.現金書留 2.郵便振込 口座番号…00190-9-753158 1・2いずれかの方法で下記住所へご送金下さい。ビデオの送料はサービスですので広告記載の代金のみで結構です。どちらの場合でも住所・氏名・年令・TEL・希望商品名の明記をお願いします。郵便振込の場合は用紙裏面の通信欄に記入、※印に関しては事前に在庫の有無をお問い合わせ下さい。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-1 ユニオン駅前ビル5F TEL.03-3360-3810 FAX 03-3366-7766

QUEST 株式会社クエスト

http://www.bekkoame.ne.jp/~questnet/ E-mail : questnet@bekkoame.ne.jp

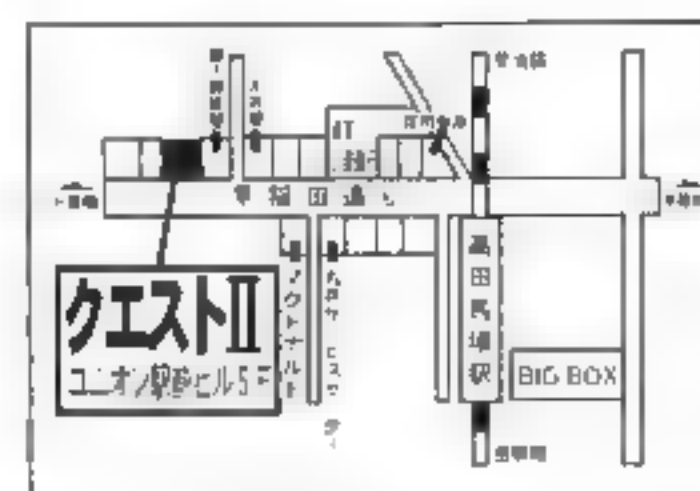
クエストビデオカタログをご希望の方は270円切手をお送り下さい。通販ご利用の方にはもれなく差し上げています。

★最新ビデオカタログ(99年夏版)できました!

※当社でのお求めは通信販売でのお申し込み、もしくは下記ショップへご来店下さい。

格闘技&武道ビデオショップ クエストII

小社及び国内で発売されているあらゆる格闘技、武道のビデオを揃えております

- ●JR高田馬場駅から歩いて1分
- ●営業時間
  月〜金 AM10:00〜PM6:00 土 AM10:00〜PM5:00
  日・祝・祭休み

修斗

ルミナ6秒の閃光

'99.1.15&'98.11.27東京・後楽園ホール　カラー90分　税込6,930円

フランク・シャムロック門下の強豪テイファーを相手に、開始後わずか6秒で1本勝ちを奪い、バリジャパ98での失神KO敗けという屈辱を見事な形で払拭したルミナ衝撃の一戦に加え、マッハ桜井とブラジリアン柔術オリヴェイラとの激突、そして宇宙1年ぶりの復活、天才児・郷野vsカポエイラ戦士スーザ。修斗の面白さが満喫できる名勝負を収録。

タイトル	時間	価格
バーリトゥード・ジャパン'98	カラー110分	税込6,930円
エリック・パーソンvs須田匡昇	カラー90分	税込6,930円
修斗 vs 欧州最強軍団	カラー72分	税込6,930円
桜井速人vs中尾受太郎	カラー90分	税込6,930円
朝日の復活、ルミナの敗戦	カラー105分	税込6,930円
ハーリ トゥード・ジャパン'97	カラー86分	税込6,930円
エンセン井上vsジョー・エステス	カラー60分	税込6,930円
修斗vsレスリング　激突3対3	カラー80分	税込6,930円
エンセン井上vsズール	カラー70分	税込6,930円

パンクラス

パンクラス新たなる挑戦

98 12 19東京ベイN.K.ホール&10.4&10.26後楽園ホール　カラー120分　税込6,930円

待ち望まれたパンクラスマットでのノールール系マッチがついに実現。レンケンと激突した船木をはじめ、山宮はホーンと、新星渡部はローバーと対戦。素足にシューティンググローブでリングに上がった船木はどんな戦いぶりを見せたのか?12・19NKホール大会に加え10・4&10・26の後楽園2大会も収録。

タイトル	時間	価格
パンクラス五周年記念大会	カラー120分	税込6,930円
船木誠勝故郷凱旋試合	カラー120分	税込6,930円
鈴木vsローバー シュルトvs高橋	カラー118分	税込6,930円
船木誠勝vsガイ・メッツァー	カラー90分	税込6,930円
鈴木vs山宮 船木vsシュルト	カラー120分	税込6,930円
鈴木vsシュルト&道場対抗戦	カラー116分	税込6,930円
船木誠勝　真実の17分05秒	カラー90分	税込6,930円
近藤有己vs船木誠勝	カラー90分	税込6,930円
近藤vs高橋 船木vsゴドシー	カラー60分	税込6,930円
近藤有己vsリオン・ダイク	カラー60分	税込6,930円
近藤有己vsジェイソン・デルーシア	カラー90分	税込6,930円

バーリ・トゥード

PRIDE-5

99 4 29名古屋レインボーホール　カラー90分　税込9,975円

プライドシリーズの新たなる歴史、開幕 高田vsコールマン、桜庭vsベウフォート、エンセンvs西田、小路vsボブチャンチン、本間vsブエノ、豊永vsイーゲン。全6試合に加え、小川の高田戦マイクアピールなど。見所をすべて収録

タイトル	時間	価格
PRIDE-1〜4	各巻カラー90分	税込9,975円
VALE TUDO JAPAN OPEN 1995	カラー120分	税込9,991円
ヒクソン・グレイシー王者の真実	カラー98分	税込6,090円
ファス・バーリトゥード1〜7	各巻カラー30〜45分	税込5,880円
ハス ルッテンのスーパーテクニック1〜5	各巻カラー33分〜50分	税込5,880円

極真会館

キングオブテクニック

カラー50分　税込8 800円

王道を歩んだ大山倍達、王者となった松井章圭、王者を育てた廣重毅、王道をゆく数見肇 今、キング・オブ・テクニックが明かされる。大山倍達最後の直伝指導と猛牛決戦、ストリートファイトの名シーンを初公開 世界の王者松井館長と王者を育てた廣重毅を中心として伝授された、勝つための間合い、さばき、技の数々。さらに郷田勇三師範が大山道場時代の一撃必殺を再現。貴重映像満載の王道伝授ビデオ

タイトル	時間	価格
100人と戦った男、数見肇	カラー60分	税込8,800円
第30回全日本空手道選手権大会	カラー90分	税込9,800円
意拳　孫立	カラー40分	税込7,800円
一撃必殺　廣山初雄	カラー60分	税込9,800円
第6回全関東空手道選手権大会	カラー60分	税込8,800円
第15回全日本ウェイト制空手道選手権大会	カラー80分	税込9,800円
組手最前線パート2　3秒で倒せ!	カラー60分	税込9,800円
最終兵器　数見　肇	カラー80分	税込9,800円
極真空手全集　全3巻	各巻カラー75分	税込9,800円
第29回全日本空手道選手権大会	カラー85分	税込9,800円
この瞬間にチャンピオンは生まれた 上 下巻	各巻カラー50分	税込8,800円
組手最前線	カラー60分	税込9,800円
極真世界制覇バイブル	カラー80分	税込9,991円
この技で勝ちを狙え	カラー90分	税込9,991円
極真空手バイブル	カラー90分	税込9,991円
人間・大山倍達	カラー50分	税込9,991円
牛殺し　大山倍達	カラー50分	税込9,991円

レスリング

セルゲイ・ベログラゾフ

レスリングの奥義

カラー100分+テキスト32頁　税込5,880円

レスリング・フリースタイルに君臨した偉大な王者。あのカレリンに次ぐ実績を誇るS・ベログァゾフが世界を制した最高峰のテクニックを詳しく紹介する。誰もが真似をすることができないような秘技ではなく、シンプルな技の組み立てで相手を追いつめる真の奥義。これは、格技競技を志すすべての人々に向けたバイブルである。練習に携行できるテキスト付き。

タイトル	時間	価格
最強のレスリング	カラー90分	税込5,880円

空手

二宮城光　ENSHIN METHOD

カラー53分　税込6,930円

極真空手の黄金期に、その華麗な組手で戦国時代を勝ち抜き、貴公子、天才児と称された二宮城光。長年の実戦経験を基に考案した円心空手は、攻防における円の動きとポジショニング、独特の崩し、捌き、投げのテイクダウン、相手のパワーを最大限に利用するカウンター攻撃を特色とする。このビデオでは、華麗にして重厚な円心会館のテクニックと精神を、二宮館長が自ら解説する

タイトル	時間	価格
白蓮会館・柔法篇〜逆技の極意〜	カラー60分	税込6,930円
白蓮会館・剛法篇〜最強の組手〜	カラー75分	税込6,932円
山崎照朝の実戦空手[基本篇]	カラー70分	税込5,914円
山崎照朝の実戦空手[移動稽古篇]	カラー75分	税込5,914円
山崎照朝の実戦空手[組手基本篇]	カラー50分	税込5,914円
格闘空手大道塾	カラー60分	税込6,932円
格闘空手大道塾　実戦組手編	カラー80分	税込6,930円
THE WARS 4	カラー120分	税込7,980円
世紀末カラテ他流試合	カラー81分	税込10,290円

ボクシング

ボクシングスーパー教則ビデオ　初級、中級、実戦編

各巻カラー35分　各5,098円

日本ボクシングコミッション公認 基礎トレーニングから実戦での高等技術までをわかりやすく解説した教則ビデオの決定版。初級編は基本テクニック・フォーム、攻撃、防御、基礎トレーニング、ジムワーク等収録。中級編は、中級技術 攻撃防御 中級トレーニング等収録 実戦編は、高等技術-攻撃&防御、ジムワーク、プロテストとは、実戦の分析等を収録。

タイトル	時間	価格
エディ・タウンゼント王者への必殺パンチ	カラー33分	税込8,971円
ファイティング原田のボクシング教室 基礎編	カラー31分	税込3,990円
ファイティング原田のボクシング教室 応用編	カラー25分	税込3,990円
ワールドドリームビッグマッチ	カラー115分	税込6,932円
ワールドチャンプビッグフェスティバル	カラー71分	税込6,930円

合気道

神技・塩田剛三

カラー40分　税込8,971円

実戦合気道の総本山、合気道養神館を率い、現代に生きる数少ない達人の一人として、素晴しい演武の数々を披露して見せた塩田剛三。その若き日の映像から演武大会での最後の演武まで、貴重な秘蔵映像で綴るドキュメントビデオ。その小さな体から繰り出される技はまさに神技である。

タイトル	時間	価格
合気道養神館	カラー60分	税込8,971円
合気道養神館[演武篇]	カラー32分	税込6,321円
映画　合気道	モノクロ27分	税込4,894円
技術全集1〜10	各巻約40分	税込各8,155円
塩田剛三スペシャル1〜10	各巻約30分	税込各8,971円
合気道　極意	カラー90分	税込6,930円
塩田剛三の高弟達　井上強一	カラー90分	税込6,930円

K-1

最強への道

カラー43分　税込5,250円

世紀末、絶大なるブームを巻き起こしたK-1グランプリ。その原点を追るドキュメントは、門外不出、幻の奥義が満載の現代格闘技大全となった。スクリーンに刻まれたK-1最強伝説がビデオとなって甦る。フグ、アーツ、ベルナルド、フィリョ 佐竹、ムサシ、金 角田。そして黒澤 野地 立嶋 前田、小野寺 吉鷹 港らスーパーファイター多数出演。

タイトル	時間	価格
K-1 GRAND PRIX '98 FINAL	カラー120分	税込12,600円
K-1 GRAND PRIX '98開幕戦	カラー120分	税込12,600円
マイク・ベルナルド・ストーリー	カラー75分	税込10,500円
ピーター・アーツ・ストーリー	カラー75分	税込10,500円
アーネスト・ホースト	カラー75分	税込10,500円
K-1 DREAM '98	カラー120分	税込12,600円
K-1 EUROPE GRAND PRIX '98	カラー120分	税込12,600円
K-1 BRAVES '98	カラー120分	税込12,600円

キックボクシング

KICK CHAMPION'S NIGHT

98 9.19後楽園ホール　カラー60分　税込6,930円

土屋ジョーvsラビット関 意地と気迫が真っ向からぶつかりあったバンタム級王者対決に加え 伊藤隆がション・ウェインを血祭りに上げた一戦、フェザー級王者砂田vs無冠の帝王山口、コンディション抜群の両雄が対戦した金沢vs山崎、初のボクシングマッチに挑戦したSBクイーン中村ルミvs高野など、注目の対戦が連続した全日本とMAキックの合同興行。

タイトル	時間	価格
キックボクシング完全教則ビデオ 初級.中級.上級編	各巻カラー50分	各税込6,930円
BURNING-5	カラー60分	税込6,930円
SHOOT THE SHOOT XX	カラー120分	税込6,090円
SK DOUBLE CROSS 2nd	カラー120分	税込6,090円
小野寺力	カラー90分	税込6,930円
立嶋篤史	カラー60分	税込6,932円
前田憲作	カラー60分	税込6,932円

日本武術

水口修孝　至高の柔道

カラー80分　税込6,930円

プライドシリーズで大活躍中の豊永稔・小路晃、そして日本における柔術の第一人者・中井祐樹らが指導を受け、その技術の奥深さに驚いたという水口修孝の柔道。一本を取るために研き抜かれた究極の技を、水口修孝は体現している。嘉納治五郎から三船久蔵、水口修孝へと続く、柔道が本来持っていた素晴らしき技の数々。その中に隠された理を、ビデオはひとつひとつ解明していく。

タイトル	時間	価格
高専柔道	カラー68分	税込6,930円
中井祐樹　柔術バイブル	カラー90分	税込6,930円
神技・三船十段	モノクロ30分	税込6,930円
大東流合気柔術	カラー60分	税込8,971円
柳生心眼流竹翁舎ビデオ教傳所	カラー80分	税込8,971円
天然理心流	カラー60分	税込8,971円

中国武術

澤井健一直伝　大気拳

カラー31分　税込5,880円

大気至誠拳法・大気拳、その極意は気であり、その真髄は過去、現在、未来、一切の万物に至るまで妙応無方なる気の本領を顕現することである。臨機応変、攻防自在、本能の力、自然の法則の従い、自然に体得する形あって形無し無敵の拳法、大気拳。在り日の拳聖・澤井健一の秘蔵映像を約6分間収録している他、直弟子、飯島弘志五段錬士がその秘伝を紹介する。

タイトル	時間	価格
酔八仙拳〜藍采和の型〜	カラー37分	税込5,880円
真傳　尚雲祥派形意拳	カラー40分	税込6,932円
楊氏太極拳〜散手対打・化勁〜	カラー55分	税込8,971円
程聖龍内家拳〜八卦掌〜	カラー54分	税込8,971円
程聖龍内家拳〜形意拳〜	カラー55分	税込8,971円
程聖龍内家拳〜陳氏太極拳〜	カラー41分	税込8,971円
蟷螂拳	カラー42分	税込6,930円

コマンド格闘術

毛利流総合戦闘格闘術

カラー53分　税込5,880円

軍隊格闘術のエキスパート毛利元貞が、そのサバイバルテクニックのすべてを明かす初めてのビデオ 危険を事前に回避するための心構えや行動、そして危険に遭遇してしまったときの格闘術 実戦における四大原則「防止」「警戒」「対処」「離脱」などを、格闘時の基本、ボディガード流接近格闘術、軍隊流戦闘格闘術の3部構成で紹介。

タイトル	時間	価格
コマンドサンボ基本技術	カラー54分	税込5,914円
コマンドサンボ応用技術200	カラー84分+テキスト/123頁	税込7,137円
実戦コマンドサンボ百科上巻	カラー90分+テキスト/116頁	税込7,137円
実戦コマンドサンボ百科下巻	カラー90分+テキスト/116頁	税込7,137円
ボボフ流コマンド格闘術	カラー123分	税込5,880円
スラブ式格闘術	カラー120分	税込5,880円
ボボフ流コマンド格闘護身術	カラー51分+テキスト/128頁	税込7,137円

忍術

古武道の奇本

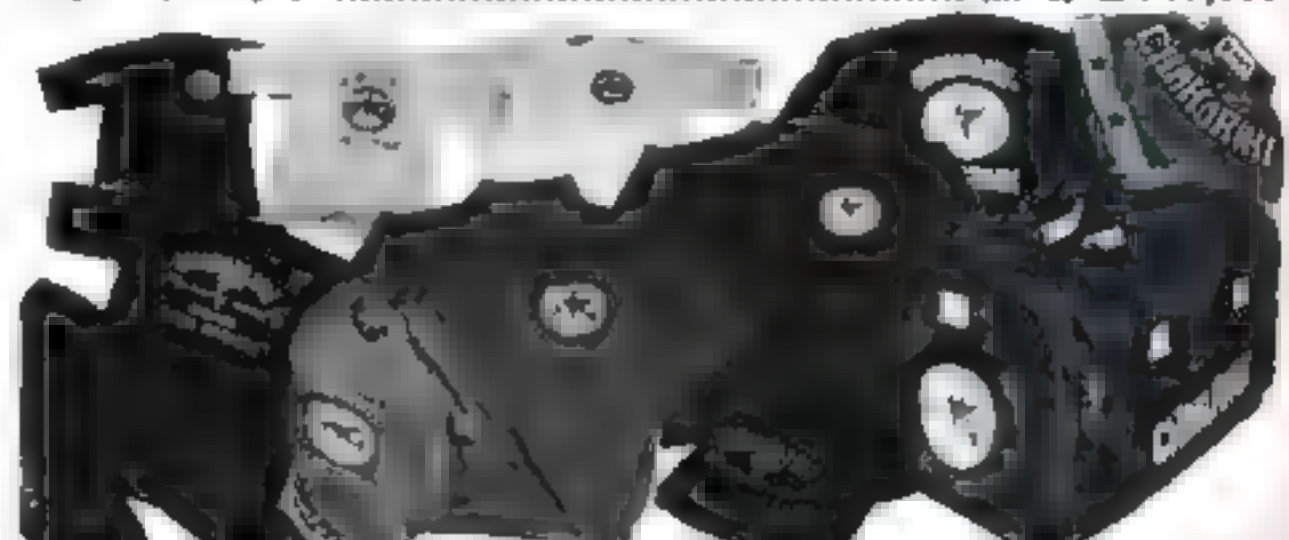
カラー60分　税込6,300円

最後の忍者マスター初見良昭が初めて明かす武道のエッセンス。あらゆる武道の元になる動き・基本八法が正しく出来なければ、その武道はものにならない。骨指基本三法、捕手基本型五法、そして宝拳十六法 鬼角拳、手起拳、不動拳、起転拳 指針拳、指端拳 蝦蛄拳、指刀拳、指頂拳、骨法拳、八葉拳、足蹠拳、足起拳、足逆拳、体拳、心拳)を完全収録

タイトル	時間	価格
神伝不動流八方秘剣　上・中・下巻	各巻カラー60分	税込各4,830円
剣　太刀　刃	カラー70分	税込6,300円
虎倒流骨法術	カラー30分	税込6,321円
高木揚心流柔体術	カラー30分	税込6,321円
九鬼神伝流棒組討	カラー24分	税込6,321円
玉虎流骨指術	カラー30分	税込6,321円
戸隠流忍法体術	カラー30分	税込6,321円
神伝不動流打拳体術	カラー30分	税込6,321円

チャクリキ・グッズ

※表示価格は消費税・送料込です。

商品	色・価格
TシャツA	黒・白各¥3,200
TシャツB	黒¥3,200
TシャツC	黒(会長写真入)¥3,400
タンクトップ	白¥3,200
トレーナー	黒・紺 グレー各¥6,300
ブルゾン	¥20,000
トランクス	¥4,100
ウォームアップスーツ	赤・黒各¥16,000
ジョギングパンツ	黒・紺各¥4,400
キャップ	黒 黒地につは赤各¥2,800
ディパック	黒・赤各¥10,300
スポーツバッグ	黒・赤各¥17,800

格闘技・裏事情

編集部トーク

A　巻頭でも触れてあったように、今、本当に総合格闘技が活発な動きを見せているんだけど、この先どこがどうなるか全く読めなくなってきているな。

C　「プライド」にUFC—J、バリ・ジャパ、掣圏道、そしてU系のリングス、パンクラスと非常に複雑。いったいポイントはどこなの？

A　やっぱり、高田。そして本当に鍵を握っているのは、新日本プロレスだと言われている。高田が新日本に出ることで、10月のドームも完全に小川がなくなったし、それによって小川の動きも変わってきた。プロレス専門紙には「引退の危機」とも書かれていたけど、「プライド」に上がるならまた盛り上がるだろうし。

B　リングスが「プライド」と接近しているみたいですけど、それにしても、高田がポイントになってくるんじゃないですか？　トークショーのリングス前田日明社長の話を聞いてみると、興味があるのは「桜庭」らしいし。でも、リングスの会場でDSEの森下直人社長が最前列で見ていたのには驚きましたね。しかもUFC—Jの坂田プロデューサーも来ていた。

C　9・12「プライド7」に、リングス勢の誰かが上がるという可能性はあると思うよ。それと、もしリングスとDSEの交流が本格的に始まれば、12月の大阪大会に向けて、リングスにも勢いがつくだろうし。高田はあまり乗り気じゃないと聞くけどね。

A　それにしても、高田は不思議な存在だなぁ。ヒクソンに2連敗してプロレス・マスコミで叩かれていたけど、本当に重要な位置にいる。小川や田村も、今でも「高田と闘いたい！」と口にするし。

C　本当になんなんだろう!?

B　それと、UFC—Jと掣圏道が、偶然にも興行戦争になりましたね。佐山さんに話を聞いたら、当初有明コロシアムを10月の2日と3日に押さえていて、3日に東京進出する予定だったんですけど、マスコミから「その日はK—1グランプリの開幕戦ですよ」という話を聞き、急遽2日に繰り上げたそうです。ところが、その日が今度はUFC—Jと重なってしまった。佐山さんは「ええー、そうなんですか？」と驚いてましたけど。

A　佐山はそんなこと狙ってやるタイプじゃないからな。でも、NKホールと有明コロシアムかぁ。どっちも交通の便は悪い（笑）。

C　有明で8千人、NKで5千人というキャパなんだけど、これはどっちが客が集まるかは注目されるだろう。UFC—Jの発表が意外に地味だったんだけど、掣圏道と同じ日に開催になったということで、大物外国人を呼ぶ可能性はあると思うよ。

B　佐山さんは、無頓着にWWFと提携したり、ハンス・ナイマンらを呼ぶんだけど（笑）。

A　俺はプロレス・マスコミがどっちを応援するか注目しているんだ。どっちも格闘技なので、あまり盛り上げないかもしれないけど（笑）。

C　バリ・ジャパの方はどうなの？

B　バリ・ジャパというか、修斗は完全に固定客を掴んでいるので、全く関係なく成功するんじゃないですか。特に最近は修斗ブームですし。これは坂本プロデューサーが、新しいイメージをつけた賜物だと思います。

A　ただ、今年はエンセンは出場しないでしょう。エンセンは断言している11月のマーク・ケアー戦一本に絞ってくるだろうし、ファイトマネーも高くなっている。修斗はすでにエンセン抜きのシリーズを考えているのは明らか。今年になって修斗はジム単位での興行も行っているけど、佐藤ルミナ、桜井速人のコンビで着実な層を狙っているからね。

C　でも、修斗が成功しているのは、そういう無理をしないところがいいんじゃないの。横浜文体の10周年興行も見事だったし。大きく出ようとすると、どうしてもプロレスとかかわらなきゃいけない。修斗は歴史的にも、それを徹底的に避けてきたんだから。

B　ところで、もうひとつ噂されていた元キングダム社長の鈴木健氏の「Uドリーム」の方は、開催が流れたそうです。やっぱりこれだけコンペティターが増えたので、選手が集まらなかったんでしょう。

A　キモも結局、新日本の方に出るそうだし（笑）。

B　いや、でも僕が聞いている情報だと、新日本はキモを完全に押さえていないそうですよ。キモは「プライド7」に出ると言ってました。

C　いやぁ、キモ一人とっても、なんでこんなに複雑なんだ（笑）。総合は無茶苦茶だなぁ。■

▲UFC—Jプロデューサーの坂田晶氏。果たして、どんなカードを用意してくれるのか、期待される。また坂田氏は、来年3月の東京ドームを押さえている噂を完全否定した

★次号予告★

SRS DX 第6号

次号の発売日は **9月9日**（木）です。

どうなる!?総合格闘技の行方

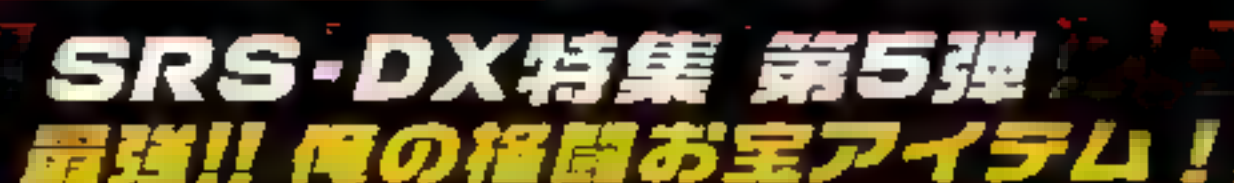
発行元★株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元★株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888

発行人・柳沢忠之　編集人・谷川貞治
●STAFF&WRITER
林天下一品、ユカポン、井上きびだんご、松林フジロック、橋本宗洋、"Show"大谷泰顕、ターザン山本、宮崎正博、島田裕二、中村カタブツ君、吉田豪、宇月田麿濡慧、ユキポン、岩村唯是、宮崎慎吾
●DESIGNER
梅村あゆみ、小幡浩史、早乙女事務所、IDS、su-plex、水町由美子、D-Cube

SRS・DX特集 第5弾
最強!! 俺の格闘お宝アイテム！

やっぱり、すべてなかったことにしてください（編集部）

最後はキッチリこの人に締めてもらいましょう！

前野重雄

（スポーツ・アナリスト・スポーツグッズ購入ショップ「流体力学」代表）

●モハメド・アリのサイン入り使用グローブ

（アリが徴兵拒否でリンクを追放された3年後、復帰戦のジェリー・クォーリー戦で使用）

●アリの小切手

（初めて負けた試合、ジョー・フレイジャーとの一戦目のもの）

●マイク・タイソンの初めての世界戦の調印書

グッズの王様が教えるお宝ゲットの秘訣

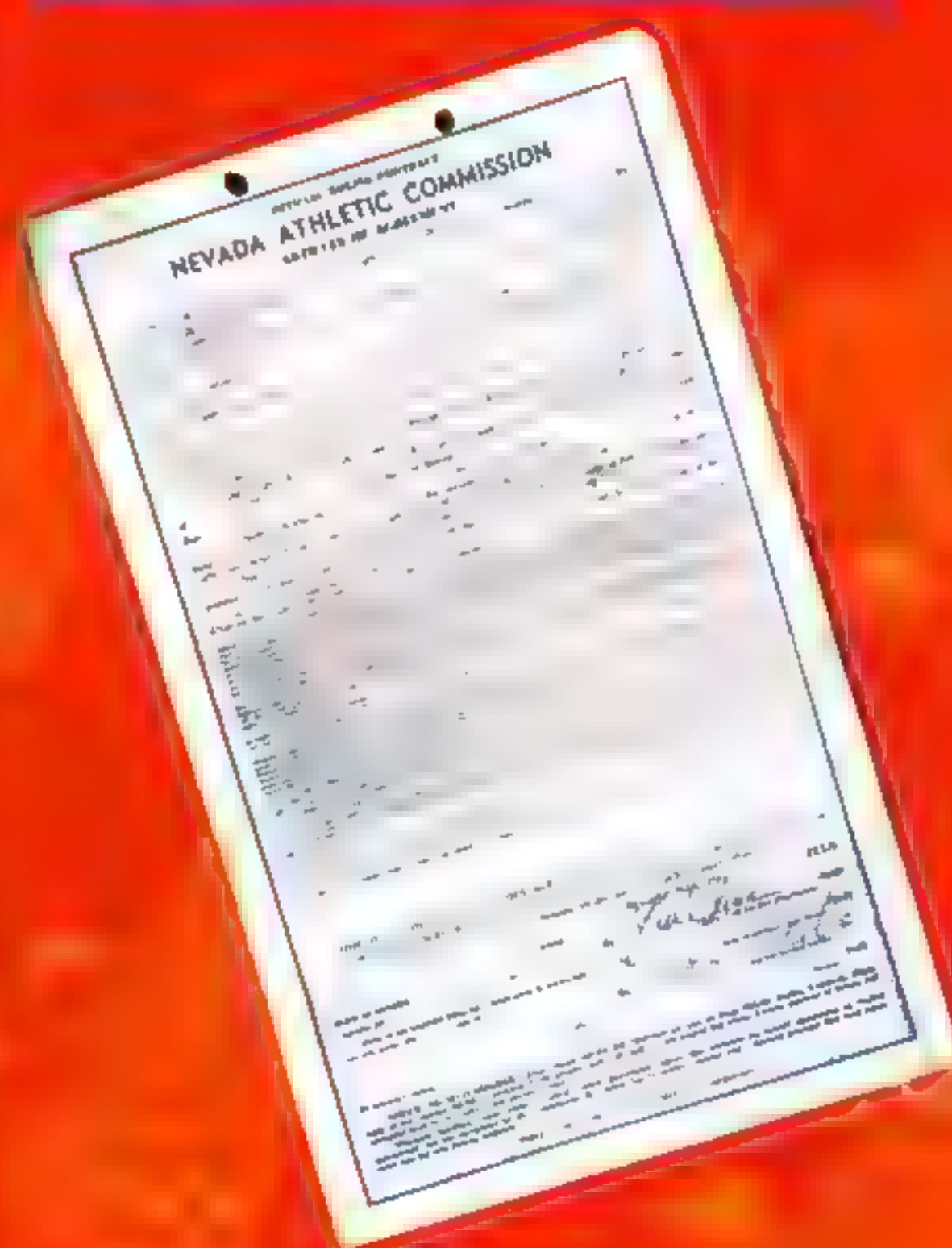
一般のファンの方だったら、やっぱりファンクラブや後援会に入ることをおすすめしますね。どんなスポーツでも、入手ルートでファンクラブにかなうものはないですよ。実際に選手や関係者と知り合うチャンスにもなりますし、そういうところだと、チャリティ・オークションをよくやってますから。また凄く安い値段で買うことができるんですよ。これは我々業者がやろうとしても出来ないですからね。それと、世間的に既に評価の固まっているものは、これはもうお金持ちのマネーゲームの範疇に入ってきますから、まだ有名じゃなくても自分が思い入れのある選手のものを選んだほうがいいですね。やっぱり、値段がどうこうというよりも、その選手が好きだという気持ちが一番大切なんですよ。

◎お宝大募集!!

今回の取材がきっかけで、ありとあらゆるお宝が見たくなったので、読者の方からお宝を募集します！　お宝を撮った写真と説明文を書いて、下記までお送りください。もしかしたら、またの機会に誌面で紹介させていただきます。その際、特にお礼は考えていません。今のところ。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS「DX編集部「お宝ボーイズ」係まで

K-1 SPIRITS'99
～魂の戦い～
JAPAN GRAND PRIX '99
8.22 有明コロシアム

行け、アンディ！

あの頃のガムシャラさを取り戻せ！

GO ANDY, GO!

モーリス・スミスに完勝

▲試合は判定3－0でアンディが勝利。ダウンを2度奪い、ジャッジ3者とも50－45という大差がついた。

モーリス・スミス戦のリングへと向かうアンディ・フグ。この試合を「グランプリへの調整」と言い切る余裕を見せた

◀一方的に攻めたアンディだったが、深追いはせず。結局、KOはできなかった

大技連発で巧者・モーリスを翻弄

魅せた！

カカト落とし！

▲余裕の表われか、いつもの以上に派手な大技を繰り出したアンディ。カカト落としも何度も放った

▲ハイキックも、何度もモーリスの頭部をかすめた

▲フグ・トルネード（下段の後ろ回し蹴り）はアンディのオリジナル技

96年から98年にかけて、アンディ・フグは3年連続でK―1グランプリの決勝戦に進出している。実に堂々たる成績である。もちろん、今年も優勝候補の一人に数えられている。K―1ファイターとしての完成度、安定感には、今さら誰も異論を挟まないだろう。

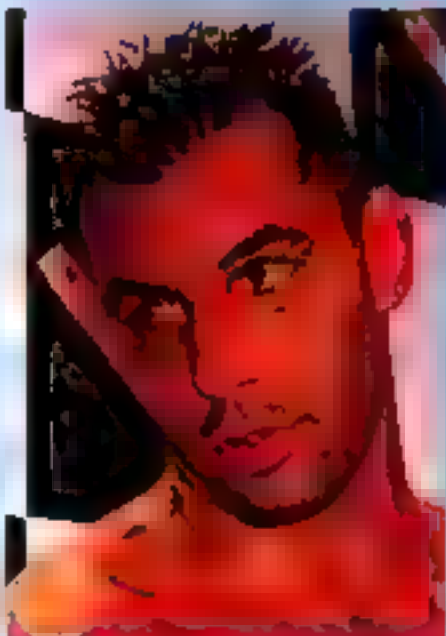
グランプリ開幕戦に向けての最後の大会となるこの日、アンディはモーリス・スミスと対戦した。

モーリスといえば、かつてはキック界の頂点に長年にわたり君臨し続けた大ベテラン。ここ数年はバーリ・トゥードとの「二足のワラジ」状態だが、海千山千の老獪なテクニックはまだまだ健在だ。最近2年間では、唯一ピーター・アーツがKO勝ちを収めたものの、佐竹雅昭、アーネスト・ホースト、マイク・ベルナルドといった現役バリバリの選手たちが、いずれもそのインサイドワークの泥沼にハマり、不完全燃焼の試合を強いられている。

果たしてアンディは、そんなモーリスとどう闘ったのか。石井館長の大会後の言葉に、それが端的に表現されている。

「驚いたのはアンディですよ。モーリスをオモチャにしてたもの」

アンディは「モーリスはディフェンスがうまいので、お客さんが喜ぶ試合にするのは難しい」と言う。だが、アンディは大会前、腕にハンディキャップを持つ少年ファンを練習に招き、その時に「試合でカカト落としを出す」と約束していた。そしてその約束通りにゴング直後からカカト落とし、後ろ回し蹴りなどの大技を連発。さらに的確で重いパンチ、ローも決まった。KO勝ちこそ逸したが、試合巧者モーリスを翻弄しての、

K-1JAPANシリーズ
K-1 SPIRITS'99
〜魂の戦い〜
JAPAN GRAND PRIX'99
8.22 有明コロシアム

アンディのコメント

「モーリスは、とてもディフェンスのうまい選手なので、なかなかお客さんが喜ぶ試合にするのは難しい。彼のスタイルにイラつくことは、ない。ホーストもベルナルドも、モーリスとは5ラウンド闘い、アーツだけが3ラウンドで終わらすことができた。難しい相手だと思う。今年のグランプリは、また決勝までいけると信じている」

モーリスのコメント

「ディフェンス中心でいく作戦ではなかった。アンディは非常に成長したな。ホーストやアーツもそうだが、彼らはキックで勝つためだけの練習をしている。だが私は、バーリ・トゥードもやっているので、どちらかに集中するのは、難しいね。キックは多分、今年限りで終わりにする。今日の試合で最後ということもあり得るね」

◀要所要所でアンディを捕らえたモーリスの攻撃。ギリギリで相手の攻撃をしのぐしたたかさはさすがだ

◀一方的に攻めたアンディだったが、深追いはせず。結局、KOはできなかった

▼大会前の少年ファンとの約束を守り、カカト落としを出して勝ったアンディ。さながらベーブ・ルースだ

「キックの試合は今年限り」（モーリス）

▶アンディの攻撃で筋肉を痛めたというモーリス。ファイティングポーズを取れず、ダウンを宣告された

◀敗れたモーリスはこの表情。キックの試合は今年限りでやめるという…

★第17試合（K-1スーパーファイト・3分5R）
○アンディ・フグ（判定3ー0）モーリス・スミス●
（スイス）　　　　（USA）
※50ー45、50ー45、50ー45。スミスは3Rと4Rにダウンを喫した（レフェリーの要請にもファイティングポーズを取らないため）

まった。KO勝ちこそ逃したが、試合巧者モーリスを翻弄しての、完勝といっていい内容だった。
だが、なにかが違う。どこか違和感がある。
それを喝破したのも、石井館長だった。館長は大会のTV中継の解説で、こんなことを言っている。
「アンディは、もっと昔みたいにガムシャラに攻めたほうがいい」
そうなのだ。最近のアンディは、安定した強さやスキのない闘いぶりと引き替えに、K―1に参戦し始めた頃のガムシャラな魅力が感じられなくなっていた。
あの頃のアンディは、まさに引くことを知らない特攻精神の塊だった。グローブ戦わずか2戦目で、時のK―1王者、ブランコ・シカティックを破ったこともある。だが同時に、負けるはずのない相手にまさかの敗戦を喫することもあった。慣れないグローブを手に、いつもこわばった顔をして、ガチガチになっていた。そんな悲壮感あふれるたたずまいや求道者的な雰囲気も、魅力のひとつだった。
だが今のアンディは、盤石の実力を誇るトップファイター。試合前日の記者会見ではリラックスした笑顔を見せ、試合そのものについても「グランプリのための調整」と言い切るだけの余裕がある。
そんなアンディに、以前のようなガムシャラな魅力を求めるのは無理なのかもしれない。だが、今のアンディに、拭い去れない違和感があるのは確かだ。ただ強いだけではなく、人を引き付け、感動させてこそプロ。そう我々に気付かせてくれたのは、他ならぬアンディだったのだから。（橋本）

GP前のひと暴れ。ベルナルド、善戦セフォー弟を吹っ飛ばす

これが真実のハードパンチだぜい

4R、狂った風車のように、ベルナルドの左右の拳が襲いかかる。ロープまで吹っ飛ばされたセフォーに、猛獣と化したベルナルドがさらに攻め込んだところで。レフェリーが慌てて間に入った

力を込めた右拳があごを痛烈に打ち抜いた。南アフリカ人のパンチングパワーはまだまだ脅威の存在だ

いやー、強かった。ベルナルドはやはりこうでなくっちゃいけない。ホンモノのハードパンチってこういうものだと実感できるんだな。

鮮やかなフィニッシュだったのだ。4Rである。ベルナルドは左のダブル・フックからラッシュをかけた。右アッパー、左フック。ボディへの連打から自慢の豪打をつるべ打ちだ。左フックから右アッパー。セフォーが右のスイングをブン回したところを、右のカウンターがガツン。ニュージーランド人の浅黒くたくましい体がロープまで吹っ飛ぶ。ここでスタンディング・カウントを数えられた。しばらくリング上をうろついていたセフォーが、カウント8で片ヒザをマットにつくと、レフェリーはそのままKOをコールした。

もうちょっと見てみたかったという気もしないではないが、セフォーに疲れが見えた上に、ベルナルドのパワーパンチが完全に試合の制空権を握ったのは明らかだったから、ジャストのタイミングと言っていいだろう。

ところで、今日のこのときまで、実はK—1ワンダーランドに光り輝いたベルナルドの強打にかげりの気配もなきにしもあらずだった。

昨年のGP初戦でフランシスコ・フィリォを豪快に沈めたのが最後、KOとは縁がない。今年に入ってからはまず佐竹雅昭に動き回されて、判定勝ちにとどまった。6月には拳獣サム・グレコとの対決。剛腕対決と注目され、初回に痛快なダウンを奪ったものの、グレコの小刻みな足技にかわされて黒星を喫してしまった。

K-1 JAPANシリーズ

K-1 SPIRITS'99 ～魂の戦い～

JAPAN GRAND PRIX'99

8.22 有明コロシアム

マイク・ベルナルドのコメント

「私は3Rまでしか力を出せないという言われ方をしているようなので、5Rフルに闘えることを証明したかった。グレコ戦の影響？　あれは私が勝っていると思っているので別にない。今日の試合もGPへの調整の一環で、明日からトレーニングを再開するつもりだ。これまでよりジョギングを増やして、長いトーナメントに備えたい」

ロニー・セフォーのコメント

「マイクには言いにくいが、あまり痛い思いはしなかった(笑)。レフェリーのカウントが聞こえなくて、とりあえずヒザをついて休もうと思ったらストップされてしまったんだ。みなさんにはいい試合をお見せできたと思っている。これまでなかなか試合のチャンスがなかったから、K－1は自分にとってはいい機会と思っている」

キックだって強い！

今のベルナルドはパンチだけじゃない。シャープなローキックも効果的だった。セフォーの動きをじんわりと止めていき、そして痛快なフィニッシュに結びつけた

▶30の大台に乗っかっても、ベルナルドはまだまだ進化の途上にあるのだ。課[illegible]のローキックのカットも以前に比べると随分と巧みになった

「今日の試合もGPの調整の一環」。今年もベルナルドはトーナメントでは台風の目になりそうだ

▼セフォーは全身を振り回すようにしてキック、パンチを繰り出した。敗れたとはいえ、ファンには強く印象づけることができたろう

★第19試合(K-1スーパーファイト・3分5R)

○マイク・ベルナルド(南アフリカ)(4R1分24秒、KO勝ち)ロニー・セフォー(ニュージーランド)●

※右フック

K－1のプロの目からは「研究され尽くして、彼の動きは読み切られてしまっているんではないか」という声も聞こえてきていた。7月28日についに三十路の峠を迎えたベルナルドは、ここらでそんな風評にしっかりとくさびを打っておかなきゃならない。でなけりゃ、スターダムからズルズル後退する一方にもなりかねない。

そんな自らの置かれた立場をしっかり認識しているのは、自分自身だったのだろう。試合前日の会見でベルナルドは心なしか元気がなかった。踏ん張りどころでかかったプレッシャーがそう見させたのかもしれない。

何より今回の相手の戦力は詳細不明である。あのブーメラン・フックの使い手レイ・セフォーの弟で、ニュージーランドのキック界では兄貴に次ぐ実力者という情報があるだけだった。

だから、立ち上がりのベルナルドは慎重だった。それにセフォーがなかなか豪快な闘いを見せるのだ。184センチ、103・6キロの全身でフルスイングしてくるキック、パンチ。さらにベルナルドの強打をまったく怖れない。グイグイと攻め込んでくる。ベルナルドがそろそろとスパートをかける3Rまでは、互角に近い展開で進んでいたのだった。

ひとまずK－1最強パンチャーの面目を保ったベルナルドとともに、セフォーとしても悲観する敗戦ではない。十分にその実力はアピールできた。いつの日か、GPをレイとロニーの兄弟対決で争うなんてことになったら、どうなるんだろうな。

(宮崎)

「懐かしい」痛みとともに、前田憲作が復帰戦勝利

K-1中・軽量級活性化宣言！

復帰を果たした前田のセコンドには、「チーム・ドラゴン」として小比類巻貴之もついた

前田のコメント

「一発目の左ミドルが入った時に、相手が腕を振ってたので、しびれてるなと分かった。それで『いける！』と思って、気持ちが熱くなりすぎちゃいました。最後はスカっと倒したかったですね。ハイパー・サイクロンを狙ってたんですけど。これからは、僕が試合をすることで、K-1で中・軽量級を輝かせていきたいです」

ナシャーのコメント

「肩の筋を痛めたかもしれない。一週間前にバイクに乗っていてケガをしていて、前田のキックをブロックした時に、そこをひねってしまった。まだ闘えたけど、セコンドは自分のためを思ってタオルを投げたんだから、仕方がない。前田は、実力以上に格好良く見える人だね。もしケガがなければ、彼の顔は歪んでしまっただろう」

▶元々、肩を痛めていたナシャー。前田の蹴りをブロックし、さらにケガが悪化した

▶ナシャーのケガに、セコンドがタオル投入。さあこれから、という時に、試合は終了してしまった

▲得意のハイパー・サイクロンがサク烈！　華のあるファイトスタイルが、前田の魅力だ

★第9試合（K-1スーパーファイト・3分3R）

○前田憲作（2R0分27秒、TKO勝ち）カリム・ナシャー●
（日本）　（オーストラリア）

※セコンドのタオル投入による（ナシャー負傷のため）

「懐かしい感じがしましたね」

相手のパンチが当たった瞬間の感想を、前田憲作はそう語った。

実に2年ぶりの復帰戦。前田にとっては、繰り出した蹴り一発一発の感触が、そして痛みさえもが懐かしさの対象だったのだろう。

1R終盤には、カリム・ナシャーの右フックでダウンも取られた。

「久しぶり（の試合）で、熱くなりすぎました。そこにパンチをもらっちゃった」（前田）

確かに、結果的にはTKO勝利となったものの、前田の動きは固いように見えた。決して、100％の出来ではなかった。

だが、それもこれもすべて含めて、今日の試合は前田が復活するための通過儀礼だったように思える。すべてはここから始まるのだ。苦い思いの伴わない再出発なんて、かえって不自然ではないか。

前田は今後も、K－1を主戦場にするつもりだ。アクション俳優という顔を持つ前田には、K－1という大イベントは、自分を売り出す格好の舞台。同時に「K－1で中・軽量級を輝かせていきたい」とも言う。

だが、果たしてそんなことが可能なのだろうか？

前田の闘いぶりを見る限り、答はイエスだ。極限まで鍛え上げられた肉体。優雅さと鋭さを兼ね備えたミドルキック。そしてハイパー・サイクロン（ジャンピング・ハイキック）。そのスピードと美しさには、前田が目標とするブルース・リーのイメージにも重なる魅力がある。それは、ヘビー級のド迫力バトルの中にあっても、十分に輝きを放てるはずだ。（橋本）

山本、高阪、成瀬……それぞれの「リングス・スタイル」に呼応して

まずは田村が飛び出した!!

田村潔司、
無差別級王座を防衛後、
二階級制覇をブチ上げる

試合終了後、マイクを持った田村は仰天発言を行った

カステルの猛攻にも、田村動ぜず、一発逆転!!

カステルは力任せに立ち上がったまま、田村にアキレス腱固めをかける

カステルのバズーカ砲級のローキックが田村に炸裂。この後、田村はグラッときた。この日、田村はダウンを一度喫している

★リングス無差別級選手権（30分1本勝負）
○王者／田村潔司（12分17秒、腕ひしぎ十字固め）挑戦者／ヨープ・カステル●
ダウン＝1　エスケープ＝3　ダウン＝1　エスケープ＝1

「リングス・スタイルを守ります」前田日明の引退試合（2月21日、横浜アリーナでのアレキサンダー・カレリン戦）の当日、田村が言った言葉である。

リングスとは、それまで前田日明と「＝」の関係で結ばれていた。

では今は違うのか、といえば、やはり「＝」である。

それはリングスが存続する限り、未来永劫続く「＝」なのだろう。

裏を返せば、「＝」でなくなった時にマット界に生じる危機感を考えると、そっちのほうがなお怖いと思えてしまうのだ。

ただ、現在のリングスのリング上に「前田日明」の姿がないのも、また事実。

ならば、今こそなおさら各選手の思い描く「リングス・スタイル」を真っ正面から提示すべきチャンスなのだと思えてならない。

なぜなら一口に「リングス・スタイル」と言っても、全員が全員同じとは限らないからである。

というより、答えは同じであっても、計算の仕方は各人によって絶対に違うはずなのだ。

それをリングスの無差別級王者である田村に当てはめれば、当面の課題は王座を防衛していくことになる。

王者の使命として考えれば、王座の防衛は絶対条件。

だが見る側からすると、単純にそれだけでは物足りない。

とくに、「前田日明」という圧倒的な存在がリング上から去った後の風景としては、それでは絶対的に物足りなさすぎるのだ。

当然、それは田村自身が一番よく分かっている。

一発逆転！田村の「リングス・スタイル」確かに見せてもらった!!

ロストポイントにリーチがかかりながら、最後は腕ひしぎ逆十字固めで、田村が勝利をおさめた

これからのリングスは、それぞれの思い描く「リングス・スタイル」を巡って、火花が散る!!

田村のコメント

「僕が（中量級の）ベルトを獲ることで、新しい流れができて面白いと思うんで。ダメだったらダメでしょうがない。（いろんな面で）リングスを引っ張って行きたいんです。ダブルタイトル戦？　いえ、僕が（中量級王座に）挑戦します。なぜかって？　無差別級のベルトを獲っても、2度目だし騒がれないから（苦笑）。それにジュニアのタイトルを獲って、ヘビー級のタイトルを獲った人はいるけど、その逆はいないから」

田村の発言を聞いた成瀬のコメント

「ビックリしましたけど、田村さんなりに凄くリングスのことを考えている発言だと思います。僕にとってもチャンスだし、真摯に受け止めます。ただ、「今の成瀬ならチョロい」と思って言ってるなら、そんなに安くはないです。仲良しクラブじゃないから、やるならタダでは渡さないぞと。でも、やるなら2回はやりたくないから、勝ったほうがふたつのベルトを巻くっていうことでいいんじゃないですか？」

▶いつものようにマウントの状態から、田村は小刻みにパンチ攻撃を繰り出した

今度は"若大将"山本の出番だ！

◀対小川直也戦が流れ、この日は放送席でゲスト解説をつとめた山本宜久。次回、9月15日に後楽園ホールでヴァレンタイン・オーフレイムとの一戦が発表された

この日、田村は自分の思い描く「リングス・スタイル」を提示した、ように思う。

それは挑戦者のヨープ・カステルによる豪快なローキックの連発でダウンを喫しながら、結局、ロストポイント（5ロストポイントでTKO負け）の瀬戸際で果たした逆転勝利から見てとれる。

というのも、どちらかというと、それまで会場中に流れていた重苦しい空気が、田村の試合で一変したからだ。

弾けた、と言ってもいいだろう。

会場に一体感を持たせた田村の姿に、メインイベンターの役割を果たした安堵感も伝わってきた。

それほどまでに、見事な「一発逆転」だったように思う。

そうだ。

この「一発逆転」こそが、田村の言う「リングス・スタイル」の一端なのではないか。

そんな気がしてきた。

そして田村は、意外や成瀬昌由の持つ中量級王座への挑戦をアピールし、「二階級制覇」というリングスの「完全制圧」へと前進する。

額面通り受けとれば、あくまでリングス内で切磋琢磨していく田村の姿こそが「リングス・スタイルを守る」ことなのだろう。

それが山本宜久戦（6月24日、後楽園ホール）終了後、期せずして起こった「リングスコール」への田村なりの返答なのに違いない。

とにかく田村がまずは飛び出した。

今度は、この日、小川直也戦の流れた山本が、自身の思い描く「リングス・スタイル」を示す番である。

（Show）

ザ・緊急事態

髙阪に、いったい何があったんだ!?

リング下でうずくまる髙阪。
まだまだこれから、というところで試合が終了してしまった

★第5試合　ランキング戦（30分1本勝負）
○髙阪剛（5位）（8分17秒、アクシデントによるポイント判定）ギルバート・アイブル（3位・オランダ）●
ダウン＝0　エスケープ＝0　　ダウン＝0　エスケープ＝1

去る7月16日、米国アイオワ州で開催された『UFC—21』においてティム・ラジックを下し、UFCにおける3勝目をゲットした髙阪剛。

早いもので、髙阪がUFCでの初勝利を上げてから、すでに1年半ほどの月日が経ってしまった。

それは約2年半ほど前、UFCでの日本人初勝利を上げたパンクラスの髙橋義生にもいえることだが、決して味方とは限らない観客に囲まれた、他国のリングで闘い、勝利を上げる難しさは並大抵のことではない。

しかも髙阪の場合はオクタゴン（八角形）のリングに計4度も入り、そのうち3回も勝ち名乗り（1敗は年頭の『UFC—18』でのバス・ルッテン戦）を受けているのだ。

それだけで賞賛に値すると言ってもいい。

我々は、もっともっと髙阪の価値を高く評価しなければならない。心底そう思わずにはいられない。

そんな髙阪が、故郷であるリングスマットに見参した。

相手はギルバート・アイブル。

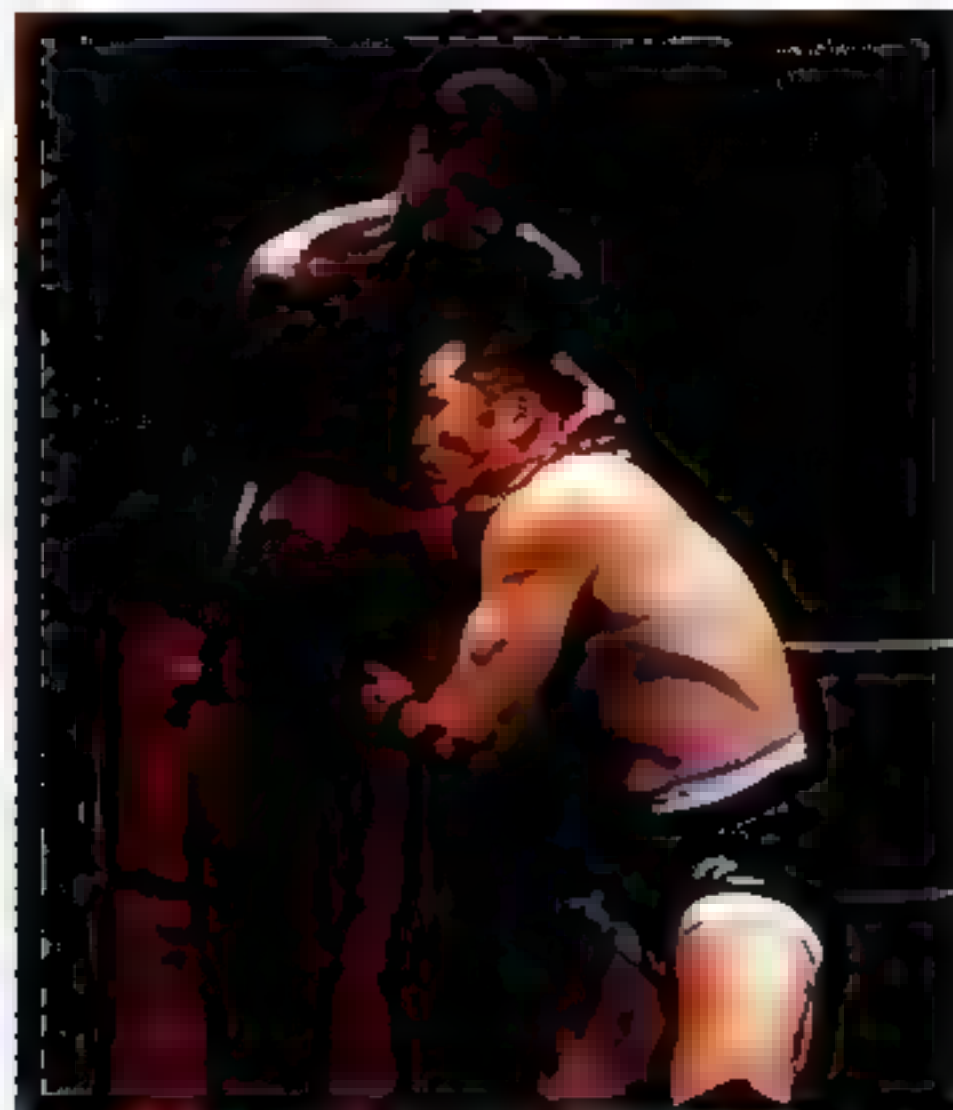
アイブルといえば、ヒザ攻撃をはじめとする独特の打撃攻撃を駆使し、髙阪からドクターストップ勝利（4月23日、大阪府立体育会館）をおさめたばかりか、6月20日のリングスオランダ大会ではセーム・シュルトから勝利を奪った、今最も注目度の高い選手。

もっとも今回の再戦にあたり、髙阪は「厳密に言えば、前回はアイブルの反則負け」とコメント。

そのコメントからリベンジマッチへの並々ならぬ意気込みが感じられた。

それが、またまた思わぬ結果を

アイブルのコメント

「たまたまアクシデントで自分が敗者になってしまったことは悲しい。高阪も「自分は勝者ではない。たまたま(あの時点で)リードしていただけ」と言っていた。ルールに関しては何も言うつもりはないが、不満はある。アクシデントがなければ勝っていたかって？　起こっていないことを言うことはできないさ」

▲アイブルの必殺ヒザ爆弾が高阪を襲う！　高阪ピンチ!!

▲序盤戦はシバキ合いを見せる場面もあり、一瞬、このままの展開になるかとも感じさせた

▲高阪のアンクルホールドに、アイブルはたまらずエスケープ！

▲高阪の寝技にもアイブルはマウントの体勢だけは取らせまいと必死に防御

◀両手首を本部席に打ちつけた高阪は、右足首も痛め、まさかの戦闘不能状態に陥った

高阪はこの体勢から払い腰を見舞ったところ、アイブルとともにリング下に転落

られた。

それが、またまた思わぬ結果を招いてしまうとは……。

まず高阪は足首固めでアイブルからエスケープを奪い先制。

その後、アイブルをカンヌキ状態に極めたまま、払い腰を見舞ったところ、両者とも揃ってリング下に転落してしまったのだ。

あいにく、リングサイドには本部席があり、両手首を打ち付け、右足首の靭帯を損傷した高阪は、まさかの戦闘不能に陥った。

規定により、その時点でのポイントで裁定が下され、これがアナウンスされると、状況がつかめぬ観客から「ルールじゃないんだよ」「(状況を)説明しろ！」といった野次も飛んだ。

実際、高阪は自身の力で退場することができず、肩を借りての退場は痛々しさが伝わってきた。

結果からすれば、両者の戦績は1勝1敗の五分となったが、負けたアイブルはもちろん、勝った高阪にしても、今回の結果に納得はいっていまい。

事実、アイブルは控え室に戻った直後は大暴れしていたそうだ。

ただ、強豪・高阪を相手にその価値をまったく下げずに2連戦を終えたアイブルには、今後、何かを大きなことをしでかしそうな予感が漂ってくる。

一方の高阪からすれば、前回に続きアイブル戦は災難続き。

だが、2回とも「完全決着」にならなかった両者の対戦は、裏を返せば、「黄金カード」の意味合いを、より強くしたともいえる。

高阪の「3度目の正直」に期待したい。（Show）

〈前半戦ダイジェスト〉外国勢に新世代が台頭！

▲実力的にもかなりのものがあったフィエート。特に打撃技はスピード・破壊力ともに十分。最後はハスデルの足首固めに敗れたが、今後、リングスの台風の目になりそうな存在だ

▲第2試合では、ケガで欠場した成瀬の代打、クリストファー・ヘイズマン（左）が、リングス初期から活躍するウィリー・ピータースをヒザ十字固めで破った

▲第3試合。イカレた目つきでリー・ハスデル（左）にガンを飛ばすリカルド・フィエート。抜群のキャラクター性で、初参戦ながら観客のハートをガッチリ掴んだ

▲ヘイズマンやアイブルなど、比較的新しい選手が台頭してきたリングスマット。外国選手たちの勢力地図も、大きく変わろうとしている

※入場者数：4570人

▲金原弘光（上）と坂田亘のジャパン対決は、寝技で終始上のポジションをキープして攻めた金原がポイント判定勝ち。スタンドで勝負したかったという両者だが、互いの意識が噛み合わなかった（第4試合）

前田日明の大会後のコメント

《タイトルマッチについて》ベルトが流れたかな、取られたかな、と思ったね。足、効いてるようだったから。

《中量級タイトルマッチに関して》いいんじゃない。21（中量級）に関しては、各国でやってくれていう話があってね。以前、成瀬がピータースにTKO負けして、それでオランダ側がタイトルマッチをやらせろって言ってるんだけど、ピータースはそれ以外の戦積がダメなんだよね。まあ、田村の言うことはその通りなんですよ。彼も210ポンド以下なんだから。

《成瀬vs田村戦は承認？》それでいいんじゃないですか。それと、高阪に関してはねえ、高阪の不運っていうより、アイブルの強運を凄く感じたね。今日の高阪は全然負ける気がしなかったからね。

▲本間聡が前田に挨拶。リングス参戦か!?

▲第1試合もジャパン対決。滑川康仁にポイントでリードされていた上山龍紀（右）だったが、残り数分というところで裸絞めでエスケープを奪い、ポイント判定勝ちを収めた

サイドに前田がいるだけで、試合に緊

なければならない。しかし、道が混ん

総評――前田日明に「下突き」をいただいた日

文◉谷川貞治

リングスの会場には、いつも特別な緊張感がある。それはもちろん、前田日明がいるからだ。
　引退後は、リング下の本部席で、赤いブレザーを着ながらずっと試合を見つめる前田社長。その姿は、どこか極真空手の大山倍達とダブる。
　極真の会場も、大山総裁がデンと構えている本部席は、いつも近寄りがたいものがあった。リングスも、リングサイドに前田がいるだけで、試合に緊張感が漂う。
「ああ～、こんなつまんない試合やったら、あとで前田さんにブッ飛ばされるんじゃないか～」――そんなことばっかり考えながら、僕はどうしても試合を見てしまうのだ。
　もちろん僕はリングスの試合も時々見に行っているのだが、最近は前田とは御無沙汰だった。しかも、何カ月か前にインターネットで「谷川さんが、もう前田は終わったと言っていた」というファンからの書き込みがあったらしく、それを前田が見て激怒しているという話をリングスの人から聞いた。もちろん、全くそんな覚えはないし、私個人は前田のことを中傷した記事は一度も書いた覚えはないのだが、前田は信じ込んでいるという。
　どこかの会場で、前田と親しい作家の百瀬博教さんからは、「オイ！谷川。前田選手がオマエのことを殺すと言っていたぞ」と笑って脅されたので、本当に会うのが嫌だったのだ。
　ところが、リングスから電話があり、田村VSカステルの勝者にトロフィーを渡してほしい、という依頼があった。どうする？　逃げるか？
　さんざん悩んだ挙げ句、やっぱり男らしくないことは止めようと思い、「わかりました」と答えた。
　周りからは、「飛行機ポーズでリングに上がれば？」とか「赤いブレザーを着て上がった方がいいんじゃないの？」と冷やかされた。そんなこと、できるわけないっつーの。
　そして、当日。まずは前田に挨拶しなければならない。しかし、道が混んでいたため、僕はギリギリで横浜文化体育館に着いた。会場に入った時は、すでに前田はリングサイドに座っていた。
　今はヤバイ、休憩にしよう。そして、休憩の際のことである。前田が控室に帰るため、ツカツカと僕が座っている方へ歩いてきたのだ。
　ああ、ヤバイ。
　幸いファンが前田にさわろうと群がったため、僕はサッと人影に隠れた。
　前田がつまずく。ああ、僕のカバンに引っかかったんだ。どうしよう？
　しかし、前田はそのまま控室へ。僕は大きく深呼吸と息吹きをして、控室のドアをあけた。3オクターブは高い声だったと思う。
「ま、まえださーん、御無沙汰してま～すぅ……」
　そう僕は大きな声で叫んだ。
　前田が僕の方に近づいてきた。ああ、何するの？　止めて！　そこへ、前田は僕のボディへ、強烈な下突き一発！
「ううう……ありがとうございました」
　その下突きは、まるで大山倍達が満面な笑顔で、「ウェールカム」と両手を広げて迎える姿と、そっくりに僕には見えたのだ。
　こうして、僕はリングスの関所をくぐり抜け、久しぶりにリングに上がって田村選手にトロフィーを渡した。
　リングを降りて前田に頭を下げると、前田はサッと手を上げてくれた。リング上では、ファンからほんの少しの声援と、ほんの少しのブーイングをあびた8・19リングス横浜大会だった――。

▶田村選手にはリング上で「お久しぶりです。おめでとうございます」と言ったら、「そうですね。ありがとうございます」と微笑んでくれた

日本キック連盟
99躍進シリーズ
8.8 水戸市民体育館

ヤケドしそうな激烈ファイト。小野瀬邦英はキック界の要注意人物だ!

▲一度爆発したら、相手を叩きのめすまで決して止まらない小野瀬のラッシュ。北福から計4度のダウンを奪った

▲王者である小野瀬に対して、臆することなく攻め込んでいった北福（左）。試合後、小野瀬はその勇気を称えていた

▶1階級上の北福和敬を難無くKOしてみせた小野瀬邦英。この男の試合には、いつも危険な雰囲気が漂う

★メインイベント（第8試合・3分5R）
○小野瀬邦英（2R0分49秒、KO勝ち）北福和敬●
（渡辺ジム）　（大阪真門ジム）
※左ヒジ打ち。北福は1Rに左ボディフックと右ヒジ打ちで、2Rに左ヒザ蹴りでダウンを喫した

▲セミでは元バンタム級王者・山口裕司（右）が佐藤ツヨシとの引退試合に臨んだ。最後はヒザの連打でKO負けを喫した山口だが、パンチで2度のダウンを奪うなど大健闘。今大会のベストバウトだった

レバーブロー、ヒザ蹴りなど、ボディへの攻撃を得意とする小野瀬。対戦相手は地獄の様な苦しみと共にKOされるハメになる

▼激しいファイトと共に、豹柄のド派手なコスチュームも小野瀬のトレードマークだ

観客1780名

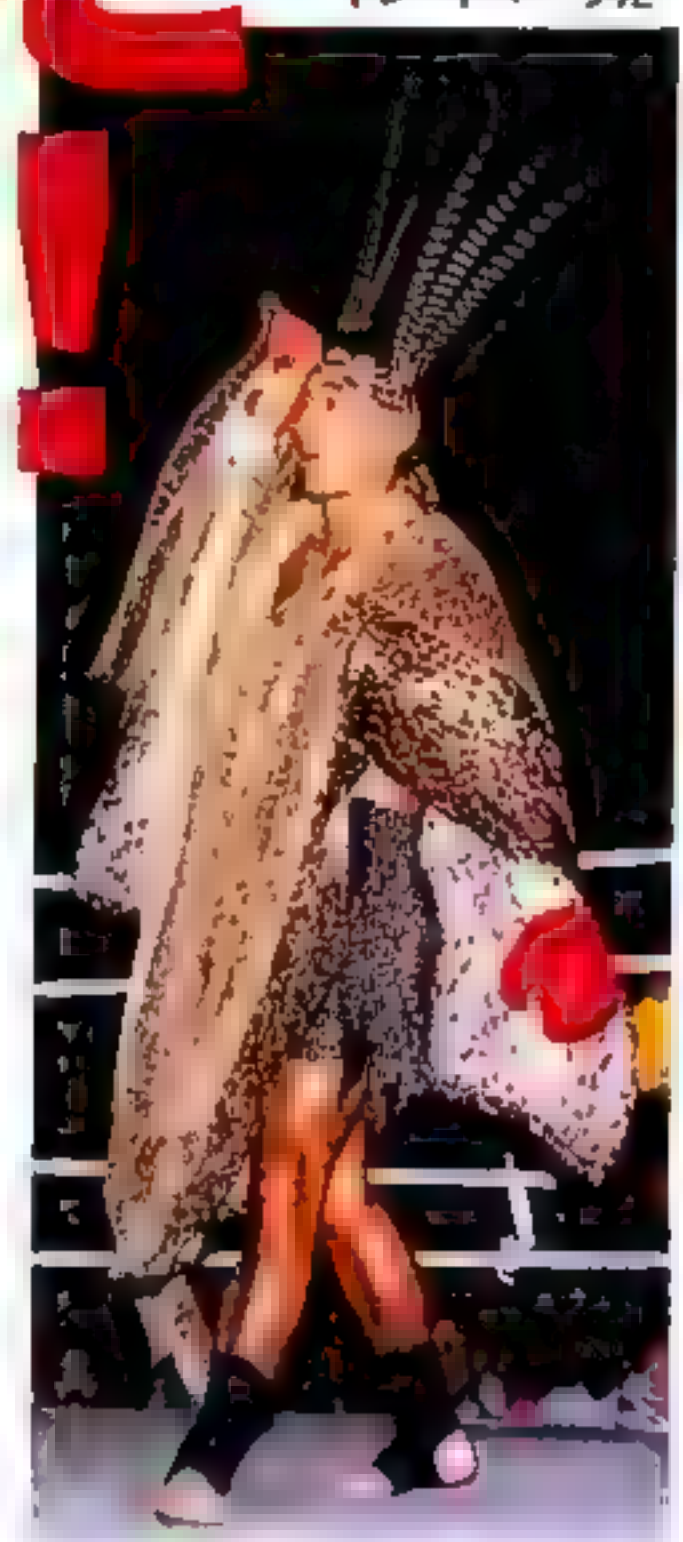
Photo：早川繁紀

日本キック連盟。この名前だけを聞いて、すぐにどんな団体か分かる人はかなりのキックマニアだろう。確かに、これまで日本キック連盟は、ニュージャパンキックとの対抗戦を除いてはあまり派手な活動をしてこなかった。

だが、知名度が低い＝注目に値しない、ということではない。

凄い選手がいるのである。

その男の名は、小野瀬邦英。この団体のライト級チャンピオンだ。リングを降りると、いつも冗談まじりのコメントで取材陣をケムに巻く小野瀬だが、その闘いぶりは、壮絶の一語に尽きる。ゴングが鳴ると同時に攻めまくり、激しすぎるほどのラッシュは相手が倒れるまで決して止まることがない。

この日行われた水戸大会での小野瀬の対戦相手は北福和敬。一階級上のウェルター級の選手だ。試合後、小野瀬は北福の印象をこう語っている。

「チャンピオンの僕を相手に、逃げずにガンガンきてくれて嬉しかった。敬意を表しますよ」

で、小野瀬はどうしたのか？

闘う者の礼儀として、徹底的に叩き潰したのである。

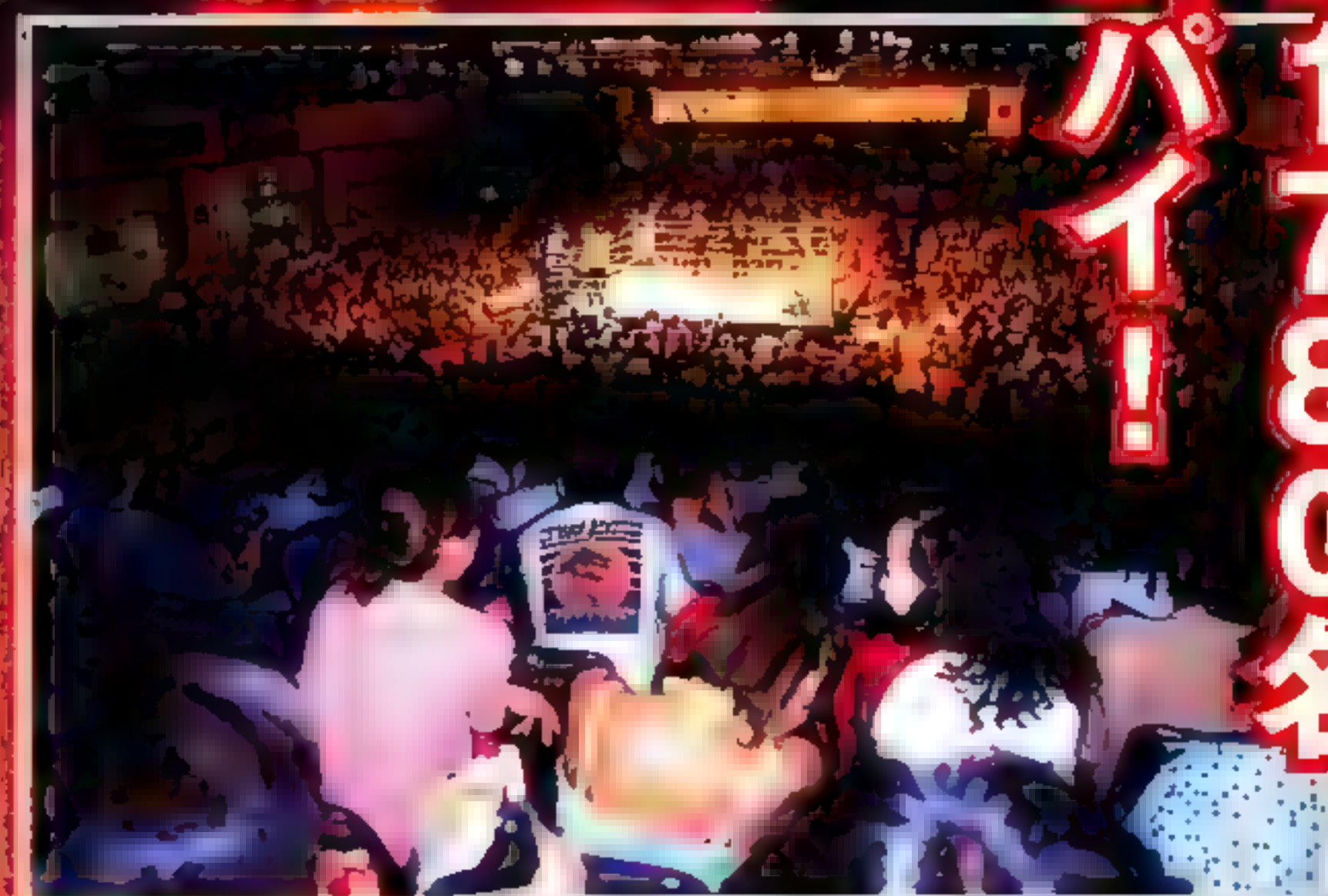
強烈なフックとヒザ蹴りが、北福のレバー、ミゾオチに容赦なく突き刺さる。とどめは顔面へのヒジ打ち。見ている方が痛くなるようなエゲツない攻めで、小野瀬はあっさりKO勝ちを奪った。

今後、小野瀬はより強い相手を求めてウェルター級を主戦場にするつもりらしい。だが、それでも小野瀬に対抗できる選手がいるかどうか…。小野瀬に対する唯一の不安は、実はそこなのだ。（橋本）

Wave-V

全日本キック
8.17★後楽園ホール

Oh! 魔裟斗、光ってるね

観客1780名
超満パイ!

圧倒的なテンポでくり出される連打の嵐。これが魔裟斗のファイトの最大の魅力だ

速いぜ、とんでもなく速いぜ

★第7試合（日本・ニュージーランド国際戦／67キロ契約3分5R）

○魔裟斗（2R2分15秒、TKO勝ち）スティーブ・ミッチ●

（藤ジム）（ニュージーランド・ヘビーヒッタージム）

2R、2分を過ぎたころだった。魔裟斗が追い込む形でニュートラル・コーナーで両雄の体が交錯する。レフェリーが引き離したときに、ミッチの額から鮮血がほとばしるのが見えた。

はた目からも深手なのが分かった。後で確認したところによると、ミッチの傷は1Rに負った右目上が8針、そしてこのラウンドのものが8針と計16針も縫合しなければならなかったのだ。

レフェリーが大きく左右の手を振って試合終了をコールする。ニュージーランド人は小さく頭を振って抗議したが、続行が許されるはずはない。

弱冠20歳のシルバーウルフに背負わされた『KOの十字架』がふりほどかれた瞬間は、かくもあっけなかった。

魔裟斗はキックブーム再興の旗手である。圧倒的なスピード、回転力に裏付けられた速攻の連続がファンを熱くする。あざやかなブロンドに染め抜かれた短いヘアが、いかにも『いま』っぽくてまたい。格闘技番組のイメージ・ファイターにも起用されて、人気は日増しに高まっていた。

だが、なかなか倒せない。ここ2戦は判定勝ちにとどまっている。対戦者を夢の国に送り込む、あるいは悪夢の苦痛を強いて、初めて描ける『カッコいいヒーロー』の図は完成できないでいた。一部からは「あいつはパンチがない」という声も聞こえてきていた。

ファンの反応は正直で、7月13日のマテオ・トレビジョン戦のときは満場の熱気でむせ返った後楽園ホールも、この日はやや空席が目についたものだ。

魔裟斗には期するものがあった

パンチだ！蹴りだ！ヒジだ！

▶試合を決めたのはこのヒジ打ち。一発でミッチの額から大量出血

▼シャープなローキック。ニュージーランド人の動きを確実に止めた

魔裟斗のコメント

「久々に笑ってインタビューできます。倒さなければいけないというのがずっとあって、今日は気持ちいいですね。ビデオで見たときは、コイツは強いなと思ったけど、意外にそうでもなかったですね。本当はパンチで倒したかったけど、早く終わらせて早く遊びに行きたかったから（笑）。来年中には世界タイトルがほしいですね」

スティーブ・ミッチのコメント

「もちろん、もっと試合をやりたかった。できると思った。いつも3R以降にがんがん攻めて出る戦法だから、これからだったのに。魔裟斗？グッドというレベルかな。これまで闘った中では、ミディアムの強さだね。彼がもっと強くなりたいのなら、経験を積むしかないね。そうすれば、スピードも活かせるだろう」

◀この笑顔がまたいい。女の子のファンが多いはずだ

▼ミッチも勇敢だった。どんなときでも前進し、簡単にはペースを明け渡さない

▶完璧な左ジャブ。「本当はパンチで決めたかったんだけどね」

目についたものだ。

魔裟斗には期するものがあったはずだ。とはいえ、今度の対戦者は手強かった。なにより勇敢だった。ミッチはどんなときでも前へ前へと攻めて出てくる。左フックのダブルで、思わず魔裟斗がたじろぐ場面もあった。

「1Rでいけるかなと感じた」と、魔裟斗は早々と手応えをつかんだようだが、リングサイドからはそうは見えない。いつものように歯切れのいいコンビネーション・アタックの嵐を仕込めないまま、2Rも半ばにさしかかる。そして魔裟斗の左フック、ローキックが主導権を形作りかけたときに、試合は突然終わったのである。

ショートレンジの攻防から、フィニッシュブローとなったのは左ヒジ。ミッチの肉肌も粘りもすべて切り裂いた。

「こんなにカットさせたのは初めて。手応えはすごかった」

狙ったブローではない。左ジャブから成り行きで打ち込まれた一発だ。それも「たまたま、試合前に左のヒジを練習したばかり」。つまりとっておきではない。

だが、何かのきっかけとはそういうものだ。この日を境に魔裟斗のキックボクシングは一皮も二皮もむけるかもしれない。

もっとも、敗者のアドバイスはなかなか厳しい。

「魔裟斗？　これまでで中くらいの相手かな。もっと強い選手はヨーロッパにもいっぱいいたよ」

悔しさ半分でもこれも真理。シルバーウルフが帝王学の予習の最中であるのは確かなことだろう。

（宮崎）

あの立嶋の『必死』に、泣けたぜ…

新鋭・清水から3度のダウンを奪って快勝

▶この日の立嶋にはどこか悲壮感さえ漂う。勝利の瞬間、目が潤んでいた

立嶋のコメント

「2割くらいしか力を出せなかったですね。……今は、勝った余韻でしゃべれないんじゃなくて、あえて言わないんです。分かってくれる人は、僕の行動や態度で分かってくれるはず。そう信じたいし、信じなきゃやってられない。ファンの声援は最初から感じました。リングに上がった時、涙が出そうに…いや、出ました、ハイ」

清水のコメント

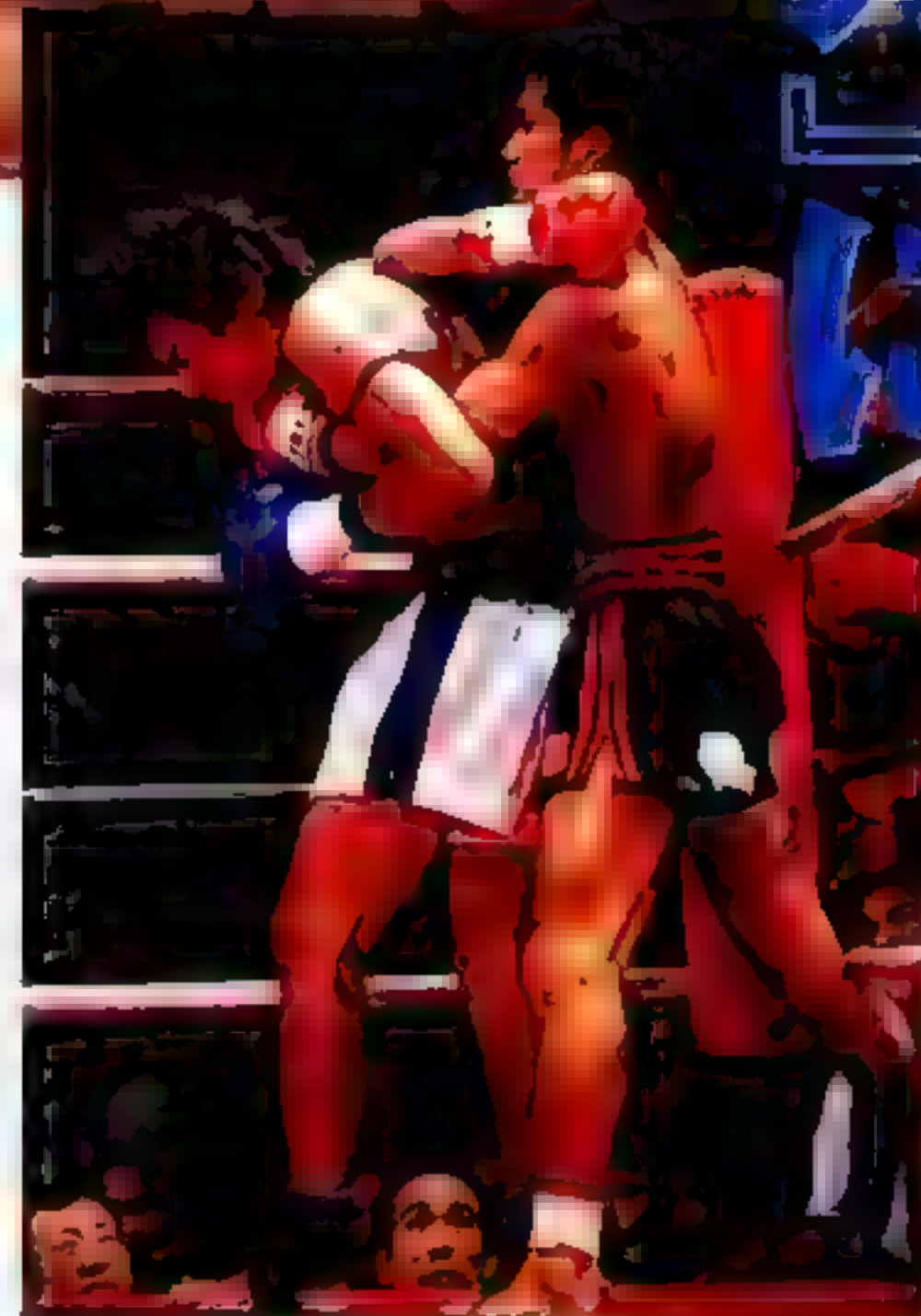
「立嶋選手は、技術的な面で凄かったです。でも、絶対に気持ちだけは負けていないつもりです。だから、自分を磨き直して、立嶋選手ともう一回やりたい。今までは、顔も知らないし資料もないような選手とばかりやってきたので、立嶋選手のような有名な選手と闘うのは、どんな選手か知っている分、気持ち的には楽でした」

残念、小比類巻のファイトは10・8後楽園大会までおあずけ!

セミファイナルに出場予定のニック・ミッチが右手負傷のため、小比類巻との試合はキャンセル。そこで、小比類巻はヌンポントーン・バンコクストアーと2分1Rのエキシビションマッチを行った。エキシビション後、小比類巻は「今日はエキシビションマッチになったんですけど、僕を応援しに来てくれた人すみません。自分はまだまだこれからなんで応援お願いします」と挨拶。次回は10月8日の後楽園大会で、外国人選手との対戦が予定されている。

▶キャリア5戦目の清水もときおり好打をヒットしたが…

▶粘っこく、しぶとく。立嶋の接近戦に清水は打つ手なし

▶立嶋の強烈なひざ蹴りボディに突き刺さる

★第6試合(フェザー級ランキング戦/3分5R)
○立嶋篤史(5R判定3-0)清水潤也●
(全日本フェザー級3位・谷山ジム) (全日本フェザー級7位・富士魅ジム)
※4Rに1度、5Rに2度左ボディで清水はダウンを喫した

「観客の声援に涙が出てきました」

闘った当人はそう言っていたが、一観戦者である私の方も胸にこみ上げるものがあったのだ。あの立嶋篤史がここまで必死に『ただの1勝』にしがみつこうとしている。対戦相手に組み付き、蛇のようにからみつくと左右のヒザをブチ当てる。右のヒジを叩きつける。

勝負に『ただの1勝』などないのは分かっている。だが、90年代のキックシーンをひとりで引っ張ってきた男にとって、この日は簡単にクリアしておかねばいけない一戦だった。対戦者の清水はこの日が5戦目。キャリアは自身の10分の1にも満たない。しかも初の5回戦。立嶋と比べれば、ほんの駆け出しに過ぎない。

それでも今の立嶋には行きがけの調整試合にはならない。ここ5戦で1勝だけ。自分の名前だけでは、もう満場のファンのあの熱狂は戻ってこない。それでも闘い続けたいなら、ひとつひとつ勝利を積み重ねるしかないのだ。

打つ。蹴る。投げつける。ただひたすら勝利に追いすがる立嶋のラディカルなセンチメンタリズムが頂点に達するのは4R、完璧な左フックが肝臓をえぐり、さらに左ひざをフォローして清水を倒す。5R、同じく左ボディブローでまた倒した。観客の絶叫の中でレフェリーが再びダウンをコールしたときに試合終了ゴングが鳴った。

「まだ見せなければいけないものの20%だけ」。立嶋は言った。もう27歳になった『元ビッグネーム』はこれからどんな闘いの作品を作ろうというのだろう。見届けねばなるまい。(宮崎)

今、全日本キックで最もキラメいている男！

魔裟斗 初インタビュー

今、全日本キックの中で最もキラメく活躍を見せているのが、全日本ウェルター級王者の魔裟斗（藤ジム）。まだデビューして2年ほどだが、魔裟斗が入場するだけで、後楽園ホールがパーッと明るくなるなど、キック界に突如現れた新たなヒーローが再び黄金時代を作り上げようとしている。「SRS」の畑野浩子ちゃんも大ファンであるという魔裟斗に「SRS・DX」が初インタビュー。その素顔に迫ってみた。

インタビュー◎石黒由佳子

今は、キックおたくですよ。キックの話しないと、友達と話すことがなくなっちゃうんです

▶夏休みということもあり、撮影をじっと見ている若者が多数。シャイな魔裟斗は「こっちを見るなよ〜」と大テレ

―魔裟斗選手はインタビューでは「SRS・DX」初登場なんです。

よろしくお願いします（笑）。

―まず、昨日の試合を振り返っていかがでしたか？

本当は倒したかったんですよ。KOじゃないと嬉しくないですから。パンチで倒せると思ったんですけどね。まあ、早く終わって良かったです。

―見事にヒジでカットしてましたけど、あれは狙ってましたか？

1Rの終わりくらいから、ヒジ打ち入りそうだなって思ってたんで、カウンターで狙ったら当たったというか。

―激しく打ち合っているという感じで見ているほうは面白かったですよ。

見ているほうはそういう試合のほうが全然面白いんじゃないですか。それがいいんですよ。そういう試合をして、KOで勝てれば一番いいです。

―昨日の試合を見て思ったのが、魔裟斗選手の入場の様子が、凄く華やかだったんですよ。これまでのキックの雰囲気とはちょっと違う、新しいタイプのメインイベンターだと思ったんですよね。

そうですか（笑）。というか、昔（全日本キックの興行）をあんまりよく知らないんで。

―全然キックとか見てないですか？

あんまり人の試合は見ないです。自分の知り合いとかが出ていれば別ですけど。あんまり自分に関係のない人は興味ないですから。

―以前は入場の時のハイタッチとかなかったですし。大げさな言い方をすれば、21世紀のメインイベンターなのかなぁと。

そ、そうですか（笑）。ハイタッチをするのは、嫌じゃないっス。やり始めたのは自然に。誰かが手を出してきたからで、今はいつも出してきますよね。

―昨日も凄かったですよ。ちょっと異空間な感じがしたんですけどね。

別に意識したわけじゃないですよ。お客さんが喜んでくれればいいです。でも、目の前に立たれるのは、歩けないんで嫌なんですけどね（笑）。

―入場曲は以前は「Santa Maria」でしたよね。

あれは、けっこう聴いてていいなぁと思ったんで、選びました。

―魔裟斗選手にぴったりですよ。

合ってるとは言われますね。

―今の曲も悪くはないと思いますけど、あの曲は凄くいいと思うんですよね。

ありがとうございます（笑）。

―コスチュームもデビロックデザインになってガラッと変わりましたね。

ああいう形がいいという希望を出して、デザインしてもらいました。

―今日は初めてのインタビューなのでいろいろお聞きしたいんですけど、子供の頃はどんなお子さんだったんですか？

また、お子さまなんですけど（笑）。普通の子ですよ。そのちっちゃい頃っていくつぐらいのことなんですか？

―えっ？　小学生くらいとか。

スポーツマンですよ。運動神経は良かったです。幼稚園の時から中学3年まで水泳やってました。

―スイマーなんですね。

スイマーだったんですよ。泣きながらよく行かされてたんですよ。親に

オレはやりたくなかったんですけどね。

れが引退して、授業が終わったら駄菓子

って思ってました。

めようかなと思ってて、たまにジムに行

魔裟斗
初インタビュー

◀魔裟斗選手は笑顔がいいんだ！と主張する谷川編集長。確かに笑顔も素敵である

オレはやりたくなかったんですけどね。ずーっと体育は5でした（笑）。

——昔は不良だったと聞いたんですけど。

自分じゃ不良だったと意識してません。不良じゃないですよ（笑）。

——よく中学の時って不良グループとかいるじゃないですか。

そういう感じじゃないですよ。スポーツマンですから。

——じゃあ、ちゃんと学ランも着て……。

オレの時代はブレザーなんですよ。ボンタンとかはありましたけど。

——だったら、ボンタンははいた？

はきません。格好悪い（笑）。

——ケンカはよくしましたか？

いや、よくはしないですよ。希に、学校とか町中でたまに。くだらない理由です。「なんか見てる——」とか。

——あ～、ガンつけたとかですね。

そうです。15～17歳くらいの間の話ですよ。部活をやってた時は、授業が終わって部活に行ってたんですよ。それが引退して、授業が終わったら駄菓子屋に行くようになったんです（笑）。悪友に誘われてエンジョイしました（笑）。

——そんな魔裟斗選手がキックを始めたのは何でですか？

ただ単に強くなりたいと思ったから。もともと中学を卒業した時に、ボクシングをやってたんですよ。でも辞めて、近くにジム（藤ジム）があって、後輩が行ってたんです。それで、キックも強そうだと思って。最初はプロとかでやる気が全然なかったんですよ。でも、入って3日目くらいに会長（加藤重夫会長）が「お前はチャンピオンになれる」って。いや、本当っスよ（笑）。

——さすが加藤会長（笑）。[illegible]的な大胆さがいいですよね。

「真剣にやれば、今年中になれるよ」って（笑）。それで、あんまり言われるから、オレもその気になって、「オレはなれるんだな」と思ったんです。だから、タイトルとった時も「当たり前だな」って思ってました。

——実際、藤ジムに入門したのは？

96年の6月で、17歳の時ですね。でも、デビューするときは、嫌で嫌でしようがなかったんですよ。プロでなんてやりたくなかったから。

——でも、その気になってたんですよね。

プロテスト受けたときだって練習してないっスよ、オレ。プロテストの前の日に、ジムは9時までなんですけど、9時過ぎに会長に電話して「今から行くから開けといてください」と言って、体重だけ落として（笑）。プロテストだって、会長が「ぜったい余裕だから」って言うから「ああ、余裕なんだなぁ」って思ったし。楽勝なら練習しなくてもいいやと思ったんです。

——また、加藤マジックですね（笑）。プロテストはいつ受けたんですか？

97年の1月です。それで3月にデビューしました。そのデビュー戦も会長に「デビュー戦なんて1Rで倒せる」って言われて、倒せるもんだって思ってたし（笑）。2戦目の小比類巻の時も「あんなのね、楽勝だよ。1Rで倒しちゃえよ」って会長が言うから、「そうか楽勝なんだ」と思って1Rからガンガンいったら、やられちゃうし（笑）。

——2戦目で加藤マジックが急停車したんですね（笑）。魔裟斗選手は、もともと練習嫌いだったとか。

昔は練習より、遊んでる方がよかった。遊び好きでしたね。小比類巻戦のあとは、ぜんぜんやる気がしなくてブラブラしてたんですよ。それで、錦糸町にジムができて、チャーンと前田（憲作）さんが練習をやってたんで、一緒に練習してやる気はあったんだけど、ケガをして試合ができなくなった。また辞めようかなと思いつつ、たまにジムに行ってたんです。それで去年の1月くらいから、真剣に練習を[illegible]。

——それで、今年は破竹の勢いで活躍してますよね。

遊んでないですから（笑）。今はキックおたくですから、オレ。ホントそうですよ。友達としゃべるじゃないですか、キックの話をしないと話すことがなくなっちゃってるんですよ。

——生活スタイルもすっかり変わった？

そうですね。練習中心ですね。試合終わって、1週間くらい休んだあとは、毎日ですね。だいたいロードワークも合わせて一日4時間くらい。「キックおたく」ですから（笑）。ホント他のことしてないです。練習して、[illegible]と、テレビ見てるくらいですよ。

——今、魔裟斗選手を中心に全日本キックが動いている感じがあるんですが、それに関してプレッシャーは感じますか？

いや、プレッシャーは感じないです。だって、キックしかやることないですから。キックをやめて、なんの仕事をやるんだと言ったら、何をやったらいいんだろうという感じですからね。

——キック以外に興味を持っていることはありますか？

試合が終わった後の楽しみは、買い物に行くことです。靴とかアクセサリーとかの小物です。

——シルバーアクセサリーとかですね。

そうです。ごっついのが好きです。最近はもらいもんばっかです。洋服はデビロックで、シルバーは恵比寿のミックというお店の方からもらったんです。オレが試合でつけ[illegible]スワーカーで「Dragon Ash」の降谷（建志）がアルバムのジャケットでつけてい

後楽園ホールを満員にするじゃダメなんです 20万人集めないと（笑）

▶次回の試合は10月8日後楽園大会。「強豪外国人選手との予定ですよ」と宮田広報。このままキラキラと輝き続けられるか？

るのと一緒です。

——ホ〜、なんか、時代の最先端ですね。

魔裟斗　一応、キックおたくなんですけどね（笑）。

——キックで挫折したことありますか？

魔裟斗　試合で負けた時（小比類巻戦）ですね。へこんだけど、あれがなかったら、キックをやってなかった、あれに（小比類巻戦）勝って、中途半端にやってたら、適当で終わってたと思います。

——他の格闘技で興味があるものは？

魔裟斗　ないですね（きっぱり！）。

——「格闘コロシアム」（テレビ東京）のイメージファイターになって、修斗の試合を見に行ったりしてるでしょ？

魔裟斗　修斗を見に行ってるんではなくて、佐藤ルミナ選手を見に行ってるんで、やりたいとは思わないです。

——K−1は見ますか？

魔裟斗　宮田さん（広報）を見てます。宮田さんのお母さんが喜んでるんだろうなぁと思いながら見てます（笑）。だって、お母さん喜んでますよね、宮田さん。

宮田広報　（汗をふく）

——試合でのジンクスはありますか？

魔裟斗　軽量の後におはぎを食うんですよ。親が作ってくれるんですけど、去年の3月に10ヵ月ぶりの試合をやった時に、減量中に甘いもの食いてえなぁと思って作ってもらったんです。それで勝ったからずっと作ってもらってる。

——会場へ応援に来てるんですか？

魔裟斗　ずっと来てますよ。家とかで試合のビデオとかよく見てます。帽子の被り方とか、この前浅く被ってたんですよ。そしたら「あれ変だからどうのこうの」って言われました（笑）。

——他の選手に興味がないと言ってましたが、目指している選手とかはいますか？

魔裟斗　ラモン・デッカー。ビデオとか見ますよ。

——今後はどうしていきたいですか？

魔裟斗　お金持ちになりたい。そりゃそうですよ、当たり前ですよ。金もたなきゃだめですよ、銭です（笑）。

——キックボクサーとしての魔裟斗選手の夢は？

魔裟斗　今の目標は世界チャンピオンになること。世界のベルトが欲しい。

——なるほど。そうそう、「SRS・DX」って読んだことありますか？

魔裟斗　見ますよ。コンビニに置いてあるっていうのがいいですよね。

——「SRS」の畑野浩子ちゃんが魔裟斗選手にハイタッチしてもらったのを感激してて、好きな格闘家は魔裟斗選手って言ってましたよ。

魔裟斗　小比類巻って書いてあったらしいですけど（笑）。オレの友達が、（畑野浩子を）好きで、言ってました。

——見てますねぇ（笑）。

魔裟斗　でも、オレのほうが先に書いてあった（笑）。まぁ、いっか（笑）。

——昨日、小比類巻選手のエキシビションの後に「魔裟斗とやれ！」って叫んでいた人いましたよね。

魔裟斗　あ〜、あれはオレの先輩です（笑）。もう、酔っぱらってんッスよ。嫌ですよ〜

——まぁ、ビール片手にキックを見るっていうのは、わりと定番ですからね。

魔裟斗　いや、ビール片手に野次が凄いっていう雰囲気をオレが変えたいです。

——もっと頑張って、魔裟斗ファンだけで、後楽園ホールを満員にしないと。

魔裟斗　後楽園ホールじゃダメですよね。夢は20万人（笑）！

——あ〜、GLAYですね。なかなか、格闘技を20万人に見せるって大変ですよ。やっぱりテレビとかがつかないと。でも、魔裟斗選手もテレビに出たりした時の反響は、大きかったでしょう？

魔裟斗　そうですね。テレビが一番効果はでかいですよね。「SRS」に最初に出た時も反響は大きかったですし。

——反響も大きくて、ますますキックにハマっていくんじゃないですか？

魔裟斗　そうですね。普通の人は味わえないことだと思うし。試合終わって、勝ってリングにいる時が一番いいですね。リング上がる前って緊張して嫌なんですよ。「あ、やだな、またやってんな、オレ」って思うんです。入場する前のトビラが開く3分前くらいに「憂鬱だよ」って。トビラが開いたら腹をくくるんです。

——だから、終わった時が至福の時なんですね。

魔裟斗　そうです。他の選手も憂鬱なことなんじゃないですか、リングに上がることは。でも、リングに上がると何ともないです。トビラが開いた時には、吹っ切れちゃいますね。お客さんも見てるし。

——あとは、ハイタッチをしてくるのはいいけど、前には立たないでね、と。

魔裟斗　そうです（笑）。■

魔裟斗 初インタビュー

魔裟斗から ビッグプレゼント！
8・17大会で使用したグローブを1名様に！

なんと太っ腹な魔裟斗から8・17後楽園大会で使用したグローブにサインを入れて1名様にプレゼント。創刊2号で女子限定で「キックを教える権」をプレゼントしてくれた魔裟斗だったが、今回は「男女を問わず欲しい方にどうぞ」とのこと。魔裟斗ファンよ、このチャンスを逃がすな！　ご希望の方は、ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、今号で面白かった記事、今号で面白くなかった記事、魔裟斗への応援メッセージを書いて以下の住所までお送りください。締め切りは9月9日（木）まで

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部
「魔裟斗グローブ」係

修斗ヘビー級王者 エンセン井上が遂にCDデビュー!!

桜井"マッハ"速人&佐藤ルミナ&朝日昇もコーラス参加という贅沢三昧&サダハルンバ谷川もCDデビュー!!

大和魂、音楽業界を席巻!!

収録後には「眠い」とか言ってたの、レコーディング中は一番ノリノリだったのはマッハ。好感度ますますアップだ

▲ボーカルと作曲を担当した大内義昭さんの熱唱

▲ガウガウガウ！　レコーディング中を演出してみました、ガルルゥ!!（犬語）

▲サダハルンバの声の悪さで気分が悪くなったのか、修斗君の目が濁る

▲オーケン・メーカーで決めた太った筋少ファンが紛れ込む

レコーディング後のコメント集

大槻ケンヂ
これは凄い曲ですよぉ〜！　エンセン、エンセンって自分の名前をこれだけ連呼する曲はこれまでなかったでしょ。「喧嘩！　[illegible]　喧嘩！骨法」と連呼する骨法のテーマ曲を超えましたよぉ〜！

佐藤ルミナ
オリコン1位になるように頑張りますよ（笑）。

朝日昇
いや、ホントに売りたいよ！　絶対にツアーに出なきゃダメだよ!!

桜井速人
いやぁ、なんか眠いっスね〜。うん。

大和魂Tシャツのバカ売れ状態が東京新聞の記事になるなど、止まるところを知らないエンセン井上人気を象徴するかのように、エンセンのCDデビューがついに決定した。しかも、コーラスは佐藤ルミナ、桜井速人、朝日昇が担当と、修斗四天王がこの一枚に詰まった大サービスぶり。内容も「PRIDE5」で使用した入場曲「Chant of the Islands」ほか、エンセン作詞のラブソング、マイクアピール集、愛犬修斗君からのメッセージといった充実三昧。本物の修斗ファンなら必ず買わなければならない踏み絵のような一枚と言えよう。

で、8月2日。エンセン及びルミナ、マッハ、朝日のレコーディングが行われたわけだが、意外と言っちゃあ申し訳ないが仕上がりはバツ群。プロデューサーの高橋氏は「格闘家らしく、声に力強さと迫力がある」と語り、特にルミナは「低音の魅力にしびれた」と絶賛。また、サブ・ボーカリストとしてパート的に歌ったエンセンについては「リップサービスでもなんでもなく才能がある」と断言したのだ。レコーディングの合間にピアノを弾いたりと、高橋氏の言葉を裏付けるような多才ぶりも見せたエンセン。一芸に秀でた者はすべてに通ずというわけだ。また、「PRIDE5」では女性ボーカルだった「Chant of the Islands」は男性バージョンでリニューアル。エンセンいわく「女の子の声じゃ闘う気持ちになれないネ。男の声でハワイのメロディーを聴くと静かな気持ちになれる。静かな気持ちで相手を"殺す"の気持ちになれるネ」とのこと。次の試合では非常に静かな心持ちで"殺すの気持ち"となったエンセンに期待大。対戦相手には合掌……。

さてそんな最中。あの大槻ケンヂが同CDにコーラスとして参加するというビッグニュースが舞い込んできた。ところが、そんな朗報を台無しにするかのように本誌編集長のサダハルンバ谷川までコーラスに参加することが決定。さらには身の程を知らないというのか、レコーディングはオーケンと一緒だというのである。格闘技の世界には"格"がないと言われるが、人間同士には厳然たる"格"というものが存在するのである。断じて！

編集部の心配も呑気な笑顔で受け流したサダハルンバは収録後、「楽しかったなぁ〜。僕はねぇ、実はCMにも出たことがあるんだよぉ〜。CMデビューもCDデビューも藤原紀香より早いのさぁ〜〜（笑）」とコメント。我らの無敵編集長に乾杯！このノー天気ぶりは9月下旬放送の「SRS」で確認できます。

ともかく。クレバーなスタッフのお陰で、どれがサダハルンバの声なのかまったくわからなくなった、このCDは聞き苦しさなど微塵もない完璧な仕上がり。となれば、ルミナ&マッハ&朝日のコーラスあり〜の、オーケンのコーラスあり〜のというエンセンの初CDは成功したも同然。発売は9月22日である。価格は1800円。すぐに予約しないと殺すの気持ちネ、である。

CONTENTS

1. エンセン井上入場テーマ
   Chant of the Islands
2. エンセン井上応援テーマ
   mother eyes
3. You are my woman
4. エンセンマイクアピールNo.1
   〜97・10・12ジョー・エステスを破り、初代修斗ヘビー級王者に
5. mother eyes（インストゥルメンタル）
6. エンセンマイクアピールNo.2
   〜98・10・25バーリトゥード9回ランディ・クートゥアに勝利
7. アリガトウ
8. エンセンと修斗君からのメッセージ
9. Chant of the Islands（special version）

※1曲目と5曲目はエンセン作詞。修斗四天王、オーケン、サダハルンバのコーラスは9曲目の「Chant of the Islands」（special version）に収められる。
9月22日にVAPより発売。定価1,800円（税込み）

桜庭和志、サイン会で注目発言！

撮影◎早田寛

『SRS・DX創刊記念』としてワールドスポーツプラザ池袋店（パルコ5F）で好評開催中（8月31日まで）の『ジャパン格闘技フェスティバル』。期間中はゲストを招いてのイベントも開催されているが、今回は、その第1弾として高田道場の桜庭和志&松井大二郎のサイン会&トークショー（8月8日）から、いくつか注目の発言をピックアップしてお届けする。

船木さんとは400戦勝ったらやりたい

（会場からの拍手&声援の中を桜庭和志の入場テーマ曲「SPEED2～SINGLE EDIT～」に乗って、桜庭&松井大二郎の両者が入場。ファンからの花束贈呈、簡単な挨拶の後、早速トークショーに入る）

――普段は道場でどういった練習をしているんですか？

桜庭 普段はレスリング。関節の取り合いをしてます。

――一日にどのくらいやってるんですか？

桜庭 その時によって違いますけど、だいたい1回5分で、インターバルを30秒から1分くらい入れて、10本から15本くらいやります。

――10本から15本もですか。やっぱり私生活でイライラしたことがあったら、それがスパーリングに出るわけですか？

松井 いや、僕はないです（笑）。

桜庭 僕はスパーリングでストレスを発散する時もあります（笑）。

――目の中に指を突っ込んじゃうとか？

桜庭 いや、目じゃなくて下半身ですね（苦笑）。

――お尻の穴とか？

桜庭 そうそう。あとはモノ（金的）を掴んでみたりとか……。ワシ掴みじゃなくて、ツネるように（笑）。こうじゃなくてこうです（と手振りを入れて）。

――なるほど（笑）。

（ここで質問コーナーに移る）

質問者 闘ってみたい選手は誰ですか？

桜庭 とりあえずフランク・シャムロック選手とやってみたいと思います。

（館内から「ウォー」の声）

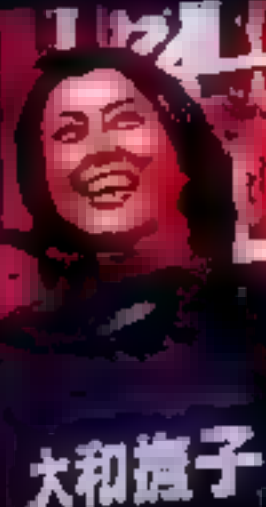
も含めてですか？

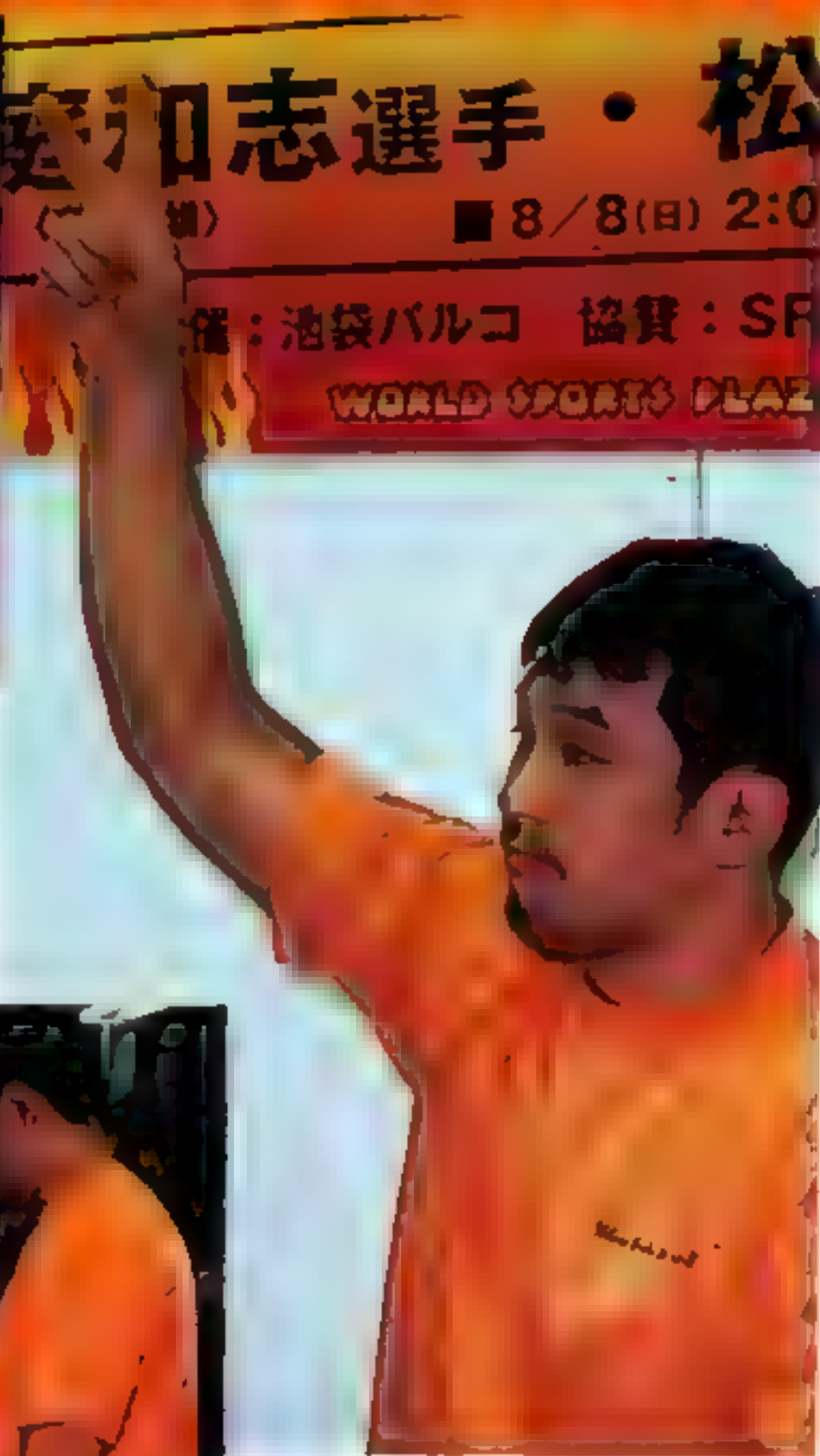
桜庭 スパーリングも少し含めます（笑）。

か？

桜庭 仮面ライダーのベルト。

（場内爆笑）

大和撫子

SRS・DX創刊記念 ジャパン格闘技フェスティバル

▲▶ジャンケン大会にファンも興奮？賞品はメディアファクトリーよりPRIDE.6のビデオが提供された。なお9月17日にはメディアファクトリーより、桜庭のビデオ「PRIDEの軌跡（仮）」（税別・6600円）も発売される

▲イベント終了後、ショップに訪れた桜庭＆松井。お目当ての品物はあったかな？

▲200人近くのファンが集結。司会は"Show"大谷泰顕が務めた

ャムロック選手とやってみたいと思います。

（館内から「ウォー」の声）

桜庭 彼に僕の技がどれくらい通用するのか興味があります。（フランクは）若くてカッコいいです、彫りが深いというか（笑）。

松井 僕はこの間（7月4日、横浜アリーナの「PRIDE.6」）負けたカーロス・ニュートンとやりたいです。

質問者 桜庭さんは、相手として船木誠勝選手はどうですか？

桜庭 僕はまだまだ格下だと思いますし、もっと試合に勝って実力をつけて、それから「船木さん」とやりたいと思います。

――いつ頃、実績がつくれそうですか？

桜庭 400戦勝ったらですね（笑）。

――それは道場でのスパーリングも含めてですか？

桜庭 スパーリングも少し含めます（笑）。

――だそうです（笑）。

質問者 両選手ともプライベートはどうしてますか？

桜庭 僕は家で寝ているか、あとはトイザラスに行って、子どものオモチャを買ったりしてます。

――最近、買ったオモチャは何でしょう？

桜庭 最近はオモチャじゃなくてチャイルドシートを買いました（笑）。

――どちらのトイザラスですか？

桜庭 246号沿いの多摩川を越えた辺りですね。

――そこに行けば桜庭さんに会えると。

桜庭 時々ですけどね（笑）。

――たとえば、自分のオモチャだったら何を買ったりするんですか？

桜庭 仮面ライダーのベルト。

（場内爆笑）

――自分の腰につけてみたり？

桜庭 普通のベルトにハメようとしたんですけど、ハマらなかったのでやめました。

松井 この間、道場にハメてきてましたよ。

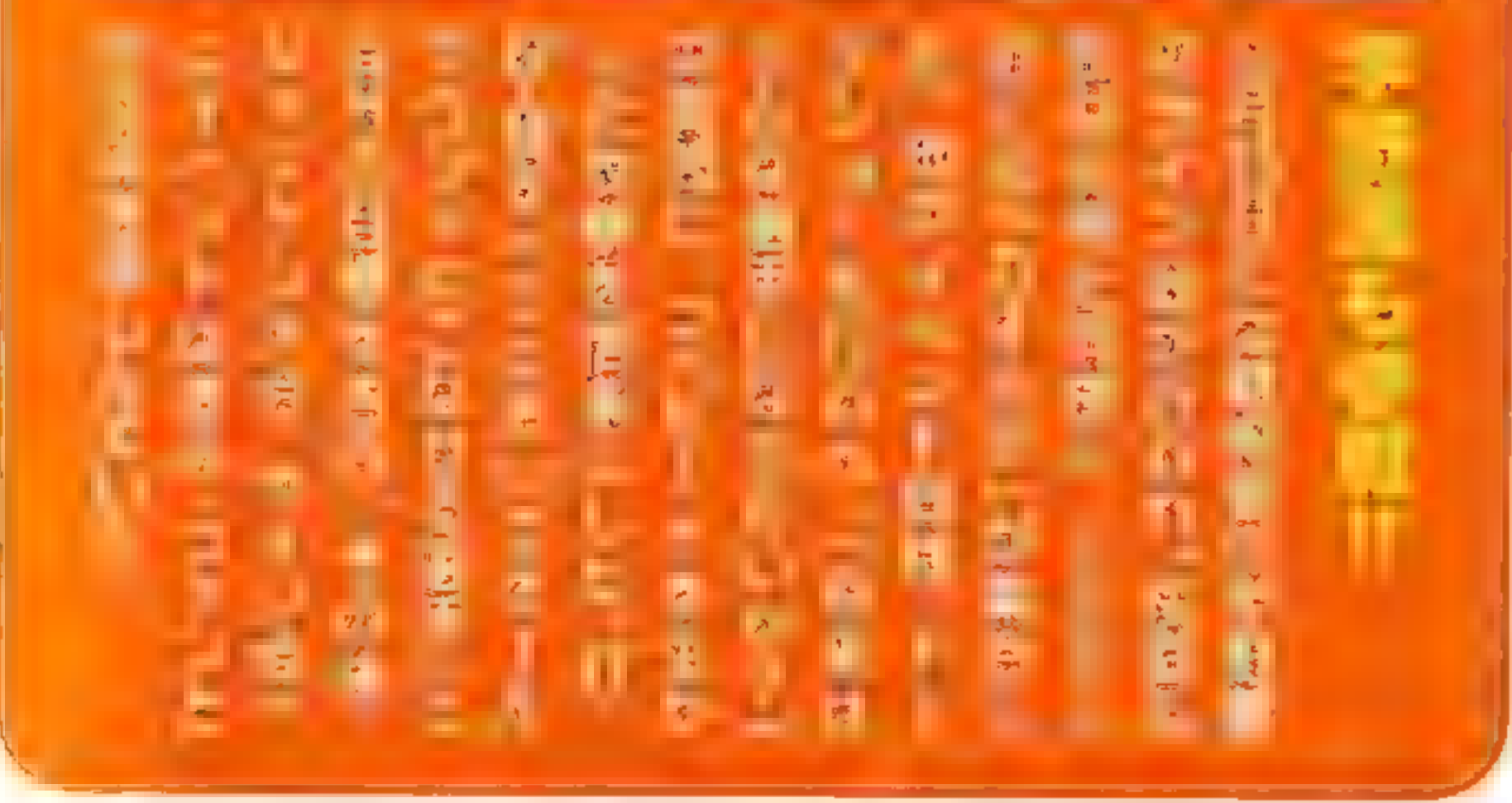
（場内大爆笑）

桜庭 みなさんも、もしよかったら買ってみてください（笑）。

（この後もファンからいくつか質問が飛んだがスペースの都合上、割愛。そして、ファンとのジャンケン大会に移行した後、ファン待望のサイン会へとなだれ込んだ。当日は真夏の炎天下。そんな中、集合した200名近いファンは、桜庭＆松井の発言に静かに聞き入っていた。きっと両選手もファンの温かさを直接、肌で感じることができたに違いない）

99K―1ガールズの予想する K―1GP99優勝者はいったいだ～れ!?

撮影◎早田寛

お色気ムンムン!!

▲ビデオ「COLORS」は、それぞれの持つイメージカラーから取ったもの。沖縄ロケも収録され、99K―1ガールズの魅力満載だ!!

▲司会はフジテレビの佐野端樹アナウンサーが務めた。なお、ジャンケン大会の勝者には99K―1ガールズのサイン入りパネルとフジテレビのボールペン、そして佐野アナウンサー曰く「入手困難」だというフジテレビマーク入り腕時計が贈られた

▲K―1ガールズの人気もスゴイ！ 豪雨の中、カメラ片手に、あふれんばかりのK―1ガールズファンが集結し、会場は、独特の熱気に包まれた

ビデオ「COLORS」先行発売は10月2日だ!!

桜庭和志&松井大二郎のサイン会と同じく「ジャパン格闘技フェスティバル」で行われた99K―1ガールズの撮影会(8月14日)。当日は豪雨の中、カメラを持ったファンが数多く集まり、桜庭&松井のサイン会とはまた違った雰囲気の中で行われた。

めったに聞けない99K―1ガールズのプライベートの話や、10月2日に先行発売される「COLORS」(税別・3800円)の撮影秘話なども網羅したバラエティに富んだ撮影会となったが、ここでは99K―1ガールズの予想するK―1GP99優勝者をお伝えしよう。

ゆみ「打たれ強いレイ・セフォー選手が好きなので頑張ってほしい」

早野久美子「個人的にはフランシスコ・フィリォ選手やマイク・ベルナルド選手が好きなんですけど、みんなピーター・アーツ選手のハイキックにやられてしまうんじゃないかな」

高木雅子「私も個人的にはベルナルド選手を応援してるんですけど、優勝するのはアーツ選手かな。やっぱりサム・グレコ戦（7月18日、名古屋レインボーホール）にしても殴られながら蹴りを入れられるのは王者ならではだと思う」

高橋優理子「実際に目の前で試合を見て強かったので、やっぱりアーツ選手がくるのかな」

幸本花梨「私はアンディ・フグ選手。みんな（チーム・アンディ？）の先輩だから頑張ってほしい。ぜひカカト落としが見たい」

三輪潤子「もちろん日本人選手には優勝してほしいとは思うけど、優勝はアーツ選手なんじゃないかなと思ってしまいます」

といった感じで、半数が前回優勝者であるピーター・アーツの優勝を予想。

トークショーに続き、豪華商品を巡ってのジャンケン大会。それが終わると、待望の写真撮影会となり様々な趣向を凝らしてイベントは無事に終了した。

好きな男性のタイプは?

TOPICS

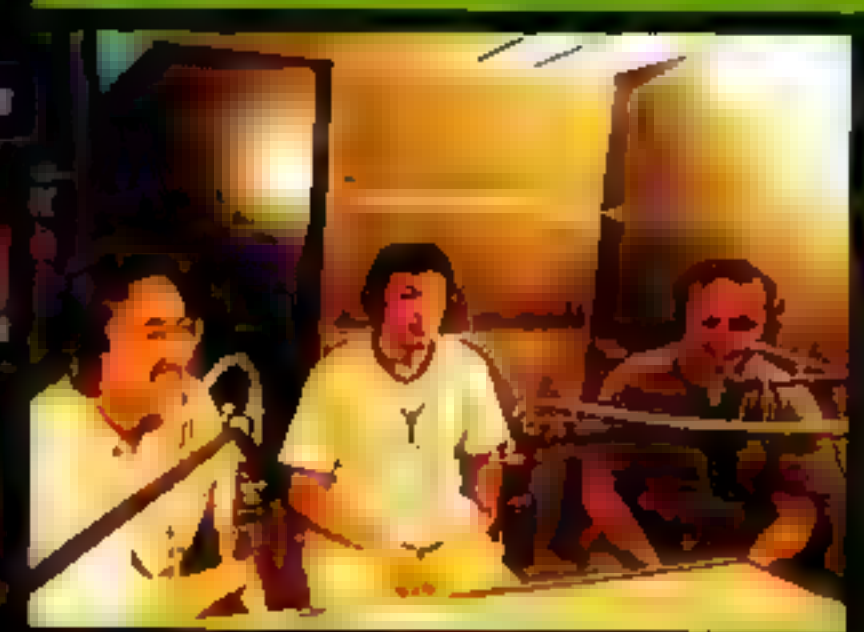
VIDEO

桜庭、新必殺技「恥ずかし固め」公開！人間・黒澤浩樹を見て泣け！

フジテレビが「桜庭」「黒澤」のビデオを製作。発売は9月17日、メディアファクトリーから

▲全試合を実況・解説する三宅アナ、桜庭、サダハルンバ編集長

◀２年間にわたる黒澤復活劇は感動モノだ。黒澤ファンにとってはたまらない作品だ

▼桜庭のおとぼけトークは爆笑モノ

格闘技界で続々とクオリティの高いビデオを製作しているフジテレビが、今度は「桜庭和志」と「黒澤浩樹」モノのビデオを、9月17日、同時発売することになった。

まずは「凄技（スゴテク）」ビデオも好評の桜庭だが、今度発売されるビデオは、単なるテクニック解説だけでなく、「プライド」における全試合を完全収録。バーノン・タイガー・ホワイト戦、カーロス・ニュートン戦、アラン・ゴエス戦、ヴィクトー・ベウフォート戦、エベンゼール・ブラガ戦がこの一本に収録されているという、まさに桜庭ファンにとってはありがたい作品として完成。しかも、実況・フジテレビ格闘アナ三宅、解説・サダハルンバ本誌編集長と桜庭本人というのが大きな売りだ。

また、桜庭の生い立ちから、高田道場での高田、松井とのスパーリング、そしてこのビデオのために「恥ずかし固め」や「皐岡（にいおか）クラッシャー」という新必殺技を披露。まさに、これでもかこれでもか、という盛りだくさんな、完全無欠の作品に仕上がっている。

一方、黒澤のビデオだが、これが本当に泣ける！「プライド1」で大ケガを負い、「プライド6」の角田信朗戦で完全復活する黒澤だが、その間の入院生活やリハビリの様子を2年間、ずっとカメラで追いかけ、その時その時の心境を語ってもらいながら、復帰戦を迎えるドキュメントタッチの仕上げになっている。これまで、黒澤浩樹といえば「格闘マシーン」とか「最後のニホンオオカミ」といったイメージだったが、この作品はまさに人間・黒澤を余すことなく表現している。「プライド6」で復帰する前のインタビューで「昔のようにファンが反応してくれるか気になる」というセリフは、以前の黒澤では考えられなかったことだ。

どちらも、価格は6600円。発売は「プライド」シリーズを出すメディアファクトリーだ。

『桜庭和志 〜強さの秘密を徹底検証〜 PRIDEの軌跡』 カラー60分 定価6,600円（税込み）
『黒澤 浩樹 復活への道』 カラー60分 定価6,600円（税込み）
お問い合わせ：☎03-5469-4728 メディアファクトリー

NEXT ISSUE

次号予告 次号の発売日は9月9日（木）です

SRS DX
No.6 /9月23日号
定価680円（税込み） 毎月第2・第4木曜日発売

特集 まるで見えない、総合格闘技の行方！
本当はこんなもんじゃない！
大山倍達を苦しめた中国武術の底力
極真世界大会カウントダウン 第2弾
昭和編・平成編 ますます快調！

編集部からのお詫び

前号の20ページから始まる「佐竹雅昭インタビュー」において、129ページに掲載されている「アレクサンダー大塚の武者修行日記」の写真が3点、紛れ込んで印刷されてしまいました。これは、校正の段階では正しい写真が入っていたのですが、印刷工程上のミスにより、起こってしまった事故です。創刊して間もないのに、このような事態を起こしてしまったことを深く反省するとともに、佐竹雅昭選手、K−1関係者の皆様、そして読者の皆様に深くお詫びする次第です。今後はこのようなミスが二度と起こらないよう、最大の注意を図り、読者の皆さんに一層喜んでいただけるような誌面づくりを目指して努力する所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「SRS・DX」編集長 谷川 貞治

本当はこのような写真が入る予定でした。本当にスミマセン！

■UFO提供　2名様

★オーチャンTシャツ
(サイン入り・ソデなし)

オーちゃん自らがソデを切ってくれた戦闘用オーチャンT。しばらく試合してないけど、ま、ちゃんとソデ落としたってことで、許してくれ!

■ダイエットブッチャースリムスキン提供　各1名様

★新作トレーナー
・スリーパーバージョン（サイズM）
・腕ひしぎバージョン（サイズM）

みんな大好きダイエットブッチャーの新作トレーナー。深民さん、いつもありがとう!
ダイエットブッチャーの商品は、直販店「オクタゴン」(渋谷区神宮前5-16-8 ☎03-3486-5539)で買えま〜す

■『居酒屋ごっち』提供　各2名様

★ごっち特製Tシャツ
★闘魂扇子

アニメ「スプリガン」の川崎監督が描いたイラストにお店のロゴが入った特製Tシャツ。このカラーは非売品。マッハがエアズ戦後、客席に投げたTシャツがこれなのだ!

最近、闘魂ショップでも発売されている闘魂扇子。でも本家はごっちなのだ!（非売品）

■メディアファクトリー提供　各1名様

★マーク・ケアーTシャツ（サイズL）
★黒澤浩樹Tシャツ（サイズL）
★Pride or DieTシャツ（サイズL）

KRS主催時代の『プライド』オフィシャルグッズ。絶賛発売中の『プライド6』オフィシャルビデオ発売記念でいただきました

※マッハ桜井公認居酒屋「ごっち」は、JR高円寺駅南口徒歩1分のところにあります。プロレスファン、修斗ファンはもちろん、マッハやルミナなどシューターもちょくちょく遊びにきているのだそう。
店長の小竹さんはメチャメチャいい人です。
☎03-3314-3416

■『ファイター』提供　各2名様

★UFCオフィシャルオープン・フィンガー・グローブ
★HUNTERタイツ

日本ではここ『ファイター』でしか買えないUFCのオフィシャル・グローブ。定価12,000円のシロモノを太っ腹の福井店長が2コも提供してくれました

※『格闘技Shop ファイター』では、今回提供していただいたUFCグローブをはじめ、ありとあらゆる格闘技グッズが買えます（通販可）。店長の福井さんはメチャメチャ怪しい人です。☎03-3354-1903

多くのアルティメット・ファイターが愛用しているあの「ハンター」の試合用タイツ。『ファイター』では、オリジナルタイツやコスチュームの製作もやってま〜す

■新日本キック提供　各1名様

・深津飛成サイン入りグローブ
（7・24VSデンナムチャイ・ゲオサムリット戦で使用）

「リトル・タイソン」の異名を持つ深津選手からお宝をゲット！　試合は惜しくも敗れてしまったが、快く提供してくれました。アリガトーッ!!

■応募方法

本ページ右下の応募券を官製ハガキに貼って、
❶郵便番号・住所・電話番号　❷お名前
❸年齢・ご職業　❹希望プレゼント名
❺今号で面白かった記事（複数可）
❻今号で面白くなかった記事（複数可）
❼8・22『K-1スピリッツ'99』大会の感想
（もちろんTV観戦、本誌リポートでもオッケー！）
❽好きな芸能人
❾『ごっつぁん銀座』でゲットしてきてほしい商品
❿本誌に対するご意見・ご感想を山ほどどうぞ！
を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『ごっつぁん銀座❺』係まで
締め切り…9月18日（土）当日消印有効。

●当選ありがとうメッセージ

大分県大野郡の徳丸慶治クン（26歳・県職員）

ベルちゃんのグローブゲーーーット!!

「まさかの当選に、ホントにお礼を言い尽くせません。このグローブは家宝にし、ケースを買って部屋に大事に飾るつもりです。貴誌が出たおかげで、どの格闘技雑誌を買えばいいのか悩むことがなくなりました。地球が滅亡するまで買わせていただきます」
創刊スーパープレゼントで高倍率だったベルちゃんのグローブをゲットした徳丸クンより歓喜のお手紙と写真が届きました。オメデトーッ!!　当選した人は、この徳丸クンの姿勢を見習おう！（特に後半部分の気持ちのいい文章）

次号では、なんと魔裟斗使用のグローブをプレゼント！

■UFOグッズ通信販売

アンストッパブルUFO!!
この人気はいつまで続く!?

本誌2号からはじめたUFOグッズ通販。いまだに日に何十通もの注文が殺到しています。編集部としてはズバリ言って、非常に嬉しい悲鳴というか、ンムフフフ、というわけで、SRS・DXは、UFOグッズ通販を半永久的に続けていきま〜す。
住所、氏名、電話番号、希望商品（サイズも）を明記したメモを添えて、希望商品の代金と送料（何枚買っても500円）を現金書留で、編集部までお送りください。なお、ステッカーのみの販売はしません（送料を別途いただくのがしのびないので）。商品は、ご注文をいただいてから3日〜3週間位でお届けします。

❶オーチャンTシャツA（黒／サイズL・M）
❷オーチャンTシャツB（ラグラン／サイズL・M・S・XS）
❸Mr.ウォーリーTシャツ（サイズL・M）
❹UFO Tシャツ（サイズL・M）
❺オーチャンステッカー

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部「UFOグッズ通販」係まで

❶オーチャンTシャツA
❷オーチャンTシャツB
❸Mr.ウォーリーTシャツ
❹UFO Tシャツ
❺オーチャンステッカー

Tシャツはすべて¥3,500（税込）
ステッカーは¥1,000（税込）

DREAM STAGE
PRIDE.7
1999.9.12 SUN
at YOKOHAMA ARENA
Door Open@15:30 Start@17:00
竜
参戦予定選手
髙田延彦　桜庭和志　小路晃
マーク・ケアー
ゲーリー・グッドリッジ
イゴール・ボブチャンチン
他／全8試合予定
チケット絶賛発売中
入場料金［全席指定・消費税込］
SRS/¥20,000　RS/¥13,000
S/¥7,000　A/¥4,000
チケット発売所
■ローソンチケット：03-3569-9900（Lコード=39160）
■チケットぴあ：03-5237-9999／スポーツ専用：03-5237-9977
■チケットセゾン：03-3250-9999／スポーツ専用：03-3250-9911
■CNプレイガイド：03-5802-9999
桜庭和志"応援シート"予約受付中!!
限定50席（RS席／スペシャル応援グッズ付）
■お問い合わせ：(株)ドリームステージエンターテインメント 03-3552-6300
ツアーセンターインフォメーション
お問い合わせ：TEL.052-961-4891 TOYO東洋ツーリスト
■主催：(株)ドリームステージエンターテインメント
■後援：SKY PerfecTV!
殴る。そこに顔があるから。折る。そこに腕があるから。

今度は格闘家に向けて新たに マーク商品の販売を開始しました。

Winning マーク商品とは、多種多様な格闘家達のニーズに応えた格闘技グッズで、機能性や安全性を形にした新感覚アイテムです。

新風到来

衝撃吸収材3重構造。軽量ワンタッチ着脱。上段へのコンビネーションの練習に、スタミナ養成に最適。

ビッグミット・凹型（1ヶ）

2305 ¥44,000

- ●カラー レッド・ブルー
- ●サイズ 縦126×横100×厚み13cm
- ●7.8kg
- ●素材 ポリエステル

ビッグミット・四角（1ヶ）

2304 ¥39,000

●カラー レッド・ブルー ●サイズ 縦100×横100×厚み13cm ●6.8kg ●素材 ポリエステル

視界が広く、アゴ、後頭部、耐久部分も防護。負傷を最小限に防ぐ安全性の高いヘッドギアです。

ファイバー入り！ハードなローキックにも耐えられ 装着したままでの歩行も可能 ローキックガード

2209 2206 2204 2203 2204 2205

アームガード（左右兼用・2ヶ1組）

2206 ¥12,000

- ※拳、腕、肘をしっかりガード。
- ※攻撃もできるグローブ仕様。
- ●カラー ホワイト
- ●サイズ 縦70×横12×厚み5cm
- ●重量 210g（片手） ●素材 人工皮革

ローキックガード（左右1組）

2203 ¥29,000

- ●カラー ホワイト
- ●重量 1.3kg（片足）
- ●サイズ フリー（後部調整機能付き） ●素材 人工皮革

格闘技用ヘッドギア 大人用（1ヶ）

2209 ¥11,000

●サイズ フリー（頭周囲54～62cm）

格闘技用ヘッドギア 少年用（1ヶ）

2210 ¥10,000

●サイズ フリー（頭周囲48～56cm）

- ●カラー ホワイト レッド
- ●重量 300g
- ●素材 人工皮革
- ●後頭部マジックテープ式

格闘技用ボディプロテクター 大人用（1ヶ）

2204 ¥16,000

●1.2kg

格闘技用ボディプロテクター 少年用（1ヶ）

2205 ¥12,000

●重量 700g

- ●ワンタッチバックル式
- ●カラー ホワイト
- ●素材 人工皮革

※パンチや蹴りが出しやすいカットライン

※軽量で衝撃吸収性に優れています

格闘家入場テーマ曲 着メロコレクション

FIGHTER'S MUSIC on ケータイ vol.5

高田延彦 トレイニング・モンタージュ（『ロッキーⅣ』オリジナル・サウンドトラックに収録）

今や高田延彦の代名詞といってもいい曲だ。一時期は別のテーマ曲が使われていたが、『PRIDE.6』で復活し、ファンを喜ばせた。特に印象的だったのが、97年に行われたヒクソン・グレイシーとの試合。この曲が流れる中、高田が入場すると、東京ドームは一瞬にして厳粛なムードに染められた。

対応機種タイプ

Type. 1
DoCoMo／P206、P205、P156
J-PHONE／DP145
IDO／521G、521GⅡ
Tu-Ka／TH081
デジタルツーカー／P3
セルラー／HD60P、HD61P

Type. 2
DoCoMo／P207、P157、P601ev
J-PHONE／J-P01　IDO／531G
Tu-Ka／TH091
デジタルツーカー／P4　セルラー／D101P

Type. 3
DoCoMo／D207、D207S、D501i
J-PHONE／J-D01
Tu-Ka／TH48s、THZ41、THZ43
デジタルツーカー／D4

Type. 4
IDO／529G、526G
Tu-Ka／TH181、TH18K、TH18S
セルラー／HD60K、HD61K、D201K、D202K

TYPE 1

2 ▶ 2 6 5 5 6 0 0 0 2 0
2 3 0 4 4 0 3 0 0 7 5 5
3 0 2 0 1 1 0 6 0 0

TYPE 3

2(×2) ▶ 2(×2) 6(×2) 5 8 5 6 8 6(×7) 2(×4) ▶
2(×2) 3(×4) 4 8 4(×3) 3(×6) 7 8 7 5 8 5(×3)
3 8 3(×3) 2(×4) 1 8 1(×3) 6 8 6(×5) 1 8
1 ▶ 1(×2) ▶ 1(×4) 2 8 2 ▶ 2(×6) 3(×2) ▶
3(×6) 4 8 4 ▶ 4(×4) 5(×6) 6(×6)

TYPE 2

2 * ▶ 2 * 6 * 5(×2) * 6 *(×4) 2
▶ 2 * 3 4(×2) 3 0 * 7 * 5(×2) 3
2 1(×2) 6 0 * 1(×2) * ▶ 1(×2) * ▶ 1(×2)
2 * ▶ 2 0 * 3 * ▶ 3 0 *
4(×2) * ▶ 4(×2) 5(×2) 0 * 6 *(×4)

TYPE 4

↑(×4) # ↑(×4) # ↑(×11) # ↑(×10) # ↑(×11) 0(×3) # ↑(×4)
0 # ↑(×4) # ↑(×6) 0 # ↑(×8) 0 # ↑(×6) 0(×2)
↑(×13) # ↑(×10) 0 # ↑(×6) 0 # ↑(×4) 0
↑(×3) 0 # ↑(×11) 0(×2) # ↑(×3) # ↑(×3) # ↑(×3) 0
↑(×4) # ↑(×4) 0(×2) # ↑(×6) # ↑(×6) 0(×2) # ↑(×8)
↑(×8) 0 # ↑(×10) 0(×2) # ↑(×11) 0(×2)

OTHERS

Type.1～4までの機種以外を使っている方は、この表を元に、それぞれの機種に応じて入力してください。表の見方は次の通りです。
ド↑…1オクターブ上げる
ド#…半音上げる
□…休符
また、音符・休符の横の数字は音の長さを表し、十六分音符を1として八分音符＝2、四分音符＝4と増えていきます。

レ2　レ2　ラ2　ソ#2　ラ8　レ4　レ2
ミ4　ファ#4　ミ6　シ2　ソ#4　ミ4
レ4　ド#4　ラ6　ド#2　ド#2
ド#4　レ2　レ6　ミ2　ミ6　ファ#2
ファ#4　ソ#6　ラ6

リクエスト受付中！

このコーナーでは、「この選手のテーマ曲を着メロにしてほしい！」という読者のみなさんからのリクエストを受付中です。希望する選手とテーマ曲、住所、名前、電話番号を明記の上、

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『着メロ』係

まで、どしどしご応募ください。
人気の高い曲は、どんどん紹介していく予定です。

SRSDX 9・9 No.5

8・22 K-1スピリッツ'99有明大会速報
8・19 リングス横浜文化体育館大会

1999年9月9日発行(毎月第2・第4木曜日 発行) 第1巻・第5号・通算5号
編集人・谷川貞治 発行人・柳沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版/(株)ローアス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円
本体648円

雑誌 21582-9/9 T1121582090681 Printed in Japan